

総合研究

第 8 号

2020 年 3 月

講演録

- | | |
|------------------------------|------|
| 日本の政治に何が欠けているか | 橋本五郎 |
| 78歳女性の生き方—小説『すぐ死ぬんだから』より— | 内館牧子 |
| 「不作法」は命取り？ | 内館牧子 |
| 自民党の新政権はどうなる!?—そしてシュリンクする秋田— | 福岡政行 |
| 自民党総裁選と日本の経済・外交のゆくえ | 福岡政行 |
| 2019年の日本の政治・経済・外交と秋田 | 福岡政行 |
| 参院選直前の政局—ダブル選挙はあるのか!?— | 福岡政行 |

研究論文

- | | |
|--|------|
| 大学生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解：誤信
念理解・類推を規定する作業記憶の効果 | 光田基郎 |
| 漱石と糺の森—「京に着ける夕」を読む— | 橋元志保 |
| 成人における心の知覚と命の知覚の発達
—受精卵、統合失調症、認知症、植物状態、
脳死についての判断— | 瀧澤純 |

研究ノート

- | | |
|----------------------------|------|
| 大都市の飲料水が平均寿命に与える影響について | 力石國男 |
| 景観構成要素に基づく自然風景地の類型化と魅力の可視化 | 村中孝司 |

目 次

講演録

- 日本の政治に何が欠けているか 橋 本 五 郎 (1)
- 78歳女性の生き方—小説『すぐ死ぬんだから』より— 内 館 牧 子 (21)
- 「不作法」は命取り? 内 館 牧 子 (43)
- 自民党の新政権はどうなる!?
—そしてシュリンクする秋田— 福 岡 政 行 (67)
- 自民党総裁選と日本の経済・外交のゆくえ 福 岡 政 行 (83)
- 2019年の日本の政治・経済・外交と秋田 福 岡 政 行 (101)
- 参院選直前の政局 —ダブル選挙はあるのか!?!— 福 岡 政 行 (121)

研究論文

- 大学生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解：
誤信念理解・類推を規定する作業記憶の効果 光 田 基 郎 (141)
- 漱石と糺の森—「京に着ける夕」を読む— 橋 元 志 保 (157)
- 成人における心の知覚と命の知覚の発達
—受精卵、統合失調症、認知症、植物状態、
脳死についての判断— 瀧 澤 純 (181)

研究ノート

- 大都市の飲料水が平均寿命に与える影響について 力 石 國 男 (191)
- 景観構成要素に基づく自然風景地の類型化と魅力の可視化
..... 村 中 孝 司 (203)

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「日本の政治に何が欠けているか」

講師 読売新聞特別編集委員
ノースアジア大学教育諮問会議委員
ノースアジア大学客員教授 橋 本 五 郎

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 令和元年7月6日 午後1時30分～3時

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

藤 本 本日は暑い中、また大学祭で込み合っているなかご講演会お集まりいただきまして、ありがとうございます。2010年から毎年この時期に橋本五郎先生にはご講演にいらして下さって、今回で10回目となります。毎回楽しくまた有意義なお話を聞かせていただいております。橋本先生はこの1月に新しい本を出版されております。他にもたくさんのお本をお出しになっておりますのでお読みになっている方もおられると思いますし、テレビ等で様々なお話をみなさんもお聞きになっているかと思えます。今日は「日本の政治に何が欠けているか」というテーマで最新の政治について有意義なお話をしてくださると思えます。それでは橋本先生どうぞよろしくお願いたします。

橋 本 こんにちは。この時期は何か天気がよくありません。紹介があったように10回この時期にきていますがあまり天気に恵まれないのです。でも今日は秋田空港に降りたらとても良い天気でびっくりしました。それと一番初めに私の本を紹介していただき、ありがとうございます。この本のタイトルは『宿命に生き 運命に挑む』といいます。実はこれは「宿命に生き 運命に挑み 使命に燃える」という元総理の小淵恵三が自分で作った私の好きな言葉に由来しています。沖縄の名産でサミットがありました。そのときの会場は「万国津梁館」というところです。これは世界の懸け橋という意味です。そこに行きますと碑が建っています。その碑の台座に小淵恵三のこの言葉が刻まれているのです。これは私も大好きな言葉なんです。「宿命に生まれは」いかんともしがたいものです。いつも私は言っていますが、生まれ変わったら福山雅治になりたいと思っています。一度でいいからイケメンと言われてみたいのです。しかしこれはいかんともしがたいことで、絶対になれません。何ともできない宿命なんです。しかしこの宿命を嘆くことなく、そしていろんな人生の荒波にあえて挑んでいくんです。そのときに忘れてならないのは「自分は何のために生きているのか」「自分は何をすべきなのか」という使命に常に燃えていなければならないのです。ということで、この小淵さんの言葉を借用して、私の新しいコラム集のタイトルにしたのです。ただ本に収録するのに間に合わなかったのですが、『五郎ワールド』というコラムに金足農業が準優勝したときのことをこういうことを書きました。「金足農業はあれだけ多くの人に応援されて募金も随分全国から集まった。最近ではああいったことはありません。建築家の安藤忠雄からも私のところに電話がありました。金足農業は甲子園に行ったはいいけれど最初はそんなに勝ち続けると思っていなくて、資金難になって支援金を募ったんです。それを知った安藤忠雄が“金農よく頑張っている。2、30万円くらい寄付

したいので振込先を教えて欲しい”と言うので、金農の校長先生からきいて聞いて教えました。何の関係もない安藤忠雄が寄付をしているときに、同じ秋田県出身なのに何もしないわけにいかないと思って、私も同額を寄付しました。こういうふうになら全国から応援があったんです。なぜ全国から“金農頑張れ”となったのか。それは宿命に決して嘆いていなかったからです。公立高校だからお金がなくて選手を集めることができない、農業高校は段々消えゆく運命にある、というなかで応援団もお金がなくて大勢連れていくことができませんでした。でも兵庫県の有馬高校の吹奏楽の生徒たちが代わりにやってくれました。有馬温泉のところの高校で、農業コースがある学校なんだそうです。農業同士ということで引き受けてやってくれたのだそうです。しかも冬になると雪で練習できないという宿命です。いかんともしがたいこの宿命を嘆いていても仕方ありません。冬になると雪の中を長靴を履いて走り回ったのが、足腰を鍛えるために良かったのかもしれません。雪があるという宿命を嘆かなかったのです。私に言わせれば、自分達に与えられたいかんともしがたい運命だと思って覚悟してやったからです。高校野球の優勝旗は白河の関から北になかなか越えられないと言われています。しかしその運命に挑んで使命を果たす。勝つと言っても形の上で勝つだけでなく、こうやって一生懸命に頑張っているという姿で感動を与えるというのも大きな使命だと思います。そういうことが揃っていたからみんなが感動したんだ」ということを書いたのです。

私は横浜高校戦と決勝を応援しに行きました。横浜高校との試合は三回戦だったと思います。横浜高校戦のとき金足農業は1塁側でした。1塁側アルプススタンドは応援する人でビッシリでした。対する3塁側横浜高校の方はガラガラでした。私は「へえー」と思いました。なぜいないんだろうと思いました。それは横浜高校にすればこの試合は勝つのが当たり前なんです。だからこの試合ではなくて次の応援にすればいいと思ったんだと思います。金農はいつ負けるか分からないのでこの試合を応援しなければならぬのです。私は見ている横浜は金農をなめていると思えました。たしかに実力は大きく違います。でも横浜高校はその油断で負けたんです。そういうことを考えると私はこの言葉がぴったり当てはまると思いました。

本当は本のタイトルとして「宿命に生き 運命に挑み 使命に燃える」にしたかったのですが、長すぎるんです。出版社の社長が「2行のタイトルなんか聞いたことがない」と言いましたが、私は「いいじゃないか、聞いたことがなければこれから始めれば良い」と言いました。この本が出て一番最初に電話をかけてきたのは小淵恵三の娘の小淵優子でした。すぐに「父のことをありがと

うございました」と言っていました。親のことですからちゃんと知っているんです。

優勝した大阪桐蔭はすごい学校です。施設もすごいです。勉強ができなければいけません。ちゃんとそういうことをさせる学校です。それに全国から有名選手がきているので全然レベルが違うのです。だからと言って優勝できるわけでもありません。金農ナインと一緒に一生懸命にやったんです。だから私はあえてテレビでも言ったのです。「私は金農が準優勝したのがとても嬉しい。これだけ全国のみんなが応援してくれたことも嬉しかった。だけどその前に大阪桐蔭を褒めないとおかしい」と言ったのです。特に大阪桐蔭はこのとき高校野球初の2度の優勝、春夏連覇をしていたんです。なかなかそんなことはできません。彼らは金農以上に苦労していたかもしれません。それから周りが「大阪桐蔭を褒めなければおかしいんじゃないか」という反応が起きました。これにもまたいろいろな反応がありました。大阪桐蔭はすっかり悪者になって、金農だけが良い子になってしまってもよろしくないのです。もうひとつ私が校長先生にお話ししたのは、吉田だけを英雄にはいけないということです。1人でやっているのではなくて、みんなが支えてやってきたのですから。高校野球はこういうところがなかなか難しいです。

私は秋田高校の出身ですが、今度非常に複雑です。私は秋田高校東京同窓会の会長もしておりまして、自分の分身みたいなものでもあります。今年の大会では2回戦で母校の秋田高校と当たるんです。これは難しいです。私は秋田高校の野球部に1週間いたことがあるのです。秘密にしていたんですが、この間明らかになってしまいました。だから準会員みたいなものですから、なかなか複雑です。あとは勝った方に応援していくことにしています。総監督の先生と話をしていたら「今の高校野球は本当に難しい」とおっしゃっていました。流れができれば、どうにも止められなくなってしまうんだそうです。そうでしょう。金農もあれやあれやと、あんな風になりました。1回戦で負けてもおかしくなかったんですが、どんどん行ってしまいました。それから技術的な話をすると土のグラウンドだから、しょっちゅうボールがイレギュラーしてしまって、真っすぐこないんです。そうするとエラーが多くなってしまいます。それから緊張して力んでしまったりします。いくらそうならないように話していてもそうなるのです。それはそうでしょう、高校生ですからね。ある意味では巨人の監督の方がよっぽど楽かもしれません。ここだけの話ですが、私は吉田をぜったい巨人が獲得すべきだと言って、そういう予定だったのですが監督が代わって、方針が変わってしまいました。採っておけば、良い買い物になって

いたのかもしれませんが。でも吉田を大事にしないとイケません。せっかくの逸材ですからすぐに出さず、息の長い使い方をしなければならないと思います。同じくらいの技術力であっても、人によって訴える力がある人となない人がいます。吉田輝星にはトップの雰囲気があります。これは福山雅治ではないけれど、持って生まれたなんともしがたい力があります。まあ、福山雅治でなくとも何ともしがたい自分の力でいくしかないのです。今から何ができるわけではないけれど、やっていくしかないのです。

それで今日のテーマでもある、参議院選選挙についてお話しします。みなさんご存じのように国会には参議院と衆議院があって何が違うかと言えば、衆議院議員には解散というものがあります。突然辞めさせられるのです。今、議員数は衆議院は465で参議院が265です。任期は参議院が6年、衆議院は4年です。4年なんですけど丸々4年というのは数えるほどで、滅多にありません。平均3年ちょっとくらいで解散なんです。いつ解散になるかはわかりません。今回は1年と少ししか経っていませんが解散があるような話もあります。何でそんなことをしているかと言うと、時代が変わるから古い人たちではなく新しい人たちでやるということもあります。それから政権がおかしかったら変えなければおかしいということです。時代に対して迅速に対応しなければならないからです。そうやって民意を的確に反映させるような国会をやらなければならない、ということで衆議院の場合は解散というのがあるのです。参議院は日本がどうしたらよいかを中長期的に考えてもらいたいと6年という任期にしています。6年経って選挙をしても全員変わってしまって誰もいなくなると大変なので、3年ごとに半分ずつ改選することになっています。ですからこの265議席の半分を今回選挙する、3年後にもう半分をするというふうにやっています。今回選挙になる人は6年前の選挙で議員になった人たちです。今から3年前にやった人が3年後にまたやる、というふうになります。その間に衆議院議員選挙が3年ちょっとで間に挟まってやっている関係です。手を上げて立候補できる人は衆議院議員は25才以上で参議院議員は30才以上です。なぜ参議院議員が30才以上なのでしょう。そもそも国会が衆議院と参議院の2つあるのはなぜなのでしょう。それは衆議院の場合は刻々と変わるかもしれない時代に迅速に対応できるようにして、参議院議員の場合は一度選ばれると慌てることなく6年間議員をやっているようになっていくようになっているのです。でも寝ていても6年間できるのもっと緊張感をもってやらしてもらわなければ困るのです。ところが短期的な目標ばかりを求めていると、中長期的に考えられなくなるのです。じっくりと良識を持ってやる場所がないといけない、あまり目先のことを考

えないで長い目で国を見なければいけないということで解散無しの6年なんです。実際そうになっているかどうかというと、最近ひどい議員がたくさんいます。誰が選んだかということ、それは有権者なんです。そんなことを言われても有権者は、酒癖が悪いとか女癖が悪いとかの私生活まではわかりません。そこまではなかなか分からないことでもあるんです。そこはやっぱり出したところの党首が責任を持たなければならないと思います。この間の党首討論でも、我々の側から質問が出ていました。維新の会というところは大阪では断然強いところですが、問題のある議員も相当います。選挙中なので政党の悪口は言いたくありませんが、なかなか立候補者になり手がいないという事情もあります。そういう意味では25才以上、30才以上となっていますがなかなかいないんです。こういう人を出したいな、と思う人がなかなか出ないんです。そうじゃない人が、「俺が、俺が」となってしまいます。東大出身だから、ハーバード大出だから適任者だというものではありません。私も出たわけじゃないのでわかりませんが、決して出身大学が大事なのではないんです。東大の法学部を出た立派な人ももちろんいるんですが、そうでない人もいるのです。警察も30万人くらいいますから、中には変なのがいるのと同じようなものです。

今度の参議院議員選挙はいったい何のための選挙なのでしょう。衆議院議員選挙は「政権選択選挙」といいます。これはどこの党に政権を執ってもらいたいか、という選挙なのです。衆議院選挙は小選挙区から1人選ぶのが基本です。それと比例代表の二つを組み合わせています。ということは、その小選挙区に出ている候補者の所属している政党の代表に総理大臣をやってもらいたいということなんです。安倍晋三にやってもらいたいと思ったら、自民党の立候補者の名前を書くんです。枝野幸男にやってもらいたいと思ったら立憲民主党の候補者の名前を書いて入れるんです。そして国会で過半数多数を獲ったところが政権を執る、という仕組みになっています。これが衆議院選挙です。では参議院選挙とは何かというと、ちょうど衆議院選挙と衆議院選挙の間に挟まっているような感じで3年ごとに参議院選挙が行われています。衆議院選挙である政党が政権を獲ってもらいたいと思って選択したところが、ちゃんとやっているだろうか、期待したとおりにやっているか審判する大事な選挙です。これは次の選挙をやってみるまでわからないわけです。少なくとも1年前に衆議院選挙があって、今ちゃんとしたい政治をやっているかを審判します。

これまでの選挙をみると日本の国民はすごくバランスをとってやっています。私たちは衆議院選挙もそうですが2票持っているんです。小選挙区に1票、比例代表に1票の2票持っています。そのときにある党を支持しようとする

なら、その2票は同じ党に入れるのが当たり前でしょう。ところが日本は違うんです。クロス投票と言って違う党にいれたりするんです。なぜかというと一方的にある党が勝ってしまうと傲慢になるかもしれないから、バランスをとっておこうとしているわけです。これはある程度民意が発達しているからなんです。そうすると、その同じ選挙の中でバランスをとるのではなくて「この前の衆議院議員の選挙では自民党を勝たした。でもその割には森友や加計などの色々な問題があるからお灸をすえたい。しかし政権を変えるほどではない」と思うようになる。政権を変えるためには野党がもっとしっかりやらなければいけません。「野党はとてもしこまではいいない。だから参議院選挙でお灸をすえて反省してもらおう」というような力が働きます。だから衆議院選挙で勝った政党は参議院選挙で敗れて議席数を減らすということが通例です。そうやって衆参全体でバランスをとっているのです。ところが今の安倍内閣は6年半前に民主党政権の後に第二次内閣ができて、4回選挙をして一度も敗れていないんです。これは珍しいケースです。それなのにこの内閣はなんと言われているんですか。さんざん悪口を言われています。批判ばかり書かれています。だけれども国政選挙で4回勝ち、支持率もまだ50何%を保っています。不支持が30%ちょっとです。そういう意味では不思議な政権なんです。

さあ、この事をどう判断するかです。参院選についていくつも調査をしているところがありますが、今日の朝日新聞に情勢調査が出ています。自民党は悪くないようです。悪ければダブル選挙をやったと思います。私はかねてから「ダブルはない」と言ってきました。参議院選挙を単独ですると大幅に議席数を減らしてしまう可能性があるときは、衆議院選挙をぶつける。すると野党はお互いに協力できなくなります。47都道府県あるなかで、32県は1人区で1人だけ選ぶところなんです。東京は6人区でほかに4人区、3人区、2人区というところがあります。この32県の1人区は全部野党が統一候補を立てています。これも珍しいことです。共産党も含めて野党が1つになっています。そうしなければ与党に太刀打ちできないからです。ある意味ではいい勝負ができるということなんです。けれども今のところやはり自公が圧倒的な状況です。そういうふうには世論調査を見てから「自公が負けないのも面白くない」と思う人も出てくるんです。ただ昔ほどではありません。これはアナウンス効果というもので報道されると人は逆のことをするというのです。しかしこの頃はアナウンス効果が逆になってしまうことがあります。そうではなくて「そっちが勝つなら」と勝ち馬に乗ろうとする人たちもいるんです。「そっちが勝つなら、勝つ方に投票しよう」という人もいます。それは負けた方に投票しても自分の票が

生きてこないからです。というので勝ち馬に乗るといふのがあります。最近アナウンス効果も勝ち馬効果も、それによって態度をガラッと変えるという人もあんまりなくなってきました。しかし事前に報道されることで態度を変えるという人がいないわけではありません。実際に事前に報道されると少しずつ違いが出てくるのですが、全体として見て自民党・公明党が議席を大幅に減らすといふのは今は考えにくい状況です。だからと言って自民党にいっぱい獲らせて「憲法改正できるようにしよう」といふところまでは行かないんです。だからおそらく与党で3分の2にならないでしょう。憲法改正といふのは国会がまず衆議院と参議院で3分の2以上賛成して、そして国民に対して発議するんです。提案するんです。では今3分の2あるかどうかといえば、衆議院では自民党と公明党で3分の2あるんです。でも参議院はそうはいかないのです。そこで私はこの間の党首討論のときに安倍さんに聞きました。3分の2を獲って憲法改正なんてことは見果てぬ夢だ。そうではなくて野党とも協力してやっていくというようなことを努力しなければなりません。それから「3分の2獲る」と言っておきながら、今度の参議院選の勝敗ラインの目標は自民党と公明党を合わせて過半数だといふ。おかしいじゃないかと思いませんかと。安倍さんは「いえ、橋本さん。私は一度も自民党単独で3分の2と言ったことはありません。一度も与党で3分の2と言ったこともありません」とこう言いました。そうではなくて憲法改正に賛成してくれるならば維新もありで、国民民主党のなかにも賛成者がいるのだから合わせて3分の2なんだと言いたかったのでしょう。その通りではあるのですがそのとき初めて「国民民主党」といふ言葉が出ました。だから国民民主党にもいろいろな働きかけをしているのだと思います。

参議院といふのはこれまで大変でした。よく「参議院とは盲腸である」と言われます。盲腸といふのはなくてもかまわないもので、あると突然痛み出したりして迷惑だといふのです。参議院もいらないといふわけです。今でも依然として一院制理論といふものがあります。二院制の場合は下院が上院に反対意見を言うとじゃまだし、賛成すると別になくてもいいのではないかといふのです。どっちにしても不要だといふわけです。18世紀フランスの政治家アベ・シエイエスも言っています。しかし、参議院はなんか弱そうに見えますが、決して盲腸ではないのです。参議院の方が上院になります。昔は貴族院と言いました。衆議院の方が下院なんです。でも誤解があるんですね。本当は日本の参議院が世界の衆議院のなかで最も強いんです。例えば人事です。日銀の総裁は衆議院だけでは認められません。参議院が認めないとだめなんです。だから参議院で何

回も否決されて日銀の総裁がなかなか選ばれなかったことがあったのです。権限としては参議院の方が強いのです。だから戦後ずっと時の政権が一番苦労してきたのが参議院対策なのです。だから「なくてもいい盲腸」と言われていることとは全然違うのです。むしろ参議院の権限が強すぎるくらいです。かなりの人が寝て暮らしているという指摘もありますが、このままでいいのかについてあらためて考える時です。自民党は長い間政権を担ってきました。しかし参議院選挙で敗れて過半数を割ります。土井たか子さんの「山がうごく」のときのように過半数を割ると、今度は回復するのが大変なんです。解散もできません。辞めさせることもできません。任期6年でも3年で半分取り替えるので、6年にプラス3年かかって回復するのに少なくとも9年必要になります。参議院は意外に強いのです。政権を選択するから衆議院が重要だと言いますが、確かにそうですが、その政権が身動きが取れなくなるのも参議院なんです。

ところが面白いことに参議院では与野党がわりと一致しているところがあります。それは衆議院に対してです。衆議院が偉そうにしているというのです。「俺たちは解散や選挙をして出てきている。参議院の議員は寝ても暮らせるんだから」と一段低く見られているところがあります。それに対して参議院は面白くありません。それは与党だけが面白くないのではなくて野党の人たちも同じなんです。そこで参議院の場合は与野党がくっついて参議院に対抗することが結構あるんです。自民党に「参議院のドン」と言われた青木幹雄という人がいましたが、青木さんの影響力の源泉は参議院を握っているからでした。日本の参議院は弱くないんです。むしろ強すぎるくらいです。例えば法案でも参議院で否決されて衆議院に回ってきて3分の2以上の賛成があれば参議院で通るわけです。だけど3分の2をとるということは結構大変なことです。だからここで、改めて参議院が大事だということを考えなおさなければなりません。どうでもいいものではないと考え直す機会だと思います。今のように衆議院も参議院も同じような選挙制度ではいけないと思います。参議院とは「良識の府」とよく言われます。これは自分の政党の都合だとか党派とかにとらわれない、もっと大きな良識をもってものを考える上院であるべきだと期待されているからです。そのためにはどうしたらいいか。あまり参議院から大臣を出さないようにするのも一つの方法です。大臣になりたいがために良識をださないのでは困ります。議員の質が落ちないように、例えば参議院議員には「ここは東大学の学長をしたような日本を代表する知性のある方にやってもらおうじゃないか」という声が以前からあったりします。ところが日本国憲法には「衆議院も参議院も国民から選ばれた人がやる」と書いてあります。東大学長は国民から選ば

れたわけではありません。東大や国から選ばれた人であって、憲法の定めるところとは違います。では偉い人とはどんな人をいうのでしょうか。難しいところです。衆議院議員や参議院議員の議長経験者とか総理大臣経験者とか、東大や京大の学長経験者とかいうことになるのですが、それ以上になると意見が分かれます。こっちの人がいいと言ってもあっちの人がだめだと言ったりします。それに憲法の改正もしなければいけないのです。参議院のありかたはいつも議論になります。が、結局は結論がでないままずっときています。

一院制でいいのではと言われながらも、なぜ二院制をとっているのか。それは衆議院だって間違いを起こすだろうし、自分達の政党のことばかり考えて短期的な利益のために走ることもあるだろう。そのときに「待てよ」とブレーキ役が必要なのです。実際にブレーキになっているのかということには、それ自体がブレーキになっているという声もないわけでもなくて、なかなか難しいところです。日本維新の会は一院制を主張しています。本音を聞くと一院制を支持している人がかなり多いです。というのは、ひとつは日本は成熟した国ですから、一院制にしても極端な判断はしないだろうという理由です。それから二院制だと決まるまで時間がかかって面倒だ、という意見が多いのです。時代が激しく移り変わって行くときにパッパとやらなくてはおかしいじゃないか、というのです。しかし民主主義とはそもそも時間のかかるものです。その時間に耐えなければなりません。

この前の党首討論のときも安倍さんに最初に何を聞いたらいいかと考えました。十何年もやっているのだから、最初から品良く厳しくいこうと考えました。安倍内閣は8月で佐藤内閣の7年8ヵ月を越え、11月には桂内閣を越えて日本憲政史上で最も長くなります。憲政史上とは伊藤博文以来ということですが。1番が桂太郎で2番目は佐藤栄作、3番目が伊藤博文で4番目が吉田茂だったのです。まず吉田茂を越えて、伊藤博文をこの前越えました。そして8月に佐藤栄作を越えて11月に桂太郎を越えるんですが、長ければ良いいってものではありませんが、桂太郎は長州です。佐藤栄作も長州です。伊藤博文も長州、吉田茂も長州で安倍晋三も長州です。これはなんでしょう。あの萩には何があるのでしょうか。萩に行けば分かりますが桂太郎、伊藤博文、木戸孝允、吉田松陰、高杉晋作、田中義一と本当に狭い所、わずか千秋公園くらいの所にみんないるんです。何だろうと本当に驚きです。一説には殿様が「ああしろ、こうしろ」とあまり判断を下さなかったのが良かったという話があります。ここうやってみてみると本当にびっくりします。それで安倍さんに「あなたは11月に桂太郎を越えようとしているのに、それにふさわしいことをやっているのか」と聞

きました。なんだかんだ言って予算委員会を開かなかったり、金融庁の報告も有識者会議の報告も受け取らないとか、子供だってこんなことはしません。横綱相撲を取っていません。一言でいいのです。「そのお言葉を肝に銘じます」と言えばいいのです。そう言うのかなと思っていたのに「予算委員会を百何十時間も長くやっているのに…」とこう説明するんです。そこがダメなところです。総理大臣に対して失礼かもしれませんが、まだまだこういうところがあるんです。

前に北朝鮮問題に対して質問したときは、田中均という小泉純一郎さんの電撃訪朝を成功させた人ですが、安倍内閣になってからいろいろ批判的なコメントをしていました。それに対して安倍さんはツイッターで反論しました。そこで党首討論のときに安倍さんに話しました。「そういうことは大宰相になろうとしている人のやることではない。そんなことはみんな腹に納めていなければいけない。言われたからといちいち反論すべきではない」と言ったら「橋本さんのおっしゃることを肝に銘じます」と言ったのです。ところが「肝に銘じます」と言った後で「しかしそれにしても田中均さんの言うことはおかしい」と言ったんです。全然肝に銘じていないんじゃないかと思います。ここは今一つまだ血気盛んなところです。毎日批判されて面白くないところがあるんだと思いますが、首相とはそういうものなのです。批判されるものなんです。こういうとき例えば中曽根康弘ならどうしたか。国会で厳しく追及や質問されたとき彼は「今はじっと我慢のときだ。じっと目を閉じていると今エネルギーがどんどんどんどんお尻から出て地球の真ん中くらいまで行って、真ん中から戻ってきてちょうどお尻に戻ったところに質問が終わっている」と我慢したそうです。中曽根さんはこう言っていました。聞いていないんじゃないかという問題はありますが、そのくらいの大きな気持ちでやればいいのです。そこがまだちょっと開発途上のところがある。これからのことを考えると参議院選挙で自民党が大負けすることはないと思います。ということはある意味信任されたということです。そしてみなさんもご覧になったように、国際会議をやれば習近平とトランプを脇に置いてリードしています。こんなことを他の誰ができるか。

一方で北朝鮮問題自体は何も進んでいません。この間の党首討論でも「拉致問題はいったい何合目くらいまでいつているのか」と聞きました。直接の日朝首脳会談をするという提案までしましたが、交渉というのは秘密裏にやっているものです。私は重ねて「いったい何合目くらいか教えて欲しい」とそれくらいは教えてくれると思ったので聞きました。「何合目と言えないところが辛い」と非常に正直に話しました。要するに進んでいないということです。それは無

理ありません。金正恩にとって拉致は自分がやったことではないからです。金正日は自分の代でやったことです。小泉さんが訪朝したときに拉致被害者6人を帰して、あの1回で済まそうとしました。向こうとしてはこれで全部解決で後はなしになると思っていたんだと思います。ところが次から次に出てくるのです。日本としては拉致されたと思われる人がたくさんいるんだから、手を打つわけにはいきません。その事実は消えません。それでピタッと止まってしまいました。そして今の政権です。自分達がやったことではないので、この先は厄介です。それともうひとつ、失礼な言い方ですが「これを出すと決定的」というカードです。それがどうかどうかです。最大の問題は横田めぐみさんです。どんな人を帰させてもめぐみさんの問題が解決しないと絶対に無理です。そのときに向こうにそれだけの備えがあるかどうかです。けども政治はやらなければなりません。どんなことがあっても自国の民が不当に連れ去られたならば、連れ戻す努力をしなければなりません。地球の果てまで行っても探し出してくるといふことをしなければ国家ではありません。そういうことを考えるとこの先はなかなか大変です。

来年東京オリンピックがあります。それを機に「オリンピック花道論」というのもあります。安倍晋三の任期は2021年9月までです。再来年まで自民党総裁の任期があるのですが、来年のオリンピックが終わったらそろそろ退いてもらいましょうという花道論がないわけではありません。ないわけではありませんが、彼には大変なカードがあります。衆議院を解散するというカードです。そのカードをいつ使うかということです。今度で使うかもしれないという話もありますが、私はそれに対してむしろ可能性は極めて少ないと思っています。それはそうしなくても参議院選挙で勝てるからです。衆議院選挙をすると必ず3分の2以下になって議席を減らして責任を問われてしまいます。そんな冒険をする必要はありません。では次いつ使うかというのは年末だという見方もあります。皇太子さんが天皇陛下になって10月までいろいろな儀式があります。それが終わってからやるというのです。そのときには日本全体が新しい時代が変わっていきます。実際にこの間も元号が代わって新しくなったのですが、儀式や行事も全部済ませて名実ともに「令和」になっていきます。というときに「新しい時代始まるよ」と衆議院を解散するかもしれません。でもそのとき「時代が代わった」という理由で解散というのは変です。出直し選挙になりますから、国民に真意を問うための何かが必要です。

それからもうひとつのタイミングとして悪くないのはオリンピックが終わった直後です。金メダルをいくつ獲れるか分かりませんが、国中が沸いて大騒ぎ

してちょうど気分がいい所で解散というのもあります。だいたいオリンピックが失敗することはないと思います。時間が経つとせっかく建てたのにあの建物をどうするという文句も出て来ます。だからオリンピックが終わったあとのすぐのときが、かえっていいかもしれません。それにその後は2021年12月になると衆議院の任期がきます。その前の年の9月に総裁の任期がきます。ぎりぎりになるので、当然力を残すことができないかもしれません。だから手前の方で辞めて、次の人に渡す可能性もあります。渡された人も重みを感じて安倍さんが影響力を残せるというのです。私はこれは怪しいと思います。自分の力を残すために途中で辞めるということです。次に渡される人に禅譲させてできるかです。岸田という人がいます。石破という人もいますが、嫌われているので難しいと思います。岸田はできるだけ安倍晋三に従って禅譲という譲ってもらおう立場です。だけど私は長い間政治を見てみましたが、禅譲には疑問があります。柿が熟して落ちてくるのをじーっと待っている間に途中で鳥に食べられたり誰かに採られたりしてしまいます。下で口を開けて待っていてもだめなんです。自分で取りに行かなければいけないんです。梯子を使うとか跳ね上がるとかして自分から行くんです。下で待っていても柿を食べた鳥の糞が落ちてくるくらいです。だから待っていてもだめなんです。だから岸田の禅譲路線はまず失敗する確率が高いと私は思います。

安倍が途中で何かあってこけた場合誰にやらすか、誰に渡すか。私は菅義偉さんの可能性があると思います。別にこれから長くやるということではなくて、ショートトリーフです。官房長官が一番物事を知っています。あらゆることが官房長官を通ります。特に菅さんは戦後の官房長官で最強です。年数も一番長い。それはなぜか。冒頭に紹介した本の『宿命に生き 運命に挑む』と同時期に出した『官房長官と幹事長』という本にも書きました。国家のナンバー2がきちんとしていないと組織も政権も上手くいかないのです。今これだけ内閣が「安倍一強」と言われている大きな理由は菅官房長官がいるからです。その秘密はなんだろうと考えました。ひとつはトップとの間に隙間風が吹いていないんです。官房長官は総理大臣の女房役と言われます。ところが家庭では亭主と女房の心が離れてしまっていることはよくあります。お互いに何を考えているのか分からないというように。でも安倍と菅は夫婦以上なんです。なんでかという、官房長官になるとその次を狙う人が多いんです。その次というのは自民党三役で、できれば幹事長です。そうしてその次に総理大臣を狙う。ところが心の中でどう思っているかは分かりませんが、菅は一切そういうことを見せていません。総理大臣の安倍さんは心配しなくてもいいのです。後ろから短刀

や鉄砲を突きつけられる心配がないのです。そもそも安倍晋三が総裁選に出ることを躊躇したときに、むしろドーンと後ろから押して総裁選に出させた人です。それがものすごく大きいのです。

私の家庭の夫婦の話で言えば、トップとナンバーツー（実質はナンバーワン）が娘たちの前では本当に仲良がいいんだなと思わせるようにしています。帰ってきたときには「お母さん、ちゃんとお飯食べた？」と優しく聞いたりします。娘はちゃんと見抜いているかもしれませんが、そういうことは大事です。やっぱりトップと二番目がきちんと思疎通していると周りも安心するんです。今から7年前、東日本大震災の翌年に私の家内がくも膜下出血で倒れました。意識不明で救急搬送されて緊急手術を受けました。意識が回復してからも様々な危機的な状況がありました。まず言葉を取り戻すことができませんでした。相手の言っていることは分かるのに自分は言葉が出なくて何も言えません。そうすると鬱になっていきます。だから私は娘たちに「お母さんは大変だ。自分の思っていることを言えないんだ。だからこれからはみんなでお母さんの言うことはどんなわがままでも聞こう」と言いました。そうしたら家内はそれを良く分かっていてデパートに行くとルイヴィトンやエルメスの前で「これが欲しい」と言うんです。私はお母さんの言うわがままは全部聞こうと言った手前、だめだと言えません。敵もさるもので、相当賢いです。親がいがみ合っているというのは子供も嫌なものです。片方が知らない人ならまだしも両方が親なんです。言い合っていることだけでも嫌なんです。だからそういうことは見せないんです。それは内閣だって一緒です。だから今の内閣にはスキがありません。

それから麻生という人も内閣にはいます。あれだけ失言をする人もいません。けどしょうっちゅう失言ばかりしているので「またか」と周りが鈍くなってしまいました。あれは何度クビが飛んでもおかしくないんです。でも彼が言うことは全部間違っているわけでもないのです。部分的に真実で全体として間違っている場合が多いのです。総理大臣をした人なんだから、もうちょっと全体を考えながら言って欲しいと思うところがあります。しかし彼がいることでやっぱり内閣全体、自民党全体が締まっているんです。これはオリンピック組織委員会も同じです。体調を崩して休んでいますが会長の森喜朗は評判が良くて人気がありません。でも彼が会長だからあの組織はもっているんです。締まっているんです。でも森さんという人はとても損な人です。彼は小泉総理の前の総理大臣で、ハワイ沖で起きたえひめ丸衝突沈没事故のとき休暇中で箱根でゴルフをしていました。ゴルフの後で瀬田の自宅に戻ってゴルフウェアを着替えて官邸に入りました。そのとき「そんな人の命がかかっているときに着

替えてからくるなんて何だ。取るものもとりあえず駆けつけるのが総理大臣だ」とだいぶ叩かれました。でもゴルフウエアで行っていたら、それはそれで必ず叩かれたと思います。「人の命がかかっているときにゴルフウエアでくるとは何事だ」などいろいろなことを言われます。小泉は何があっても何も言われませんでした。私だったら瀬田の自宅から着替えを届けさせます。着替えるところは瀬田と官邸の2つの選択しかないわけではないから、官邸に入る前に途中の車の中で着替えてもいいのです。そういう知恵が回りませんでした。彼は本当に何をやっても批判されました。そういう宿命なのです。いかんともしかたがないところがあったのです。内閣を考える場合も、何か言われるのは総理大臣の宿命です。だから安倍晋三も何をやっても批判されるのです。そのときはあんまりそれにギャーギャーと言い返すのではなくて、それを包んでいるようにすればいいのです。だから私は安倍さんに、朝日新聞と食事をして自分と意見を異なる人たちともこうやって話をするんですよというところを見せろというんです。朝日新聞の記者は誘ってもこないとは思いますが。

今の内閣には二階俊博という人もいます。何を考えているのかわからない人です。実際に何も考えていないんだと思います。だけど、いざというときの顔が鋭いです。安倍総理は人事では結構いい人事をしているんです。そしてお年寄りを大切にしています。というのは何もお世辞を言っているわけではありません。ベテランの知恵をうまく借りています。それからお年寄りにとって何が大切かを考えています。一番大切なのはお金です。二番目は名誉なんです。尊敬されることが大切なんです。「お知恵を借りにきました」と行くのには何もお金がかかりません。こられた方も「そうか、俺の話を聞きにきたか」と喜んで新聞記者に連絡して書いてもらったりします。そういう記事も書いてもらえばいいのです。石破はそういうところが下手なんです。前に石破に言ったことがあります。「とにかく年寄りを回れ。かかるのは車代くらいで、自分の車を使えばいいだろう。菓子折りもいらぬ。かえって手土産をもっていくと変な魂胆があるんじゃないかと疑われる。だた“お知恵をお借りにきました”でいいんだ」と言いました。相手の方も「そうか、良く来たな」となります。持ち上げ方というか、そういうところは小泉進次郎の方がよっぽど上手です。この菅さんが歴代一番の官房長官だというのは、ナンバー2が決してナンバー1を警戒させないということで、これはすごく大きなことだと私は見えています。先ほどもお話ししましたが、この前『官房長官と幹事長』と言う本を出して、これを菅さんに贈りました。それと奥さんも買って来て親戚中に配ったと言っていました。親戚だけじゃなくてもっと配って欲しいなと思いました。最

最終的に言えば菅さんの強さは「私」がないという強さ」なんだと思います。自分がないから強くなれるんです。

昨日私は大阪にいました。そしたら安藤忠雄さんから電話がありました。子供図書館を中之島に造るんだそうです。「世界の子供は本を読まなければいけい。だから子供の図書館を造るんだ」と言っていました。それが中之島だということですから、大阪が土地を提供して名誉館長は山中伸弥さんなんだそうです。ノーベル賞受賞者をみんな集めてしまいます。費用をどうやって集めたかという、大きな企業に声をかけて30万円ずつ寄付を出させているようです。出さない企業は大阪から出ていけと脅すかのように声をかけて何十億か集まったそうです。それで兵庫と岩手の遠野にも造るんだそうです。この子供図書館の元々の発想は私の「橋本五郎文庫」です。こっちはお金を集めてはいませんが、向こうは凄まじいです。例えば一昨年、千秋公園で桜を見ましたが、樹が衰えてきていてこのままだとだめになるなと思いました。みんなで1本1万円ずつ出して新しい桜を植えてはどうでしょうか。植えた後の管理もあるので1万円では済みません。1年では桜は咲きませんから、何年もかかって10万円くらい必要だと思います。でも最初は1万円で、その木に寄付した人の名前をプレートか何かで表示するのです。橋本五郎桜や佐々木希桜、壇蜜桜と札を付けるといいと思います。そうするとみんな自分の桜だと見にきます。他にも家族で15万円というのもいいと思います。お祖父さんからお孫さんまで一緒にやると、桜の木が大きくなる頃にはお祖父さんはいないかもしれませんが、孫が「あのときお祖父さんが」と覚えています。安藤忠雄のこういう発想は天才的だと思います。「平成の通り抜け」という桜並木を作りました。大阪造幣局の向かいにあります。造幣局の通り抜けは八重桜なので、今度は染井吉野で作りました。それをやるときも一口1万円でした。全部の樹にプレートを付けました。例えば大企業パナソニックの社長と安藤さんが食事をしたりしたときに「こういうのをしたい」とその話をすると「それはいいアイデアですね」とおべんちゃらを言ってしまったらおしまいです。そうすると何口集めてくるかなんです。別にその件で会った訳じゃないので社長は逃げようとしますがもうだめです。出すまでどこまでも追いかけられます。凄まじいです。そうやって4万口があつという間に集まりました。亡くなった塩川正十郎さんは1人で800口集めました。誰が誰の紹介なのか安藤事務所が集計していますから、分かります。塩川正十郎紹介の800口はすごいです。塩川正十郎、いわゆる「塩爺」は家に財産があったこともあってか「私」がない人でした。それに50の公職を持っていました。例えば東大寺檀家総代とか薬師寺の檀家総代とかです。

東大寺と薬師寺が対立していたかどうかは分かりませんがそういうのが50もあります。しかし、お金を一切いただきませんでした。お金をもらってしまえば文句は言えません。とても立派でした。こういう人ほど勲一等だと思います。

随分話は遠回りになりましたが、年寄りになると大事なものは名誉なんです。「あの人は立派だ」と褒められることが大切なんです。褒めるのにお金は要りません。私はずっと安倍さんに「総理大臣表彰状をたくさん出せばいい」と言っています。例えば毎朝神社の境内を掃いてくれる人に総理大臣表彰状を出すのは、賞状は印刷だからあまりお金がかかりません。あとはハンコです。これもお金がかかりません。それだけでももらった人にとってはものすごく大きなものなんです。秋田県知事表彰ではだめで、やっぱり総理大臣なんです。そうなると今まで掃いていた神社だけでなく別の神社にも掃きに行くかもしれません。毎朝あっちこっちに行かなければいけないので病気をしている暇がありません。病院に行くのが日課になっていて、「あの人、病院にこない。何か病気しているんじゃないか」なんてことになる。だからノースアジア大学は少し遠いところにあるけれど講演があったら、こういう所にきて、誰に会うか分からないからきれいな格好をしてこなければいけないとか、考えるだけでもいいのです。みんな高齢化社会を暗く考えがちですが、そんなことはないのです。そうではなくて、いかに元気に迎えるかなんです。元気のためには体を動かしていなければなりません。そう考えると、長生きできるということはいい社会なんですよ。「宿命に生まれて」ではないけれど田舎にいることは良いこともあるんです。まず食べ物にそんなにお金がかかりません。畑にあるものに少し手をかけるだけでおいしく食べることができます。私は山菜も大好きです。だから高級なフランス料理もいただきますが、あまりおいしいと思いません。私の場合は思い出とともに食べているということもありますが、ミズタタキの方がよっぽどおいしいです。ものは考えようです。橋本五郎文庫の脇に建てた五郎のえ（家）に泊まって驚いたことがありました。田植えの頃のカエルの大合唱です。すごいですよね。耳を劈くような夜でした。「昔もこうだったか」と聞くと「昔からそうだ」と言われました。あんなに凄いことはないです。心配になって田植えをしている人に「あんなにカエルがいても大丈夫なのか」と聞くと、「逆にカエルがいた方がいい」と言っていました。カエルが害虫を食べてくれるそうです。そうやって田んぼの環境が成り立っているんだなと思いました。

そうやってみると、住めば都で自分の家が一番いいと分かっています。そこで一生を終えるというのは一番良いことだと思っています。山の中にいるから

倒れたときに分からなくなるから下に降りてこいとか、あんな傲慢な不遜なことはありません。前にもお話ししたことがあったと思いますが、私のお袋は今から24年前、脳梗塞で倒れているところを発見されて81歳の生涯を閉じました。30年以上にわたって一人暮らしをしていました。東京に遊びに来たときには、東京に住むお袋の姉妹も集まって会ったりしました。鎌倉の大仏も見に行きました。だいたい3泊4日か4泊5日で予定を作って、姉妹が代わりばんこに世話をするのですが、一晩でだめなんです。1泊すると、もう家に帰ると言うんです。なぜかと聞くと「仏様が寂しがっているから」と言うんです。私はてっきり仏様は親父のことだと思いました。でもそれはお姑さんなんです。生きている間はいろいろ対立もあったと思います。お袋はずっと生命保険の外交員をしていました。そうすると帰りも遅くなったりする。そうするとお姑さんが背中を丸めて帰りを待っていてくれる。だからいつも早く帰らなければと思っていました。だから仏様になってもこうやって家を空けていると1人で寂しがっていると思うんだそうです。自分の亭主のことではありませんでした。これはすごく大切なことだと思いました。「仏様が寂しがる」というのはなんて大切な言葉なのかと思います。そういうものなんです。外で独りで倒れていて生命を終えても、それは宿命だと思います。それを無理矢理連れてきて一緒に住ませたりしてしまいますが、かえって命を短くすると思います。そのためにはしょっちゅう行って顔を見るとか電話をすとかしなければなりません。

私もこの秋田に帰ってくると親しい人や隣り近所の人にあいさつに行きます。いつもお茶っこ出して、がっこ（漬物）出して何人かで集まっているんです。働いている人はお昼休みになると弁当を持って来て、そこで食べたりするんです。その人に人望があるかないかという問題もあるのですが、そういう具合に独りにさせないということも大事なんです。肉親だって子供だって遠く離れると、そんなにしょっちゅうは来れません。できるだけ近くにそういう人を持っているかどうかによって違うと思います。これからは独りで居なければならぬということは避けなければなりません。その独りをお互いに支え合っていくんです。あまり若い者に支えてもらおうと思わないで、年寄り同士でお互いに支え合っていこうと思うくらいがいいと思います。その方がみんな時代を共有していますから、話もはずみます。孫や子供と話しているよりよっぽど話が合うわけです。そういう形になって行った方がいいと思います。

そういう住む人同士の連帯が必要だと思っていました。そのために図書館(橋本五郎文庫)をつくることにしました。これはできました。第2の夢は年寄り

が集まる場所をつくることで、これが「五郎のえ（家）」です。第3の夢はこれから始めます。そろそろ実行しようと思っています。お袋が60歳のときにつくった「老人のいこいの森」というものがあります。今から45年前、山を切り開いて桜の木を植えました。今では大きな花を咲かせています。でもアクセスがうまくなかったり萱が増えて整備されていなかったりします。そこを一気に整備して、東屋をつくって桜の季節には橋本五郎文庫に寄って、すぐ近くなのでお弁当を広げて桜を愛でてもらいたいなと考えているんです。そういう夢を持っています。そう言う意味では私は田舎に住むということとはとても豊かなことだとずっとと思っています。東京でコンビニのものばかり食べているような人より、よっぽどいいと思っています。

今日は「日本の政治に何が欠けているか」というテーマでしたが、良く分からない話になってしまいました。みなさんとにかく元気で支え合ってやっていくといいと思います。私も今年で73歳になります。この先どうやって仲良く生きていくかが大事になってくると思います。そのためには人の悪口を言わずに、自分を反省して「私も悪かった」と思うくらいのほうが良いような気がしています。人の良い部分だけを見ようと思っています。ということで日本の政治に何が欠けているか、橋本五郎に何がかけているかといことで終わりにしたいと思います。今日はありがとうございました。

藤 本 橋本先生、本当にありがとうございました。せっかくの機会ではございますが今日は時間の関係で、質問はまたのときにお願いいたしたいと思います。橋本先生、今日はありがとうございました。橋本先生にもう一度大きな拍手をお願いいたします。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「78歳女性の生き方 —小説『すぐ死ぬんだから』より—」

講師 脚本家

ノースアジア大学教育諮問会議委員

ノースアジア大学総合研究センター客員教授

内 館 牧 子

司会 ノースアジア大学総合研究センター長

本学経済学部教授

藤 本 剛

日時 平成31年3月30日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

藤 本 本日は私どもの公開講座によるこそおいでくださいました。平成30年度の最終回でございます。皆さんもご存じのように内館牧子先生は大変なベストセラーをお出しになっていまして、今日はその小説についてお話をしてくださいませ。テーマは「78歳女性の生き方—小説『すぐ死ぬんだから』より—」です。それでは内館先生よろしくお願いいたします。

内 館 みなさん、こんにちは。内館です。今私の様子を見てお分かりになったかと思いますが足を怪我しまして、その時に折れた骨はついたのですがその後、いったん落ちた筋肉を元に戻すのが大変なんです。今日のテーマであるこの本を書くのに、この怪我の体験が多いに役立ちました。桜を見ながら上を向いて歩いていて段差に気がつかず転んだなんて最低な話で、誰も同情してくれません。右足の指5本全部と甲の骨を1本折ってトータル6本も折ったんです。全治6ヵ月と言われましたので、6ヵ月経つと普通に治るのだろうなと思っていました。確かに骨はついたのですが、その後はなかなか元どおりという訳にいかず全く不自由です。今はだいふ歩けるようになって、ギプスからも車イスからも卒業しているのですが、そういうことも役にたっていたということ、後ほどお話ししようと思っています。

始めのご紹介にありましたように、『すぐ死ぬんだから』とタイトルは恐ろしいのですが、この本はとても多くの方に読まれています。書いたときはこんなに読まれるとは思っていませんでした。その前には『終わった人』というのを書いて、あれは映画になって主演の館ひろしさんがモントリオールで最優秀主演男優賞、日本アカデミーでは主演男優賞などたくさんの賞をいただきました。あの話は読者のみなさんがどこかで納得してくださるだろうなという思いがありましたが、今回の『すぐ死ぬんだから』は、多くの方が読んでくれるとは全く予感していませんでした。出版社は喜んでいるんですが、『終わった人』の2倍売れているんですね。どうして多くの人に読まれているんだろうと考えると、そこにはひとつの現代が見えてくる気がします。今日はそのことも話していきます。

『すぐ死ぬんだから』の本をご覧になった方は分かると思いますが、この本の表紙はリュックを背負って帽子をかぶってペタンコ靴を履いた高齢者がグループでどこかに行っている絵になっています。裏表紙は、やはり高齢者なのですが78歳のおしゃれな女性になっているんです。この話を書くきっかけは実は怪我をする前のことなんです。「どうして高齢者になるとみんなリュックを背負ってペタンコ靴になるんだろう」「どうしてみんな帽子をかぶって量

販店で売っているようなくたびれたズボンをはいて汚れたジャンパーを着て歩いているんだろう」と、決して嫌味ではなくて素朴に思っていました。東京駅から新幹線に乗って秋田にくるときに、そういう人を東京駅のホームですごくよく見かけます。多分みなさんで東北新幹線に乗って温泉などに向かおうとしているのだと思いますが、見ていると汚れたジャンパーやペタンコ靴を履いているだけでなく、春になるとブラウスを着ている高齢者もすごく多く見かけます。そのブラウスにも一定のパターンがあるなということに、あるとき私は気がつきました。それは地味な色に小さな花が飛んでいる模様が多い。それをズボンの上に出して着ています。あのように着ているのはお腹を隠しているのかもしれませんが。セーターが上に出ているのは分かるのですが、ブラウスを出してその上にポシエットを斜めにかけているカリュックを背負っているんです。ぱっと見では私と同年代かあるいは少し下くらいから80代くらいまでの人だと思うのですが、遠くから見ると女性なのか男性なのかわからないような人もいます。こういうことというのはなかなか口に出しては言えません。でもこれは高齢者のあり方として違うんじゃないかなと思っていて、それが本を書くきっかけのひとつだったのです。

それからもうひとつ、これも小説を書く前のことなのですが、ある寄り合いというか会合のようなものがあって、企画した方が知り合いだったのでオブザーバーとして来て欲しいとなって行ったことがありました。その会はテーブルの上にお茶やお菓子やフルーツがあって着席のティーパーティでした。参加していた人たちは76、7歳が一番若くて、てっぺんは80代半ばくらいの男女が30人から40人くらい集まっていました。私は後ろドアから入って行ったのですが、そのときにすごく驚きました。集まっている人たちが真っ二つなんです。見事に分かれているんです。喧嘩して別れて座っているわけではないのですが、自分の身の回りや自分に手をかけている高齢の男女か、そこら辺にある地味な服やブラウスを着てボロ隠しに帽子をかぶっている人あるいは花柄のブラウスを着てスピンで来ている人と、本当に真っ二つに分かれていました。これはすごいなと思いました。後ろの方でオブザーバーとして座っていればいいだけだったので、お茶をどうぞと言われてご一緒しながら、その人たちのいろんなやりとりを見ていました。見た目がくすんでいない人、というのは高価な物を着ているとかではなくて「気を付けて身ぎれいにしている人」という意味ですが、「楽が一番」と何も自分に構わずにいる人と動きが違うんですね。これは初めて知りました。どう違うかということ、自分に手をかけて綺麗にしている人たちは、例えば、「お茶をもう一杯いかがですか」や「こちらのお菓子

もおいしいですよ」などと話をするにしても活発なんです。そうでない人は、只今リュックを下ろしましたという感じで、帽子はボロ隠しなので絶対に脱ぎません。同じようにてきぱきと動かないし動きが活発ではないのです。違うなと思いました。

その会合自体は1時間くらいのものでしたが、見ているうちに、もうひとつおもしろいことに気がついたのです。くすんだ高齢者、特にくすんだ高齢女性のお婆さんは自分に手をかけている綺麗にしている女性に不快感を出しているんです。ふてくされているというか、不快げなんです。「このお菓子もどうですか」「お茶をもう一杯いかがですか」なんて綺麗な女性に言われると、「いらぬ」「飲まない」と言い切るように返事をしてしまいます。もっとちょっと言いようがあるでしょ、と見ていて思いました。フンツという感じの動きなんです。きつとくすんだお婆さんたちは綺麗にしている女性たちと同じ場所に来たときに、自分に手をかけてこなかったことに気がついたのだと思います。それが不快感につながったんだなということをその会合の中で感じたわけです。

そのときに思ったことは、男の人も女の人も外側の見た目と内側の中身というのは連動するんだなということだったんです。人は中身だと言いますしもちろんそれもそうなんです、中身のある人は外側も考えて大事にする人なんだと、その会合に出て思って一度小説にしたいなと思いました。

まず「見た目ファースト」を書こうと思いました。小説を書くときは編集者と相談しながらスタイルを決めていくものです。最初の打ち合わせのときに編集者はもう少し若い73歳くらいの主人公がいいのではと言いました。実際は78歳の主人公になったのですが、私は80歳でもいいと思っていました。主人公が73、4歳だとまだ現役で働いている人もいますし、前期高齢者ですからやろうと思えば、選ばなければ、仕事があります。後期高齢者だと体が動かなくなってくることも多くなるので、絶対に主人公は後期高齢者にすべきだと思いました。それでも編集者は「75歳で」などと言うので、お互いに少しずつ歩み寄った結果で78歳になったのです。編集者にしてみれば主人公があまり高齢者になると読んでもらえないだろうという気持ちがあったのだと思います。私自身は読んでもらうとか買ってもらうとかを考える前に、まずこのリュックの一团を書こうと思ったのです。それで主人公を78歳の後期高齢者の女性にしました。主人公の夫は79歳で80歳にちょっと手前です。2人は東京で酒屋さんをやっていました。近くにコンビニや量販店ができていくなかで、2人では必死に頑張って盛り立ててきたのです。今は息子に店を譲って息子の代になっています。とにかくこの主人公は酒屋を盛り立てるといふこともあります

が、10年前の68歳まで身の回りのことに一切手をかけてこなかった人です。それは仕事も忙しかったし、今更化粧をしてもという気持ちもありました。その辺にあるものを着て、その上にエプロンをしめて店に立っていたのです。68歳の同級会に行っても彼女は地味でくすんでいたのです。

ある時にあるショッキングなことが彼女に起きます。娘が買い物をするというのでブティックに付いて行きました。娘が「私はこれがいいな」と服を選んでいたらブティックの店員さんが彼女に「お客様もおひとつどうですか。お母様にもお似合いのものがありますよ」と派手な服を持ってきたのです。主人公が「こんな派手なのはとてもとても」と言うのと「でも、この間74、5歳の方もこれを買って行きましたよ」と言われてガックリするのです。私はまだ68歳なのにこの店員さんは75歳くらいに見ていると分かったのです。一般社会でも「私は幾つに見えますか」と聞いても、大概是5歳くらい若い年齢が答えとして返ってきます。それが礼儀なのです。「70歳くらいだな」と思っても「65歳かな」とか言うのです。そういうことをお店の人は接客のノウハウとして知っているはずなのに「75歳くらい」と見られたのです。「私はまだ68歳よ」とショックを受けました。そして家に帰って鏡を見てみるのです。化粧っ気はありません。顔を洗ったら化粧水をパパッと付けるくらいで、普段は鏡も見ません。それで洗面所の鏡をよーく見てみたら、やっぱり手入れしていないから毛穴は開いているしシワもシミもあります。これはケアをしていればある程度は防ぐことができるんですね。もちろん年齢によって衰えていくのは当たり前です。だけれどもケアしていたら年齢相応に見られたはずだった。「よし、私は変わろう」とそこで決心したのです。そうは言っても生活に余裕があるわけではありません。調べてみたら個人の商店はいろんな職種のお店でも、大手に押されて大変だということがわかりました。彼女の酒屋さんも潤沢にお金があるわけではありませんが、それでも「これから死ぬまでの間、綺麗でいよう」と決心するわけです。1つ年上の夫もそれに似たり寄ったりのおじいさんだったのですが、夫のことも叱咤激励して、いい男にするわけです。そこから2人の物語は始まっているのですが、そのときまで被っていた帽子やペタンコ靴などをみんな捨てて、3センチだけヒールを履くということをしめます。夫婦そろって汚い老人にはならないぞ、ということを決めるというのがこの小説のスタートです。

この原稿を書くうえで、たくさんの方に取材をしました。その中でお2人の方の話が特に印象に残っています。1人はマサ大竹さんといって資生堂のトップアーティストでパリコレにもメイクで出ていた方です。今71歳くらいです。マサさんに「68歳まで一切身の回りに構わなかったご夫婦がいる。素敵な高

齢者に変身させたい。そのためにはどうしたらいいだろうか」と聞いてみました。すると「一番問題なのは近所の目を気にして、何もしないことじゃないかな」とおっしゃいました。昨日までぜんぜん見た目ファーストじゃない薄汚い人が、突然髪の毛をふわふわにしてメイクをバッチリにして鮮やかな服を着たらご近所の方の噂になるんじゃないかと思います。六本木あたりではそうでもないかもしれませんが、特に地方都市では大変だと思います。「どうしたのかしらあの人」「気が変になったんじゃないか」「まさかあの歳で？」となって、わざわざ「頂き物なの、これ食べて」なんて訪ねてきてマジマジと顔を見たりするご近所さんがいるのです。そうすると近所の噂とかどういう風に見られているかとかが恐ろしくなって、そう簡単にメイクもできないだろうと思います。そこら辺にある服を着てリュックを背負ってれば、ご近所的には間違いないのですが、そこで止まっているわけにはいきません。だから私はどうすべきかをマサ大竹さんに聞きました。そうしたらパリコレに出ているマサさんがスパッと言ったんです。「方法はいくらでもある。安くてもいいから化粧品を3種類買う。高い化粧品を使う必要はない。資生堂のドルックスというシリーズでは600円の化粧水と乳液があって850円の保湿クリームがある」そうなんです。私はこの小説の原稿を書くにあたって全部使ってみました。マサさんもこれはいいとおっしゃっていました。それくらいの費用を出して始めてみる。化粧水と栄養保湿クリームとパックがあればいいそうです。「まずはこの3つだけ買って下さい。資生堂でなくても今は通信販売でいろいろなものがあります。毎日朝晩顔を洗ったときに朝化粧水とクリームを付けて、パックは週に1、2回テレビを見ながらでもお風呂に入りながらでもいいからやったら、3カ月続けるとそれだけで肌は見違えるように違ってきますよ」とおっしゃっていました。私はそうか、そういうものなんだと思いました。マサさんが言うことなので絶対に間違いがない、きっちりやろうと思いました。

肌が変わったということは決してケバくなったとか急に色気づいたとかではなく、「年齢はまず肌に出るからまずは肌から整えなさい」とおっしゃっていました。これはスキンケアです。メイクに関しては、デパートや化粧品屋さんに行けということです。そこにはいろいろな化粧品のブランドのプロである美容部員がいるので、男性でも女性でもその人たちにお化粧のことを聞きなさいと言うのです。今は男性の化粧品もあります。私は「そういう人たちにお化粧の仕方を聞いたら買わせるでしょう。買わせるのは嫌なんですよ」と言いました。そしたら「買わなくてもいい。各社の美容部員には、どんな人にどういうお化粧が似合うかということをきちんと教えている。『お化粧をしたこと

がなくてスキンケアを始めたところだけけれど、お化粧品はどうやってしたらいいのか教えて欲しい”と言えれば絶対に丁寧に教えてお化粧品もしてくれる。悪いなと思うなら眉墨を1本買えばいい”とおっしゃいました。次のときに肌の様子を見せてチェックしてもらって、次は口紅を買うというふうに少しずつ増やしていけばいいということです。プロの人の言うことを聞いて段階を踏んでいけば、ご近所の人に「急に若作り始めちゃって」と言われるようなことには絶対ないとおっしゃっていました。私は「なるほどな」と思いました。

マサ大竹さんと同じくらい非常に参考になったのは横森美奈子さんというファッションデザイナーです。横森さん自身も70歳なんですけど、とても有名なデザイナーでお洒落な方です。横森さんに小説を書くうえで私は聞きました。「昨日までそこらにある物を着て首の伸びたTシャツや孫が着ていた75とかゼッケンのついた運動着を着ても全然平気だった人たちや、リュックを背負ってペタンコ靴を履いて出かけていくような人たちが“さあこれから洋服を買おう”と考えたときに高価なものでもなくても近所の目が気になると思う。突然オレンジのものを選んだら周囲は驚くと思う。驚かせないで装うには、どうしたらいいと思いますか」と聞きました。すると「多くの高齢者には共通していることが1つある。洋服ダンスの中に夫の物も奥さんの物もたくさん服を持っているけど“これは来年着るかも”とか“今は着ないけどいつか着ることがあるかも”や“捨てるにはもったいなからとっておこう”となっている物が多いことです。そうやって毎年毎年とってあるんです。そういうものはとってあっても来年も着ません。そしてもったいないと言ってとってあることは、あなたの人生がもったいないです」とおっしゃっていました。これも「なるほどな」とものすごく思いました。彼女はときどき断捨離のテレビ番組で、どこかの家に行ってクローゼットの中の物を捨てていたりします。すごい勢いで結構な量を捨てて、すっきりさせています。「人生がもったいない」には目がさめますよね。

洋服の選び方については、マサ大竹さんと全く同じことを言っていました。「デパートやブティックに行ってお店の人に人に聞きなさい」と。ご近所の目があることも、店員に言った方がいいそうです。ピンクとかオレンジとか赤とかは着ることができないことを、はっきりと言った方がいいのだそうです。お店の方はプロですからノウハウも持っているし教えてくれるそうです。これはマサ大竹さんがおっしゃることと同じです。そのときに安いセーターでもいいから自分に似合うものを選んでもらってそれを着てみる。嫌だなと思ったものは「これは着られません」とどんどん断ってもいいそうです。するとお店の方もどんな感じの境遇なのかが分かって来る。ただひとつ注意して欲しいことがあると

もおっしゃっていました。それは洋服を売り場のプロ人に選んでもらうときに「私に似合うセーターがありますでしょうか。選んでください」というのはダメだそうです。どうするかと言うと「私が元気に見える服を選んでください」と言うんだそうです。地味な色の細かい花柄のブラウスの裾を外に出して着ている姿は元気には見えませんよね。ピンクや赤はだめよと言うと、いつもと同じグレーのセーターになるかもしれません。だけれども中に少しだけ見える明るい色のスカーフを巻くとか、赤の縁取りがあったとか何かポイントをつけてくれるはずですよ。始めは1着しか買わなくても次も同じお店で同じ人に教えてもらえば、前のときのことを踏襲して考えて選んでもらえるのですごく良いそうです。そうやって3着、4着と増やしていけばいいのだそうです。「なるほど、そういうことなんだな」と私も思いました。

そうやって78歳の妻と79歳の夫について、歳がいくほど見た目ファーストだという話を書こうと思いました。書き始めると書きながら売れるとか売れないの以前に、私が袋叩きに合うなと思いました。「自分のことを棚に上げて」と言われるだろうなと思ったのです。例えば主人公は、名前をハナと言いますが、すごくお洒落をして78歳のクラス会に行くのです。そのときビリジアングリーンという鮮やかな緑色のセーターに、自分で縫った北欧の大胆なカーテン生地のスカートをはいていくのです。スカートにはグリーンが入っていてバランスが取れているんですね。3cmだけれどもヒールの靴で大振りのネックレスを付けました。そのハナがクラス会に行ったら集まった人たちがやっぱりバッチリ二つに分かれていて、終わった後あまり手を掛けない方の人たちはみんな帽子をかぶってリュックを背負ってゾロゾロ、ペタペタと帰っていくんです。ハナはそれを冷たく見ている、「ああやって帰る一団は虫のようだった」と言うんです。これはあくまでもハナが言っていることで私ではありませんよ。でもこういうことを好き放題書くと絶対バッシングされるだろうなと覚悟したのですが、意外なほどありませんでした。驚きました。それよりもっと驚いたことは「内館さんが高齢者のファッションについてどう考えているか、当社からそういう本を出して欲しい」というお話がたくさん出版社からありました。でも、あれは小説だから主人公のハナが言ったことだということができませんが、自分の頭のハエも追えないのに、と全部お断りをしました。

78歳がクラス会に行くと、また新たな課題が出てくるのです。乾杯をしたあとでいろんな同級生と会って話をするのですが、あんまりイケていな人たちの中には「あんた悪目立ちだね」などと言って、言葉に毒があるんですね。「急に若作りしちゃってどうしたの」とか言うてくるんですが、「この人たちは自

分が汚らしいからやっかんでいるんだわ」と無視していました。そのうち1人が「私らはナチュラルが好きだから」と言ったんです。これは結構言う人がいます。「ナチュラル好き」は20代からももちろんいるのですが、高齢者になればなるほど手をかけなくなる。だから「私はナチュラル好きだから」「そうよ、そうよ」と言っているんです。そういう人たちにはもうひとつ好きな言葉があります。「シワもシミも美しい」です。「美しい」といっても、できてしまったからには何とかして隠すしかないんですが、シワもシミも美しいと色々な女性誌でも「重ねる年輪」「シワもシミも美しい」「ナチュラルが一番」「人は中身」などと取り上げることがあるんですね。でもハナは「そう思う人にろくな者はいない」と思っていて、それが表情から匂ってくるんですね。そうすると綺麗にしていない人たちが「あんた嫌われているでしょ」とか「あんたはお金があるからできるのよ。私たちは年金で暮らしているからお金がないし、介護とかで時間がとられるから自分に手をかけてもらえないの」とか言ってくるんです。ハナは「そうよね」とか言いながら腹の中では毒づいているんですね。「お風呂には入るでしょ。そのときに3分間のスキンケアがどうしてもできないの」と思うわけです。「シミがそこまで濃くなる前になぜ手を打たないかな」と自分も10年前までは何もしていなかったんですけど、そんなふうに思っているんです。

マサ大竹さんと話していたときに「ナチュラルと言っても、眉も手入れしないでボサボサになっていて、産毛も目立っているのはナチュラルとは言わない」というので「何というんですか」と聞いたら「不精というんだ。ナチュラルとは違う」とおっしゃっていました。私は「分かるなあ」と思いました。男の人も女の人も「ナチュラルと不精は違う」ということを高齢になるほどに頭に入れておかなければいけないなと、すごく感じました。私も前期高齢者になってクラス会に行ってみると、やっぱりくっきり2つに分かれてはいるんですが、私の年齢ではまだ綺麗な人が多い方だと思います。全然手をかけないという人は男の人に1人か2人くらいいるかな、という感じです。でも男の人も素敵な人は素敵です。この前のクラス会であまりにも素敵な人がいたので同級生に「あの人は誰？あんな素敵な人いたかな。何君だっけ」とこっそり聞きました。そしたら同級生に「えっ、あなたどうしたの？数学の〇〇先生よ」言われました。その先生は80歳を大きく過ぎているのですが、私たちよりはるかに若くて格好良くて素敵なんです。現実にこんなことがあるんだなと思いました。もちろん中身は大事です。でも「シワもシミも美しい」ということは、それを美しく見せる努力をしている人だと思いますよ。できてしまったものは仕方ない

のでコンシーラーで隠すとか、安くてもいいから美白化粧水で少し止めておくとかするということが大事なのではないかなという気がいたしました。

主人公はクラス会の“虫の一団”には近寄らないんですね。なぜかという、ハナは「私は近寄らない。なぜならババ臭さ、ジジ臭さはうつるから」と言って近づかないんです。これは私ではなくてハナが言っているんですよ。これは実際にそうだと思います。自分の周りに手をかけずに「楽が一番よ、歳を取ったら」と言って、ウエストもないような伸び縮みのする素材の楽な服を着ている一団の中にとくとくと、「楽が一番よね、どうせ死ぬんだから」となってしまうんです。そんな一団が周りにたくさんいると自分もその中に入るとはちっともおかしくないし、「こういうものだ。楽で良いわ」となってしまいます。そしてある日、取り返しがつかないくらい爺さん婆さんになっているということがあります。おそらくクラス会で会った数学の先生は、周りにはそうではない素敵な年代のおじいさんたちがたくさんいる中において、だからうつらなかつたんだろうなという気がします。

自分に手を掛けている人や綺麗な人たちといると、「この人はやっぱり綺麗だ」と分かって、同時に「自分はなんでサボっていたんだろう」ということも分かるんですね。すると手を掛けてやろうという気持ちにもなって、良いこともやっぱりうつるんですね。この原稿を書くうえで、外見と内側は連動しているということを申し上げましたけれど、やっぱり活発で生き生きしている人というのは、見た目にも手を掛けている人だと思います。

その件について東北大学の心理学の教授の書いたものをまず読んでみました。後でお会いしたときに直接お話も聞きましたが「化粧心理学」というジャンルのパイオニアで、現在も東北大学で教えている阿部恒之教授です。私は化粧といってもメイクばかりでなくて、高齢者が綺麗にすることについて聞いてみました。先生がおっしゃったのは「老人はとにかく“すぐ死ぬんだからこれでいいのよ”と言う人が多いけれど、その気持ちは生き方となって必ず外見に出てくる」と。逆に自分に手を掛けている人、しつこいようですが高価な化粧品を使って高い服を着るということではなくて、どんなに忙しくてもお風呂に入った時に3分間のマッサージをすとかをして手をかけている人は生きる意欲が外見に出ているんだそうです。私はとても面白かったのでその話を「あとがき」に書きました。一部を読み上げますね。

「例えば“もう歳だからいいや”とか“自分にはおしゃれは関係ない”という気持ちでいるとそれは外見に現れます。しかし自分の見え方、

他人が自分をどう見ているかに関心をもって身なり容貌を整えるとその気持ちが目に見える形で外に現れます。すなわちその人の外見に意欲が見て取れるのです。若さではない美しさ、それは生き活きと社会生活を送る意欲の表明なのかもしれません。自分に関心を持っている、そして自分が他人にどう見えるかという思いを持っている、こういう旺盛な意欲をもった人を周囲は美しいと感じるのではないか」

美しいということの外見に関心を持つと言うことは、生まれ持った美しさのことではないということです。その許される範囲でどの程度手を掛けていくかということだと思います。やっぱり手を掛けると自分の持っている気持ちが外見に出るといっているのであればこれはものすごく大きなことだと思いますし、自分で改革ができることだと思います。持って生まれた顔かたちを直すということはとても大変なことです。でも綺麗に見せようとスキンケアをしようとかいうことは、みんな自分でできることですから心理としても大きいのではないかと思います。

こういう偉そうなことを思って書き始めたときに、私は転んで骨折しました。テレビ朝日のすぐ近くの坂のところでした。都内でも桜の名所なんです。桜が満開ですごく綺麗な日でした。私は坂道を下りながら「わあ、きれい。きれい」と上を見て歩いていて、下の段差に気がつかなくてダーンと転んだのです。さっきもお話ししましたが、足の指の骨を5本と甲の骨1本の合計6本骨折して、頭も地面に打ってしまったのです。私は足の痛みよりも頭の痛みがまずいと思いました。今は大丈夫でも血腫ができていて2、3ヵ月後に歩けなくなったり、何か起きるのではないかと思ったのです。そういう怖さがあったので、すぐに大きな病院に行きました。周りの人たちが救急車を呼ぶと言って下さったのですが、恥ずかしくてタクシーで行きました。そうしたらお医者さんがびっくりして、すぐに足と頭と両方の検査をしてくれました。しばらく待っていたらお医者さんがきて「内館さん、足の指の骨を5本と甲の骨1本折れてます」と言うんです。「えーっ、それで頭の方は？」と聞くと「今は大丈夫ですが、2ヵ月後、3ヵ月後にヨロヨロしたら至急病院にきてください。今のところは問題ありません」ということでした。

でももしかしたら私はラッキーだったのかもしれません。上を向いて歩くとまぶしいのでサングラスをしていたんです。そのサングラスのフレームが邪魔をしたというか、頭を打つときのワンクッションになったようでした。それから足をどうするかということになりました。後で明治大学ラグビー部の元主将

から「明治のラグーマンでも足の骨を6本も折った人はいない。どうやったらそんなに折れるの」と聞かれましたが、そう聞かれてもどうやったのか分からないのですが、折れたんです。レントゲンを見たら折れていました。そのときにお医者さんが「全身麻酔で手術をしてワイヤーなどで固定する治療方法と、6ヵ月間動けないですが車いすとギプスで骨がつくの待つ治療方法がありますがどうしますか。決めるのは内館さんですよ」と聞かれました。手術の方が寝ている間にできるので楽でいいかなと思ったのですが、全身麻酔というのがすごく大変な気がしたので「6ヵ月かけて治します」と言いました。そうしたら本当に6ヵ月間動けないんですね。がちりギプスで固定されました。取り替えるときはトンカチのようなもので打って外すんです。なんだか大工さんみたいな作業なんです。ギプスが取れたら車いすになりましたが、野球のキャッチャーが足に付けているレガースみたいなのががちり止められて「私は鉄人28号だ」なんて冗談を言っていました。本当にひどい6ヵ月間だったのです。その後は筋力が落ちて、今は上がりつつありますがすごく時間がかかりました。私はこの怪我で何を学んだかという、後期高齢者の気持ちです。動けないわけです。そうすると家から出られないんです。どこに行くにも車いすの生活です。松葉づえも借りてみましたが、うまく使うことができませんでした。先生に「かえって転びそうで危ない」と言われました。すると動けるところしか行けないんです。お手洗いに行くにも車いすでそこまで行って、ドアノブに掴まって右足を上げて、というふうにしなければなりません。動けないと色々なことが段々おっくうになってくるんです。結局家の中にいるわけで、なおかつ自分の周りに大事な物を置くようになります。薬や電話などを全部周りに置きます。そうすると私が動かなくてもいいわけです。どうなるかという、部屋の中がどんどん荒れます。だけど便利には敵わなくて楽なわけです。そのときに私は「後期高齢者はこういう気持ちなんだな」と思いました。書こうとしていた、だらしのない方の後期高齢者です。動けないとこういう気持ちになるんだと思いました。

私が全然外に出られないので、お友達が気をつかって色んな人から何回か電話がきました。「食事に行こう」とか「映画の試写会のチケットがあるから行かないか」など誘われましたが、その度に私の第一声は「そこ、階段ある？」でした。階段の上り下りはできないのです。「階段あるよ」となると次は「エレベータはある？」です。エレベータが無いとなると「ごめんね。私行けない」となってしまいます。食事も車いすで入れるお店でなければ行けないんですね。お友達が「お店に聞いてみる」と言ってくれるのですが、段々面倒になってし

まって「いいから、いいから」となってしまいます。私の場合は筋肉が戻って来て筋力が少しでも上がれば元に戻りますが、加齢で落ちた筋力は戻りません。10年前に病気をしたときも筋力が落ちましたが、そのときと比べて10年の間に筋力の戻り方が違います。やっぱり今の方が遅いなと思っています。そうすると歳を取った方は面倒なんだろうなと思います。私自身も人に会わないからもちろんメイクもしないし、そこら辺にあるものを着て髪も適当に撫でつけてボサボサです。おっくうになってきてやらなくなっている日々を過ごしているときに、私はなんて偉そうな小説を書いているんだと自分自身を思いました。「お前の頭の上のハエを追え」と言われるなと思いました。とにかく何もしないというのは楽でした。

今思うとあれは明らかに不精だったと思います。外に出ないということがあって、私の外見からは生きる意欲の無さが出ていたんだろうと思うんです。そしてふと気がついたのは、手を掛けないとかナチュラルが好きだとか中身が一番とかを名目しているということは高齢者の「免罪符」だなと思ったのです。免罪符というのは罪を許される印ということですから、つまり私は怪我をしているからできないので「怪我をしているから」が免罪符なんです。高齢者は「どうせすぐ死ぬんだから」が免罪符になっています。楽が一番なんです。それに気がついたときに本のタイトルを『すぐ死ぬんだから』にしようと思いました。手をかけないことの罪を許してもらっているんだと思いました。「すぐ死ぬんだからいいのよ」と許してもらっているということがあると思います。逆に考えると自分自身で分かっています。綺麗にしていないことが決して良いことだとはではないということが分かっているんです。だけれども周囲なんかを見ながら「どうせすぐに死ぬんだから楽が一番よ」と免罪符にしているんだと思いました。さっきお話した70代から80代の会合で綺麗にしている人たちに対して、綺麗にしていない人たちがあらわに不快感を示すということも自分自身でやっていないことを分かっているからではないかと思えます。

これをつきつめていくと、更に面白いことに出会うんです。セルフネグレクトということですが、ネグレクトはよくニュースになっていますが、お母さんがパチンコが忙しくて子供育てを放棄してしまったとか、幼児を育てることを放棄することに多く使われます。セルフネグレクトとは、私も書いていて知った言葉なのですが、自分自身が自分自身を放棄してしまうことなんです。子供を放棄するネグレクトではなくて、セルフですから自分自身を放棄することなんです。セルフネグレクトというのは結局、自分が自分に関心がなくなってしまって放棄しているということなんです。高齢者が「動くのが面倒だから楽

が一番」となっている人はそうかもしれません。

私の知っている方でセルフネグレクトぎみの女の人があります。彼女と別件で何年かぶりに会ったときに、ずっと鼻と口を手で覆って話しているんですね。ボソボソと話すので、あまりよく聞こえないんです。何だろうと思っていたら、歯が欠けていたんです。前歯の何本かが欠けていて、それを治していない。みっともないことを彼女はわかっているからずっと隠して話していたのです。その彼女と近い知人と話していたら「1年くらいまえからずっとそうよ」と言っていました。1年近く歯医者に行かず歯が欠けたままだったんです。口を隠していれば日常生活に不便はないわけです。これも考えてみれば、セルフネグレクトなのかなと思いました。自分自身に関心を持つということは大事だと思いました。セルフネグレクトが突き進むとどこまで行くかと言えば、これはゴミ屋敷だそうです。テレビでもしょっちゅうひどいゴミ屋敷を放送していますが、あれはセルフネグレクトの行きつく先なんだそうです。だからさっき申し上げたように、自分が動けなくなると目の前にお茶や魔法瓶を置いて、薬も置いて、水も置いて、読みかけの本も電気スタンドも全部周りに置いてそこから動かななくても良かったのです。最初は色々な理由があったとしても結局身なりが汚くなったり、異臭がするゴミの中で生活をしていることにつながってしまうんだと思います。ゴミ屋敷になってしまうのは大抵は高齢者です。若い人がゴミ屋敷に住んでいるというのを私はテレビで見たことがないです。多くが高齢者だというのは、セルフネグレクトの行きつく果てだったのです。だから若いうちから他人に自分がどう見えているのかを考えているというのは、とても大事なことだと思います。最近私は『すぐ死ぬんだから』のサイン会があると「他人の目が若さを作る」と書くようにしています。他人が自分をどう見ているかで「これではいけない」ということになると思います。そのセルフネグレクトを避けるためにも、マサ大竹さんがおしゃっているようにスキンケアやメイクアップは大切なことなんです。

面白いなと思ったのはスキンケアとメイクアップについて、先ほどの東北大学の先生がおっしゃるには「それぞれに大きな目的がある」のだそうです。スキンケアは心理学の専門用語で言うと“私的自意識”でメイクアップは“公的自意識”なんだそうです。スキンケアは癒しだと言います。例えば子供が言うことを聞かなくても、旦那の帰りが遅くても、お姑さんと上手くいなくてもお風呂に入って安い化粧品であってもスキンケアをする。それは自分の1日にとってすごく大きな癒しである。それは私的な自意識を喚起することであるということなのです。メイクアップとは口紅を引くとかファンデーションを塗る

とか眉を書くとか、男の人だったら髭を剃った後に良い香りのコロンを付けるとかです。村山富市さんのような方は滅多になかなかいませんがすごい眉です。今はお相撲さんもみんな眉がきれいです。そういうメイクアップとは社会と対面するための励みで、公的自意識なんだと東北大学の阿部先生がおっしゃっていますので、そののこのところを読んでみます。

化粧には二つの効用がある。スキンケアは癒しをもたらし、メイクアップは励みをもたらし、というのである。スキンケアは自らを慈しむ行為であり、安らぎとともに癒される。メイクアップは自らを飾る行為であり、社会と対面する励みになっている。すなわち自らを慈しむことで日々日常おごなりになっている自分自身の体へと意識を向かわせ癒しをもたらししている。そして自分の容貌を飾ることを通じて自分が社会的存在であることを自覚を促し、社会と対面する励みになっている。これは専門用語でいうところの私的自意識と公的自意識の促進です。

これを読んで私は全くその通りだなと思いました。メイクアップをして少しでも綺麗にして外に出るといのは、自分が社会の一員としての意欲が見てとれると思います。ところがそれさえもやらずにそこら辺にあるものを着て、出かけて行く。パーティに行くのもコンビニに行くのも同じ格好なんて「違うでしょう」と思います。けれど面倒くさくなってどうでも良くなってしまふんだと思います。私は阿部先生の本を読んで、外見磨きというのはあらためて大事なことだなと気付きました。でも、ここには「油断すると頑張りすぎる」という落とし穴があります。頑張りすぎると周囲の人たちは、特に自分が自分をかまわない方が「若作り」とか「見ていてイタイよね」とか言うわけです。同年代の人だけでなく若い人もたまに言います。「うちのおばあちゃん、イタイよ」とか「やりすぎだよ」と言うわけです。頑張りすぎてそっちに行ってしまうと、それはそれでまた問題がひとつ出てきてしまいます。それはやり方が過剰だからではないかと考えます。外の公的意識で、真っ白なファンデーションを塗って真っ赤な口紅で青く目の淵を塗ってつけまつげを付けたりすると、これは確かに浮くかもしれない。好きだからと言って短めのスカートに革ジャンを着たりするのは確かに「イタイよ」と言われてまずいわけです。それをどこまで抑えるかというのも難しいと思います。それはやっぱり、マサ大竹さんと横森さんがおっしゃっていたように、過剰にならないようにプロの意見

を聞くということでしょうね。その意見を聞くときにお返しに買う必要はないということなので、「また来ます」と言ってそのときに買う物があれば買うでいいのだそうです。

主人公は79歳の夫がジジ臭く見えるものを全て捨てます。夫はハゲていますし決してハンサムではありませんが、主人公はとにかく素敵なお男に見えるようにするために、夫は泣く泣く全部捨てるんです。それは首元を絞めるタートルネックのような洋服とかネクタイとかは歳をとれば大変ですよ。でも妻がこうさくチェックするのは。さっきの会合でもそうですが「私って何か綺麗じゃないかもしれない。綺麗にしている人より5歳か10歳くらい老けて見えるかもしれない」と気がついたときに不愉快になるんじゃないで、その時に方向転換をすれば良いのだと思います。それは78歳だろうが80歳であろうが全然関係ありません。「すぐに死ぬんだから」とは言いますが、今は人生百年ですからね。すぐに死ぬと思っても75歳の人あと25年生きなければなりません。90歳でもあと10年あるんです。あと25年を、あと10年をどう生きるかなんです。残りを汚く生きていくのかという問題が出てきます。歯が欠けたまま手で口元を隠していくのかということです。だったらやっぱり手を掛けた方が勝ちです。きっと、身の回りに物を置かなくなると思います。私も歩くのが100%ではありませんが、できる範囲で台所にあるものは台所までとりに行く、洗面所にあるものは洗面所へというようにしています。

自分で書いておいて言うのも何ですが、主人公は劇的に大変なんです。ここでお話ししたいんですが、話すと本を買ってもらえなくなるので、お知りになりたい方はぜひ読んでみてください。とにかく主人公には大変なことが起きます。天地がひっくり返るような人生観が変わるようなことが起きます。すぐくめげたり一生懸命外見に手を掛けることが空しくなってくるんです。その時に彼女には大学生の21歳くらいの男の孫がいるんですね。おばあちゃんが天地がひっくり返るような出来事の中で、汚く変化していくのを見ていたんです。あるとき「おばあちゃん、先のない年代に一番必要なのは偽装だよ」と孫が言うんですね。偽装と同じように偽善という言葉もあります。よく偽善者と言いますが、それは死ぬまで偽善を徹底してずーっと通し続けるのであれば“偽”ではなくて“善者”なんだそうです。現に私の知っている人で物凄く意地の悪い女がいたんです。本当に意地が悪いんです。その人が亡くなった後に、周りの人は「あんな素晴らしい人はいなかった」とショックを受けていました。「彼女にこんなときにすごく助けられた」とか「あんなふうに言ってもらって良かった」とか“善”のことがいっぱい出てくるんですね。でも私は善じゃな

いところをしっかりと見ているわけです。たまたま私にやってしまったんです。物書きは意地悪なので絶対にバラしません。「この人たち騙されている。根はちがうわよ。おっかない女よ」と腹の中で思っていました。彼女のことを褒める人ばかりでしたが、たまたま私ともう1人の前で意地の悪いところを全開にしてみました。でも彼女は死ぬまで偽善を貫き通したんです。だから死んだ後、素晴らしい善者だったと言われるわけです。それと同じで偽装も「あの人はいつも綺麗で若いよね」と言われていると、若作りしているんであろうが一生懸命にメイクをしているんであろうが、死ぬまで若くしていれば「あの人は綺麗で若い人だった」ということになるんです。偽善者を全うすると善者になるのと同じで、偽装の男女が全うできればそれは美しく装ったお洒落なダンディな男であり女なんです。「歳を取って先のない年代に一番必要なのは偽装だよ、おばあちゃん。それだけだよ」と孫がそう言う。騙すわけではないけれど磨きをかけて死ぬまで偽装すると、死んだときに「若くて綺麗だった」と言われるんだと孫に言われて、なるほどと思うわけです。主人公はそこで嫌なこともあったけどますます頑張ろうと、はりきって思うわけです。

偽装と関係あるのかもしれませんが昨今、「グレイヘア」というのがすごく流行っています。流行語大賞のトップ10にも選ばれました。これは何かというと、ある年齢になって白髪になってきたら染めないで白髪が増えるようにして綺麗にしていくと、白髪ではなくてグレイヘアなんです。私の編集の担当者だった女の人が、実は「グレイヘア」と最初に言った人なんです。彼女とグレイヘアについて色々な話をしましたが、グレイヘアは今もてはやされている。私の友人でもあるメイクアップアーティストの山本浩未さんが面白いことを言っていました。「グレイヘア、つまり白髪の頭は高齢者の究極のナチュラルである」のだそうです。確かに段々白髪になってくるわけですから、それはとてもナチュラルなことなんです。だけど山本さんは「グレイヘアは高齢者にとって究極のナチュラルだ」とおっしゃるんですね。それはどういうことかと言うと彼女が言うには、「素敵なグレイヘアの方はナチュラルに見せるためにものすごく手をかけている。そこを忘れてしまえば、単なる白髪になってしまう。実際にグレイヘアはある程度真っ白になるまでは、どうしてもゴマ塩っぽいときがあるけれども、その時期をどう乗り越えるか、どんなふうなヘアスタイルにして乗り越えるかということもひとつ考えるべきところで、ナチュラルに見せるために手をかけるのです。ただ単に白髪になってしまえば、それは不精なんです」とおっしゃっていました。

彼女が言うことに、具体例があるんです。私の親しい人に加藤タキさんとい

うコーディネーターの方がいます。テレビでもよくコメンテーターなど色々なさっでいて、とても綺麗な方です。74歳くらいだったと思いますが、グレイヘアで髪の毛が真っ白なんです。ところがグレイヘアになってからお洒落の範囲が広がったとおっしゃる。黒い髪の毛とか若い人は金髪とか茶色にしている人もいますが、そういう髪の毛よりもグレイヘアの方がちょっとくすんだ赤い口紅がよく似合いそうです。その口紅は70代でも何の問題ありません。タキさんを見ていると74歳でもちょっと落ち着いた赤い口紅をつけていて、それが黒い髪の毛の時よりも似合うんです。それからターコイズブルーのセーターやブラウスを着ていることがあるんですが、それも黒い髪よりはるかに良くグレイヘアに似合っているんです。「わあ、すごいな」と思ったりします。山本浩未さんやヘアメイクの人に聞いてみると、グレイヘアで素敵な人というのは間違いなく手をかけているんだそうです。グレイヘアで手をかけなくなったら、不精です。最近では近藤サトさんもグレイヘアで素敵ですよ。ああいう人たちは手をかけています。それは何もしょっちゅう美容院に行くということではなくて、白髪というのはどうしてもパサパサになってしまうので油分を補うとか、長く伸ばした時に長い髪をアップにすればいいのかカットすればいいのか、今はゴマ塩でちょっと綺麗じゃないからここはカチューシャをアレンジしようとか、そういったことも含めて考えるということです。これはグレイヘアがすごく素敵だからより素敵に装うための、ひとつのテクニックであると彼女は言っています。今はそうでもなくても白髪が増えてきたときに、ずっと染めるかグレイヘアにするかどこかで選択しなければいけないと思うんですけれども、私が彼女の話を書いた限りでは染める方が楽ですね。グレイヘアを維持するというのは素敵な分、すごく大変だと思いました。だけれどもそれで自分に手をかけて素敵になるのであれば、それは究極のナチュラルなんだと思いました。「白髪頭をおったてて」と良く言いますが「おったてて」と「グレイヘア」は完全に違います。さあここをどうするかということは、若い人にできない高齢者だけのおもしろさだと思います。私は秋田の人は大変だなと思うのです。肌が綺麗で色が白いので、つついほったらかしておくということもあるんじゃないかと思います。元々色が白いわけなので、秋田の人が綺麗にしてどうやって自然にやりすぎずにナチュラルに素敵に生きていけるか、ということは髪の毛のことも含めて考えるべき点でしょうね。

中には「着たいものを着て、履きたいものを履いて何が悪いの」という人がいます。「私は自分で着たいものを着ます。履きたいものを履きます」という人はもちろんたくさんいますし、そういうことがナチュラルだと女性誌にも取

り上げられたりしています。でも私は書いていて気がついたのです。着たいもの着てもいいのですがそれが似合わなかった、綺麗に見えなかった、やりすぎでイタかったとなると、それはものすごく損なことではないだろうかという気がしたのです。ですから、着たいものを着るというのは一見良いことに思えるのですが「これを着ていいのかな、本当にこのヘアスタイルでいいのな」ということをやっぱりプロに相談したり、娘や息子に相談するという必要かなという気がします。自分だけでやってしまうと、どうしてもイタイ方向に行ってしまうがちかもしれません。

昨日の夜に秋田の女のお友達と市内で一緒に食事をしました。彼女は80代になったばかりくらいだと思うのですが、娘さんからのバースデイプレゼントがエンディングノートだったという話を聞きました。私のところにも色々な出版社が出しているエンディングノートが送られてきます。パラパラと見ているといろいろな書くことがあるんですね。貯金通帳がどこにあるとか、私が意識がなくなったらこういう治療をしないで欲しいとか、死ぬときは自宅がいいとか病院がいいとか丸を付けるようになっていっているものもあります。家族全員の連絡先も全部書けるようになってあるんですね。それから遺書の書き方というか、遺言書のことまであるんです。「有価証券は長男で土地は長女で」とかそういうことの書き方も付いていて、もちろんそれはプロの手が必要ですよということも書いてあります。「葬儀はこういうふうにして欲しい」とかもあって、この1冊があれば後は周りの人たちが困らなくなっています。それを誕生日にプレゼントされたというのですから、親もガックリきたようです。

私はこの小説を書きながら感じたのは、人は百歳まで生きるかもわかりませんが、生きている間はエンディングノートよりも食べるもののレシピノートを作っておいた方がいいと思います。これを食べると肌に良いというレシピもあるでしょうし、スキンケアやメイク、ファッションのことを考えるということの方がずっと大事だと思うのです。そうすると生きる意欲が出てくるのが目に見えます。残された娘や息子にとってそういうお母さん、お父さんは嬉しいと思うんです。車いすだけど「見たいものがあるから美術館に連れて行って」とか言って元気で綺麗にしているお父さんお母さんは、結局息子や娘のことも喜ばせるんじゃないかと思います。エンディングノートを書いて息子や娘に「通帳はあそこに入っていて、判子はこっち。長女は嫌な奴だからやらなくてもいい」となどを細かく書かれてあったとしても、「私が死んだら、私が死んだら」と毎日言われているようで、息子も娘も元気がなくなると思うんです。

私自身はこの小説を書きながら、すごく大事なことは85歳だろうが90歳

だろうが、断捨離とかエンディングノートより「さあ、明日を、明後日をどう生きるか」ということが大事だと思いました。生きる時間が短ければ短いほど、どう生きるかを大事にするべきだと思います。それが結局、周囲をも力づけると思いました。ですから最低限の通帳がどこにあるくらい書いても良いと思いますが、あんまりやりすぎると生きる気力を失います。特に秋田は食べる物も酒もすごくおいしいので、おいしい物を食べて元気にいるということが子供に対して孝行なのではないだろうか、この小説を書きながら思いました。もし関心がありましたら、ぜひ読んでみて下さい。主人公はかなり辛い目にあって、辛い中ですっかり嫌になってメークもしなくなってしまいます。だけれども孫の言葉や色々なことがあってそこからまた生き直していきます。ぜひお読みください。

今回はまた別のテーマでお話しできればと思います。今回はもう少し歩けるようになっていると思います。何が辛いかというと大相撲を見に聞けないんです。手すりがあれば階段を昇ったり下りたりできるのですが、前の方の席に座ろうとすると手すりがないところを行かなければならないんです。手すりがある上の方だと良く見えません。私の名誉のためにお話ししますが、座ることはできます。でも立つことが難しいのです。立てなくて一緒に行った方が引っ張り上げるように立たせてくれるのですが、元横綱審議委員としては結構みっともない姿です。ですから5月場所までには頑張って貴景勝の晴れ姿を見たいと思います。豪風さんは今回引退しましたが、とても良い親方になると思います。この後、故郷秋田が大好きだという豪風さんの二世が秋田から出てくれると楽しみだなと思います。長い時間ありがとうございました。

藤 本 内館先生どうもありがとうございました。質問を受け付けたいと思います。どなたかいらっしゃいますか。

質問者 今日は大変力になるお話を頂戴しました。ありがとうございました。私は小説の中の人たちよりずっと上の年代の86歳なのですが、先生のお話を聞きにくることがすごく楽しみで杖をつくようにして今日はきました。質問は相撲についてです。私は大の相撲ファンです。貴景勝が大関になって、みんな喜んでくれると思うんですけども、ある方はまわしを取らない押し相撲のお相撲さんは横綱を目指せないとか、上に行ったら大変だろうとかおっしゃっております。でも押し相撲一本で今回大関になったので、早くもっと上に行って横綱になって欲しいと思うのです。私は貴乃花が大好きで、貴乃花の相撲道というか武士

道というものを受け継いでいる力士だと思って応援したいと思っています。先生はまわしを取ることについてはいかがでしょうか。

内 館 今日テーマと全然関係のない質問ですが、とても嬉しいです。貴景勝は身長が175cmしかありません。そばで見ても本当に小さいですが体は本当にすごいです。顔が可愛いでしょう。それに芦屋のボンボンなんです。あげくにお母さんが死ぬほど綺麗なんです。貴景勝はこの後も押し相撲1本で行くと思います。豪風もそうでしたけれども貴景勝の場合どうしても白鵬のような力士にまわしをがちり取られたら、これは困ります。この間のケガをする前の栃ノ心にもがちりまわしを取られた。でも貴景勝はこれからも今の親方の教えを守って、押し相撲を磨いて横綱になると思います。それは相当早いうちになると思います。というのも私は相当好きですから、自分なりのデータを作っているんですね。編集者にはそんなことをしているんだったら原稿を書いて欲しいと言われます。やっぱり貴景勝の場合は非常に素直だということもあって、今の私のデータを見る限りでは20代の相当早いうちになるんじゃないかと見ています。引退した稀勢の里もそうでしたけれども、今のところ横綱になるのは30代なんですよ。今23、4歳でこの先3場所目では無理だと思いますが、24、5歳あたりで横綱になってほしいですね。顔も可愛いので綱をしめると見た目もいいです。あの体だと雲竜型の横綱だと思います。白鵬は不知火型です。

貴景勝は特にお父様が愛していて本人も好きだったという貴乃花の弟子になりました。貴景勝の貴は本名の貴信君からきています。お父様が好きだった貴乃花貴と織田信長の信の字で名前を付けて、本名は佐藤貴信というんです。いわば相撲版の星一徹ですよ。そういう父親に育てられてきて、貴乃花への気持ちを引き継いでいくという意味では、もちろん今の部屋の千賀ノ浦親方に付いて行くのですが、どこかで貴乃花イズムを持ってやっていくと思います。これからぜひ楽しみにしてください、という相撲協会の回し者みたいですね。私も楽しみにしています。

藤 本 内館先生どうもありがとうございました。これで内館牧子先生の講演会を終了したいと思います。もう一度先生に盛大な拍手をお願いいたします。ありがとうございました。来年度の前期公開講座の日程につきましてはあらためてご案内をお送りいたします。引き続きよろしくお願いいたします。-

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「『不作法』は命取り？」

講師 脚本家

ノースアジア大学教育諮問会議委員

ノースアジア大学総合研究センター客員教授

内 館 牧 子

司会 ノースアジア大学総合研究センター長

本学経済学部教授

藤 本 剛

日時 令和元年6月15日 午後1時00分～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館271教場

藤 本 本日はようこそおいでくださいました。元号が変わりまして令和元年度、今年度最初の講演会になりました。今年度もよろしく願いいたします。

後ほど先生の方からもご紹介があるかと思いますが、内館先生は昨年2冊の本をお書きになりました。お読みになった方もいらっしゃると思いますが、今日はその本を基に『『不作法』は命取り?』というテーマでお話ししていただきます。楽しいお話をしてくださると思いますので、どうぞお楽しみください。それでは内館先生よろしく願いいたします。

内 館 みなさん、こんにちは。内館です。今秋田は防衛省問題の件で大変ですね。私はあの新聞記事を読んで思い出したことがあります。居眠りしていて大問題になった方を見て思い出して、明日の魁新聞に掲載されるエッセイにも書きました。何を書いたか話してしまえば明日読んでももらえないかもしれないので内容は今は言いません。ああいう居眠りってあるんですよね。びっくりするくらいあるんです。その話を書いたんですけども、あれは不作法を通りすぎていますね。

私は『男の不作法』『女の不作法』という新書を幻冬舎から同時に2冊出しました。これにはきっかけがありました。秋田出身のものすごく優秀な編集者がいて全然私とは仕事をしたことがなければ面識もなかったんですが、突然電話があって「お伺いしたい」と言うんです。でも突然の電話で「お伺い」と言われてもな、と思っていたら「僕は秋田出身で、ぜひ一緒に作りたい本があるんです」と言うんですね。その本が『男の不作法』だと言うんです。男の不作法というのは面白いなと思ったので「じゃあお会いしましょう」となりました。私の事務所に来ていただいて会ったのですが、本当に良く出来る編集者なんです。まだ40代だと思えるのですがものすごく優秀で、こういうことをやりたいんだということを明確に持っていました。男の不作法にはこんなものがあるんじゃないかと、早くも一覧にできていたんです。私はそのとき他の仕事が詰まっていたので「非常に書きたいから、1年くらい待ってもらえないか」とお話ししました。そうしたら「待ちます」とおしゃってくださったのですが、待ってくださっている間も男の不作法についてどんどん挙げてくるんですね。どこかでお会いできればまた会いましょうとして1年近くやっていました。

ようやく前の仕事の形がついたので「ぜひやりましょうと」彼とやろうとしたんです。そうしたら、こういうことってあるんですね。とても優秀な方だったので他の出版社にヘッドハンティングが決まっていた。彼が「すみません」と謝るので「どうしたの」と聞くと「〇〇出版に行くことになって」と言

うんですね。やっぱりできる人は狙われてヘッドハンティングされるんです。私もこの人なら引っ張られるんだろうなと納得しました。でもそこにはルールがあるんです。「辞めた会社の企画を持って行って新しい会社では出さない」というものです。これはマナーでありルールであり、作法なんです。だからA社を辞めた人がB社に行っても、私と一緒に進めていたA社の企画ものはB社からは出さないんです。それについては時効がなくて、出してはダメなんです。よく美容室などでもありますよね。独立したりすると元のお店のお客さんを引っ張って行ってはいけないというのがあります。出版社にもそれがあって、彼は本当に泣く泣く「どこか他で出してください」といって手を引きました。

私は幻冬舎がいいなと思って、幻冬舎の担当に彼と積み上げてきた企画を出してみました。すると幻冬舎も「すごく面白いのでのります」とすぐにおしゃってくれて、パッパッパッと話が進みました。彼とやっていたのは『男の不作法』だけだったのですが、私は「せっかくだから『女の不作法』も両方同時に出そう」と、言わなければいいのに言ってしまったんです。『男の不作法』と『女の不作法』の2冊を同時に出すということは、各冊30本で、60本書かなければならないんです。編集者も「それはおもしろい」と言って、そういうことになりました。彼と色々な項目を決めていましたが、いざ書き始めてみると男の不作法も女の不作法もこんなに難しいことはありませんでした。散々自分が不作法をしてきているからです。偉そうに「男の不作法だからやってはいけない」「女の不作法だからどうだ」と書くほど心臓が強くなって原稿が進まないんです。

どうしようかと思ったときに、私自身も興味があったのですが10代の後半から70代前半くらいまでの男女に集まってもらって個々に聞き取り調査をしました。「あなたは何を男の人にされてムカつきましたか」とか「どんな男が嫌か」「どんな女が嫌か」とかということを聞きました。もう出るは、出るは、出るはすごいんです。全部書いたら10冊になってしまうと思うくらい出るんです。すべてにすごくリアリティがあって「確かにこういうことをしているよな」と分かるんです。自分の身に振り返ってみても「これやってきたな」ということがあるんです。10代の後半から70代前半の人たちの話がおもしろかったので、彼と決めたことは一旦反故にしました。もちろん彼と決めたことでダブることもあります。みんなから聞き取り調査をもとに男の不作法と女の不作法を30本ずつ選ぶことにしました。それぞれものすごい数で120本くらい出ているんですけれども、それから30本ずつ選んだところ200ページくらいの厚さの本になりました。そのくらいだと手に取ってもらいやすい厚みだと思

いました。そうやってそれぞれ30本ずつに絞りました。今日の講演のテーマにしたのはこの本を出す前から考えていたことで「ノースアジア大学で講演をすることがあったら『男の不法』『女の不法』の話をしよう」と決めていました。30本ずつ計60本について今日は全部をお話しすることができないので、この中からさらに絞ってお話しします。

本を買うと読書カードというハガキが挟んであります。読んだ方が感想を書いて出版社に送るものです。出版社がそれをコピーして私に届けてくれるので、それを丁寧に読んでいたら「なるほど、こういうところが特に嫌なのね」ということも書いてあったりします。それは私が嫌なのではなくて読者が嫌だと思ふことの統計です。そういうことが見えてきましたので、その話を今日は絞ってお話ししようと思っています。書いていても思ったし、皆さんの話を聞いていても、読者カードを読んでも、そう思ったのですが、一番の問題は「不法をしていることを本人が全く気づいていない」というケースが多いということです。ですから、悪気が無くてそれをやってしまう。でも、やられた方は非常に不快に思うわけです。困ったことに本人には全然罪悪感もないし、意地悪でも何でもないから何回でもやってしまうんです。何回もやると、それがますますその人のマイナスイメージになってくるんです。不法を知らない、意識しないということは男も女もすごく損なことだなと思いました。そのあたりの話をしようと思っています。

では『男の不法』からいきます。まず「過剰な自慢話」です。男の人からも女の人からも「過剰な自慢話」というのがイヤだと出ました。実はそのとき私はすぐに思い浮かんだ人がいました。ある地方都市で私のお友達の男の人が小さな会社を経営しています。彼は一生懸命に会社を経営しています。私が仕事でその地方都市に行ったときに、彼と会ったんですね。そしたら彼から「明日の夜、食事をしませんか」と言われました。その「明日の夜」は大丈夫な日だったので一緒に食べることにしました。そうしたら「ちょっと紹介したい人がいる」と言うのです。正直面倒だなと思ったんですが「分かった。行くわ」と返事をして行くことにしました。

そして行ったら、その紹介される男の人は上座に座っていました。みなさんこれは秋田の話ではないので大丈夫ですよ。その人が上座から「内館さん、初めまして」とふんぞり返りながら言うんです。私も「初めまして」と挨拶をしたら「ここはおいしい店なのでどんどん食べて下さい」と言うんです。そうしたら秘書みたいな女性に「ちょっと、ちょっと」とか言うと、彼女が何か風呂敷包みのような物を恭しく持ってきたんです。私は会ってすぐにその地方の

お菓子とかお土産を下さるのかしらと思いました。私の前にそれをどさっと置いて風呂敷を解いたら、中身は全部コピーでした。そのコピーというのが雑誌から新聞からあらゆるもののコピーで、自分のことが書いてあるところにマーカーが引いてありました。

私は「これは何なの!？」と思ったんですが新聞や雑誌ばかりではありませんでした。例えば有名人の葬儀委員長になったとか、有名人のパーティの発起人になったとか、全部赤でマーカーが引かれてあるんです。「これを読めと言われるのかな。どうやって持って帰ろうか」と思うくらいでした。一番驚いたのがその後に言葉が付くんです。「これ僕のことを書いてあるものなので暇なときに読んでみて下さい」くらいだったらばまだかわいいですけども、致し方ないので「案内状がありますね」とか言う。「これは発起人になってくれと言われてね、僕は嫌だって断ったんだけど奥さんと息子にどうしてもあなたじゃなきゃダメだと言われて引き受けました」のようなのが、いちいち付くんです。

私はびっくりしてもう何も言わない方がいいなと思ったんです。私が何も言わないと自分から言ってくるんですね。本当にあときは困りました。そのときその人がちょっとすてきなゴヤールのバッグを持っていたのですが「このバッグは〇〇さんがプレゼントしてくれたんです。有名ですから〇〇さんを知っているでしょう」と言ってきたんです。その〇〇さんは有名な方で知っているんですが、会ったことはありませんでした。「お名前は存じ上げています」と言ったら「僕はその人とはガキの頃からツーカーでね。やってくれて頼まれたことをしたらこのバッグを買ってくれたんだ」と言ったかと思ったら、次は時計を見せてまた同じように「△△さんがプレゼントを…」と始めるんです。

私はここまで自慢する人を初めて見ました。やっぱり世の中にはいるんですね。聞き取り調査をしたときも、いっぱいそういう話が出てきました。やっぱりこういう人はあちこちにいて被害に遭っている人がいるんだなと実感しました。その時計については「僕は社長としか会わないんだ。みんなが会いたい、会いたいといってくるけれど、僕は社長としか会わないんだ。それは業界では有名な話なんだ。でもあるときどこかの会社の専務が会いたいと言ってきた。本人は断られると思っていただけども、僕が“君とは会うよ”と言って会った」そうです。そうしたらその専務が時計をくれたんだと言って時計を私に見せるんです。

結局一事が万事それで、びっくりして私も途中で帰っても良かったんですが、帰らなかったのは、私を誘ってくれた小さな会社の経営者の彼が、その人の世

話になっていたからです。スポンサーなのか何なのかわかりませんが、人脈でも金脈でもとてもお世話になっていることがわかったので、席を立つわけにいきませんでした。このくらいの方は日本中にいっぱいいると思いますが、私も最後までお付き合いしました。

帰ってきてからもううんざりして、銀座でバーのママをしている女友達に電話を入れました。「こういう男がいるのよ。最悪の不作法よね」と言う。「うちの店にもそういうのがいっぱい来るわよ」と言うんです。「あ、やっぱり」と言う。「こっちは商売だから丁寧に聞くわよ。もっと聞かせてって言ってバンバン聞くわよ」と言うんです。その代わりボトルを入れさせて「フルーツいいかしら」なんて言って高い物を注文させて、向こうはもっと自慢したいし、ケチなところは見せられないから「いいよ、いいよ」と言うそうです。「だから、うちなんかいくらでも来てもらっていいわよ」と言っていました。やっぱり一番まずいのは、そういう商売をしている人のところで自慢するのをケチって、一般人に自慢することだと思います。これは非常に迷惑だし問題です。「みみっちいな」というのがみんなの中にもものすごくありました。みんなの目の中の怒りの炎がすごかったです。こういう自慢はやっぱり女の人よりも男の人に多いということを見なさんおっしゃってました。でもこれはストレートな自慢なんです。「僕はこんなにすごい」と正面からの自慢です。

2つ目に出てきた不作法が「間接的な自慢」です。こちらのほうが聞いていると、よっぽどたちが悪いんですね。例えば、同じ課の中の誰かが仕事で成功して、周りの人が「よかったね」とか「すごいね」「社長賞もらうんだって」と喜んでいるんですね。そうすると、そういうときに出てきて「いや、あの賞はね、俺が裏ですごく画策したんだよ」とか「あの人だけに任せてはおけないから、俺がデータを取ったりして大変だった」とか言うのです。特に女性がそういう成功をすると、もっと腹が立つんでしょうね。「彼女は“自分に自信がないから最初はやりたくない”とっていたから、僕が“そうじゃない。君しかいない”と必死で説得してき、その後もすごく手伝って、なんとかここまで来て本当に良かった。僕も嬉しいよ。ほんとに僕の力なんてなんてことはなくて、ほとんど彼女の力なんだけどね」という訳です。こういう間接的な自慢というのも世の中に多いんです。集まった女性たちの話を聞いて私も気が付いたことです。確かに私にもこういうことってあるなと思いました。

そして、思い出したことがありました。少し前ですがIPS細胞でノーベル賞を受賞した山中伸弥教授がマスコミのインタビューに応じて、この様子はテレビでも流れました。そのときに山中先生は教え子の名前をきちんと「高橋先

生」と挙げて「彼の存在なくしては僕の IPS 細胞の研究はアメリカに越されていたか、途中でダメになっていただろう。彼の力はものすごく大きい」と言ったんです。これは間接的な自慢とはまったく逆のことです。もっとすごいのがノーベル賞受賞式にその高橋先生を同伴されたんです。だから本当に力が大きかったのだと思います。同時に、山中先生の人となりのようなものも見たような気がしました。

普通だったら「ノーベル賞は俺だ」となるところなのに、「教え子の力がすごく大きかった」と言った。そういうことは人を大きく見せます。おそらく周囲の人は、「俺」が裏でどれくらいのことをやっていたのかということは分かっています。察するものだと思います。それなのに、自分から言うっていうことは、人間をちっぽけに見せます。山中先生と一緒に研究された高橋先生は、オスロにも一緒に行きましたが、それ以外はほとんどメディアに出てくることはありません。それも素晴らしいとすごいことだと思いました。

それから3つ目なんですが「爺バカ、親バカを垂れ流す」というものです。「うちの子はすごい」というのは家族親戚間ではいくらでもやって良いと思いますが、他人に垂れ流してしまうということがあります。聞き取り調査をしているときに多くの人からこのことが出て、やっぱりそうなんだなと思いました。

前にノースアジア大学の講演でエッセイの書き方について3、4回お話ししています。そのときに1回調査をしたことがあります。紙を渡して、何を書きたいかを聞きました。すると圧倒的に孫のことが多かった。それは書いても全然かまわないのですが、エッセイというものは不特定多数が目にするものです。これが日記とか親戚間でする手紙だったらいいのですが、不特定多数が目にするエッセイというのは作品なんです。そうすると垂れ流しは困ります。孫の話はいくらでも書いてもいいのだけれど、工夫しなければみっともなくなります。ものすごく難しいことです。愛する者がある一定の距離を持って書かなければなりません。ということは、すごく難しいです。

例えば秋田魁新報に読者の投書載せているコーナーがありますよね。あのコラムにも孫のことを書かれているものがよく載っています。それを読んでいて、おじいちゃんおばあちゃんというものは「涙で目がかすんでしまったこと」が大好きなんだなということに気がつきました。例えば「小学校1年生の孫が“バーバ、僕が病院に付いて行くよ”と言ってくれた。“いいから、車で行くから大丈夫”と言っても“心配だから付いてくよ”と言って小さな手で私の手を握って一緒に来てくれた。診察室にも一緒に入って先生の話聞いてくれた。帰りに“バーバ、良かったね”と言われて、バーバは嬉しさのあまり目の前が

涙でかすんでしまった」というものです。

これはジージにもよくあるものです。こういうエッセイが最後をどうまとめるかという、例えば孫の名前がよっちゃんだと「よっちゃん、いつまでも元気でね」とか「りこちゃん、ずっと優しく育ててね」となることが多いです。秋田魁新報には孫の写真を投稿できる「かわいい孫」というコーナーもありますよね。あれを見ているとすぐに分かります。「元気に育ててね」というパターンの多さと、バーバよりもジージの思いが強いということがうかがえます。こういうときに距離を持って書くということはすごく難しいです。私が親戚間ではいいけれど他人に垂れ流すなどと言っているのは、他人から見るとどの子も同じ顔に見えるものです。だけどそうやってしまうと悪いから「かわいいね」とか「きれいだね」とか言うんです。それを真に受けてあっちこちからから写真やアルバムを出して見せたりするのも、非常に不作法だとみんなが言っていました。

その講演をした後で控室に男の人が訪ねてきました。「僕は短歌の結社に入っています。先生にならって毎週短歌を出してみんなで合評しています。最初に先生から“孫の歌は禁止”と言われました」と言っていました。なぜかと言うと涙で目の前がかすむ歌ばかりになるからだそうです。だから孫の短歌は禁止しますと言われたんだそうです。秋田の人はハッキリしているなと思いました。

孫も「ジージ、バーバ」と言っているのはほんの何年かで、すぐに「ジジィ、ババァ」になるそうです。だからそのときに自分が生きていくためにも、どこでこれをストップさせるかということはすごく大切なことだと思います。

私のところに中学の同級生から毎年年賀状が届きます。なかなか孫が生まれなかったのも、生まれた年は孫を抱いた嬉しそうな写真年賀状でした。届いて手に取ったときに私は「優秀で良くできる人だったのに、こういう人になってしまったか」と思いました。漫画のように吹き出しがついていて、孫の方には「ジージ、僕たち似てるかな」と書いてありました。まだ乳飲み子ですよ。ジージの方の吹き出しには「おまえはジージを越えて行くんだ」と書いてあるんです。笑うしかなかったですね。

面白かったのはその後で、彼の奥さんから電話がきました。「うちの亭主がみっともないことをして」というのです。年賀状のことだなと思ったけれど私はしらばっくれて「何？」と聞きました。「年賀状が届いたでしょう」と言う。これを会社の上司にも出したんだそうです。上司に謝りの電話は入れられないので、とにかく友人知人には「ごめんね」の電話を入れているんだそうです。バー

バの方がよっぽどしっかりしていて、ジージはトロトロになってしまっているようで面白かったなと思っています。

エッセイの書き方のときもお話ししたのですが、どこの家の孫も世界一です。が、どこの家でもそう思っているのです。全ての孫が世界一なんです。だからお宅だけではないのだと、これは意地の悪い言い方ですが頭の隅に入れて置いたほうがいいのです。そうしたら実際に孫のことを書いた人がごく少数になりました。あそこまで言われたら書けないと思ったのかもしれませんが、それまではごく少数だったのですが、秋田のお祭りとか行事について書いている人が多くなりました。ただ秋田のお祭りを書くときに「こんなお祭りはすばらしい」ということだけを書いてもエッセイにはなりません。だから自分がそのお祭りにどう関わったのか、どう関われなくて、嬉しかったのか、悔しかったのかという自分の気持ちが入っていないとダメなんです。うちの町の祭りはこうだ、竿燈はこうだと状況説明だけではエッセイにはなりにくいでしょうね。

そして、「男の不作法」として女の人のがすごく嫌がっているのが「妻や恋人以外の女性を褒める」です。これについては男の人は全然悪気がないんです。不作法だと気づいてもいない。けど言っただけは失礼です。

まして妻や恋人にとっては女優を褒められてもいやなわけです。タレントを褒めてもちょっとやっぱりどこかカチンとくるんです。例えば「吉永小百合ってきれいだよな。70才をすぎているんだろう。やっぱりあの方は別格だよな。一度でいいから会いたいな」とか言ったら、もうアウトです。相手が女優の吉永小百合だったらいいか、というそういう問題ではないんですね。若さや知性など自分が欠落している何かを突きつけられた気がしてしまうんです。

もっとまずいのは隣の奥さんやお向かいの奥さんを褒めてしまうことです。これはもう、それこそ命取りですね。集まってもらった方の中にもいました。マンションの隣の奥さんが綺麗で優しい人なんだそうです。夫は「隣の奥さんいいよな」とうっとりしているんだそうです。言わなければいいのに家に帰って来て「駅で隣の奥さんと会っちゃって、ここまで一緒に歩いてきたんだよ。かわいい人だよな。声も良いしね」とか言ってしまふ。夫は全然悪気がないんです。別に離婚して隣の奥さんと結婚するわけでもないし、不倫するわけでもなくて「隣の奥さんいいよな。色気あるよな」と言っているだけだから何の問題もないように思うのですが、やっぱり妻はブス一っとなってしまうのです。

ここは男の人が絶対に押さえておくべきところだと思います。結局自分にはないものを言われた気になるということもあるでしょうけれど、とにかく隣の奥さんでも、吉永小百合でも褒めるのはNGです。「君が一番」と言うのも嘘

くさいのでそこまで言うことはないのですが、お隣やお向かいの奥さんが綺麗だとか可愛いだとか色気があるとか言うのは、やっぱりタブーです。集まった女の人たちが口をそろえて言っていたんですが、奥さんは不愉快そうな顔をしたりカチンときたりするわけです。そうやって女たちがブスーっとなると、限りなく100%に近い夫がやきもちを妬いていると思うんだそうです。でも女たちは「全然妬いていない」と言います。全然妬いてないのに夫はそう思うんですね。「お前やきもちを妬いているの」と口に出してしまうおバカな夫もいるんです。「妬いているんじゃないくて不作法に対して不快なんだ」ということをなんとしても書いてくれと言われました。もちろん私も書きました。

これとちょっと重なることなんですが、もうひとつ男の人に悪気がなくて女の人がかチンとくるという不作法があります。女の人に「〇〇さんに似てますね」と言うことです。女の方は自分が言われたら嫌だからこういうことは言いません。この「〇〇さん」が問題なんですが、男の方は言ってしまふんです。

例えば美人女優の「黒木瞳さんに似てますね」と言われると「あら、やだー」とか大喜びで終わります。今はスポーツのアスリートも美人な方がたくさんいます。そういう人に「似ていますね」「似ていると言われませんか」とか言われると、とても嬉しくなります。これが似ていると言ってはいけない人がいるんです。それが誰なのかは女同士は分かります。男の方はおおらかというか、意外と気が付かないのです。だから男の方は誰かを褒めるときに、その人に似ていると言われて喜ぶか喜ばないかといことを、よーくわきまえてから言うべきだと思います。

実際に私の周りがあった話ですが、あるパーティがありました。立食のパーティで私は主催者の女の人とワインか何かを飲みながら立って話をしていました。そうしたらそのパーティで賞をもらった男の人が2人、わざわざ挨拶にきました。その2人は主催者に「この度はありがとうございます」のような挨拶をしていました。そのうちの1人が主催の女の人に向かって「××さんに似ていますね」と言ったんです。この「××さん」は絶対に口に出してはいけない人だったので、私はパニックになりました。××さんはいい仕事をしている人なんですが似ていると言われて喜ばれる人ではなかったので、まずいと思いました。この場を切り抜けるためにどうしようかと慌てましたが、とっさの助け舟を出せないのです。そうしたら案の定、似ていると言われた主催者の女性の態度がコロっと変わりました。さっきまでは「おめでとう。これからも頑張ってるね」というようなこと言っていた彼女の目から炎が出て、すっかり態度が変わってしまいました。褒めたはずの2人も、彼女が明らかに不愉快になったのは分

かったと思います。でもなぜ不愉快になったのかは分からないのです。私も困ったなと思っていたら、結局彼らの方が「今日はありがとうございました」と挨拶をしてさりげなくその場から離れて行きました。

「〇〇さんに似ている」と言うのは本当に要注意です。そう言いたくなければ、まず動物を思い浮かべたらいいと思います。例えば「カバに似てますね」と言っても、女性は誰も喜ばないと思いませんか。カバとかトド、ゾウ、イノシシそれからブタ、ワニ、フグとかいうのは似ていると言われても絶対に誰も喜びません。「似てますね」と言うときに「この人の顔はワニ系かな」とか「ブタ系の顔かな」とか考えたら言わない方がいいです。ただ言って喜ばれる動物もいるんです。たとえば足が細くて愛らしくてかわいいバンビです。意外とネコもそうです。今はイヌも喜ばれるんですが、色々なイヌがいるので犬種を言った方が良いです。「トイプードルに似ている」と言われると喜ばれますが「チャウチャウに似てる」と言われると微妙でまずいかもしれません。私はまずは動物に当てはめてみて「トドじゃまずいな。バンビと言われたら喜ぶ。でもこの人にバンビとは言えない」となったら言わないことです。これが一番だと思います。

それから6つ目に意見が多かったのは「男がプレゼントの意味を汲めない」というのです。女の人からもらったプレゼントには好きとか愛してる以外にも意味があるんですが、男の人は分からないと言うんですね。女の人がある人のためにプレゼントを買ってきた意味を汲めない男たちがいるというんです。聞き取り調査でも出ましたし、読者カードでも相当ありました。

私自身が経験したことですが、あるとき男の人からパーティのお誘いを受けました。招待カードも届いていましたが、どうしようか決めていませんでした。そうしたら彼から電話が入りました。「会費制でもなくて50人ぐらいの本当に小さなパーティで、みんなもくるからきてよ」と言われたので行こうかなと思いました。でも会費制じゃないというのは逆に困るんですね。何かを持って行かなくてはなりません。ワインは重いし、チョコレートやお花はいっぱい届くと思いました。私は考えた末にやっぱりお花にしました。1週間前にお花屋さんに頼んで、目立つように黄色いチューリップだけの花束を持っていくことにしました。私がお花を取りにいくと、お花屋さんは黄色いチューリップを50本用意してくれていました。結構な重さの花束を持って、私はタクシーで会場に向かいました。彼は元々すごく格好いい人なのですが、その日は上品なダークスーツを着ていてさらに素敵でした。私がお花をプレゼントしたらすごく喜んでくれました。「黄色いチューリップか！ありがとう」と言ってガタ

イのいい体でひょいっと花束を抱き持ちました。私は喜んでもらえて良かったと思いました。でも「ありがとう」の言葉の次がすごかったのです。「うちの女房の一番好きな花と色だ。これは喜ぶよ」と言ったんです。私は愕然としました。「だめだ、こいつは女にモテないわ」と思いました。女房がいくらこの花が好きで黄色が好きでも、その場で言うことではありません。家に帰ってから「君の好きな黄色いチューリップを50本貰っちゃったよ」と女房に話せばいいのです。が、何もくれた人の前で言うことはない。これは意外とケロッとやってしまうんです。

それから私の友達も会社でお世話になっている人にバレンタインのチョコレートあげました。義理チョコというよりはお礼のチョコレートですよね。彼女は怒っていました。20年くらい前のことですが、当時3千円くらいするチョコレートを選んで買って、会社のロッカー室とかで「お世話になりました」と言って差し上げたら、彼は「えー、僕に。何もしていないのに、ありがとう」と言ったそうです。そして包装紙からチョコレートのブランドを見て「これ、▲▲▲のチョコレートじゃないですか」って言うので「そうです」と言う。「うちの娘が今反抗期で口もきいてくれないんだ。けどこここのチョコには目がないから会話のきっかけになるかもしれない」と言ったんだそうです。その女の友達は彼の見えないところで「クソツタレ」と毒づいたそうです。とにかく「このプレゼントは自分がもらったんだ」ということを、頭に置いておかなければなりません。

今までも話したことがあったかもしれませんが、プレゼントについてもうひとつ別のお話があります。あるとき私の友達がお世話になった人と食事をしたそうです。そのときに相手は男性1人で友達は女性2人連れでした。彼は会社員ですが水彩画を描く人なので、いつも水彩絵の具を大切に使っていました。それで彼に何十色かが入った水彩絵の具を「お世話になりました」と女性2人でプレゼントしたそうです。彼は「僕の使っている絵具が良く分かったね」とすごく喜んでくれて、横の空いている席にその絵具を置いたそうです。そうやって楽しく会食をして、終わってそれぞれの家に帰ったのですが、その後です。

そのお店を予約した友達のところにお店から電話があって「お客様、絵具をお忘れではありませんか」と言われた。男の人は隣の空いている席に絵具を置いたので、忘れて帰ってしまったんですね。もう1人の彼女もカンカンに怒り、それで「この忘れて帰ってしまった絵具をどうするか」となった。すると1人の彼女は意地悪く「おもしろい、様子を見よう」と言ったそうです。

でも3日経っても4日経っても彼は気が付かないんだそうです。会社で会っ

でも「この間はごちそうさまでした。お礼をしていただくようなたいしたことでもないのに」とそこまでは言うのに、あんなに飛び上がるほど喜んだ絵具を忘れたことは全然言わないだそうです。結局覚えていないと言うことで。彼女たちは「彼は欲しくなかったのよね」ということになりました。

それで1週間か10日くらい経ったときに、1人が彼に「絵具を忘れて行ったとお店から連絡があったんだけど」と話しました。すると「そうなんだ。ずっと探していたんだ」と言ったそうです。「でももう1週間も10日も経っている。普通は真っ先にお店に電話するでしょ」と彼女は言っていました。「わかった、さっそく取りに行くよ」と言ったそうですが、もう1人の彼女が「あれは美術大学の学生もすごく欲しがっていたからあげました」と冷たく言ったそうです。そして「二度とアイツの仕事はやらない」とも言っていました。たったひとつのことで命取りになるんです。こういうことってあるんですよ。

もうひとつ男の人が下手なのが「美味しくない」です。つまり何かを食べた時、「まずいと言うタイミングを汲めない」と女の人たちはよく言うのです。

例えば私が会社に勤めていたころ、瀬戸内海の港町で生まれ育った男の人が入社してきました。大学は東京だったのですが、ずっと瀬戸内で育った人なんです。当時はお昼になると幕の内弁当のようなものがみんなに配られて、自分の席で食べていました。昭和40年代の半ば頃はまだ社員食堂のようなものがありませんでした。私の席の隣にその彼が座っていました。お弁当を食べているときに、特に魚のおかずを一口食べると必ず「うまくない。これ冷凍だな」と言うんです。毎回「うまくない。冷凍だ」と言うんです。ついに私はブチ切れしました。「70円かそこらのお弁当に冷凍じゃない魚を持ってこいというあなたの方が変でしょう。だったらこのお弁当は断って、出勤してくる途中でデパートでも料亭でもいいから高級なお弁当を買って来て食べなさい」と言いました。私は鼻っぱしらが強かったので、私が会社を辞めたときにみんながほっとしたと言うんですが、このことについては周りの人たちも不快に思っていたようでした。別の女性も「冷凍でまずいと言いながら、いつも全部食べているじゃない」という話になりました。この「まずい。おいしくない」ということは、どこのタイミングで言うかということなんです。果たして言う必要があるのかということも、とても大きなものだと思います。

もうひとつ、これも私が会社に勤めていたときの話なのですが、社内結婚した人がいました。「遊びに来て」と何度も言うので私たち4、5人で彼と彼女のスイートホームを訪ねました。そしたら彼女はすごく手の込んだ手料理を次々に出してくれました。とてもおいしいお料理なので私たちは「あなたこん

なにお料理上手だったけ？」とか言っていました。それを夫は一口食べるごとに「辛い。まずい。生だ。砂糖が多い」などと、いちいち言うんです。それで私ともう一人の友達は何とかしなくちゃと思いました。「こんなにおいしいのになんで」と彼はお客さんに気を遣わせているんです。彼女もショックを受けている感じでもなくて、しょっちゅう言われているんだなと思いました。

結局その日は「うまくない」という気まずい雰囲気のまま帰ってきました。その翌日か翌々日か会社に出勤したら、一緒に行った女の社員が彼を叱ったと聞きました。私はその場にいなかったのですが「あんな風にまずいとか言ってはだめ。お料理おいしかったでしょ」と言ったそうなのですが彼は「まずいものをまずいと言うのは大切なことだ。それで鍛えられて上手になっていくんだ」と答えたんだそうです。「まずい物をまずいと言うのは夫の務めだ」と思っていたようです。彼女が言うには「彼はたぶんお店でも“まずい”と言うんだろうね。その店を鍛えようと思っているのかもしれないね」とせせら笑っていました。これも難しいところだと思います。

私が最近印象に残っている言葉があります。「朝夕の食事はうまからずともほめて食うべし」というものです。これを誰が言ったと思いますか。伊達政宗です。戦国時代の武将がこれを言ったんですね。これは作ってくれる人の励みにもなるし、まずいと言うことで人を鍛えようなんて思っていないと思います。まずくても「うまい、うまい」と言って食べる。これをあの伊達政宗が言ったんですから。

私は大河ドラマで毛利元就を書きましたが、伊達政宗も毛利元就と共通していることがあります。それは「人心掌握術」なんですね。例えばおいしくないのに褒めて食べているというのはずるいやり方と言われるかもしれませんが、人の気持ちをガッチリつかむというのはやっぱり策略家なんですよ。毛利元就にもそれがありません。彼は戦から戻ってくると城の庭で殿様自らご苦労さん会を開いていました。「今日は実にご苦労であった」と下っ端の侍や兵士たちも直接殿様に褒められる機会になって、すごく緊張するけれどとても嬉しくなります。声を掛けてもらったから次の戦はもっと頑張ろうと思うわけです。

でも元就も政宗もこれだけではないのです。人の気持ちをガッチリ掴むために、もう一歩先を行っているんです。元就の場合は右手にお団子をもって左手にはお酒を持って、一人ひとりに「君は酒が好きか、餅が好きか」と聞くんです。そうすると酒飲みの人が「酒が好きです」と言うと「そうか、まあまあ一杯。私も酒が好きでね。酒は百薬の長だ」と言って、左手に持っていたお酒をふるまうんです。そして「次もまた頑張ってくれたまえ」などと言うんでしょ

うね。部下も「ははーっ」となりますよね。そうやって全員に声をかけるんです。次々に声をかけて「餅が好きです」というと「そうか、実はわしも大きな声では言えないけれど餅が好きでな」と言って、甘いお餅を出すんです。酒が好きと言った人には“酒は百薬の長”と言ひ、餅が好きと言った人には”酒は百害の長“と言うんです。元就の資料にもこのことが書いてあって感動しました。そうやって人心を掴んでいくんですね。

戦国時代の有能な武将からは学ぶところが確かにたくさんあります。だから政宗は「今朝のご飯はおいしくないな」と思っても言わずにほめる。まずいと言うとお台所をしている女の人たちが不快に思って、傷ついて働きが悪くなって、役に立たなくなることもあり得る。だから「うまかった」と言うことで、殿様のためにもっと頑張ろうという気持ちにさせるのです。これは大変に面白いことだと思いました。

それから男の人の嫌なところとして多く出たのは、これは私も嫌なことなんです。手紙やメールを書くときに（笑）（泣）（怒）（汗）とかいうのを書くことです。最近増えてきたのは（苦笑）ですが、どれもこれも、ものすごく頻繁に使います。これは男性も女性も使いますが、特に男の人がやるとみっともなく見えることがあります。

どうしてかという、結局、冗談とし受け取って欲しいとか断言したくないとか、テレ隠しのときとかにこれを使うからです。

私は昨年まで母校の武蔵野美大でゼミを持っていました。月1回だったので、その度に課題を出して、それを1日の遅れも許さず集めていました。でも遅れる人がいるんです。そういう人の中に「20枚と言われていたのに枚数がたりなかった。16枚しか書いてないけれど中身には自信があります（笑）」とメモがついていたりします。私はそれだけで嫌になってしまいます。

それから「この度会社から〇〇支店の支店長を命ぜられました。なんで僕のような者が（汗）。でもこんなチャンスは二度とないと思い、自分には力があるんだと言ひ聞かせています（苦笑）」と書いてくるんです。この（汗）とか（苦笑）とかは書くなよな、と思いますよ。これを文末に書くことで、書いたことがなあなあになるというか、冗談めくから気が楽なんです。

今、断言する人がいなくなってきました。テレビのインタビューを聞いていても気がつくと思います。有名なアスリートや選手でも一般人でも、やたらと言葉の中に「かな」が多いのです。例えばこの間もあるスポーツで優勝した選手がインタビューを受けていました。「優勝おめでとうございます」と言われて「ありがとうございます。でもタイムが良くなかったのも、そんなに喜べ

ないかな」と答えていました。なぜここで「かな」が要るのか不思議です。「タイムが悪いから喜べない」と言えばいいだけなんです。でもそこは断言しないんです。「かな」なんです。

もうひとつ、このところ高齢者の事故が多いですが、若い人はスマホを見ながら運転して事故をおこすことが増えているようです。目撃者や町の人インタビューでも「運転手はスマホを見ていました。どう思いますか」と聞かれると「やっぱりスマホを見ながらの運転は良くないかなと思います」とここでも「かな」を言うんです。スマホを見ながら運転するのは良くないに決まっているんだから、断言しなさいよと思いますが、しないんです。周囲に合わせるとか、自分だけが浮きたくないとか、断言したくない気持ちはあると思います。多くの女の人たちがよく言っていたのは、この（笑）（泣）（怒）とかをつけることによって、結局みみっちく見えると言うんです。断言できないところは「かな」でもいいのですが、できるところは断言すべきです。みみっちく見えるので、特に男の人にはやめて欲しいのだそうです。「夏と違って暑いじゃないですかあ」なんて言うのを聞くと、「夏は暑いのよ！」と言いたくなります。

それから私自身が経験したことですが、男の人はわりと「～じゃないからわからない」ということを言います。私が経験したのは、テレビであるスポーツの中継をしていました。そのときの解説者は私の割と好きな人だったのですが、試合が劇的に盛り上がってきました。例えば野球なら9回裏ツーアウトの場面に強豪バッターが入ってきたというシーンです。相撲ならば優勝決定戦です。2人とも15戦全勝で1人は横綱でもう1人は平幕だった。これが決定戦で当たる。勢いは平幕の方にあるけれど、力は当然横綱にある、という場面でこの一番がどうなるかというときに、実況アナウンサーが言ったわけです。「すごいことになってきましたね。どうなるでしょう。選手はどんな気持ちでいるのでしょうか」と言ったのです。すると私が好きだった解説者が「僕は選手じゃないのでわかりません」と答えたんです。相撲なら「白鵬はどういう気持ちでいるんでしょうね」と聞かれたときに解説者が「僕は白鵬ではないのでわかりません」と答えたら最低ですよ。

あなたが白鵬でないことはみんなわかっているわよ、ということなんです。気を付けて聞いていると結構聞くんですよ。これが女性たちに嫌られるというのは、テンションの高いところで言うからだと思います。アナウンサーが興奮していて高揚した口調で「どうなるでしょう」と言っているときに、解説者が「僕はわかりません」と落とすんですよ。こういうのを「水をぶっかける」というんです。センスがないこと、この上ない。

そのときも出た話なのですが、渋谷駅の忠犬ハチ公の話になりました。元々は秋田の犬ですが、渋谷で有名です。「亡くなった飼い主をハチが雨の日も風の日も渋谷駅に迎えに行っていた。どういう気持ちで待っていたんでしょうね」という話に「さあ、僕はハチじゃないのでわかりません」と。みなさんは笑いますが、結構こういうふうに言うんですね。私は困ったなと思っていても、向こうに悪気はないんです。むしろ気の利いたジョークだと思っているんじゃないか。でもジョークは相手に恥をかかせないものです。そういう意味ではこれはユーモアでもないし、ジョークでもありません。そのときはある1人の40代の女性が「これは要はですね、頭が悪いことを見せているだけです」と言って、そこで終わってしまいました。その通りです。

あと20分で『女の不作法』を全部までいけるかわかりませんね。「女の不作法」は男の人に集まってもらって聞き取り調査をしました。女にも不作法があると書いていました。女性は自分と比べて話すので、ちょっと遠慮したところがあります。男性が言う女性の不作法の1つは「飛び入りを連れてくる」というものでした。

例えばA子とB子はやっとスケジュールがあって、久しぶりに会うことになりました。A子が「話したいこともあるし」と楽しみにしているときに、B子から電話が入りました。「C子さんという友達がいるんだけど、明るくて楽しい人だからあなたと合うと思うんだ。連れて行っていい？」と言うんです。A子とC子は全く面識がありません。B子とC子は仲が良く「今度A子と会う」ということを言ったんだと思います。そうしてC子が「A子に会いたい」となったんだと思います。B子が「じゃあ来る？」とC子に言った後でA子に電話してきたんだと思うんですね。一度言ってしまっていますから、これはもうB子はC子を断れません。A子が「えーっ」と嫌がる声を出しても「全然気を使わないタイプで、明るい人よ。あなたと気が合うわよ」とか言う。A子は嫌とは言えなくなります。当然、C子は来てしまう。

当日A子、B子、C子がそろいます。揃って集まったときの話題がどうなるかという、A子とB子の間の密かな話題は一切できません。そこにC子がいるから話題が限られています。そうすると、久々に会ってしたかったあの話もこの話も全部だめです。なぜかC子が退屈していないかB子が気にしたりする。A子も「あなたの趣味はなに？」とか気を遣って言ってしまって疲れ果ててしまう。こういう飛び入りを連れてくるというのは、圧倒的に女の人が多いということが分かりました。これはB子がC子に日常的に「今度A子と会う」と言ってもいいが、知らない人を飛び入りさせるのがルール違反、マナー

違反だという怒りの声が圧倒的に多かったです。

それから男と女の不作法の中で一番反響が大きかったのが「バタバタしてしまして」という言い訳です。これはすごく良くみんなが使っていることだと思います。私も実際に驚いたことがありました。

私は脚本家ですけども脚本や小説ではない仕事もあります。あるとき、あるグループと仕事をする事になりました。きちんとした企業の人たちでしたが、担当に就いた女の人は初めての仕事でした。決められた原稿枚数の原稿量を書くことになっていました。私は締め切りに間に合わせてちゃんと書いて、約束の枚数をそろえて渡したところ、担当の女の人はとても喜んで「1日も遅れないで書いてくださって、ありがとうございます。さっそく読みます」と言いました。

エッセイでも小説でもあらゆるものがそうなのですが、原稿を渡すと遅くとも3、4日以内に読んで簡単な感想をくれるようになっています。電話だと「おもしろかった」しか言わないこともあります。 「あのシーンはおもしろいですね」とか「あのキャラクターはいいですね」とかいう通り一遍の感想です。3日以内に感想を聞いて、その後でお互いの都合のいい日に打ち合わせをしましょうとなります。打ち合わせでは細かく話し合って「このシーンはカットしてもいいのでは」とか「ここにこういうのを入れたらどうか」「これを入れたらかえって表現に力がなくなるのでいらない」とか細かくチェックするわけです。それはシナリオ以外の作品でも同じようなことをします。

でも、その大喜びして原稿を持って行った女の人から3日経っても4日経っても返事がないんです。本当なら打ち合わせをしなければならない1週間経っても10日経っても2週間経っても何も返事ありませんでした。私はそのときに「原稿がよっぽどつまらなくて直すのにすごく考えごとをしているんだろう」と思いました。あるいは海外出張なのかなとも思いましたが、その場合はちょっと連絡を入れるのが普通です。「どうしちゃったんだろう、連絡がないな」とずっと思っていました。何週間か経った頃に、その会社と過去に仕事をしたことのある脚本家に電話をかけました。「実は全く連絡がないんだけど」と話すと、それを聞いた彼の方がカンカンに怒って「俺だったら原稿を引き上げる。降りろ」と言うんです。そして私に「降りろ」と言うんです。それで私も「そうか、降りようかな」思ったのですが、ちょっと面白がってしまったんです。「このまま放っておくと、いつまで黙っているんだろう」と思ってしまったんです。その原稿が進まなくて困るのは向こうなんです。私は出しているわけだし困らないのです。それからしばらくしても全く梨の礫でした。

そうしましたら忘れもしない1ヵ月経ったときに、封書が彼女から届きました。封書の中に何が書いてあったかという「原稿拝読しました。大変面白い原稿をありがとうございました。バタバタしておりまして連絡が遅くなり申し訳ありません。主人の実家に挨拶に行ったりしてはしまして…」と書いてありました。「バタバタしてはしまして」ですよ。

私は「バタバタしてはしまして」はプライベートではよく聞きますが、仕事では初めてだったのでとても驚きました。この「バタバタ」というのは、見事なオノマトペで見事な擬音です。いかにも鳥が忙しそうに羽をバタつかせているようで落ち着かない感じがしますよね。だから「バタバタしていたんだな」と思うのですが、仕事で1ヵ月ほったらかしにして「バタバタしてはまして」はない。彼女の「夫の実家に挨拶」というのも、彼女とは初めての仕事ですから、新婚なのかどうかも私には全然わかりませんでした。でも夫の実家に1ヵ月も挨拶って、何だろうと思いました。そんなに会社も休めないと思います。だから1日、2日は夫の実家に行ったかもしれませんが、あとは忘れていたか後回しにしたかです。

これは外部スタッフに対してとても失礼なことです。私はどうしようかと迷ったのですが、その会社の男の人に「何かバタバタしていたらしくて原稿の打ち合わせをまだしていない。1ヵ月間返事を待ちましたが、ご主人の実家の挨拶で忙しかったみたいですね」と言いました。「そんなことをしていたのか」と彼の血相が変わり、「担当を降ろします」と即断です。そしてすぐに男性担当と変えてくれました。

次に担当になった男の人はすごくできる人でしたが、改めてこのとき「バタバタしてはしまして」は使わない方が良い言葉だと思いました。この2冊の本を出して60篇の不作法について書いたのですが、このやっぱり「バタバタしてはしまして」がナンバーワンの反響でした。「バタバタしてはしまして」や「アタフタしてはしまして」とかもそうですが、「私も良く使っています。こんな失礼なことはないですよ」と読書カードにもすごく書いてありました。山田詠美さんも何かの週刊誌に「バタバタには驚いた。私も使ってる」と書いていました。とにかく一番大きな反響でした。

本当はもっとご紹介したいのですが時間がきてしまいました。最後になるでしょうか、もう1つは「女の人に本当のケチが多い」です。もちろんケチは男の人にも女の人にもいるのですが、女の人には本当のケチが多いということがあります。

これは私の実体験なのですが、あるときに友達が「明日の日曜日、ちょっと

家にきてくれない」と言うんですね。「なんで」と聞いても「ちょっときて欲しい」と言うんです。それで日曜日に彼女の家に行きました。平べったい箱がテーブルの上に乗っていました。彼女がその箱を開けて「これ価値ある？」って聞くんです。箱の中には油絵が一枚入っていました。山だったか海だったか忘れましたがブルーがやたら多い絵でした。「これ価値あるかな」と聞かれても無責任なことも言えませんよね。

私はそのとき、習いたての日曜画家が描いた絵にしか見えなくて全然良くないと思ったんですが、万万が一それが有名画家だったりすると困るなと思って「そうねえ」と濁しましたら、彼女が「本当のことを言って」と言うのです。それで「なんか有名な画家の絵なのかもしれないけど、私はちょっと素人っぽいかなと思う」と言いました。

私をわざわざ呼んだのは「美大出身のあなたならわかるでしょ」ということだったのだと思います。でも美大出身でもそんなことはわかりません。彼女が言うには「実はこの絵は頂き物」なんだそうです。彼女の家から2、3軒離れたところに1軒の裕福なお宅があって、その奥さんと親しくしていたんだと思います。あるときその奥さんが訪ねてきて「明日から家族全員でオーストラリアにゴルフをしに行くの。申し訳ないけど犬の散歩と庭の水やりを頼めないかしら」と言われたそうです。友達はお姉さんも一緒に住んでいて人手があったので「わかった、やっておく」と引き受けたらしいです。

そしてそのお宅は家族でゴルフ合宿に行って、帰ってきから奥さんがお礼を言いに来たそうです。「良かった。助かった。犬も元気で花もしおれてなくて良かったわ」と言って、その平べったい箱を下さったのだそうです。彼女はオーストラリアのお菓子だと思って、その場で開けたそうですが、奥さんはニコニコしている。そして箱を開けたらやたらブルーの多い絵が出てきて「えっ？」と思ったそうです。そしたら「うちの主人に最近油絵を始めたのよ。これカルチャーの先生から筋が良いってすごく褒められた絵なの。飾って」と言うんだそうです。結局これがお礼だったのです。

究極の本当のケチというのは自分にはお金をいっぱい使うけれど、他人には使えないんです。これが本当のケチなんだなと思いました。自分や子供のためにはいくらでもお金を出すけれど、他の人には舌も出たくないのが本当のケチです。私もこれはひどいなと思いました。私もゴッホでないことが分かって安心して「正直言ってこれはすごく素人っぽいわよ」と言うと「そうでしょう」と彼女も怒っていました。

まだまだ本当のケチに関しては女の人の例がたくさんあるので、もうひとつ

紹介します。これも私の実体験です。親戚の者が亡くなったんです。それでお葬式をするので私たちも行きました。そのときに故人とご夫婦同士で親しくしていた家の奥さんから「先約が動かさなくて、お通夜にも告別式にも葬儀にも行けなくてごめんなさい。とても仲良くしてもらっていたのに」と電話がありました。「こちらこそ仲良くしていただいてありがとうございます。無理しないでくださいね」と親戚の者が答えていました。そしたら「行けないから香典を送った」と言ったそうです。それで「お気持ち本当に申し訳ありません」と親戚の者が言って電話を切りました。ところが3日経っても4日経っても初七日が過ぎても全然届かないんですって。

親戚の者がどうもおかしいとなって、私の家に相談の電話がありました。「全然届かないんだけど、どうしたらいいんだろうか。本当に送ってくれましたかと聞くわけにもいかないし」と言うのです。母がそのとき留守にっていて、私がその電話に出たんですね。「でも届かないというのは郵便事故かもしれないし、やっぱりそれは相手に言った方が良いと思う」と私は答えました。「そうね」となって彼女がまず郵便局に確認をしたところ、郵便局からは「そういう書留はありません」と言われたそうです。そこで相手の家に電話して「郵便局に調べてもらっても書留はないと言われたので心配しています。もしかして普通郵便でお送りいただきましたか」と聞いたそうです。そしたらケチのおばさんは「あれ、普通郵便だったかな、どっちだったかな」と明らかに慌てている様子だったと言います。そして「また送ります」と言うので、彼女は「いいです、いいです。もう少し待ちますから」と電話を切ったそうです。その数日後に届いたそうです。結局1回目は送っていないんです。その親戚の家の娘が怒って「ママ、2回もお香典を送ってもらってすみませんと言ってやれ」と言ったそうです。

このケチなおばさんご夫婦もハワイに家族4人で行って、家族のゴルフコンペするような裕福な人たちなんです。なまじお金があると本当のケチって生まれやすいんだなと思いました。まだまだたくさんあるのですが、面白ければ次回も男をもう少し、女ももう少しやりますから、お誘い合わせでいらしてください。質問がありましたらどうぞ。

藤本 内館先生どうもありがとうございました。どなたか質問がありましたら挙手をお願いいたします。

質問者 今日楽しいお話をありがとうございました。私も『男の不作法』『女の不

作法』を楽しく読ませていただいています。60篇を順番に読みました。質問はくだらないことなのですが、講演にいらしたときにぜひ聞いてみたいと思っていたことです。番号の順に関係があるのかと思って番号通りに読んでいたのですが、私の場合は個人的に『男の不法作法』の前から読むとあまり当てはまらなくて、後から読むとぴったりあてはまりました。この順番というのは誰が考えたのでしょうか。

内 館 後の方が当てはまるということは「思い出話に燃える」とか「僕はこれ、事実を言っているだけだよ」とか「空疎な言葉を並べる」とかでしょうか。「空疎な言葉を並べる」は男の人だけでなく女の人にもあることだと思います。この2冊の本の順番は、飽きないようにバラバラに掲載しているんです。だから最初に書いたものへの読者カードが多かったかと言えば、そうではないんです。飽きないようにバラバラに入れました。読む人を飽きさせないようにというだけなんです。

もし他の質問がなければ、相撲の朝乃山の話をしませんか。朝乃山は令和初の優勝を飾った富山が生み出した良い力士です。103年前に富山は太刀山という第22代横綱を生み出しています。この横綱もすばらしい力士でした。そのあと103年間、富山で横綱を狙えるような力士がいませんでした。

朝乃山は横綱を狙える力士だと思います。気風がとてもしっかりしています。何が面白いかというと、今度テレビをよく見てもらうとわかるのですが若い人には珍しく四つ相撲なんです。ガンとぶつかってまわしをとりに行きます。右まわしを取って左をうつんです。顔もかわいいですしね。もう1人かわいいのが貴景勝です。この2人でしばらく相撲はもつかなと思っています。

みなさん国技館にいらしたときにぜひお買い求めいただきたいのが、ほとんどの人が持っていないと思うんですが、大関以上は四股名が書かれている焼酎があるんです。瀬戸物の瓶とか甕みたいなものに入っているんです。栃ノ心とか遠藤は大関ではないのですがあります。お茶屋さんに例えば「高安の焼酎ください」と言うと「麦ですか、芋ですか、米ですか」と聞かれます。そのときに好きなものを言って買って来て誰かにプレゼントすると、とても喜ばれます。朝乃山はまだないかもしれませんが、もらった人はとても喜びますよ。

私はあるとき「稀勢の里」のを箱買いしたことがあります。1本3千円ですが、早くいかないと人気力士のは結構売り切れていたりします。これはすごくみなさんに喜ばれるお土産になると思います。ただそれを貰ったときには「息子が一番好きな力士なんだよね」と言っただけです。

相撲はこれからさらに面白くなっていくと思います。白鵬が体力も気力も段々落ちてきていますから、この後だれが引っ張っていくかというのがあります。本当は高安とかあのあたりが引っ張って行ってほしいのですが、若手が出てきました。そうは言っても次の場所は貴景勝は角番です。

今申し上げたように、最近相撲はかわいい顔が出てきましたから、スー女も喜んでいると思います。ただ秋田から力士が出ないんですよね。豪風の後、下の方にはいますが豪風くらいメジャーになって、顔が分かるくらい覚えられて、三役を張るくらいの力士が欲しいなと思います。でも富山は103年振りですから。百年単位で待っていれば、きっと秋田も素晴らしい力士が出ると思います。

本当に長い時間ありがとうございました。

藤 本 内館先生どうもありがとうございました。時間になりましたので内館先生の講演会を終了させていただきます。もう一度先生に盛大な拍手をお願いいたします。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「自民党の新政権はどうか!? —そしてシュリンクする秋田—」

講師 東北福祉大学特任教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福 岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 平成30年9月1日 午後1時～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

福 岡 今日一番目は加計学園の財務危機についてです。7月30日に『月刊テーマミス』という会員制の雑誌に、加計学園の財務報告についての記事が掲載されました。財務報告が出ていないということで、それについて公認会計士やジャーナリストなどのいろいろな人達の20人くらいのグループが追及をしました。平成29年度の決算、つまり平成30年3月31日の財務情報を取って表に出しました。その結果、去年までは黒字で前年度から繰り越した預貯金が190億円くらいありました。でも、この金額も銀行口座の預貯金はある程度ごまかすことができます。190億円くらいあった預貯金が今年の3月31日には170億円くらいに減って、借金である債務が300億円くらいに膨らんで、事実上の赤字に転落しました。加計学園にはグループがいくつかありますが本部の岡山にある岡山理科大学だけは年間でもまだ9億円くらい黒字です。でも千葉科学大や倉敷芸術大学や理科大学の付属高校・中学やいろいろな専門学校やインターナショナルスクールなどの関連校を足すと、ついに今年は4億円か5億円の赤字になったのです。おかしいでしょう。「100何十億円の預貯金があっても借金がこれだけあるということは財務的危機になった」と『テーマミス』とそのことを追いかけている記者たちが調べてやったのです。そのときに突然来年度の予算というものが出て来ました。つまり今年、平成30年度の予算です。もちろん想定ですが来年の3月31日、つまり今年度末に10億円の赤字になるというのです。おかしいでしょう。この1月から3月の間に今治の獣医学部の関係で今治市と愛媛県から41億円のお金が振り込まれているのです。それだけお金を貰っていたのに突然どうして赤字になってしまったのか、ということで今までの預貯金が底上げされた粉飾の可能性はあるだろうとなりました。昨年12月に三菱UFJ銀行が本店の指令によって加計学園の60億円の融資を断りました。ところがこの4月7日、突然40億円の融資が三菱UFJ銀行の岡山支店から下りています。決裁したのだと思いますがそれを頭の片隅に置いておいてください。ところがUFJ銀行が「どうも加計学園の預貯金はおかしい。本当のことは見せろ」と本気になって確認をしたのではないかとされています。架空なのか底上げだったのではないかとということがあったのではないかとされているのです。それに私学振興事業財団から無担保で融資されていた30億円の返済期限が切れているのに、このことについて3月に文科省から圧力があつたようなのです。それには文科省と安倍政権とのいろんな絡みがあるようです。前川さんの一件と接待を受けた話といろいろな事件が関係しています。前の次官のほか1人、2人関係がありそうで逮捕者が出るかもしれないと、文科省に行っている教え子からの情報です。その絡みや愛媛文書のこと

で文科省が強く出てきていたということを入れておいてください。30億円の担保については、突然3月18日にあっちこちの土地をつけました。私学振興事業団もそのことを指摘されると文科省の外郭団体でもありますから、やっぱりそこは立場的に困ると思います。

普通、決算書というのは3月に締めてそれから1ヶ月くらい整理期間があって、毎年5月の連休明けにくらいに印刷されたものが出るものですが、加計学園はずっと出ませんでした。それが突然7月のある日に80ページくらいのもので出てきました。これはネットで見ることができます。それには事業報告しか出ていないのですが、その中に簡単な決算報告がありました。その後の8月27日に10ページくらいの財務報告が出たのですが、中は真っ赤な状態でした。それを見ると運営資金は240億円なのに借金が300億円あります。今治市などから40億円貰っているのに、この1年で借金が100億円増えていました。どうも今までのがインチキだったような気がします。

その後の7月31日か8月1日、ちょうど1月前のことですが、文科省が通告という文章を約600の私立大学に送っています。定員が割れていて過去3年間赤字経営の場合、学部や学校の閉鎖を含めた検討をするという内容です。文科省も頭にきているので「過去3年間定員割れで赤字」という条件です。加計学園は岡山理大の他は全部赤字ですから、この通告はわずか1ページほどの文章ですが突然出たのです。そこでみんながピーンときたのが“加計学園危ないんじゃないか”ということでした。これが文科省と安倍政権と前川事務次官の問題を含めた対立です。水面下ですずっとそういう問題が続いているのです。でもここに来てどうにも二進も三進もいかなくて赤字決裁をしてきたことが、突然財務危機に陥ったように見えているのだと思います。今まで株や預貯金で200数十億円のお金を持っていたのに、愛媛や今治から40億円を貰っていても突然170億円になって真っ赤な赤字になるなんてどうなっているんだと思います。来年はもっとひどくなると思います。定員割れになると文科省の補助金は当然カットされます。人数によって1割だったり2割だったり3割だったりするわけです。加計学園には大学が3つあります。岡山理大、千葉科学大学、倉敷芸術科学大学です。千葉科学大学は千葉県銚子市が誘致したのですが、第二の夕張市になってしまって大変なことになってしまいました。この3つと岡山理大の附属高校も定員が5割に達していません。広島に加計学園は学校のもはや体を成していないので情報は出て来ません。私は今広島の大学に行っているので中国新聞に行っている教え子に調べさせているのですが、この1週間では「よく分からない」と言われています。3日前に『テミス』の最新刊9

月号が届きましたが、同じようなことが書かれてありました。財務危機になった突然の原因は何なのか、文科省の通告で3年赤字で定員割れだったら学校閉鎖ということもあり得ます。千葉科学大学と倉敷芸術科学大学は間違いなくそれに値します。岡山理大も実を言うと今年赤字になります。定員は今治の獣医学部はお医者さんの獣医学科の方は定員より増えています、獣医保健看護学科というところが定員割れで、全体では98%の定員割れになりました。結局全部が赤字で定員割れの状況になっているということが、この1ヶ月で表に出て来て分かったことです。頭に入れておいてください。

問題は2番目です。7月5日に野党合同のヒアリングがあって国民民主党の山井和則という私の教え子も参加しました。3年前から文科省が行っている「私立大学研究ブランディング事業」について追及が行われました。この事業は大学をブランド化するのを助成するというもので、東京医科大学がズルをして3千5百万円くらいもらって誰かを入学させてしまったということがありました。調べたらこのブランディング事業の助成対象に岡山理大と千葉科学大学が入っていました。岡山理大は2千980万円で2つの大学の合計で年間5千万円くらいもらっているのです。これを向こう5年間もらえるのです。他の学校は年間2千万円前後くらいなので圧倒的に高い金額だと分かると思います。千葉はもうボロボロの大学なのにその2校がもらっていることはすでに表沙汰になっているのですが、私がipadを駆使したりいろいろな資料を確認しながら15時間かけて調べた結果、3校目があったのです。それはまだ表に出ていません。来週早々に週刊誌に言うかどうかを悩んでいるところです。3校目の大学は加計学園グループでもあるのですが加計孝太郎のお姉さんの加計美也子さんがやっている順正グループの大学です。順正グループには大学が2つあります。ひとつは吉備国際大学です。岡山県の吉備高原に高梁市という市があります。倉敷の少し上のところにある小さな市です。ここに福西志計子さんという大変立派なおばあちゃんがいて、順正学園というところで熱心に教育をしていたのですが、亡くなった後に加計孝太郎と美也子のお父さんが引き受けて高梁市と一緒に作ったに第三セクターの学校です。約60億円くらい高梁市が費用を負担しました。そうやって出来上がった吉備国際大学の中に、地域創成農学校というのを6年前に淡路島に作りました。これは兵庫県立志知高校という廃校になった学校の土地と建物を居抜きでもらいました。十数億円くらいです。加計学園ではなくて順正学園ですが、修理費などを合わせると約30億円を同じグループがもらいました。私の調べではこの吉備国際大学が昨年度、平成29年度のブランディング事業で助成金をもらっています。金額は文科省が

触れません。ネットで検索してもなかなか見つけれませんがおそらく2千円から2千数百万円の向こう5年間だと思います。順正学園のもう一つの大学は宮崎県にある九州保健福祉大学です。初代理事長・学長は加計孝太郎です。この頃は加計孝太郎と加計美也子の仲があまり良くありませんが、どうしたって姉弟です。今日は詳しく触れませんがこの九州保健福祉大学もいわくつきの学校で、延岡市から約100億円近いお金をもらっています。このことは4、5年前に毎日新聞には出ています。15億円寄付してくれと言われて元JC（日本青年会議所）で加計孝太郎と関係があったのだと思いますが、延岡市長は約7億円の寄付金を出しています。延岡市議会は一応OKを出したのだと思いますが問題になっています。例えば秋田県や秋田市は秋田の私立学校に多少のお金は出しますが、ある程度のまとまった額というのはなかなか出しきれません。調べてみたら、この学校には預貯金が約140億円あります。借金は50億円くらいしかありません。中身はちょっとわかりませんがそんなところにどうして延岡市は7億円も出したのでしょうか。旭化成という大きな企業があって、ある程度豊かで裕福な自治体と言われていますが人口はどんどん減っています。延岡は地理的に非常に困難なところにあります。

とにかく、加計学園と順正学園のいわゆる加計一族がやっている5つの大学のうち3つに相場の約5、6倍と言われるブランディング事業のお金が出ています。この事業は、まず助成対象の大学になるにもなかなかの倍率で、そう簡単にはなれないのです。毎年180校近い大学が応募しているのですが、早稲田大学などでも難しく東京医科大学以上でなければ対象になれないのです。補助金の額も他の学校より多く出ています。文科省の規定には「1校あたり1千5百万円から2千万円の補助」と書いてありますが、岡山理大は2千8百万円から2千9百万円です。理由はわかりません。そして吉備国際大学の地域創成農学校は去年もお金をもらっていますが、何と2018年4月から地域創成農学部がありません。調べてみたら農学部になっていましたが、定員割れして半分です。そんなところに助成を出しますか。そういうところに向こう5年間助成を出しているのです。「どうみてもおかしいでしょう。2大学ではありませんよ、3大学ですよ」ということを今、言おうと思っています。

3番目の問題です。みなさんお家に帰られたらネットで「#ケチって火炎瓶事件」というのを検索してみてください。国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」という真面目な記者たちが「不審な転落事故を調査しなければならない」と声明を出しました。8月7日に山岡俊介さんという60代半ばのジャーナリストが、東京の新宿東口のアルタビルの前で集会をやりました。それが終

わった後の夜の8時40分頃、地下鉄に乗るために地下道を歩いていた山岡さんが、飛ぶように21段の階段から転落しました。骨折と打撲で救急車で搬送されました。後で教え子たちと実地検証をしてみようなかと思っているのですが、ちょっとした足のもつれなどで5、6段くらいから落ちるのは私たちでもありえることです。でも彼の20段くらいの高さから飛ぶように転落したというのは、背中を押されたか突かれたのではないかと思っています。そういう突き落とされたかもしれない疑いがあるって新聞記者たちがその地下道付近の防犯カメラを確認したりしていますが、警察は一切調べようとしません。地下とはいっても新宿ですから、少なくとも防犯カメラのようなものはたくさんあると思います。山岡さんの時計が8時40数分で壊れて止まっていますから、どの場所でどういう時間帯だったのかということは全部わかっています。調べようとしたら、いつ誰がどんなふうになにかをしたのかは分かると思います。

レジュメにも書きましたが、これには下関市長事件というものが関係しているのだと思います。1999年、20年前の下関市長選挙のときのことです。元衆議院議員だった下関の地元の人が出馬してきて、安倍慎太郎が推していた現職の市長の当選が危ないということになりました。もう1人立候補した人がいましたが事実上の一騎打ちでした。この危ないとなったときに山口県警のOBである安倍事務所の秘書が、前科8犯の小山佐市という土地ブローカーの男に対立候補の誹謗中傷のビラを撒かせました。「彼は在日なので市長になったら下関は韓国に乗っ取られる」などと書いてあるビラを何万枚も作って配ったのが、山口県指定暴力団の工藤会高野組でした。小山と高野組の組長が懇意だったのです。ビラを印刷して証拠を残さないように組員数人が手袋をして配りました。最高裁の判決にも載っていますが、約束していた手数料は500万円だったのですが、この県警OBの秘書が300万円しか払わなかったので小山との間でいざこざになりました。結局、安倍が推した現職の市長が当選することができたのですが、それから1年経って2000年の6月から8月にかけて、安倍晋三の下関の自宅と事務所のカラージなどに4回火炎瓶が投げ込まれました。当然防犯カメラがありますから実行犯4人逮捕されましたが、それは高野組の組長、組員2人、小山の4人でした。裁判になって2006年に最高裁で判決が決まって10数年間服役していましたが、今年の春の2月、80歳になった小山佐市さんが刑期を終えて出所してきました。そして6月のある日、階段から落ちたジャーナリストの山岡さんが、小山さんに2日にわたってインタビューをして約6時間の映像を撮りました。そのときに安倍事務所が交わした警察OB秘書の署名と捺印入りの念書の現物3通も預かって山岡さんは持っています。念書

には「いろいろやってもらってありがとう。最後には安倍晋三に会わせる」などとあったようですが、本当に会ったかどうかはわかりません。小山さんは7月のある日から突然行方不明になっています。80歳になっていますが元気です。「もしかしたら…」という話よりも誰かから何かをもらってどこかに行ったのではないかと思います。真相はわかりません。だからその2倍の金額や何億円か積まれたら話してくれる気になるかもしれません。週刊新潮のインタビューが決まった途端に、間に入っているような人に止められてお金を持たされてどこかの温泉あたりで雲隠れして静かにしているのかもしれませんが。7月末の週刊新潮のインタビューの後に小山さんは姿を消して、真相を追求していたジャーナリストの山岡さんが8月7日に突き落とされたというのです。わずか1ヶ月ちょっとの話です。そして加計学園の財務関係のことが分かってきたのもこの1カ月です。

たまたま8月6日に広島原爆慰霊式典に行き関係者の方たちと呉の豪雨被害のことを話していたら、中尾ミエさんがどうしても現地に行きたいということで学生達と実状確認に行ってきました。とにかく何かできることがあればとの思いでしたが、電車の線路は潰れていて高速道路も橋が落ちるなどの被害にあっていただけ、今まではわずか30分くらいで行けるところに2時間かかりました。ミエさんが1時の新幹線に乗るということで朝6時に起きて行ってきてやっと間に合いました。戻ってきてホテルでからのんびりしようと思っていたら、メールなどでこのことについての情報が次々に入ってきました。その後も「先生チェックした方がいいですよ」と言われて、それからずっと1ヵ月間、朝5時から1日15時間も毎日調べたり書いて整理したりしています。それが下関市長事件、火災瓶事件です。最近は何国なき記者団までもが「日本の警察は調べるべきだ」と言っているのですが警察はやりません。まったく動こうとしません。どう見てもおかしいでしょう。ここまできたら日本の国はおかしくなってしまう。「ボーっとしてるんじゃないよ」と5歳の女の子が急に怖くなって怒るNHKの朝の番組を見ていて、やらなければいけないことはしなければならぬと思いました。

それと教え子からTBSの「時事放談」で藤井裕久元財務相が加計学園を痛烈に批判したのも凄かったと聞いたのでネットで探してみようと思っています。加計学園の財務が急に出てきた話やブランディング事業で5大学のうち3つがお金をもらっているということはおかしいのです。東京医科大学のようところが対象になる事業です。私はこれからも追求したいと思っています。日本のマスコミは付度マスコミです。これは大きな問題だろうと思っています。

米朝会談のその後について少し触れます。とにかくトランプ大統領と金正恩はノーベル平和賞が欲しいのだそうです。本当なのかなと思いますがここ一連の出来事で習近平の中国がちょっかいを出しています。あまり言われていませんが中国は相当の食糧支援をしています。ですから今北朝鮮が食糧に困っているというのを聞きますが、夏になって北朝鮮でも作物が採れ始めています。船も海に出てきません。これは全部中国が支援しているからなんです。3千万人から4千万人の国に14億人の国がバックアップするのはそんなに大変なことではありませんから援助をしています。この問題で習近平が金正恩に相当の貸しを作りながら、もうちょっとやるだけやれとやっています。あまり簡単に北朝鮮が平和になってしまうと南沙諸島のことがありますから、中国としては困るのでという気持ちがあるのだと思います。このような状態なのに、10月23日に安倍総理がやっと北京に行くことになったとなぜ嬉しそうに記者会見をしたのでしょうか。何をしに行くのかよくわかりません。

トランプ大統領についてはもしかしたら弾劾裁判になって中間選挙の直前でも辞めるというような可能性もあります。今回のあの側近の発言やロシア疑惑など、不利なことが出てきたので相当な焦りを持っているようで、あっちこっちの国みんなと喧嘩して世界の経済がガタガタになってしまうのではないかとというようなことも言われています。米朝会談のその後のトランプの情勢についてはちょっと頭の片隅において置いていただきたいと思います。

とにかく世界中がギクシャクをしていて大暴落にはならないのですが、2万6千ドルとか2万4千円とかの株価の状況ではありません。気の利いたファンドの関係者が日本に戻ってきました。おそらく抜くだけ抜いて戻ってきたのだと思います。そういうのを見るとちょっと怖いなと思っています。それから一番下の習近平とプーチンは永久独裁ですから、この二人はもう悠々自適です。だからこの人たちとどう付き合っていくかという知恵をもった日本の外交のリーダーが出てこない大変なのかなと思っています。

レジュメは安倍外交の迷走についてです。トランプがこんなに苦しんでくると河野外務大臣では無理です。私は父親の河野洋平さんの弟子です。大学生の頃でしたが新自由クラブをつくる時に河野洋平さんをお手伝いしました。私は出ませんが仲間の2、3人が新自由クラブから当選しました。その後も事あるごとに食事をしたりしていろいろなことを一緒にやってきました。河野太郎はいい人なのですが、もうひとつパワーがないので安倍政権のためなら河野太郎でも難しいなという感じがします。それからアジアでこんなにも孤立しているということにどうして何もしないのか、アジアの一員である日本は

もっと知恵を出さなければならないと思います。私はどちらかという自民党宏池会系の宮澤喜一や谷垣禎一、加藤紘一と付き合っています。弟子の岸田は宏池会です。来週広島のテレビやラジオでも言いますが岸田は破門です。あとは野中広務さんと古賀誠さんに個人的に指導をいただいて、今も門戸の物などを戴いています。私も山形のサクランボの佐藤錦を贈ったりいろいろしています。そういうような関係であり個人的にも食事をすることがあります。古賀さんは辞められた立場なので心配をしているのが現状です。野中先生はお亡くなりになりましたが最後にお会いしたときも心配されていました。アジアでの孤立は良くありませんがアジアの一員であるという思いが安倍晋三の頭の中にありません。今回書いた本の中に書いてしまったのですが、安倍慎太郎先生が病気で入院されているときに、ときどき赤坂の奈加川という料亭に食事にきていました。私の政治評論の師匠は飯島清という右寄りの中川一郎先生が亡くなったときのブレーンをしていた青嵐会系の方です。この人が私の師匠で田中角栄と闘ってきた共通項でずっと私の面倒を見てくれました。亡くなるときに病院にお見舞いに行ったら「俺の事務所と秘書さんをおまえ引き受けてくれるな」と言われて、まだ私は40歳そこそこでしたが赤坂に事務所を持ったのもそんなきっかけでした。この方が中川一郎や安倍慎太郎の親分ですから、赤坂の料亭「奈加川」で食事をするときには声がかかるのです。事務所が近いので「安倍慎太郎先生と食事をするので」と声がかかって行くのですが、飯島清はお酒を飲みません。7時半くらいになると「後は適当にやって」と言って帰ってしまいます。安倍慎太郎さんは体調が悪いけれどもお酒を飲みたがりました。私はお酒があまり強くないので、少しずつ付き合っていると、よく「私は親父を尊敬している」と言っていました。親父とは安倍寛です。戦前、東条英機の新体制に逆らって大政翼賛会の非推薦だったのに選挙に当選した人です。この方は平和をととても大切にされた方で戦時中は特攻や憲兵に追いかけられたことがあると言っていたと安倍慎太郎さんが話していました。政治家は優しくして人のことを大切にしなければならないと言われたことを覚えて、家に帰ってから書き留めてメモに残してあるものがあります。40代の頃のことです。そういうことがあったのに、安倍晋三は父方のお祖父さんの話は一切しません。皆さんも聞いたことがないと思います。安倍寛は国会議員を3期か4期務めた方なんですよ。

とにかく安倍外交の中で落ちているのが“平和”という言葉です。それでアジアの中で孤立しているように思えます。それから誰も外交ブレーンがいません。やはり何かをするときには自分に耳痛いことを言ってくれるような人を側

に置かなければなりません。私は歴代ゼミ長には一番嫌だと思ふ人で、私の言うことを黙って聞くような人ではありません。必ず「それはだめです」とうるさく言ってくるような人です。だから成長してこられたのかなと思っています。もちろん仲間や後輩たちが選ぶのですが、そういう人が側にいるのです。安倍晋三は萩生田純一をはじめ以下イエスマンばかり側にいます。あれではダメだなと思っています。

今後の問題で小泉純一郎のことがあります。安倍さんが小泉さんと別荘で食事をしてゴルフも一緒にやりました。森喜朗、麻生太郎の4人でやっていました。森さんはゴルフができるような状態ではないのでやっていませんでしたが、えーっと思いました。その後で小泉さんが何か思っているかということ周辺に聞いてみても、小沢一郎とも食事をしていたりしています。安倍さんとのゴルフから数日後、ニューオオタニの庭のところで小沢一郎と3時間食事をしています。たまたまだったのですが小泉純一郎との食事の翌週、私が関わって活動をしている日本青年団の人達が小沢政治塾に行っていたので、そのときにどんな話をしてきたかのメモをもらいました。小泉さんが小沢一郎さんにけしかけるようなことを話していました。「戦え、俺もやる」とは言っていないが“手伝えることがあればやる”と話していたようです。それが今回の沖縄知事選挙なんです。自公推薦の候補者はちょっとためらいましたが立候補して、小沢一郎が最後に現地応援に入りました。民間の世論調査では今は6対4で玉城デニーという野党の候補者が強いと出ています。つまり野党がひとつにまとまって自民・公明党と戦っているということです。来年の参院選ではすべての1人区での選挙運動だけをしてもらいます。それを手助けしてもらうために参議院の比例全国区に小泉さんや細川護熙など、何人かを上位の方に名前だけ出します。比例名簿というものは下の方から当選していきます。もしも当選したら1年くらいは議員活動をするかもしれません。そんなことが起きている最中ですが、前からお話ししている全国の知事を4、5人集めてグループを作りたいと思っています。北海道の女性の知事や私の教え子の埼玉県知事や岐阜県のように、私の後輩の知事などを集めて選挙をやると同時に古賀茂明などで一気に参院選で流れを変えるようなことぐらひはしなければならなのではと思っています。どうやら小泉さんの中にも同じような想いがあるらしいです。この後の秋頃に接触しようかなと思っています。やるだけやって干されてダメならば、党から出てこいという感じです。そのときに石破がやってダメだったら「自民党から出てこい」と言おうと思っています。小池百合子のことはあまり好きではありませんが、本気でやる気があるものなのか、野田聖子と進次郎と石破と

非自民で戦えるのかななどを思っています。

小池百合子がもうまったくダメですが、一つだけ起死回生の策があります。前にも話したかもしれませんが、オリンピックまでに東京の街灯を全部LEDのソーラーランタンにするというのはどうでしょう。福島の大葉町の被災者の方々を一度、渋谷のホテルに招待して食事をしました。夜にホテルの20何階かの窓から渋谷の街を見て、「先生、この灯りはみんな福島原発の電気なんだよね。でも私たちは帰るところがないんですよ。街灯もですよ」と言っていました。それが頭に残っています。小池百合子には貸しはあるけれど借りはありません。このことを言ってみたら起死回生になるかもしれませんが、もちろん会うつもりはありません。ちょっとそんなこともいろいろ考えています。小泉純一郎と細川護熙さんが食事をするとなると必ず小池百合子が聞きつけてやって来ます。私はその席に行く気はありませんが、先輩に“来い”と呼ばれたら行きます。それも頭の片隅に置いておいてください。野党についてはコメントしません。ほぼダメです。

それから「村度マスコミの危険」です。藤井裕久さんの話をしました。私もさきほどの加計学園の問題についてこの数日間考えています。来週発売になる週刊誌に出すかどうかです。テレビはおそらく無理ですから圧力がかかる前に黙って週刊誌で流すしかありません。出すなら週刊アサヒか週刊サンデー毎日か、売ればやる週刊文春だけだと思います。何かしないと石破がどうこうのではないけれども、今どうですかと言われれば「安倍以外なら誰でもいい」で、あとはきちんとしたブレーンを付ければいいと思います。私は石破でもやるのならハイヤーなどの車を付けてくれれば無償で補佐官をします。いろんな障害者雇用の水増しだって信じられません。厚生労働省自体がやっているのです。それから今、所在不明で行方不明になっている子供が何百人もいるというニュースを昨日やっていました。警察が死に物狂いになって調べると思うのですが、どうなっているのでしょうか。親はどうなっているのでしょうか。子供の虐待も十何万人まで増えているそうです。どのくらい辛いことなのかと思います。

たまたま東北福祉大学の私のゼミ生たちが養護施設のいろいろな子供たちの面倒を見ていて、そういう話をよく耳にします。ある小学生の女の子が、やっとお母さんが一緒に暮らせるようになって良かったという話をしていたそうです。その子は野球をしながら遊んでいるときちょっと「下手くそだな」と言われたたことにムキになって、本気で打ったらホームランになってしまったくらい運動神経のいい子だそうです。今度楽天の試合を見せたいなと思っています

た。そうしているうちにその子のお母さんがいろいろな事情で神戸に戻ってしまったという電話がありました。その子はまた養護施設に戻って来てしまったのだそうです。気になって学生にどうしているのかを聞くと、可哀想で側に寄れなくて見ているだけだということでした。最初は実の親に虐待を受けて養護施設に入って、面倒を見てくれた新しい母親が引き取ってくれて一緒に暮らすようになった子です。学生たちも家に行って一緒にバーベキューをしたり、何人かで野球をしたりしていました。野球が好きだと言っていたようなので kobo スタジアムで野球を見たら選手の誰かと会えるかな、などど話していて10日後にまた親がいなくなってしまうました。私の教え子にも生まれて3日後に親に捨てられて茨城の養護施設で育って東北福祉大学に来て、高萩市長から助教授になった草間君という人がいます。生まれて3日目に親に捨てられてこんなに明るく育った人もいないと思います。その人の話をその子に聞かせたいと思っているのですが、今はその人の話も聞けないくらいメンタルがとても落ち込んでいるそうです。なんとかしてあげたいと思っています。

今のテレビを含むマスコミは最低です。TBS やテレビ朝日までが圧力をかけられています。テレビ朝日の会長は私の一つ年上の人で久米宏と同年です。ニュースステーションのときのプロデューサーでした。久米さんとうまくいなくて私とやっていたが私はあまり好きなタイプの人ではありません。山梨県でお父さんかお兄さんが自民党系の県会議員をしています。彼が番組をずっと担当していてキャスターに誰になるのかも彼の影響があると思います。見ていると古賀茂明からはじまって前の報道ステーションのキャスターもそうですが、外される人が後をたちません。TBS でも忖度をしています。田崎史郎が出ていなければ安倍政権の悪口を言うような評論家はテレビに出られませんが、私は2回ほど出ましたがそのときも彼がいました。年齢的には私の方が8、9歳上ですが、彼は時事通信社で私は共同通信系です。いろんなことも含めてとにかく今のマスコミはこんなふうに行っていて本当にいいのかと思っています。

霞が関が本当に変になってしまいました。財務省がセクハラや他のことが問題になって、今度はいろんな人が入りますが気の毒なくらいです。全部東大の経済学部か法学部卒のいわゆるキャリア官僚です。特に警察官僚がいます。杉田という人が内閣人事局長です。この人は警察庁のOB で前に触れた山口というTBS の記者がアメリカのワシントンから戻って来て女性と恵比寿の寿司屋かどこかで食事をしたときに飲み物に眠り薬でも入れたのか、恵比寿の有名ホテルに連れ込んだのです。その女性が准強姦罪だと記者会見までしました。イ

ギリスのBBC かどこかがそれを放映しましたが、日本のメディアはどこも一切とりあげませんでした。その女性側にもいろいろな何かあるのかもしれませんが、少なくともホテルで目が覚めたら強姦されていた、と訴えても裁判所はもちろん警察も不起訴にしました。検察審議会でもテレビに女性が出て訴えてもだめだったのです。この時に成田空港で高輪警察が逮捕状を持って待ち構えていましたが、目の前に行ったときに携帯が鳴って「これは警視庁の直轄の案件なので所轄は手を引け」となりました。つまり直前で高輪警察の仕事ではなくなったので、山口は目の前をスルーしていきました。彼らが地団駄踏んで悔しかったときにこの杉田という人が警視庁の刑事部長に圧力をかけて「頼むぞ」と言ってスルーになったのです。今住んでいるのはキャピタル東急ホテルの上にある家賃80万円のPEZY社が持っている宿舎です。このPEZY社は50億円くらい国の助成金を貰っています。そんなばかなことがまかり通りっているということをメディアは一切取り上げないのです。こんなことでいいのかは内閣人事局というのでできて二代目は萩生田紘一、三代目は今の杉田警察官僚、全部で400人くらいいます。内調（内閣調査室）ですから日本のCIAです。ここが前川に尾行を付けて出会い系バーに行っているとかどこかで食事をしているとかキャバクラに行つて何かしているとか見て、全部チェックしていたのです。この内調というところは私も選挙で仕事をしたことがあります。裏金で30万円くらい出ます。もちろん機密費だと思います。そういう人がいたら文部省はガタガタになって財務省は全部杉田さんや萩生田さんの顔色を窺わなければ逆らえません。審議官の築瀬さんは天下ってしまいました。少し減額になりましたがみんな退職金をもらって辞めてしまいました。内閣人事局ができてそのトップに警察官僚の杉田さんがいて、高級官僚はみんな色目を使ってやっています。藤原豊は経済産業省の官僚ですが、内閣府に出向していたときに今治の獣医学部設置の事を決める国家戦略特区の担当者でした。国家戦略特区の意見交換会で岡山市や今治市に出張したとき、自治体公用車を利用してたと報告していましたが、実際は加計学園の車で移動していました。これは訓告処分もので、こんなことは絶対にしてはいけません。滞在時間が6、7時間あるので宿泊もしていたかもしれません。少なくとも食事はしたでしょう。松山の温泉あたりに加計学園がお金を出したと思います。これははっきり言って汚職事件なのですが、メディアは何もしません。新幹線を岡山で降りて加計学園に寄つてからしまなみ海道を通過して今治までいくと車で3時間くらいかかります。そういうこともチェックしていません。誰もそういうことをやろうとしません。

結論です。大丈夫ですか日本ということですか。おそらく経済は今がピークだと思います。あらゆる数字がマイナスになってきました。株価も限界だと思います。日銀があれだけお金をばら撒いてやってもこの状態です。人口が減ってきているので銀行も危ない状態です。スルガ銀行は別の問題ですが、地方銀行はあっちこっちが一緒になってやっていかなければならなくなると思います。コンビニで支払いや振込などある程度のことのできるようになっていきますから、銀行の窓口で手続きをしなくても良くなってきています。そうなってくると銀行はもう無理です。今すでに40%が赤字銀行ですから金利や手数料がゼロになったらもうやっていけません。広島大学の学生は銀行には就職しないと言います。銀行は厳しいので生命保険の会社に行くと言っています。少し気の利いた子はみんなそういうことを分かっています。

それからマイナビやIndeed（インディード）などを見てすぐに転職する人も増えています。でも非正規職員で一生を送ったら年金は限られてきます。国民年金は7、8万円くらいしか貰えません。私も2年前から年金を受給していますが、40年間真面目に納めてきていますからそれなりのある程度の生活できる金額を受給しています。70歳まで働きましたので、辞退したわけではないのですが収入との調整で60歳から10年間年金受給を停止されていました。

今はマイナビやIndeedなどでコロコロ転職する人がいるのです。一度ここに連れてきたことのある東北福祉大学の女の子も転職してしまいました。1年でJR東日本を辞めてしまいました。普通は辞めない会社なので「バカ」と言いたいところですが本人が決めたことです。非正規でもいいからやりたい仕事をのんびりやりたいと言うのですが、まずは我慢してやってみて欲しいと思います。私は駒澤大学で17年間ずっと窓際でした。助教授を17年間やったのです。でも、そういう下積みのようなことは必要で、長い目で見たらそういう時期を経験するという事は良いことなのだと思います。

最後、吉田君フィーバーで盛り上がっている秋田の凄さです。「仲間です」と言われたときには何だか嬉しくなります。巨人ではなくてヤクルトか東北楽天に行つて欲しいと思いますが、抽選だというので分かりません。でもザギトワ効果の秋田犬とか金農フィーバーの吉田君とかではなく、秋田は本気で何かをやればいいのにと私は思います。何か盛り上がることをしなければならぬと思うのですが「何もするな」という本は借りたままです。この一週間、一ヶ月の盛り上がりの凄さを感じますが、逆に陰の部分の弱さも感じているというのが私の今の実感です。ご清聴ありがとうございました。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。それでは福岡先生にご質問のある方はいらっしゃいませんか。挙手をお願いいたします。

質問者 いつもありがとうございます。小泉純一郎さんが反自民に動いているという話を耳にしました。それなのになぜ安倍さんとゴルフを一緒にしたのかを教えてくださいませんか。それと秋田ではイーグリアシヨア配備の問題が起きています。何かご存じでしたら知っている範囲で教えてくださいませんか。

福 岡 まず前段の小泉純一郎が安倍総理と食事をしてゴルフをしたのかという件ですが、これはかなり強く安倍サイドから懇願をされたようです。小泉さんが小沢一郎と食事をしたということが流れて心配になったようです。今流れている情報では、次の総裁選が終わって内閣改造をするときに37歳の進次郎を農水大臣にして農業改革などをさせる、という条件を間に入った人がやっているとかいないとかです。小泉純一郎は「まず付き合いは付き合いだし俺が選んだ安倍だから」と安倍とゴルフをやったと思います。小泉純一郎はゴルフがあまり好きではありません。あんなチャラチャラしてゴルフをする姿を私は見たことがありません。安倍総理はゴルフがあまり得意ではないので、しかたなく付き合いでやったかなという印象です。進次郎はそんなに簡単に折れないと思いますし、これにのったら彼の人気は急落することを分かっていると思います。9月8日に3、4日の日程で海外に行く予定があって留守になるようですが、その後どういう選択をするかです。黙ってパススルーするかもしれませんが、本心はまだなんとも言えません。来年の参院選に向けて人気はそれほど上がらないと思います。

問題は後段のイーグリアシヨアについてです。これは大きな問題だと思います。私はこのことについて一度テレビでも話したことがあります。沖縄の教え子からすぐに連絡がありました。「米朝が接近し南北朝鮮が一つの方向になり38度線を車が行き交うような形になっているような状況のときに、イーグリアシヨアや他の軍備配置が必要なのかと思うかもしれませんが、大局的に考えるともうそういうレベルではなくて日本も戦争をするという憲法9条の専守防衛の視点からすると、陸の上のイーグリア艦といえるアシヨアの問題は要らないと言った先生の言い方の方がそういう方向だと思います。今回の沖縄県知事選の結果もだと思いますが、もしこのまままた自民党サイドがシャカリキになって負けるということになると、イーグリアシヨアの問題は山口県は安倍さんの

地元で岩国基地もありますから配備したいでしょう。ただ客観的に言えば立地的に海側から移動できるような地域にイージスアショアを作った方が、万が一のことがあったときには秋田の方が良いだろう」と言っていました。このときに指摘された私の発言は番組の中である人の発言に逆らって言ったことについてでした。岩国基地は海がありますが周りは全部陸ですから、どこかに出なければなりません。ましてオスプレイがあれば事故をおこしています。これを佐賀県など何か所か持っていますがこのオスプレイとイージスアショアはランプと安倍との間の軍事産業の要なんです。強い姿勢で「お前らで面倒を見ろ。アメリカは全部引くんだ」となっていくときに、日本は「もう時代は違う。平和の方向に行こう。アジアの一員の立場の中で仲良くやっっていこうね」にしたいと思います。だから私は本当に話の分かるリーダーだったら北朝鮮に特別大使で入ります。私は秋田県にイージスアショアは反対です。要らないと思っています。そういうことを真剣に考えて、国との関係とか防衛視線から考えるのではなく、このまま南北がうまく仲良くやっっていけば北朝鮮の脅威がなくなったら5兆3千億円の防衛費がいらなくなります。早く陸上自衛隊を半分にして、半分は災害支援隊にしてもう半分は地域の寄り添い隊にして熊本や広島、愛媛に行ってもらいたいです。災害があった場所の土などはまだ片付いていません。ぎっくり腰になってしまって、治ってはいるのですが無理ができず私は今行くことができません。スーパーボランティアとは言ってもらえませんがボランティアは続けていきたいと思っています。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。福岡先生に拍手をお願いします。このあとゼミナールを開催いたします。ご希望の方はどうぞご参加ください。本日の講演会をもちまして前期公開講座の日程が終了となりました。後期の公開講座もよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「自民党総裁選と 日本の経済・外交のゆくえ」

講師 東北福祉大学特任教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福 岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 平成30年12月1日 午後1時～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

福 岡 被災地の活動で、広島のア佐北区という地区での土嚢運びをしました。一緒にいたダイソーの部長が「みんなでバケツリレー形式で運びましょう」と言うので、私も30人くらいの列に並んで20分くらい運びました。土嚢に土を入れるところは高校生たちが真面目にやっていて、私も学生たちと一緒に並んで運んでいたら、ものすごく重い土嚢が来て頑張って持ってみたのですが落としてしまいました。すぐにダイソーの部長に「福岡先生、外れて下さい」と言われました。みんなの前で“ハズレ”と言われてしまいました。終わった後で「みんなの前でハズレなんて言ってしまって、申し訳ありませんでした」と謝りにきました。そしたらゼミ生が「先生、ダメボラですね」と言うんです。「スパボラ」と「ダメボラ」がいるのです。それでもいろいろなところからみんなが集まってきて、額に汗をかいて人の痛みを分かち合って繋がりができていくということが大切なのだと思います。

それとの関連の話になりますが、1986年に伊豆大島が噴火しそうとなったとき、中曽根康弘内閣の官房長官だった後藤田正晴先生は全島民避難をさせました。あっと間にフェリーや艦船を集めて、1日半くらいで全住民と観光客を合わせた1万何千人を一気に避難させました。そのときに私のゼミ生は避難してきた子供たちの面倒をみるために、避難先のある小学校で活動をしました。役場の人だけが1人だけ島に残りましたが、結果的にそのときは大噴火にはなりません。全員の避難が終わって噴火活動も落ち着いたときに、新聞やテレビで政治家が「後藤田さんも大袈裟だね」とコメントしました。そんなときのある夜、赤坂の小料理屋で後藤田さんと何人かの新聞記者たちとで一緒に食事をしましたが、途中でポケットベルに呼び出されて新聞記者たちがいなくなって後藤田さんと二人きりになりました。それでそのときのことをちょっとうかがいました。すると「福岡さん、笑い話で済めばそれでいいんだ。犠牲者が出なかったことが大切なんだ。災害や危機のときはその被害を最小限にするために、早めに行動することだ。最悪の事態を考えて、早めに避難のための行動をすることが危機管理の一番なんだ」と言われました。人物だなあと思いました。何を言われても命を守ることが政治家の原点なんです。あの7月6、7日の広島の集中豪雨のときは、電源を切っているのにiPadのエリアメールが10分置きに鳴りました。私が泊まっていたホテルは安全なところがありましたのでこれ以上のところはない、心配ないと思ってそのままそこにいました。犠牲になった71名の方はまだ大丈夫だと思ったのかもしれませんが、あのときもう少し早く行動すれば違ったのかもしれませんが。最悪の事態を想定して早めに行動するのが、危機管理の原点なのです。コップにお酒が入ってなかったので私が日

本酒を注ぐと、後藤田先生がニヤッと笑いました。あの夜の食事は後藤田先生との思い出でもあります。

関連した話をもうひとつすると、キューバ危機というのがありました。ロシアが中距離ミサイルや核兵器をキューバに送りました。ケネディ大統領のときでした。そのときにいよいよ戦争になりそうだと感じたときに、ホワイトハウスの対策本部に入っていたケネディ大統領が側近に、奥さんのジャクリーンに地下のシェルターに早めに入るよう伝えて欲しいと言いました。SPが「もしかすると本当に核戦争になるかもしれない」と伝えに行きました。すると「私は3人の子供と一緒に南側の庭に立ちます。やるならやってください」とジャクリーン夫人は言いました。子供のうち女の子は在駐日大使になったキャロリンさんです。南側というのはキューバに近い方向です。ケネディ大統領もすごいかもしれませんが、このジャクリーン夫人も政治家の妻としてすごい人です。このこともちょっと頭の片隅に置いておいてください。

仙台一高から早稲田大学に進んだ我先輩の菅原文太さんが、福島県知事選挙に生前最後の応援にこられました。いろいろな人が応援にこられる予定でしたが、圧力がかかってなかなか実現しませんでした。そんな中でも私は頑張って最後まで残っていました。ぎりぎり最後に菅原文太さんが来たときに、「残っててくれたのか。お前はおれの最後の弟子だな」と言ってくれました。その時は同級生の俳優の渡瀬恒彦より私の方が上の子分になれたかなという気がしました。そのときに「明日の子供たちのためだ。原発はなくさなければならない。今しなければいけないんだ」と言っていました。結果的に当選することはできませんでしたが、福島県知事選の候補者と一緒に街宣車に乗りました。文太さんは体調を崩していましたので足にも力が入らないようでしたが、街宣車の上に登ってきて最後の演説をしました。応援演説が終わった後で最後となってしまった食事をしたのですが「明日を生きる子供たちのために仁義ある戦いをしてくれな」と言われました。それがラストメッセージ、遺言になりました。その1ヶ月後に沖縄知事選の応援に行って空港で倒れて、高倉健さんが亡くなった数日後に亡くなってしまいました。やっぱり仁義ある戦いということも大切なかなと思って、後藤田先生の話の他に大切だと思って触れさせていただきました。

もう一点、太田誠監督と新井貴浩と20日に公開講座というイベントをしますが、一昨日の夜に太田監督と中畑清と食事をしました。「監督として中畑は優しいからな」と太田監督が言いました。私はえっと思って「そりゃ中畑は優しくていいやつですよ」と言いました。すると「でもな、監督って“非情は

愛情”なんだよ」と言ったのです。酔っていたこともあってその場でメモをとったわけではなく、覚えて帰って家でこの言葉を書きとめました。監督やリーダーはここで勝ち星がつくかもしれないと思っても、どこかで早めにピッチャーを交代させなければならないという判断も必要なんです。吉田輝星や松坂大輔だって、監督が使いすぎだと思います。中日のイケメンピッチャー浅尾拓也が肩を故障したのも落合監督が使いすぎたような気がします。太田誠監督は東都大学リーグで40数年監督をつとめて、長い間501勝の記録を破られなかった監督です。そういう人がいう「非情は愛情」ということについて、広島の新井貴浩に聞いてみようと思っています。新井貴浩も優しい人です。将来彼は監督になると思います。そのときはおそらくヘッドピッチングコーチを黒田博樹さんがすると思います。話題になったサプライズTシャツ『まさかあのアライさんが…。』を作ったのが黒田です。選手の間にもそのくらいの愛情の気持ちを持たなければ、優勝というのはなかなかできません。監督は「これ以上使うと、ここでやめさせないとこの選手の肩がおかしくなる」と見てあげなければならないのです。駒澤大学出身のピッチャーで有名な人は森繁和くらいしかいないのですが、他にもたくさんいますが肩を壊すような人はいません。このことは沖縄キャンプのときに私が栗山と荒木に言いますから、金足農業高校の関係者もそういうことを誰か教えて分かってもらって、選手を大切にしたいと思っています。1人で百戦錬磨、戦国東都で501勝して20数回も優勝した監督は一人ひとりの選手をよく見えています。私はネット裏10番目の席のチケットを持っているので、一緒に神宮球場に野球を見に行くことがあります。球団関係者が用意してくれる席ではなくて私の教え子で、ある会社の社長をしているのが取ってくれるのです。試合を見ていると「うーん」とうなりながら「先生、ヤクルトはここでピッチャーを代えなければ打たれるぞ」などと言います。だいたい言うことの9割はその通りになります。その選手が金足農業出身の石山だったりすることもあります。こういう経験ということはAIロボットではできないことです。是非お子さんやお孫さんに言ってあげて欲しいと思っています。

最後にもう一点だけ、私の東北福祉大学のところに草間吉男という教授がいます。彼のことは前にも少しお話したことがあったかもしれません。この間、この草間さんが広島にきてくれて話をしました。生まれて3日目に児童養護施設の前に捨てられてしまいました。結果、お母さんとお父さんが誰なのか分かりません。この人が高校を卒業するときに、その養護施設を運営していた曹洞宗のお寺のご住職が「草間君、大学に行きたいのか」と聞いて、「行きたいです。

僕は行きたいと思っています」と答えたそうです。ご住職が「入学金と半年分の学費は出してあげるから、あとは自分で頑張ってみて」とお金を出してくれました。そうやって東北福祉大学に入学して、仙台市内でアルバイトをして卒業まで頑張りました。そのあとさらに自分で頑張って彼は大学院にも行きました。そして駒澤大学の先生になりました。そのときに松下政経塾に行きたいと言ってきて勉強をしました。その後、茨城県高萩市の市長になって2期8年務めてまた東北福祉大学に戻ってきました。その彼が広島での公開講座で話してくれたことは、児童養護施設では春と秋の年2回ご家族の方が会いに来る日があるのだそうです。10月の第3土曜日になるとDVや家庭の事情で施設に入居している子は親が迎えに来て、半日でも外出して一緒に過ごすのだそうです。草間君は親が誰なのかわからないことをわかっているのに、入り口のところで「もしかして誰が来るんじゃないか」と、毎回ずっと立って待っていたそうです。でも一度も誰も来ることはなかったそうです。その話を聞いて私は少しちゃちゃを入れてみました。「お前、それで泣いたのか」と聞くと「泣いたってしょうがありません。いつかは会えます」と明るくポジティブなんです。「泣いたことはあります。先生、一人がどんなに悲しくて寂しいかわかりますか」と聞いてきました。「うーん、わかるようなわからないような…」と答えると、「そんなこと思って下を向いたら、下しか見えませんよ」と明るくポジティブなんです。本人はイケメンの福山雅治にすこし似ていると思っています。本当は全然似ていません。ポジティブな男なんです。今は結婚してお嬢さんが某県立大学で看護師になる勉強をしています。将来政治家をもう一度したいと言っていますので、次は国会議員で応援しようかなと思っています。とにかくひとりぼっちの寂しさを思うとAIロボットやIoTで将来はほとんど人が要らなくなります。私も含め高齢者もあまり長生きしない方がいいのかもしれない。

私は前にお話しした『ブラック大国ニッポン』サブタイトル「夜郎自大の安倍総理」という原稿を、今あるところで本にするかどうか悩んでいます。出版社からの返事を待っていますが、おそらく大丈夫なはずですがもし断られたら電子書籍で自主出版をしようと思っています。内容は安倍総理の悪口を相当書いています。忘れないうちにお話ししておきますが、来年1月21日月曜日の夕方5時から、東京の城南信用金庫本店で「原発ゼロの会」という会をします。城南信用金庫の前の理事長が小泉純一郎の慶応大学のゼミの後輩です。原発反対運動をずーっとしていますが、東京にいくつかある信用金庫の中でも城南信用金庫は業績も上がっていてかなり上の方です。瀬戸内寂聴先生も最近では体調も良くお元気の様子です。若いマネージャーがいるので元気なんです。小泉さ

んの方から「福島の実況について話しして欲しい」と電話があつて「もちろん、喜んでまいります」とお答えしました。そのことがどこかから流れて、私のネットを閉鎖しました。知らない色々なところで誹謗中傷されているようです。警察にいる教え子から「先生、何をしていますのですか」という連絡がありました。「何もしていない」と言ったのですが、どこかのトイレの中にまで私のアドレスが書かれてあつたりしたようです。その話はもちろん後でしますが、なんとなく世の中の雰囲気暗くなってきてしまったなというふうに、日本はこんな感じでいいのかなと思つたりしています。

ここまででレジュメにのせていない話をしてきました。ここからレジュメの話をして最後に質疑応答を受け付けたいと思います。まず「漂流する日本」というところは、前にも話したことがありますが、TBS テレビの時事放談で藤井裕久さんが8月末のある日に「今は安倍総理批判をしたり原発反対などという発言を放送すると、安倍総理周辺から“お前のテレビ局潰すぞ。あんな評論家やコメンテーターなぜ使うんだ。特にFだ”と言われる」ということを話しました。藤井さんも私もFです。そういうこともあつて出たくないわけではないのですが、私は数か月テレビに出ていないのです。この「藤井裕久潰す発言」というは今でもネットでも見ることができます。前に触れた『ブラック大国ニッポン』には、そういう“今ことごとく原発反対や安倍批判をするコメンテーターは外されてテレビには出られない”という話も書いています。漂流する日本とは、この国はなんとなく漂っているような気がするのです。今のテレビは2時間も3時間も似たような同じような番組をどこの局もやっています。出ている人はみんな同じメンバーです。鶴瓶と同じで、誰かがどこかに行つて買い物をして何かをする番組を吉本の芸人を使つてやっています。吉本の売れないタレントのギャラなんて、ロケ弁当の持ち帰りだけです。人気ドラマの女医役の女優のギャラは1本600万円くらいだと言われていて、ビートたけしさんは2時間番組1本で200万円くらいと聞いています。テレビ局はお金がないのでギャラが安い人ばかり使っているのです。だから特別番組だと言つて同じ番組を2、3時間引っ張つてやつても1時間分のギャラを2回分払うというようなことをしているのです。前にも話しましたが、時々そういう番組に俳優や女優が出ていたりしますが、それは番組宣伝のために出ているのです。今の日本は方向性を見失っています。誰も文句を言う人がいません。ただ、少し流れが変わつてきています。私に番組のレギュラーをして欲しいと言つてきているテレビ局があります。まだ返事は保留していますが、「生きていたのですか？」と言われるよりは、一応ニュース系の番組なのでやってみようか

なと思ってもいます。

「なんとなく景気が良さそう」ということについては、誰も行っていないと思います。昨日の川反は静かです。とてもいい所でした。川反だけでなく、銀座も北新地も岐阜の柳瀬もみんな静かです。広島のおもてなしだけは赤い服をきた女性たちが意味もなく乾杯をしていて、異常ににぎやかです。でも、きっと来年は大変だと思います。景気が良さそうということのピークは過ぎたのかなと思っています。この夏の暑さと9月の地震で全体的に下がってきました。おそらく来年の春からはだいぶ厳しくなるのではないかと思います。錯覚と誤解でここまできていたのです。安倍一強政治というのは周りにいる人間がイエスマン、忖度マンだからです。霞が関の官僚は忖度しかしません。こんな言葉があるかどうかわかりませんが、サイレントマンでもあります。みんなこの3つのうちのどれかの状態ですから、もう何も物を言いません。私の後輩で番記者をしているのが2人くらいいますが、長いメールを時々送ってきます。相当安部の悪口を書いてきますが、実のところそのテレビ局からは何も言うことができません。こういうことがずっと続いているのです。もしかしたら皆さんもお気づきかもしれませんが、安倍晋三は化粧をして出てきています。かなり塗っています。番記者のメールでは「とにかく肌がカサカサで青白いんです。だからテレビに映るようなときは化粧をしているんです」と言っています。昨日のトランプとの会談のときもおそらく同じだと思います。

次の総裁選のことについては、選挙がすでに終わっています。党員票で石破が40%獲得して善戦しました。締め付けはかなりありましたが、結果は安倍が逃げ切りました。進次郎も土壇場の最後で石破指示を表明しました。党員票を締め切った後でしたから、もう少し早く支持表明をしていれば石破の票がもう少し伸びたのではないかと思います。ここにきて進次郎の限界説が出てきました。いわゆる農業問題もきれいごとを言っていますが、もっと現場を見たらどうかと関係者に言われてちょっと自信を失っています。今回の人生100歳時代のことについても100歳まで働くのか、と私は思うのです。70歳くらいまでは頑張れるなら働けるかもしれませんが、それなりに週3日とか1日4時間とか決めてやらなければならないと思います。やっぱり彼自身が若いのです。30代後半になっているのだから結婚をして身を固めて、孫の顔を見せてあげた方がいいような気がします。

安倍さんは意外と自民党の中で党員を含めて人気がありません。それを本人が分かってきています。特に奥さんが出てくると山口県以外では「昭恵がいるのか」という声が聞こえてしまいます。昭恵さんはいい人かもしれませんが、

能天気な方です。そろそろ替わって欲しいというのが本音です。安倍とプーチンの会談は今回で24回目か25回目です。会って何なのかと思います。習近平とも8回目だとNHKも民放も報道しますが、会って握手しただけです。座って3、40分間対談をしたのは1回か2回しかありません。記者を集めて写真を撮らせてゴマをすらせています。報道しないと「お前のところは言わないだろう」と全部チェックしています。そのことをテレビは言ってしまいますので、筑紫哲也さんは「テレビは自殺だな」と言っていました。まだ続くと思いますが、来年の統一選挙か参院選で終わるかな、もしかしてその前かなと見ています。

ちょっとだけ暗い話しをします。レジユメの「人口減少時代の経済そして秋田」のところですか。最初は秋田を入れていませんでしたが、調べていくうちに入れなければまずいなと思って書きました。最近のあるレポートでは40年後の2058年、日本の人口は1億人をきっています。9,900万人から9,800万人くらいとなっているようです。GDPも4分の1ダウンです。今日本のGDPは約560兆円なので4分の1だと140兆円ですから、420兆円くらいになると思っています。そういうふうな見通しで外国人労働者を受け入れる話をしています。あのSHARPですら留め置きとか低賃金でいろいろな国の方が働いています。最近仙台では特にミャンマーの方が多く感じます。ミャンマー協会のトップの方たちの中に中曽根さんや麻生さんの名前もあります。送る側と受け入れる側がそうになっています。ミャンマーは仏教国ですから、みんな真面目なんです。秋田県のコンビニはまだ日本人の店員が多いですが、仙台では名札の名前がカタカナだったりすると「ミャンマーからきたの?」ときくと「はい、そうです」と答える方が多いです。

秋田県の現状ですが、東京にいと聞こえてくるニュースはほとんど金足農業とナマハゲだけです。10月1日現在の人口が98万と数百人です。年間1万4千人くらい減っています。どんどん減っています。1980年の人口は125万人だったそうです。だから35、6年で5分の1、20%くらい減っています。ですからこの先10年で14、5万人減ってしまう可能性があって、83万人になってしまいます。生まれた子供はこの1年間で5,116人だそうです。前年比で3百数十人減っているそうです。亡くなる方は約1万5千人で、それに転入・転出の社会減もあるので全体で1万4千人くらい減っているのです。生まれてくる子供を5千人として80年後の人口は40万人です。だから学校の運営や経営は難しくなってくると思います。大学は公立大学は残っているかもしれませんが高校は公立でもなくなります。生まれてくる子供は3千人くらいになっ

ているのではないかと思います。小さな市町村は1年に1人か2人しか生まれないので、誰か生まれたら花火を上げてお祝いしなければならなくなるかもしれない。寂しい話です。そういうことも考えているのかどうか、秋田駅周辺にまた何かを建てています。有名なデザイナーや設計士に何十億円も払っているかと思うと、違うことに使った方がいいのと思います。特産品も今あるものだけで将来を考えるのは無理だと思います。時代に合わせてそういうセンスは変えなければならないと思います。ドン・キホーテの創業者は後輩ですが、来年3月期の決算は1兆2千億円の見込みで、総合スーパーのユニーを買収するそうです。そういうドン・キホーテだって、今までどれだけ苦しんできたのか、私は知っています。「変化即応」をキーワードに、変化にすぐに対応するように努力しています。秋田は金足農業ブームとナマハゲの世界遺産登録で、この先しばらく3年くらいはなんとかなると思っているようですが、どうでしょうか。宮城県は人口は231万人です。秋田県とは231万人対98万人です。あの狭い面積の仙台市だけで108万人なのです。繁華街の国分町には客引きの黒服の人がいますが、女の子もいます。生まれる子供は1万6千数百人、亡くなる方は2万4千人くらいで宮城県も全体ではマイナスです。とにかく東京と沖縄以外は全部マイナスです。そう考えると何か駅前で20軒くらいの飲み屋横丁を作って、そこに行くと秋田産の物が何でも食べられて、お酒も秋田産のおいしいものしか置かない。そういう何かを誰かすれば良いと思います。八郎潟の農産物だけでは難しいしフルーツだって何か考えて特産化しなければならないと思います。20年後、70万人台に落ちてしまうと淋しくなると思います。

次は「安倍外交は袋小路へ」のところですか。トランプは自分ファーストの自分勝手です。側近が次々に辞めて、そのたびにいろいろ暴露されています。奥さんとの関係も昔から良くないようです。女性スキャンダルも出て来ています。7月以降のことですが、中間選挙で下院で過半数を失った段階で弾劾決議が出てくるかもしれません。追い詰められているということが分かりました。プーチンとは合いませんが習近平とは妥協するかもしれません。お互いに関税をかけあってGMが中国でだめになったように、45%も関税をかけられたら「これは高すぎるから日本車にしようかな」となったりしてみんなアメリカの車を買わなくなります。株価は上がって来ていますが、金融関係の人しか知りません。今、ホンジュラスから6千人くらいの方がメキシコ国境にきています。その人たち同士が喧嘩になって逮捕者が出たりして、メキシコのその町の人たちも困っているのです。60歳以上の高齢者と家族連れの人が多いそうです。

30歳前後の独身の人もいるかどうかは分かりませんが、例えば秋田県でそういう人を受け入れてみるのはどうでしょうか。秋田県は人口が減って98万人です。そこに6千人来るのです。仕事を教えて余っている空き家や土地を貸して住まわせてみてはどうでしょうか。そういうことは10億円もお金もかかりません。国から半分くらい補助金をもらって、秋田県は半分の5億円出してやってみる。県庁や県内の公務員の給与を1割カットして、県民も5千円か1万円くらい負担して、みんなで世話をする。それくらいのことを考えて秋田県の未来のことをしなければならぬと思います。岐阜の大学でもこのことについて同じ話をしました。「難しいな」と言われました。日本人はなかなかそういう気持ちになれません。何も難しいことはないのです。トップがやろうと思えばできるはずです。雨が降っていてもゴルフをしているようなところの県のトップのような状態です。マザーテレサは「愛の反対は憎しみではなく無関心です」とノーベル平和賞のスピーチで言いました。皆さんはこのことを知っているでしょうか。私は常識だと思っています。困っている人がいたら何か手を差し伸べるということが、マザーテレサの原点だということは是非頭の中に入れておいてください。

プーチン大統領はウクライナを弾圧しています。クリミア半島を制圧してついに軍艦を拿捕してしまいました。そういう困ったことをしてヨーロッパの中で批判が多くあります。24回も会いに行っている安倍晋三に北方領土の中では小さな島の歯舞島と色丹島を返すとは言っていませんが、日本人が住んでも良いと言っています。そのかわり「米軍基地は絶対に作ってはいけない、日本が現地の人を働かせて給与は2割増しくらいにして、救急設備や救急隊員を日本が配置して全部面倒を見てくれ」と言っているようです。歯舞と色丹にはロシア人が3千人くらい住んでいると昨日のニュースで言っていました。ホンジュラスの6千人に比べたら3千人は簡単な話だと思っています。でもそうになると魚を獲る権利にはいい面があると思います。もっとおいしい鮭やイクラが食べられるようになると思います。北方領土の沿岸にはウクライナの問題がヨーロッパの関係があるので、外務省も頑張っていますがそんなに簡単な話ではありません。本当は返ってくる面積は4島の半分、国後島の3分の2くらいまでは返してもらわないと思います。外交なのですべてが思い通りにはなりません。

鳩山由紀夫が総理大臣になったときにアドバイザーをしていました。彼がそのときに「日ソ国交回復に努めた祖父の鳩山一郎は“領土は後で良い、まずは抑留されている人々の命だ。それが友愛の原点である”と言っていたんです」

と言うのです。日ソ国交回復があったから、何万人もの抑留されていた人が日本に戻ってくることができました。あるボランティアイベントで餅つきをしたときに、抑留から戻ってきたということをお爺さんが私に話をしてくれました。「抑留されていたときに私は体が小さいので食事係になりました。お皿には食べ残しはほとんどありませんが、残ってきた汁を舐めたりして新潟に戻りたい一心で頑張りました」と話してくれました。そのときに一緒にその話を聞いていたお孫さんが作文にそれを書いて賞をもらったそうです。その子は今もボランティアにきてくれています。とにかくプーチンは相当したたかです。だから日本もしたたかな外交マンがいなければコロっとやられます。国後島に缶詰工場を10個くらい作ればいいと思います。そこで缶詰の技術を全部教えて、その代わり10年後に日本に返すというきまりを初めにするのです。ノウハウはみんな教えて、工場の利益は日本とロシアで折半して、今住んでいる住民にも収入を与えて儲けさせる。ただし10年経ったら領土と缶詰工場は日本に戻させるのです。そのくらいの外交取引をしなければいけないかなと専門家が言うのと、鈴木宗男が時々私に囁きます。

習近平はもっとしたたかです。相当なものです。この人は毛沢東以上で永久独裁で死ぬまで国家主席です。南沙諸島に基地のようなものを作ってホテルまであるそうです。なんとかしなければいけません。中国の人がお寿司を食べることを覚えてしまいました。中国に行ったことがある人は分かると思いますが、中国の人は生ものを食べません。ところが日本にきて回転寿司を食べて魚が生でも食べられるということが分かったのです。栄養的なことより衛生面ですよ。「こんなにおいしいものがあるのか」となって、本当かどうかはわかりませんがあの南沙諸島のところでマグロを獲ったりしているそうです。沖縄で獲れるマグロもおいしいです。だから津軽海峡の大間までマグロが行かなくなっているのかもしれない。軍事だけでなくそういうことも考えて習近平はやっているのです。今中国の知り合いから医療関係の人を紹介して欲しいと言われてます。4ヵ所から言われています。人口の1%の富裕層の人たちが癌になったときに死にたくないのです。1%の人口というと何人なのかとゼミ生に聞いたことがあります。1千4百万人だそうです。中国は14億人の国ですからその1%だとそうなります。その金持ちたちが癌で死にたくないで大量の薬品を買っていくようです。ある製薬会社の顧問をしているので、大変なんだという話を実際に聞くことがあります。買ってもらうならいいんじゃないの、と言ったりしますがこんな状態なのです。いろいろな研究が進んで薬もできてきているので罹患部位にもよりますが、もしかすると癌はあと4、5年で制圧される可

能性があります。今癌の特集をやっていたりしますが、まだまだ辛い所がたくさんあります。

最後、朝鮮半島の2つの国についてです。私は今、北朝鮮から来てくれないかと言われていました。行ってみようかなと思っています。久米宏も行ってみたいと言っています。どんなに喧嘩をしても夜の12時になると綺麗なおねえさんが部屋にきます。野中広務先生に言われていたのが「北京と平壤は1人で寝てはいけませんよ」ということです。ゼミ生と2人部屋で寝ましたが、薄物をきた綺麗な色白の女性が部屋のドアをノックします。ドアロックはありません。合鍵を持っているのでノックに応えないでいたら鍵を開けて入ってきました。入り口側にゼミ生が寝ていました。女性が日本語で「先生いますか」と言って、ゼミ生が「先生は酔って寝てしまいました」と答えるとハングルで何か言って出て行きました。私は起きていましたが寝たふりをしていました。1人で行ってしまった自民党のある方は全部写真に撮られて、脅されたそうです。そのことを野中先生に聞いていたので私はそうならないようにしました。

最近のニュースでは徴用工という言葉をよく耳にしますが、あまり使わない言葉です。花岡事件というのを知っていますか。大館であった朝鮮人の強制労働の反乱事件です。花岡のときは中国から連れてこられた方たちだったと思います。1945年の6月30日のことです。もう終戦の直前です。石炭か何かを掘らされていた人たちが反乱を起こして日本人も何人か亡くなりました。この徴用工の事件については一度けりがついているはずですが、こういうことが起きています。当時のいろいろなことについては辛いものがあります。このことを考えていただいて朝鮮人の強制連行問題と拉致事件のことをぜひ考えていただきたいと思います。前にもお話ししましたように、私は小泉さんに言われて北朝鮮に入って薬をもらわれて大腸癌になった人間ですが、そういうことを乗り越えてやっていきたいと思っています。外交というのは何回会ったということではないのです。

今日の大切なところは、2019年来年の日本はどうなるかです。ターニングポイントは4月の統一地方選と7月の参院選です。4月の統一地方選挙は秋田県も関係しているので、触れません。ただ小泉元総理大臣が最近小沢一郎と会っています。私も1月に会うことになっていて、5時からという約束で食事をすることになりました。赤坂の「津やま」という料亭に連れて行ってくれるようです。どうも野心をもっているようで小沢一郎はこの間、橋下徹とも会いました。周辺に小沢さんと小泉さんが言っている台詞は、「敵の敵は友だ」と聞きます。好き嫌いではないそうです。最近私は公明党とも口をききませんが「嫌

いだから破門”とばかりしているのはどうか」と言われます。公明党の山口那津男とパーティで一緒になりましたが口をききませんでした。あんな候補者に加担するなんて友達ではありません。いろいろなことを言われますが、私は葛飾の金町生まれです。周りには公明党創価学会の人がたくさんいるところです。応援している区議、都議の後輩もいますが、最近はどうもだめです。態度を変えてくれれば考えないこともありませんが、私は今「立正佼成会です」と言っていますが、宗教心はありません。

小泉さんが明確に言ったことがひとつあります。参議院の1人区で来年オール野党共闘を組むということです。全国で1人区は23あるそうです。前回の2年前は秋田県以外の東北は、宮城県も含めて自民党は全滅しました。秋田は元野球選手の候補者が当選しました。それを来年はオール野党で戦うのです。そのときに創価学会がそこまで付いているかどうかは分かりません。ひまわりの政党ですから強い方に付くのか公明党です。強い方についていたほうがいいよと言ってオール野党が勝ったら、そのときは大臣職は2ポストにします。今は公明党は1つしか大臣職がありません。2つにするからという取引をすればいいと思います。そうなったら私は表には出ませんがアドバイスをしていると思って下さい。そこに自民党の一部も参加するとなったら、誰が参加するのでしょうか。それは小泉純一郎の関係者です。やっぱり進次郎になるのではないのでしょうか。すると20人くらいのグループですが石破茂も来ると思います。野田聖子は間違いなく来るでしょう。この人はいければいいのですから。そうなれば4、50人来れば参議院で逆転するだけじゃなく衆議院だってわかりません。「小泉さんはどうするのかな」という人が今もいます。参議院の全国区にでるのではないかという話もあります。そういう話がある以上、原発ゼロの会が出るかもしれません。細川護熙さんも一緒にやっています。地元の熊本も1人区ですから出れば勝つと思います。文部省事務次官だった前川さんが出るとすれば群馬県です。中曽根弘文のお嫁さんが前川次官のお姉さんか妹で、どちらかが中華料理の東天紅の社長夫人です。前川製作所はお金は困らないので、前川さんが出れば中曽根弘文後援会が付けば小淵優子も声をかけると動くかもしれません。雪崩を打つ可能性があります。自民党の一部も動く。この話が永田町でチラチラ出ていて原発ゼロの会が1月にある動きをして、それから私のところにいろいろな圧力がかかってきています。警察に言っても何の反応もしません。警視をしている教え子に言ったら「先生は余計なことをしているから、今いろいろ言われているのですよ」と言われました。公安もチェックしていますから。そういうのでいいのかと思います。私は公安に抗議したことがありま

す。元東京地検特捜部長の河上和雄は私の顧問弁護士です。その先生が私に「どんな地位の人間でも、総理大臣をやった人間でも法に反することをしたら、それを処罰するのが法の正義なんだよ、福岡君」と言っていました。「私がいる以上はバックアップするからいい。手をださせないからやれ」と言ってくださっていましたが亡くなってしまいました。大鶴基成はついにゴーンの弁護士になりました。堀江貴文を逮捕したことで知られていますが、本当はいい人です。東京地検もどんどん変わっています。「新幹線に乗る時は気を付けてください。新幹線が止まってからホームの真ん中から乗ってください」と警察関係者から言われています。とにかくうっとうしい時期になってきました。

結論です。秋田県の明日が心配です。1年に赤ちゃんが5千人生まれて80年で40万人です。秋田高校から東京大学や明治大学に進学したら、もう秋田には戻ってきません。北都銀行よりは東京三菱UFJ銀行に行くと思います。JA秋田よりJA中央会に行くと思います。そうなると残った人はどうなるのでしょうか。ぼーっと暮らしてチョコちゃんに叱られるだけです。大学も企業もなくなります。優良企業と言われている会社も限られた数しかありません。秋田県はいろいろな意味で大変です。80年後の2100年を描いたときに、農業は全部ロボットがやってくれるかもしれません。八郎潟もドローンが飛んでドローンを操作する人だけがいて、稲刈りもAIロボットが稲刈機に乗ってやってくれます。介護でお爺ちゃんお婆ちゃんを起こすのも全部ロボットです。「お爺ちゃん起きて下さいね。お風呂の時間ですよ」とロボットが冷たい機械の手で起こすのです。ときどき誤作動でお爺ちゃんを落としたりするかもしれません。お風呂の中でだったら大変なことです。そういうようなことが起こりうるのかなと思っています。

とにかく後藤田先生のお話のように危機管理は早めに手を打たなければなりません。「もう遅い」と言わないでください。「何もしないのが秋田の習わしだ」という本を借りていますが、「もう変なことはするな。このままみんなでゆっくり死にましよう」と言っているようです。それも楽でいいのかもしれませんが、ちゃんと考えた方がいいです。

私は今年で73歳になりました。東北福祉大学ではゴルフ部の関係者が男ばかり6人も7人も集まって誕生会をしました。みんながご馳走しますと言うのです。本当にお金を払ってくれました。でも「今日はいいです。次はお願いします」と言ったので「次は倍返し」か「次は2回お願いします」という意味なのかもしれません。県立広島大学もバーベキューをしてくれました。ゼミ生が10人くらい来てどうするのかと思ったのですが、結局私が払いましたが、

ゼミ生がケーキを用意してくれましたので、みんなで食べました。「73歳になったし、もう辞めようかな」と言い出したら「ダメです。75歳までにしてください。後期高齢者になるまでやってください」と言われました。後期高齢者まではまだイヴ・イヴです。私も気を取り直して本を書き続けています。次の本は『人間なんていない時代』というタイトルにしようかなと思っています。いいタイトルでしょう。間違いなく売れると思います。『2049年の日本 人間なんていない時代』というタイトル。その時代も学校と幼稚園の先生は必要です。公務員は秋田県庁はロボットとパソコンが仕事をして人間は50人くらいで済む時代かもしれません。証明書の発行も家にてネットで請求できます。学校だけは教えなければいけないので人間でなければならないです。レストランも注文を取るのもコンピュータで運んでくるものコンピュータなんですよ。人間みたいなウエイトレスロボットがいるところもあるようです。タクシーの運転も長距離トラックの運転手もいなくなります。菅原文太さんもトラック野郎の役がなくなります。駅もオール自動改札で新幹線も自動運転です。飛行機のパイロットみたいに酔っばらっているような人はいません。子供を対象とした教育のジャンルだけは人間です。介護もロボット化していくと思います。でも寂しい話です。皆で楽しくやっていたいろいろしたいです。私ももう老後と言えますが、とにかく金曜日は家に帰る。新聞を買って土曜日に競馬をやるのが楽しいのです。「今週は孫に会えるよ」と妻から聞くと、やっぱり嬉しいです。日曜日に高島屋のおもちゃ売り場に行って、会うと2、3時間一緒に過ごしますが、小学5年生にもなるとなかなか会うことができません。冬休みには三ケ日にミカン狩りに1泊で行きますが、年末年始は塾があるのでどこにも行けません。クリスマスはどこかで食事をして、お正月はジジとバアバが2人だけで過ごします。寂しいです。子供が4人いて孫が10人くらいいる友達がいて「孫の名前が覚えられない」と言います。私は3人の孫なので大丈夫なのですが、きっと5人超えたらもう覚えられません。でも、いいよなと思います。

では質疑応答にしたいと思います。1人1問です。ありませんか。

藤本 福岡先生、ありがとうございました。それでは福岡先生にご質問のある方はいらっしゃいませんか。挙手をお願いいたします。

質問者 いつもありがとうございます。国の借金というか財政の成長について、このまま行って日本は大丈夫なものでしょうか。借金は増えて膨らんで行っています。どこかの国のようになってしまわないかと心配です。先生はどのよ

うにお考えでしょうか。

福 岡 日銀にいた友人と財務省、外務省の後輩との話を総合すると、国と地方を合わせて1千兆円前後日本には借金があります。みなさんの銀行預金を相当額持っていたとしても金利が全然付かない低金利状態です。マイナスのところもありますが、金利を1%上げるだけで何十兆円の金利を払わなければなりません。しばらくの間、低金利の0.00何%が付く状態が続きます。そうしない限り国債を買っていただいているみなさんに利子を払わなければなりません。最終的には国債が1千兆円を超えているという話もありますが、あっても日銀が買い取っている以上は日銀が処理しますから大きな問題にはなりません。ただし昔のように5%、6%といった金利に上がることは絶対にありません。「だからみなさん使って下さい」と国は言っていますが日本人は節約が強いです。基本的にダメですがウルトラCで日銀が買い取った国債を燃やしたり裁断したりして、無かったことにしてしまうという超放棄的な処理の仕方もあります。その方法は地方の銀行などが持っている国債については大変です。前もお話したように、地方銀行はどこも火の車です。地方の銀行や信用金庫は本当に苦しいです。そういうことを考えるとATMがいろいろなところがあるので、これからは融資をしたい中小企業はお金を持っていて、危ない所はお金がないので融資できないと選択選別が始まるという時代に、来年の春あたりからきつとなると思います。国の借金は1千兆円前後プラスアルファです。来年度の日本の国の予算規模は100兆円超で、そのうちの30%は赤字国債です。それでもなんとなくやり続けて復興予算も相当額が未消化の状態です。関係ないことに使うんだったら、もう少し違うソフト面などに使った方がいいと思うことがたくさんあります。文句を言わない世の中です。テレビも新聞もコメンテーターも大学の先生も、とにかく“ゆるチャラ”の時代になってしまったので、ちょっとどころか相当心配です。預貯金を持っている方は金の板にしてみてもどうでしょうか。その方がまだ堅いと思いますが金は限られています。とにかく持ち続けるしかありません。私は通帳をあまり見ませんが、金利はほとんどつきません。数百円、数千円の世界です。昔は6%くらい金利が付いて3、40万円を母からもらったことがありました。もうそういう時代ではありません。国債の借金がある以上は、そういうことは絶対にありません。

藤 本 福岡先生、ありがとうございます。福岡先生に拍手をお願いします。このあとゼミナールを開催いたします。ご希望の方はどうぞご参加ください。本日

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会「自民党総裁選と日本の経済・外交のゆくえ」

は どうも あり が と う ご ざ い ま し た 。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「2019年日本の政治・経済・ 外交と秋田」

講師 東北福祉大学特任教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 平成31年3月2日 午後1時～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

福 岡 今日には最後に新しい元号について皆さんの予測を聞いてみたいと思っています。もし当たった人がいたら吉田輝星のサインボールを千円で買える権利を差し上げたいと思います。タダで差し上げないのはその千円をボランティア活動に使わせていただきたいと思います。今日私は少し日焼けしています。沖縄の国頭村というところでやっている日本ハムの2軍キャンプに行ってきました。荒木大輔という2軍の監督は私の後輩です。その荒木の熱狂的なファンだった松坂大輔のお母さんが生まれた息子にその名前を付けたというのは、有名な話です。その荒木大輔に事前に言って吉田君のボールを貰いましたので今日皆さんが予測して、もし当てた人がいたら次回の6月の講演にサインボールを持ってきてお渡ししたいと思います。

今日はとても天気が良いのに来ていただいたので、せっかくなのでとても良い話をしたいと思います。最近テレビに出ていないせいか「死んだんですか？生きていますか？」という年賀状が何通かきました。なぜか急にいろいろな人から同じような電話もたくさんありました。私はとても元気です。テレビに出ていないのは私の事情ではありません。3月10日に新潟で小泉純一郎さんと「原発ゼロの会」をします。3月13日は文京区のシビックホールで小泉さんと何人かで原発を止めようという会をします。小泉さんに言われてこういう会にわりと出ています。すると公安が付いてきます。私はそんなに悪い人間ではありませんが、付いてきた公安の中に教え子が1人いたので、「なんで付いてくるんだ」と聞きました。「上から言われて、原発反対と安倍総理批判をする人をチェックしている」のだそうです。変な国になりました。最近の統計不正の問題で、あれだけいろいろな人がテレビに出ているのに私が出ないので「死んだのか」と思った人が多かったようです。電話に出ているのだから死んではいるはずないのです。

今日はお話ししたいことがたくさんありますので、最後の7、8分くらいを質疑応答の時間にして一気に行きたいと思っています。イノシシ年は変化大の年だと言われています。前のイノシシ年、2007年についてみなさんご記憶にあると思いますが参院選挙がありました。自民党が惨敗をして安倍総理大臣が辞めるのかなと思ったのですが、辞めませんでした。私が東京大学附属病院に大腸癌で入院しているときで、彼から「こんな結果になりました」と電話がありました。確か1人区で7議席くらいしか勝てなかったのです。私は「橋本龍太郎先生も参院選で負けて、辞めて一応責任をとった。衆院選であれ参院選であれ、国政選挙だ。君はまだ若いんだから責任を取って一端辞めて、再度挑戦したらどうだ」とアドバイスしました。そしたら内閣改造をやってインドかど

ここに旅行に行って辛いカレーを食べてきたら、帰国後下痢が止まらなくなって慶応大学の病院に入院して総理大臣を辞めました。潰瘍性大腸炎だそうです。私の話は全然聞いていませんでした。何度も言いますが、私は安倍慎太郎先生の弟子です。それからまた12年経って、今年またイノシシ年がやってきました。彼自身が“魔のイノシシ年”と言っているようにトラウマになっているのではないかと思います。体調のことを心配しながらも本音はそこにあるのかなと思います。また後で触れます。

米朝会談がなぜ決裂したのかは、一言でいえばロシアスキャンダルです。ちょうど28日から1日にかけて夜中のうちに元顧問弁護士が5時間か6時間かけて「こんなひどい人はいない。嘘つきの詐欺師だ。人種差別主義者だ」などと色々話し続けました。途中までは阿吽の呼吸で上手くいっていたのですが、それどころではなくなったのです。ところがあのニュースが流れてそれどころではありません。ベトナムのハノイに行ったときに、トランプは痩せたのではないかと言われました。痩せたのではなくて顔がちょっと怖い表情をしていたのです。それは女性スキャンダルが出ていたからです。今の奥さんと結婚して子供が生まれた頃にポルノ女優に小切手を渡していたというのが出てきました。今奥さんがほとんど相手にしてくれていません。公式行事に同行していません。そういうことも含めて彼自身のメンタルが相当追い込まれていて、もたないのではないかという気がしています。そういう人にノーベル平和賞の推薦文を書いたというある国の総理大臣がいるそうです。その国民はとても恥ずかしい思いをしています。27日の夜、ホワイトハウスでは米朝会談を合意する方向だと周囲に話していました。少し手直しが必要な程度の文書もできていましたが、一気にダメになってしまいました。昨日からのニュースを見ていましたが、何人かの仲間の専門家がコメントしていますが、そういうことじゃないんじゃないのと思って、よっぽどテレビ局に電話をしようかと思いましたが、もちろんやめました。精神的に相当落ち込んでいるなという印象だという報告が、ワシントンの教え子の記者からありました。

レジュメの2番目に移ります。秋田なので大事な話です。誰かが私を連れて行ってくれるのだと思っていますが、イージスアショアの現場を見たいと思っています。皆さんどうしますか。戦争が起きると真っ先に狙われるのは山口県と秋田県です。私は時々しか来ませんが、住んでいる人たちには大変な問題です。ノーベル賞の推薦状は50年間公開しませんが、いろいろな人たちが推薦されていて本当に唖然としたという報告があってニュースになりました。なぜそこまで媚びる必要があるのでしょうか。米朝会談が決裂して良かったと言っ

ていますが、全然良くありません。私は本当に拉致被害者のご家族に頭を下げ
て行って欲しいと思います。辛い報告もあるかもしれません。横田めぐみさん
は病院で自らの命を絶ったと言われていて、またそういう話をされると思いま
すがご本人たちが行けばそれだけではない話が分かるかもしれません。わたし
は2回行って薬を盛られました、言うべきことは言わなければなりません。
トランプにノーベル平和賞をという感覚がわかりません。韓国の文大統領は
もっとショックを受けたらしいですが、そういう下心でノーベル平和賞をも
らってはいけないと思っています。

沖縄に行った話を取っていたのは、行っていたときにちょうど名護市辺野古
の埋め立ての賛否を問う県民投票がありました。ゼミ生が琉球新報の編集局長
をしているので、いろいろな取材をしながら野球のキャンプ地巡りもして歩い
てきました。名護にも行ってきましたが、あの海岸に軟弱地盤が見つかって地
下70メートルから90メートルに鋼管を打って砂の柱で固める工場をしてい
ました。地盤改良をしたとしても関西空港のように沈下したりすると思いま
した。米軍のオスプレイが降りたりするのならいいのかなと思ったりしま
すが、あまり適当でないように思います。日本ハム2軍のキャンプ地である
国頭村は、名護よりもっと北で反対の東シナ海側です。天然記念物のヤンバ
ルクイナの生息地だということで会いに行ってみましたが、見ることはでき
ませんでした。あの鳥は飛べないそうです。道路脇には「ここはヤンバルク
イナが出てくるので交通事故に気を付けてください」という注意の看板が
出ていました。ヤンバルクイナの保護も大切ですが、沖縄には他にもいろ
いろな希少生物がいます。名護の埋立地にはサンゴもあるしジュゴンも生
息しているそうなので可哀想です。それにしても普天間基地が世界一危
険な基地であることは皆さんが御存じの通りです。基地のフェンスの横
に「安保の見える丘」という70メートルくらいの丘があります。そこには
何度も行っています。新聞記者の教え子とも行きましたし、菅原文太さん
をお連れしたこともあります。これをどうするのかです。政治には100
点満点はありません。マイナス50より150と考えると、まだ普天間より
辺野古がいいかなとも思います。それより辺野古より宮古市の伊良部島
の先にある小さな島はどうでしょう。パイロットの飛行訓練所があって
4千メートルの滑走路があるので「ここを使ったらどうか」と言ったら防
衛の専門家が「場所的に中国に近すぎます。中国が嫌がります」と言わ
れました。でも中国も南沙諸島などをやっています。この小さな島に米
軍兵の遊び場がないというのなら、作ってもいいのかもしれませんが、
とにかく沖縄の埋め立てについての県民投票は、70数%が「NO」で
した。それに対して総理大臣は「真

撃に受け止める」と言っていますが、工事は止めずに続けています。真摯という意味が解って使っているのかもわかりません。地元の方たちに「とにかく無理ですよ」と言われたので、私は何も言わずに頷きながら聞いてきました。普天間は本当に失敗です。沖縄国際大学に米軍のヘリコプターが落ちたときに、直後に行って公開講座をしました。あのときも基地に降りるはずだったのが間に合わなくて、50 m手前隣の沖縄国際大学のキャンパスの建物に接触して墜落してしまいました。そんなこともあったのです。

そこで問題です。イージスアショアです。昨日電波に関する調査を行ったようです。2ヵ月後くらいに人体への影響などについて結果を公表するそうです。私は東京都立の三流高校の出身です。3人の兄は一流高校に入ったのですが私は野球をやっていて、その高校には行けませんでした。野球の練習場は鉄塔の下にありました。その頃からそういう鉄塔の下には変な電波があって体に影響が出ることもあるんだと、高校の理科の先生に聞いていました。問題の秋田の候補地は海の近らしいですが、学校も近くにあるようですね。高校もあるようなので、私はちょっとまずいのではないかとと思っています。その高校を廃校にして、どこかの高校と統合させるという方法もあるかもしれませんが、少なくとも学校とは2、3キロは離れた方がいいと思います。山口県は安倍総理大臣の故郷です。秋田県は菅官房長官の故郷です。偶然かもしれませんが選ばれた理由がわかりません。住んでいる人たち、皆さんがどういうふうに判断するかです。イージス艦は動きますがイージスアショアは陸の上ですから、出来てしまえばずっとそこにあります。だけど米朝会談が成功して、38度線を自由に行き来することができたら、それはもう日本海側にそんなものは必要ないと思います。中東は別ですがアジアで戦争をしようと言っている国は北朝鮮しかありません。中国もそんなことをする国ではなくてもっと利巧です。もしかするとロシア疑惑のことが出なければ、今回の会談もある程度上手くいったのではないかと思います。どうしてこんな状況のときに日本は大金をかけて大きな船を買ったりイージスアショアを持ってきたりするのかなと思います。言っていることやっていることが違います。是非皆さんで考えていただいて、秋田県の未来を決めていって欲しいと思います。

3点目です。昨日から今日にかけて色々な話がありました。平成天皇のご在位30年について、沖縄でもその話を気にして見ていました。3.11の数か月後だったか時期をはっきり覚えていないのですが、ボランティアで石巻から気仙沼の方へ移動しようと車に乗っていたときに警備が強くなって進むことができなくなったことがありました。天皇陛下と皇后様がお見えになっていました。

私たちも車を降りて集まっていた人たちの端の方に一緒に立ちました。小雨の中で両陛下が白い花を海辺に手向けようとしていました。係の方が大きな傘を差しかけようとしたのですが、陛下が制止したので引きました。お二人が並んで花を手向けて、手を合わせている様子を見ていた70歳くらいの女性が「やさしい天皇陛下と皇后様ですね」と言っていて、私は黙ってうなずきました。続けて「日本人に生まれて良かったです」と話していました。私ももちろん同意しました。ネットでは私が左翼だと書かれていることがありますが、全然違います。

31年前の話をします。昭和から平成になったときのことです。私は東京の葛飾柴又に生まれました。兄が3人、姉が1人、父は公務員でした。その父が「男はみんな外に出ろ」と言って姉が家を継ぎました。姉の旦那さんは長男の親友です。当時、義兄は宮内省の総務課長補佐で、すぐ上の兄は読売新聞の記者でした。昭和天皇が体調を崩された少し後に、私の父も具合が悪くて半年くらい入院していました。そんな状況なので時々実家に行きたいと思うのですが、帰って来るなと言われていました。家に戻ると新聞記者やテレビの記者が十数人いるのです。昭和天皇のご容体や新しい元号について、義兄が知っているんじゃないかと記者が張り付いていたのです。元号が平成に決まればしばらく経った頃、義兄と新聞記者の兄と私でお酒を飲んでいたら義兄が「アルファベットだったな」と言ったのです。これまでの元号のアルファベットを考えると、次も「H」ということはありません。昭和の「S」もないでしょう。今日の皆さんの中にもおられるかもしれませんが大正の「T」も違うと思います。私の母も百歳で亡くなっていますが、明治も百歳くらいの方がおられますので「M」にもならないと思います。残るのは「あ行」と「か行」と「わ行」と限られています。昨日からのニュースでもわかるように、新元号の有識者たちは安倍晋三の息がかかった人たちです。歴史学者などが10個くらいの案に絞っていると思います。当然のことながら安倍晋三の案を使うでしょう。もっとひどいと“晋”の字を使って「安晋」かもしれません。レジュメの「安進」は安らかに進むで、別のところでこの話をしたときに出た案です。次の「安明」はもう使われているそうです。「安正」も漢字は違いますが「安政の大獄」の時代と読みが一緒です。あとは永久の「永」の字もありそうですが、安定感がありません。そうやって皆さんも3つくらい考えてみてください。当たったら吉田輝星のサインボールに私のサインもおまけします。でもなかなか当たらないと思います。意外に使われていないのですが、か行の「K」で「健」の字もあるかもしれません。な行の「N」もありますが言いにくいと思います。でもこれ

だけは言うておきますが、ネットで「福岡先生がこんな案を言っていました」と流すと、それが当たっていてもすぐにその場で違う物とすり替えられてしまいます。それが平成のときの「毎日新聞の大スクープ事件」です。インチキ記事だとなって社長が引責辞任をしました。毎日新聞がなぜ皇室に強いのかはお分かりだと思います。新聞社の場所が皇居の側なのです。私も読売新聞から本を出していますので、会社に行くことがあるのですが社屋から皇居が良く見えます。覗いているわけではないのですが見えています。新元号については、とにかく考えてみると意外と使えるものがないことに気がつくと思います。

「安倍一強にかげり」のところに進みます。カワウソという可愛い動物がいます。今永田町にはアベウソという動物がいると記者たちが言っています。とにかく森友問題のときも、あの改ざんは佐川がやったのではありません。迫田という県立山口高校から東大に進んだ安倍と同郷の男が理財局長になって2カ月で改ざんして8億円が1億円になったのです。それをやらされた近畿財務局のノンキャリアの職員が理不尽という遺書を残して自殺しました。教え子の旧民主党の連中に国会で理不尽という言葉を使いなさいと言っています。「安倍総理、あなたがやった森友問題で亡くなった職員が理不尽と言っています。理不尽の意味がわかりますか？理にかなっていないということですよ」くらい言えと電話で怒鳴りました。森友だけでなく加計学園のこともです。今治の図書館の本に9千万円のお金がかかっていることになっていて、半額の4千5百万円が今治市から補助が出ているのです。それを何人かが追及したら、本棚はガラガラで4千冊くらいしか本がありませんでした。それも古本とか変な本ばかりです。私はそれについてデータを見つけました。加計学園の財産目録というものを後で見えて下さい。昨年3月31日の財産目録に今治の図書館の本の冊数が書いてあります。4千何百冊しかありません。増えていません。これもちゃんとした新聞記者に言わなければいけないと思っています。4千何百冊なら1冊1万円くらいの専門的な医学書はそんなになんないと思います。せいぜい数千円です。中には雑誌や古本もあります。おそらくかかっている費用は2、3千万円だと思います。それで4千5百万円の助成金をもらっているのです。そういう細かいことを私は一所懸命に調べました。築瀬という総理大臣秘書官は覚えていないと言っています。東大出身の頭のいいエリートですよ。次の秘書官も9月14日のことだけ覚えていないそうです。そこだけ分からないというのも難しいと思います。それがまかり通っていて、まったく追及できないテレビや新聞は問題だと思います。安倍の悪口を書くなと言われて全部やらないのです。NHKで加計問題を追っていたあの記者は追い出されて、今は大阪日

日新聞にいます。そのことについて本を出しました。私もテレビのコメントは上手な方だと思いますが、昨年5月と6月に2、3回テレビに出て、秋にBS11に1回出た後にビートたけしさんから「先生出てよ。来ると面白いから」と声が掛かって「TVタックル」に出ました。たけしさんは足立区、私は葛飾区で同じ下町出身だから「わかった」と返事をしました。「でも水曜日の5時、6時は辛いんだよ。木曜日は広島大学で授業があるから、前の日に広島に着いていなければならないからね」とディレクターに話して「分かりました」と言っていたのに、その後は誰とは言いませんが圧力がかかって梨の礫です。そんなことが安倍一強の中にあっただけですが、今はかげりが出始めています。あの統計不正の問題は色々な資料を見せていますが、あんなのは見ても皆さんは分かりません。基本的な2点だけ話します。安倍さんが総理大臣に初めてなったときの2012年の冬は、デフレ脱却が上手くいかなくて経済成長が2%でした。その後2015年の再選のときには無投票でしたが、GDP600兆円と経済成長目標を表明しました。いろいろな数字をごまかして、今540兆円までできています。ここに全部の嘘があるのです。統計上の数字のあっちこっちをいじってやっているのです。今は京都大学で先生をしている西村さんという総務省出身の統計委員長が「おかしい。急に3%なんて成長しない」と言って去年の12月に追及しました。見てみたら裏で色々やっぴやっぴ、鉄鋼関係の人たちに講演に呼ばれました。やばいのかなと思いましたが大丈夫でした。総理の秘書官は6名いますがトップは首席秘書官といって政務担当をしています。経産省出身でも経産省のことをやらないで総理の全体の政務をしています。その政務担当が今井尚哉という人で、新日鉄の今井敬の甥っ子です。前も話しましたが栃木県立宇都宮高校から東大に進んで通商産業省、今の経済産業省に入りました。安倍晋三が頭を下げて、ずっと首席秘書官をやってもらっています。森友学園問題のときの「かき鉄」という牡蠣料理店の写真にも一緒写っています。ずっと関わっています。このことについて経済産業省の後輩に聞いたら「彼はエネルギーの専門家です。先生分かるでしょう。新日鉄は鉄を作るために工場に電気をたくさん使います。原発の電気は安いから原発推進派なんです」と言っていました。実際は何も安くはありませんが、それで安倍晋三は原発をやっています。一事が万事そんな状態です。小泉さんと一緒に講演に行ったりするときに「あれはだめでしょう」と言うと小泉さんも「そうだよな」と言っています。小泉さんが次にテレビに出るときは「安倍を選んだ私が悪かった」と言ってもらおうと思っています。こういうことを言うから、また嫌われてしまうのですが、とにかくこの統計不正の元はアベノミクスが上手くいっていないことを偽装するた

めのものなのです。GDPはどんなに計算式をずらしても今550兆円弱です。あと1年ちょっとで2020年になりますが、目標の600兆円にはなりません。それからデフレは脱却しません。12月分はボーナスがあるのでまだ計算ができていませんが、昨年1年でもほぼマイナスか0.5くらいです。統計不正は相当入り組んだ形でやっているということだけです。西村さんは国会に出てこなくなりましたが「出ないというメールがある」ということになっていますが、「それは嘘だ」と、この間西村さん本人が怒っていました。この人がもしかしたら明後日からやる参議院に出てきて、かなり本当のことを言うのではないかと思います。参議院の民主党か民進党か立憲民主党かに連絡をして、ちゃんとやればみればどうかと今のところは言っています。平然とこんなときに偽のメールを作って「文書がありました」なんてゆるいです。それは内閣人事局ができて霞が関幹部660人の人事は全部総理官邸が握りました。みんな忖度でゴマすりです。だれか1人くらい本当のことをいう人が出てこないものでしょうか。官邸に呼ばれて今井秘書官に、「この統計をきちんと直せ。アベノミクスが成功しているように見せろ」となっているのだと思います。愛媛県の知事も最近ではヨレヨレです。「私が出て行って話してもいいですよ」と言って欲しいです。もう日本には武士はいないのでしょうか。私は武士の末裔です。松坂慶子も朝ドラの役の台詞で「武士の娘です」と言っていますがそういう気骨が欲しいです。

「安倍外交」です。前回は触れて「北方領土は石ころ1つ返してこない」と言いましたが、まったくその通りになりました。最近たまたま学生に言われてアニメ映画を見ました。『ジョバンニの島』というのですが、見たことがある人はいますか？こんなに有名なアニメなのに誰も見ていませんか。と言っても私も学生に言われるまで知りませんでした。見るためにはCDショップなどに行かなければなりません。まず今日帰ったらネットで検索してみてください。私はたまたまケーブルテレビでやっていて、録画で見ることができました。『銀河鉄道之夜』からきているジョバンニなのですが、北島三郎や役所広司が声優をしていて豪華な映画です。色丹島に住んでいた2人少年が昭和18年の終戦後にソビエト兵に抑留されて、数年後に日本帰って来たのですが、今は根室に住んでいて「本当は僕たちの島だよ」と言っている話で、1時間40分くらいの映画です。この映画をプーチンにも見せたいと思いました。国後島、択捉島は後でもいいから歯舞島、色丹島に日本人が行けるようにして欲しいです。「日本のお金で缶詰工場を作るから4千人のロシア人を働かせていい。利益もロシアのものにすればいい。ただし10年後には島も工場も日本に返すことを

約束しろ」とする。2島で半分です。「半分返せ」というのは右翼に怒られるかもしれませんが、外交とはそういうものです。戦争ができるわけではないのですから。ぜひこの『ジョバンニの島』を見てみてください。誰が考えても北方領土は日本の島で沖縄と同じなのです。言いたいことは言わなければならないのですが、交渉はヨレヨレです。「プーチンと7回会いました」と言っても会ったから何でしょうか。この状態はどうなのでしょう。おまけにトランプにすり寄っています。だれかアドバイスをする人はいないのでしょうか。私がしてもいいのかなと思うのですが、いやだなとも思っています。

拉致問題は一番いいのは拉致家族のみなさんが北朝鮮に行ってみることで。政府専用機で4、50人くらいが一緒に行ってみて見れば良いと思います。横田めぐみさんのお母さんも行って返して欲しいと直接言うのです。そうやれば北朝鮮の人も分かってくれると思います。きっとまた「亡くなったんです」と言われるかもしれませんが「お墓参りがしたい」と言えばお骨がどこにあるのか分かるかもしれません。私も薬をもらいましたが、やっぱり命を懸けてやってもらうようなことをしなければなりません。でも行くなら命の保障は必要です。新しい政権になったら北朝鮮担当になって1人でも北朝鮮行こうと思っています。宋日昊とカラオケを歌いながら、お金を持って行って取り引きをしたいと思います。でも今の状態ではダメです。金委員長も悲しい顔をして帰国していったようです。タンカーを用意して中古の車を千台くらい積んで、カップ麺や古米でもいいからあきたこまちなどのお米や食べ物をたくさん用意して、平壤かどこかの港に持って行くようなことをしたいです。食料に困っていることは事実です。悲しい顔をして帰っていった彼も困っていると思います。入ってくる情報によると、本当に食べ物がないのです。外務省もわかっているのですがエリートたちは動きません。「わかっているのですが、上の人たちが耳を貸さないんです」と教え子が言っているので「何のために勉強したんだ。次官や局長になるために外交官になったのか」と叱りました。上の人たちは忖度ばかりでダメです。

日韓関係は文大統領が北からやって来た家系であることがはっきりしていますが、それは関係ありません。関ヶ原でも北だ南だ東だ西だとやったけれど、別れてやっても何の意味もありません。ベルリンの壁も西と東は今どうなりましたか。会津若松だって今山口県の人に来て、白虎隊と長州のことを忘れてはいませんが引きずってはいません。伊東正義先生もそんなことはもう言わないと思います。「人間もみんな一緒だ。特に日本人はみんな一緒だ。そういう気持ちになぜ起きないのか」ということを亡くなった伊東正義先生に強く言わ

れています。二本松少年隊の子孫の方から白虎隊以上の悲しい話をたくさん聞いていますが、会津の人が長州や薩摩の人を嫌だとはもう言っていません。

実を言うと去年の平昌オリンピックを見てバッハ IOC 会長が文大統領をノーベル平和賞へと動いています。オリンピックは動機としては良いと思います。でもどこかの総理はトランプにノーベル平和賞をと動きました。これだけはないと思います。誰か「それは違う。やってはいけません」と諫める人はいないのでしょうか。そういうこともしないという悲しい状態です。テレビも「文句を言う人は使ってはだめ。田崎史郎をどんどん使いなさい」となっています。そういう国は危険です。もしかしたら、ある番組のレギュラーを5月からするかもしれません。あんまりやりたくないけれど「テレビに出ないと死んだと言われますよ」と言われるので、内心ちょっと考えています。

最近私は金町という駅から千代田線で赤坂に行っているのですが、優先席に座ってipadや競馬新聞を見ながら30分くらい乗っています。Suicaだと380円、タクシーだと1万3千円かかります。安全で確実に速いのは電車です。電車の中の若者はみんなスマホを見ています。混んでる中で立ったままスマホでゲームをしている人もいます。「何をやってるんだ」とひとこと言いたくなりますが、警視庁に行っている教え子から「余計なことはしないでください」と言われているので言いません。本当に大変です。ゼミ生が「スマホ is My Life」だということで、何だそれとは思いました。「ボランティア is My Life」とか他の人のために頑張るのが自分の人生、立身出世のためでもいいから頑張るのが人生なんです。これからの人生はずっとスマホを見てるだけなになるのでしょうか。大丈夫なんだろうかと思います。考えることはしないようです。私は大学生のとき半日誰にも会わないで6時間天井だけを見ていたことがあります。あれこれと何かを思いついたらメモに残して、いろいろ1人で考えました。今は何かを見ていないと落ち着かないのだそうです。あとはニュースもネットランキングを見て、そういうことがニュースなのだと思っています。もっと頭を使ってもらいたいと思いますが、こんなことを言うとパワハラだと言われるかもしれません。

東京はAmazonだけが元気だと学生に言われました。「熱帯雨林が元気なのか」と聞いたら、「先生はスマホを持っていないから分からないんです」と笑われました。今は何でもネットで買う時代なんだそうです。みなさんお金持ちになりたい人にお伝えします。ラストワンマイルを知っていますか。最後の1,600メートルです。ニュースはネットで流れるけれど、ネット注文は品物を最後1,600メートルを宅配便などで届けなければならないのです。集配セン

ターはあるけれど最後の配達するところではできません。荷物が多くなりすぎて宅配業者も運びきれなくなっているのです。私は持っていませんが、運転免許をもっている皆さんなら、30人くらいのグループを作って届けることができるかもしれません。コンビニや宅配業者や郵便局などと組んで配達をやってみるのはどうでしょうか。小さな物なら電動自転車でもできるかもしれません。1人ずつ少ない時間でもできる範囲で、5時間くらいずつでもやってみてはどうでしょうか。そういうのをぜひ考えてください。ラストワンマイルにAmazonも苦しんでいます。

次は「売り手市場と人手不足」のところですが、昨日の3月1日は大学生への就職説明会が解禁になりました。秋田県も大変です。3年生でもう内定をとった学生がいます。昨日から始まったはずなのに、2月の中旬に広島大学に行ったら学生がそう言うのです。聞いたら一流銀行でした。「銀行なんか行っても先がないだろう、考えたのか」と言ってしまいました。マイナビやインディードのようなインターネットの人材紹介などの就職サイトがあります。今ここにおられる方は年金で生活されている方が多いと思うのですが、40年間正社員で働いて初めて年金は満額です。私は30歳で駒澤大学の専任講師になりました。67か68歳のときに「もう大学で働くのをやめようかな、他にもいろいろやることもあるし」と言ったことがありました。すると「70歳までやってよ。40年間で年金の金額が違うんだから」と税理士をしている息子が教えてくれました。だから私は今、年金が満額出ていてそれなりの生活ができています。そういうことを知らない人が多いので、最低でも25年あれば受け取れるようになっていましたが、それもなくなりました。企業は転職を3回していたら、まともにあてにしてくれません。45から47歳くらいまでで能力があればできるかもしれませんが、マイナビやインディードのようなCMにのせられてはいけないということを、お子さんやお孫さんに教えてあげてください。私はたまたま息子に言われて40年間働いて年金を満額にしました。

その次ですが、今回のレジユメを書いたのは木曜日のことでした。浜松から戻ってこちらに来るときに書いたものを今日お配りしているのですが、コンビニの24時間営業について止めた方がいい、セブンイレブンに戻ればいいと思っています。そしたら昨日からセブンイレブンに試験的に深夜営業の停止を始めるといった動きがありました。前の社長は友達でしたが、「絶対に24時間営業をやめない」のようなみっともないことはやめた方がいいと思います。あのオーナーさんが言っていることの方が正しいのです。私が前に書いた本の中にもありますが、コンビニは夜の12時から朝の6時まで閉めてもいいと思います。

営業したとしても全部の店舗でなくても良くて、いくつか開いているだけでいいと思います。コンビニ各社で話し合っていていつどこが開けるのかや金曜の夜だけはオールナイトで開けるなど決めればいいと思います。電気ももったいないし明らかに人手不足です。あの訴えた方は何年か前に奥さんが亡くなって人がいないんです。大阪の方だったと思いますが、どこも人手がなくて東京でも外国人の店員ばかりです。中国や台湾、韓国、ミャンマーの方が多いです。学生のアルバイトの方が多いいと思います、段々そうってきています。けども日本人がやってくれるのが一番いいと思います。セブンイレブンは元々朝7時と夜11時ですから、その時間でやればいいと思うのです。でも朝早く出発する人や電車の終電を考えるとシックストゥエルブにして朝6時から夜12時にすればいいと思います。あとは1軒だけ開けておけば、どうせみんな車で来るのだから大丈夫だと思います。とにかくこういう時代です。全体がシュリンクして人が減っています。人口も減っています。去年は97万人しか子供が生まれませんでした。そういうことも考えると日本の国のシステムを変えていかなければなりません。この大学も運営について考えていかなければならないと思います。教職員を減らさないようにすることもですが、授業の仕方も教室でなくてネット配信するなど時代に合った発想が必要です。昨日ニュースを見ていたら「私は秋田が好きだから、戻って来て新聞記者になりたい」と言っている高校生がいました。是非この大学に入ってもらって私のゼミに入れたいと思いました。ゼミにアナウンサーや記者を入れてあの子を新聞記者にしたいと思います。秋田の色々な問題についてきちんと考えてできるようにすることが大切です。人も人口もGDPも意欲もシュリンクしています。気の利いた学生はみんな公務員になってしまいます。公務員は楽そうですから。秋田市役所や県庁はどうでしょう。

去年の暮れに広島大学に新井貴浩を呼びました。300人少し入る教室でしたが満員でした。サインボールやバットを持ってくるというので、入り口で来場者に抽選用の番号札を配りました。私もバッグなどの景品を出して抽選会をすることにしたのです。抽選用の番号札も必要なのですが用意されていませんでした。ゼミ生に聞くと「大学の事務の人に言ったんですが、いいですよとされました」と言うのです。職員は公務員ですよ。事務長に「どうするんですか」と聞いても「そうですね」と言うだけです。私は瞬間的に「新井選手の背番号は25番です。25番の人」などと言って抽選会をしました。会場にいる人はみんな楽しみにしています。出てきた25番の人に新井がサイン入りバットを渡しました。その次はどうしますか？「この間中畑清も来てくれたので24と25

を足して49番の人」といろいろ考えてなんとか10個くらいの景品を抽選することができました。事務局長は早稲田の後輩です。終わった後で「こんなやり方ならもうやらない。やればいいということじゃない。形だけじゃないぞ。来た方にどう喜んでもらうかだ」と言いました。また、それとは別のことで去年の4月に広島出身の国連大使の方を呼びました。周知をどうしたのか分かりませんが、雨が降った日ではあったのですが参加者は100人足らずでした。平壤にも行っている私の知っている立派な方です。始まる前に「今日の会場は人が少ないですね」と言われました。会場は300人入る教室で、そこに100人です。私が頭を下げるしかありませんでした。学生に聞いたらホームページには1日だけ出ていたそうです。しかもわかりにくいところだったようです。一事が万事、公務員は形だけ残ればいいのです。

憲法15条には「公務員は国民全体の奉仕者である」とあります。奉仕者は英語でServants（サーヴァンツ）です。言葉はあまり好きではありませんが、そういう気持ちにならなければいけないのですが、なりません。私たちはエリートだと思っています。

小泉純一郎の思いは、行かなければ終わらないです。「原発ゼロの会」というのがありますがメンバーがすごいです。ネットでちょっと調べれば出てくると思いますが総理大臣経験者が4人くらいいます。菅直人、村山富市、鳩山由紀夫などがいます。その小泉さんが一緒に講演をしているときに「2014年日本の国は原発ゼロで動いていた。2011年3月11日の後、福島だけでなく2013年から2015年までの間の1年半、全国の原発が停止しました。単位などは分かりませんが日本全体で作れる電気量を100とすると、原発で作っていた電気量は2くらいです。原発が全部停止していても90くらい作れて、夏の暑いときでも冬の寒いときも電力不足はおきませんでした。今はまた少しずつ原発が動き出していますが、原発がなくても日本の国は動くんだ」と熱く話されていました。そのことを書かれた本が出ています。ぜひ読んでみてくださいと思います。小泉さんでも自費出版しています。今は原発反対の本は出版社が受けません。私の本が出ないのは、新聞社も進歩的な出版社からも「出せません」とついに言われました。それは安倍の悪口と原発反対のことを書いているからです。4月の末くらいに自主出版することにして、今最終校正をしています。2014年の日本は原発がなくてもやれたのです。今だったら日本はまだ原発燃料が少ないので廃棄燃料も少なくて済みます。今度新潟でもこの話をします。出来るなら秋田でも「原発はいらない」という講演会をしたいと思っています。そのときは小泉さんはタダできますが、稲庭うどんを食べさせても

らえたら喜ぶと思います。

フィンランドは地震が起きたことのない国だそうです。オンカロ処分場というフィンランド国内の全ての核廃棄物核燃料を処分する地層処分設備があります。10何本かの損傷デブリを鉛で固めたものを貯蔵しているそうです。その施設の地下300メートルくらいのところに小泉さんは車に入って見て来たそうです。「でも日本は地震があるんだよね」と言っていました。さっきも携帯がブルブルと鳴って、北海道で震度4、今朝は震度3の地震速報が入りました。数日前に出た地震予測では茨城沖、福島沖で30年以内に高い確率で震度7の地震が起きる可能性があるそうです。今も福島に損傷デブリを置いてあるのですよ。私は「あそこしか置けないんじゃないの」と東海村の専門家に言ったことがあります。「あんな地震の多いところに置けるわけがないでしょう」と言われました。「そんなばかな、なんでそんな福島に作ったの?」と思いました。あるとき双葉町にサポートに入ったときに酔って「なんで作ったんだろうね」と呟いていたら、同じ年くらいの男性に「あのね先生、福島原発1号基があるところは30mくらいの丘のような高台だったんですよ。だけど不安定だから削って低くして原発を作ったんです。元のままだったら20数メートルの津波でもあんなにならなかったのにね。だけどあれが来たからみんな他に行かなくてもよくなって、東電で働けたんです」と本音を話してくれました。こういう話を聞くと「そうだよね」と言うしかありません。東電の社宅は南相馬市にあります。案内してもらいましたが、高台にあります。「どうしてここにあるのですか」と聞いたら「津波がきたときに安心だから」だそうです。

東北福祉大学の学生を連れて広島県の仮設住宅に物資を持ってボランティアに行ったことがあります。訪ねた仮設住宅は海のそば50メートルくらいのところに建っていました。連れて行った学生の中には福島と宮城の子もいて、一言目に迷わず「津波は大丈夫なのですか」と言いました。地元の中国新聞社の記者が「瀬戸内海はよほどのことがない限り津波はこないと思うけどね」と答えました。私も「30メートルの津波が来たとき、この人たちは近くに逃げるところがあるのか。5階建てくらいの鉄筋造りの建物はあるのか」と聞きました。近くの山を登るしかなさそうでした。「本当に津波が来なければいいですね」と言いました。仮設住宅に住むお爺ちゃんお婆ちゃんは津波の怖さを知りません。「いいよ、造りが頑丈じゃなくてもお風呂に入れるし、料理もできるから」と言っていました。広島の学生は「そうですよね」と言っていました。津波に対する体温差のようなものを感じました。とにかく地震予測では福島や茨城が一番危険なのだそうです。北海道の稚内の近くの幌延町には、何も

入っていませんが「幌延深地層研究センター」という核抜き地層処分研究施設が設置されています。そこもいいかなと思っていますが、そんなことを言ったら相当反発されると思います。もし可能なら稚内から南に20キロくらいを立ち入り禁止にしてできるかもしれません。原発の損傷デブリを全部そこに入れる。処理施設が安全だと言うのなら、東京湾でもいいのかもしれませんが。お台場のフジテレビはどうでしょう。後から「ああ…」と思うときが来るかもしれません。だから今、本当に真剣に考えなければならないのです。そういうことが起きるとき、おそらく私も皆さんもこの世にはいないと思いますが、孫のことを考えると心配です。

小泉さんは野党統一候補を作れと言い出しました。鳥取と島根は2県で1つの参議院選挙区になるそうです。高知と徳島もそうだったと思います。参議院選挙区は34県で、秋田県も含めて1人区選挙区で32区になります。今年がイノシシ年で、12年前イノシシ年の2007は29選挙区しかありませんでした。7勝22敗か6勝23敗で自民党が負けて安倍晋三も辞めました。小泉さんはそのことを分かっているので野党一候補を考えているのです。小泉純一郎が小沢一郎とホテルニューオータニの中庭で会って食事をしたことはお話しした通りです。3時間半会って、本当は仲が悪いのですが意気投合しました。それから原発ゼロについて本格的に活動を始めています。その後、小沢一郎は橋下徹に会いました。橋下徹の維新の会と公明党の創価学会は絶対に合いません。選挙が近づいてくると、一緒に組みたくないと思う人がいるものです。だけどそんなことを言わないで「敵の敵は友」で安倍を倒すためなら敵は全部友で、共産党は名前を出さずにチラシ配りをしてもらう、などという形で小泉さんは本気で組めと言っています。私は冗談で「小泉さん、比例区に出て下さい」と言ってみました。いいと思いませんか。「原発ゼロの会」で比例区に立候補するのです。名簿の順番はトップ小泉純一郎にして、2番目は細川護熙、3番目は村山富市、4番目は最近若いマネージャーの効果で元気になられた瀬戸内寂聴先生、5番目はスポーツ番組もいいけどそればかりやってないで東大出身のNHK大越キャスターに入ってもらってやるというのはどうでしょうか。あとは気の利いた人に数人入ってもらって、私は裏方でやりたいと思います。どれだけ票を獲れるのでしょうか。寂聴先生と小泉さんが組んだら原発ゼロの会は軽く1千万票は行くんじゃないかと思います。おそらく原発反対は国民の6割くらい、安倍さんに飽きた国民は5割超くらいいます。立憲民主とかに入れる人はそんなにいないと思います。寂聴先生が入ってくれば小泉さんは組みます。細川護熙さんの都知事選の応援も一緒にやりました。菅原文太さんもお元

気で、私が司会をしました。私は早稲田大学のとときアナウンス研究会にいたのです。「ただ今より東京都知事候補者の細川護熙が街頭演説をします。まず初めに仁義ある戦いをしている菅原文太大先輩です」と言うと歓声が起こって人が集まってきます。その後で「元総理大臣の小泉純一郎です」と言うと小泉さんが遊説カーの上に上がってきます。みんな遊説カーの上に上がってきますが、寂聴先生は上がりません。「寂聴先生がお見えになっております。見えにくいとおもいますが前のミカン箱に上で演説をします。後ろで何人かが支えながら寂聴先生は演説をしました。雪が降っているときでした。そのときは負けましたが、そういうことをもう一度したいと思います。

4月の統一地方選挙が終わって5月の連休明けくらいに動きがあれば、私は表には立ちませんが密かにどこか端っこに映っているかもしれません。ようするに野党統一候補です。3年前も秋田以外は東北は全部野党候補が勝ちました。秋田県だけが元プロ野球選手の候補者が勝ったのです。この方はとてもいい人だと思います。バラバラ野党はどうしようもありません。玉木という代表はしょうがありません。栃木県出身で東北大学の弁護士の枝野は最低です。蓮舫もダメなので、イケメンの息子が出てきた方がいいかもしれません。野党の話はしないでポスト安倍となると、岸田はもう干されている状態で10人くらいしかいませんが、もう一度出てくれば変わるかもしれません。もともと新進党でやってきたのだから小沢さんと組めば、あんな窓際の端っこになくても出てこいと思います。野田聖子はまだ無理なのにまだゴマを擦っています。野田聖子のところには20人くらいいますが、合わせてもう辞めた方がいいかもしれません。問題は進次郎です。最近評判が悪いです。自民党の中にいたらそうなるしかありません。仕方ありません。だけど親父が動いたら息子は動くと思います。野球をやってきた体育会系の間人です。親がやるとなったら彼も動いて、彼には30人くらい付いてくると思います。ダブル選挙になる可能性があるので、次の6月のときにまたお話ししたいと思います。

最後です。「頑張れ秋田、頑張れ輝星」は2018年10月1日の秋田の人口は98万人です。今年の2月1日が97万6千人でした。3月1日は見てみましたがまだ発表になっていませんが、97万4千人くらいだと思います。1月に1,200から1,300人くらい減っています。1年間では1万何千人減っていることについては何度もお話ししていますが、1ヵ月で1,264人減っています。赤ちゃんは2017年に5,396人しか生まれていません。幸い亡くなっている方が1万5千人です。私も時間の問題かもしれません。どうしますか。昨日の川反は本当に静かです。食事だけして逃げるように帰ってきて8時頃にはもうホテルの部

屋にいました。アカデミー賞をテレビで見ました。本当に大丈夫か心配です。壇蜜を呼んで金曜の夜は薄い服を着て出て何かをやらせようとか、何かを考えなければなりません。

それから吉田輝星君と根尾君の違いについて少し話します。根尾くんは中日のバッテリーですが、彼はインタビューをしても眼が動かないそうです。中畑がインタビューしたときもずーっと中畑を見て、視線を動かさずに話していたそうです。吉田くんはイケメンすぎて目が動くそうです。神宮球場には荒木トンネルというクラブハウスまでの地下通路があります。あまりにもファンが集まりすぎて荒木の身動きがとれなかったのが作ったのです。その荒木が今2軍の監督です。「お前くらい人気があってプロに入った人間はいない。吉田君がいろいろ悩んだとき良いアドバイスをしてあげて欲しい。私は秋田の大学に行っているから。だからこれに吉田君のサインもらってきて」と荒木大輔に話しました。今日卒業式だったのかもしれませんが、頑張ってもらって秋田でも試合をして投げて欲しいです。楽天球場では楽天と日ハムが試合をします。私は8人分席を用意しますから早い者勝ちで来てください。ただ外野席なのでピッチャーは見えません。

結論です。前のイノシシ年の参院選は6勝23敗だということは触れました。そして今年、ブラック国家にならないように安倍一強という政治は良くありません。去年12月の講演でもお話ししましたが、山県有朋や桂太郎を抜いてまだやるとか4選だとか馬鹿なことを言っています。もういいでしょう。安倍は飽きました。アベウソです。自民党の中でも嫌になってきています。ゴマすりかなと思っていた秋田出身の官房長官も、最近ちょっと横を向き始めています。麻生さんと2人でやっていて、羽生田副官房長官は最近あまり見かけなくなりました。病気か何かあったのでしょうか。週刊文春の飛ばし記事を書いている弟子からの情報では、この間の自民党議員のワイセツ記事の他に、もうひとつ動きがあるようです。今月かどうかわかりませんが、文春なのであまり期待はしたくありませんが出てくると思います。今はほかのメディアは全然ダメです。テレビ朝日もダメになったし、TBSすらダメです。ちょっと言うとNHKでもすぐに飛ばされます。今日の秋田魁新報も読みましたが、企業の宣伝広告が何ページもカラーで載っていましたが、皆さんも見ましたか？生きるためにはいろんなことをしなければいけないとは思いますが、あれは首をかき上げてしまいました。武士のように生きろ、自分の立身出世だけでなく腹を切る覚悟でやらなければ、日本の国は大変なことになると思います。長い時間ありがとうございました。質疑応答をお願いします。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。それでは福岡先生にご質問のある方は挙手をお願いします。いらっしゃいませんか。

質問者 今日楽しいお話をありがとうございました。先生に1つお聞きしたいことがあります。先生は以前から原発反対を唱えているので公安の監視対象になっているとお話くださっています。基本的なことなのだと思いますが、なぜ先生が監視対象になるのか教えていただけないでしょうか。テロでも起こすかもしれないと思われているのでしょうか。言論の自由というものもあるのに不思議に思っています。監視対象となることについて初歩的なことで構いませんので教えていただけないでしょうか。

福 岡 2年数か月前の福島県知事選のとき、東京都知事選の後のことでしたが、テレビに出ている白髪の有名な長野のお医者さんが出る予定でした。私たちも福島で会って、菅原文太さんともその方なら大丈夫だと言っていました。佐藤栄作という前の知事も2、30人くらい人を集めて司会をしてくれたりしていました。小泉さんも細川さんも俺たちもやると言っていたのですが、その方が出ることをやめてしまいました。結局誰も出る人がいなくなりました。そこで福島出身のある医者で無名の方が1人出てくれました。その最後の応援を土曜日の夜6時から8時で福島駅前でした。そこに来たのは候補者と労働組合関係者と菅原文太と私です。そのときに文太さんから「最後まで付いてきてくれたのはお前1人だ。子供のため日本のため原発は知らない。福島県知事にそういう人がなってくれば止められるんだ。だからやるんだ。」と言っていました。その2ヵ月後に亡くなってしまいました。そのときに公安がいました。私は公安でも講演をしたことがあったので教え子がいます。その教え子がいたので「お前どうしたんだ」と聞くと「原発に反対する人をチェックするように上から言われています」と言いました。テロとかではなくて、とにかく原発反対をする人がどんな人なのか確認をしているようなのです。何でも見られていますから、とにかく公安がつくと動きにくいです。携帯電話は大丈夫だと言われていますが、固定電話には電話しません。固定電話は全部チェックされています。古賀茂明さんは固定電話を盗聴されていました。彼の友達がおかしいと気がついて盗聴されていることを発見しました。古賀さんも最近全くテレビに出られません。有能な経産省の審議官です。麻布高校から東京大学に行って国家公安試験は17番で合格した有能な方です。順番では大蔵省に行けたのですが篠山三郎の『通産官僚の夏』を読んで経産省に行きました。けどそう

いう見張っている人がいるとうっとおしいです。私は空手3段なので手を出すことはできませんし、警察に関連した仕事もしています。

ちょっと暗い話になってしまいました。今日は天気がいいのでぜひ秋田駅でおいしいものでも食べてみてはどうでしょうか。私も行ってみようと思います。そして明日仙台に行って石巻や南三陸にボランティアに入ります。長い時間ありがとうございました。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。福岡先生にもう一度盛大な拍手をお願いします。このあとゼミナールを開催いたします。ご希望の方はどうぞご参加ください。本日はどうもありがとうございました。

〔講 演〕

ノースアジア大学 総合研究センター主催 講演会

「参院選直前の政局 — ダブル選挙はあるのか!?! —」

講師 東北福祉大学特任教授
ノースアジア大学総合研究センター客員教授 福岡 政 行

司会 ノースアジア大学総合研究センター長
本学経済学部教授 藤 本 剛

日時 令和元年6月29日 午後1時～2時30分

会場 ノースアジア大学 40周年記念館 271 教場

福 岡　　こんにちは。今日は講演会が終わったらすぐに出発しなければならないためゼミの方はできませんが、9月のときにイービスアショアについて地元のみなさんと電磁波の問題なども含めてゆっくり雑談をしたいと考えています。今日のレジュメに入る前に元号が令和になりました。それを書いた額を持って発表した方は秋田県の出身の方だそうですね。もしかしたら秋田県から初めて総理大臣が出るかもしれないという錯覚と誤解が今出てきています。私と菅官房長官とは横浜のある団体で一緒に、ときどき食事をすることもあります。携帯電話の番号も交換しています。前に触れたように小渕恵三が「平成のおじさん」と言われているのは、実は私が近所の子供たちがそういっているのを聞いてそれを本人に伝えたら、その後から嬉しそうに小渕さんが自分で言い出したのです。今回は「令和のおじさん」が菅さんです。見た目が都会的ではありませんが他に候補者が全然いなかったら、もしかしたらあるのかもしれませんが。つまり岸田文雄は情けないほど根性なしだし、麻生さんについてはもうおそらくイエローカードのペナルティが4枚くらいでアウトだと思います。あとは石破茂では情けない感じだし野田聖子では小池百合子がだめなので無理だと思います。そうなるほとんど人がいないかなとなって、消去法で取り立ててスキャンダルがない菅官房長官にしようかなという動きが今あるのです。ただ麻生さんは気に食わないと思います。

今日のタイトルにもある参院選このことで秋田県の選挙区がなぜかすごく注目されています。その理由は9月の講演でお話しします。もしここで野党統一候補のような方が勝つようなことになると、これはおそらく東北全部が野党系の方々になります。一人区で野党の激変があると、また12年前の悪夢の繰り返しです。イノシシ年です。2007年の安倍晋三さんは総理大臣でしたが選挙で負けました。そのとき私に電話をかけてきました。私は安倍晋太郎先生の弟子です。「先生、こういう結果になりました」と言っていました。彼はまだ52才くらいだったので「君はまだ若いので一旦引いてからもう一度挑戦したらどうだ」とアドバイスをしました。橋本龍太郎先生が辞めるときも相談を受けていたので「橋本龍太郎先生は参議院議員でも国政選挙です。私は辞めます」とは潔く辞めたという話をしました。「お話をかがいました。ありがとうございます」と安倍晋三の電話は切れました。その後インドに旅行して辛いカレーを食べて潰瘍性大腸炎になって、9月のある日に慶応大学病院に緊急入院します。前にも触れたと思いますが、私はその当時大腸癌で東大病院に入院していました。テレビのニュースで「安倍総理大臣が総理辞任。慶応病院に緊急入院」ということを知りました。その後で当時は親しくしていた麻生太郎から電話があ

りました。「先生やりますから」と言うので「頑張っ」と言いました。でも福田康夫という人にあっさり負けてしまいました。12年前の悪夢が後で触れるダブル選挙ができない理由の一つだと思います。秋田発イー・ジェス・アショアの問題と年金問題の老後資金2千万円の問題は非常に分かりやすいのでお話ししていきます。

7月に前川文部省の次官の講演会があります。行ってゆっくり聞いて来ようと思っています。なかなかの人物です。非公開株の企業ですが前川製作所は収益を上げている優秀な企業です。この前川さんのことを「怖気づいている」といって辞めさせました。新宿の出会い系バーに行っているのをずっと調べていた警察官僚OBの情報官がこの2週間ほど表に出てきません。何があったのかはわかりません。もしかするともうひとつマスコミが何かスキャンダルを握っているのかもしれない。もしそれが本当に出るようだとすると、この先の7月4日からの参院選はとんでもないような結果になって、いよいよ8月のある日総理官邸に秋田県初の総理大臣が、ということも起きるかもしれないということをお話ししておきます。

財務省に行っている後輩が「先生、霞が関はみんな坂本九ですから」と言うので「それは何だ」と聞くと「上を向いて歩こうです」と言っていました。上級国民だけなんです。池袋の暴走事故のあの80何歳かのお爺さんは杖をつけて歩いていましたが、経済産業省の工業技術院の元院長です。彼はまだ逮捕されません。交通事故で子供がちょっとけがをしただけでも普通はすぐに現行犯逮捕なのに、秋田魁新聞ではまだ被告です。元院長は上級国民です。私立大学を出た人なんで下流国民だそうです。人間に区別なんでありませんよね。マザーテレサは肌の色がどうであろうとも何も違いはないんだとずっと言い続けて、私たちもボランティア活動をしています。腹立たしいことがたくさんあります。

レジュメの1つ目に行きます。先ほども少しお話ししましたが、G20についてです。世界のGDPの90%をG20に参加している20か国と地域が占めています。非常に豊かな国しか参加してないということです。私はマザーテレサの関係で難民を助ける会のスタッフのひとりです。恵まれない子供たちを支援するための活動をしています。相馬雪香先生から「難民とはどういうことかわかりますか。帰る家がないのですよ」と言われて一生懸命にボランティア活動を25年しています。そのことを考えるとセレモニーだけをやってもどうということもないと思っています。問題は「日米安保条約がもう要らない」ということです。これはトランプのディール（取引）です。トランプのスタッフのコメントを聞いていると、株が上がれば彼は喜ぶんだそうです。だからすべてがト

ランプのディールなんです。「日米安保条約はもう要らないと言われても、守ってやっているんだから日本は必要ですよ」となって昨日の日米会議の中で「それなら武器をちゃんと買って、3千億円のイージスアショアも2基配備してそれ以外のことは何もするな」ということにする。でももう一方で外交はマキャベリズムです。日本には分かったよというフリをしながら金正恩と会って「38度線の非武装、非核地帯ができるんだったら、そういうことをやめればいい」とやっています。イージスアショアには電磁波の問題を住民はあまり良く思っていないし、秋田の住民説明のデータはインチキをしています。居眠りした防衛相の職員もいました。あのとき、まず先に記者の人たちがなぜ怒鳴らなかったのでしょうか。私は3.11のときに説明した人に「なんだその説明は」と怒鳴りました。当時の民主党政権時代の教え子でもあったのですが、説明した議員はびっくりして私がいる記者席を見て「すみません」と謝っていました。ああいうのを見ていると「日米安保条約が要らない」というのは本音でも何でもありません。すべてはディール（取引）で「じゃあ武器を買って、牛肉や色々な物を輸入してくださいね」ということになります。これがいわゆる日米安保条約の本当のところなんです。今これをきちんと説明をしないことは、ランプは取引のやりとりのプロだからです。この間テレビでもやっていたのを見た方もいると思いますが、ホテルニュージャパンが火事になったときに防災装置が何もなくてたくさんの犠牲者が出ました。作家で友人でもある大下栄治がそのことを調べていて「このホテルのオーナーは本当にひどい男なんです。本当に悪人なんです」と言っていました。お金に執着したワンマン経営で、火事のあとに再起を画策して手を組もうとしたのが大物不動産王のランプだったのです。でも取引が進まなかったのはオーナーにとっていい条件ではなかったからではないかとテレビでやっていました。

「参院選」についてです。7月4日公示で7月21日に投票です。秋田選挙区については今日はコメントしませんが、大接戦になると思います。日曜日の夜8時の開票と同時に速報が出ます。秋田選挙区はなかなか出なくて、おそらく11時頃になるのではないかと思います。最後に秋田市内の票が開き始めて、秋田市民がイージスアショアをどう考えるかでどういう結果になるかだと思います。同じ東北で宮城県や青森、岩手では今のところ共産党を含めたオール野党が優勢なようです。秋田次第ですが東北は全部野党系にひっくり返るかもしれません。来週奈良新聞と京都新聞に講演に入りますが、国政選挙なので向こうでも異変が起きるかもしれません。東京は6人区になりましたが、共産党候補の女性と公明党の山口那津男は当確のようです。あとは山本太郎という候補

者が東京で出るか比例で出るかというところだと思います。自民党でもまだどうするか決めていない人がいるようです。国民は関心がないので低投票率になると思います。公明党、共産党は強いですが、ほかのところは苦しんでいるようです。

12年前の悪夢については先ほど触れましたが、ダブル選挙がなぜ消えたかということに触れます。NHKを含めて複数のところで世論調査をしていたのですが、6月から老後資金2千万円問題が出てから急速に内閣支持率が5ポイントから6ポイント下がりました。50%だったところは45%になりました。45%ぐらいのところは40%ギリギリです。「嫌いだ、不支持だ」というのは40%に少し足りないくらいです。政党支持率も42、3%あったのが37、8%になりました。実は下がったときのトレンドが大きくて、12年前や橋本龍太郎さんのときと同じようなことが起きるかもしれません。「参議院は良く分からないし」と遊び心で票をいれるような人もいたりします。この2、3カ月の状況を見ると来週月曜日に出る日銀の短観もあまり良くないと思います。そういうことからダブル選挙をやりたかったのですが、年金問題の12年前と今回の2千万円問題の状況が非常にパラレルな相似形で動いています。だからダブル選挙はよそう、元も子もなくなる。衆議院は圧倒的に3分の2議席あるし、与党はバラバラ、本当は野党がまとまらないうちに抜き打ちでやっつけてしまおうかと解散をしかけたのですが、この状況ではそれもできないのです。

そんなあるとき小泉純一郎さんを中心に「原発ゼロの会」という集会を城南信用金庫というところでやりました。そこの前の常務が小泉さんの慶應義塾の後輩ということでやりました。必死になって私も含め瀬戸内寂聴さんや何十人かです。東京で何回かやりましたが、どこも2千人くらいの満員なんです。今度東北福祉大学も公開講座をします。小泉さんは単独できますが、大学はそんなにお金を出せません。ちょっと相談してみたら小泉さんが「原発ゼロの話だったらボランティアでします」と言ってくれました。機会があったら秋田にも呼びたいので、新聞社などに言ってみようかなと思います。小泉さんにできれば「原発ゼロの会」で参議院の比例区で出て欲しいと思っています。細川護熙、鳩山由紀夫、瀬戸内寂聴先生もできると思います。瀬戸内寂聴さんは若い秘書さんがきてからお元気になりました。前回の選挙のときはミカン箱の上に立てなくて私が後ろから支えて街頭演説をしたことがありました。今はとてもお元気です。わたしは政治家向きではないので出ませんが、色々な県の任期が終わりかけている知事が出るのもいいと思います。埼玉県知事、岐阜県知事は後輩なので入れて10人くらいにあとは弁護士も入れて、子供食堂をし

ている湯浅君のような真面目なボランティアをしている人なども良いと思います。大学の先生はいい加減なところがあるのでだめです。20人くらいでどうでしょうか。参議院比例では軽く2千万票は行くと思います。下手すれば自民党はおそらく1千7百万票くらいで、1千5百万票から2千万票行って第1党になるかもしれません。国民民主党には誰も入れないと思います。共産党は3百万票から5百万票しか獲れません。公明党も多少減らすと思います。そういうようなことがあって「福岡さん根回ししてよ」という話がありましたが、参議院単独選挙になってしまいました。ただ小泉純一郎は東北地域の一人区の応援には行くと思います。もちろん「原発はいらぬ」という条件はつきます。ですから共産党は表に出ないで裏方でチラシ配布などをしていけばいいのでとします。それは共産党も分かっています。だからそういうような形になるかというのが今の自然の流れで、ダブル選挙はできないのです。それが消えた理由です。やったときは劇的になるのと、一応マスコミ関係者と立憲民主と国民民主の後輩や政経塾の教え子には、私に1日くれれば小選挙区の候補者は全部決められるよ、現職は当然候補者で、次点で負けた人も候補者です。あとは案の中から良さそうな人を選びます。そういう人がいなかったら市長さんとか弁護士さんとかを入れます。みんなでとにかく400のうち280いくつの小選挙区を決めます。あとは小泉さんには衆議院の方で出てもらいます。村山富市元総理大臣にもお願いしてみようと思っています。元総理大臣が5人になって、寂聴さんと並んでもらいます。秘密だけどNHKの大越にもスポーツキャスターなんかやっていないで出てみたらどうかと言っています。そういうような真面目な方たちと古賀茂明にも出てみたらどうかと声をかけています。1ヵ月くらい静かにしていたのは、そういうことをしていたからです。

昨日の夜、本が出来上がったと電話がありました。今日秋田には持ってくることはできませんでしたが、仙台には届いているそうです。インターネットのAmazonからも買うことができます。新聞社や進歩的な出版社など7社に「本を出してください」と相談しました。「1千冊か2千冊をは講演会などで扱えるので買い取ります」とも言いましたが「内容が悪いというわけではありませんがこれだけ安倍総理のことを書いているので」となかなか良い反応がありませんでした。小学館に後輩がいて「自費出版という形で出しましょう。そのかわりネット販売や書店での販売は全部やりますので」と言ってくれました。来週早々に発売が開始されます。インターネットができる人は見てみて下さい。消費税が10%になっても千円で買えるように手ごろな価格にしています。『夜郎自大の安倍政権』というタイトルです。「夜郎自大」はや夜郎国という小さ

な国があって自分の国のことを良く知らないでうぬぼれていたという話からきた四文字熟語です。『夜郎自大の安倍政権』のサブタイトルは「ブラック大国家ニッポン」です。私はサブタイトルの方を本のタイトルにしたかったのですが、出版社が「インパクトは“夜郎自大”の方が良い。この言葉を知らなくてスマホなどで調べる人がたくさんいると思う」というのでタイトルとサブタイトルを逆にしました。本の中には安倍晋三の8つの間違いを書いています。今日は間に合わなくて実物をお見せできませんでしたが、ぜひ読んでみてください。とにかく参院選は単独選挙で21日の投票です。もしかすると真夏の政変が参院選でもあるかもしれません。橋本龍太郎のときのようにあっさりと辞めてしまうこともあるかもしれません。前の安倍晋三のように少し経ってから辞めるなどケースは分かりませんが、そういうことが起きる可能性があります。

レジュメの3つ目、「安倍外交」についてです。①の北方領土については前回も触れているようにロシア外交の専門家が「石ころひとつ戻ってこないよ」というようなことを言っています。日ソ共同宣言の中にある「齒舞色丹から返還を考える」ということについて、プーチンは「もうそんなことはない。北方領土はロシアの領土である」と1週間前のテレビで言っています。

前回もお話ししましたが『ジョバンニの島』というアニメーション映画があります。みなさんご覧になりましたでしょうか。宮沢賢治の『銀河鉄道之夜』のジョバンニから命名された主人公の純平とカンパネラから命名された弟の寛太の兄弟の実話を映画化したものだそうです。色丹島で兄弟が穏やかに暮らしているんですが8月15日の終戦の後にロシアの人たちがやってきます。2人はロシアの子供と同じ小学校で勉強しますが、その後日本人は強制的に収容所に連れて行かれた人と日本に帰された人に分かれます。純平はシベリアに行って2年後に日本に戻ってきます。その後は根室で暮らしているという話です。ネットで調べられると思うのですが、声優は仲代達也さんや八千草薫さん、北島三郎さんといったすごい人たちがばかりがやっています。この映画の関係者の人たちがみんな「どう見ても北方4島は日本の領土だ」と言っています。

今ロシアは色丹島に4千人規模の缶詰工場を2つ造ろうとしています。造ってもいいから日本が全部資金を提供すればいいと思います。ただし10年後に日本に帰してください。利益は折半でいいです。技術指導は日本が、例えば大手のマルハが行ってやります。こういう取引（デール）が日本の外交にはありません。もうとにかく外交はマキャベリズムです。何か取ればいいと思います。「分かりました。日本が工場を造ります。缶詰の技術も日本の企業がやります。儲けも半々。魚の漁も日本の船で全部やります。魚の仕入れはもらいます。で

も10年経ったら日本に返してくださいね。徐々に3割ずつでもいいです」というズルさや賢さが日本の外務省にはありません。マキャベリズムです。ぜひ『ジョバンニの島』という映画を見ていただけたら幸いです。

2つ目の拉致問題についてはご家族の方がいるので「埒が明かない」という冗談も言えません。私が北朝鮮に2度行って薬を盛られた経験からも、簡単ではないことが分かります。ただ、たくさんの人が拉致されて連れていかれていますが、向こうの人に聞いてみると確実に何名かの方はご存命です。小泉さんが行ったとき私は「おにぎりや羊羹と魔法瓶のお茶を日本から持って行って向こうから出たものは食べないようにしてくださいね」と言いました。もしかしたらその他に内閣機密費からいくらかをボストンバッグに持って行って行ったのかもしれない。外務省が動くのはなかなか大変なので、私が北朝鮮に行きたいと思っています。韓国製のテレビデオとたくさんのビデオを持って向こうの農家に持っていきたいと思っています。不透明ですが、今日明日でトランプがどうするのかです。また金正恩が板門店の北朝鮮側から出て来て、韓国側のトランプと2人で歩くのかもしれない。ただ会うだけではなくて1時間くらいで食事やお茶をするのかもしれない。あの利発な妹さんも一緒に付いてくるのかもしれない。トランプには娘がいます。もしかしたらブランド品をお土産に持って一緒に行くのかもしれない。そういうことをトランプは考えていて、アメリカ国防省は大変だったらしいです。もうすぐ落ち着いて移動するのかもしれませんが、とにかくエアフォースワンという大統領専用機に乗って行くんだと思います。習近平が先週わざわざ北朝鮮に行ったというのも、こういう背景だだと思います。先に行って親書を渡して話を付けてきていたのだと思います。その代わり米中の貿易戦争はすこしダウンしようとかの話かもしれません。今は分かりませんが早ければ今晚、明日にはそういったことが分かると思います。

3つ目の日米貿易は「とにかく武器をいっぱい買え」ということです。基地問題や安保の話は保留です。それに「牛肉でも何でも全部制限なく買え」となっています。日本はすき焼きの肉は端っこの方ですが、ニューヨークのすき焼きを頼むと肉がてんこ盛りです。ネギとかこんにゃくは少しだけです。そのくらい肉が余っています。ただしアメリカの牧場を見た人は「やっぱりオージービーフの方がいいなあ」と言います。オーストラリアの方がきれいだそうです。アメリカはもちろん広いのですが、衛生面の管理がちょっとなんだそうです。「だからオージーの方を多めに入れてるんだ」と焼肉屋をしている知り合いが言っていました。

外交は今大阪で G20 をやっていますが食事会をしたりしていて、ただのセレモニーです。昨日は婦人たちが京都に行きました。人力車にも乗ったようですが、歩いている人もいました。全員乗せてあげればよかったのにも思いました。昨日の京都は 30 度くらいあって相当蒸し暑かったはずですが、だから外務省も薄着の服装にしてくださいとかを説明したり、ハンディの扇風機を持たしてあげればみんな喜んだと思います。外務省のお役所仕事には本当にあきれてしまいます。もう少し具体的なことを考えて動いた方がいいと思います。防衛省はもっとひどいです。もう少し考えた方がいいです。まだ制服組の方が気合が入っているのでしっかりしています。3.11 の後の救援隊で 4、5 人亡くなった人がいます。おそらく警察や消防ではそういう人はいないと思います。瓦礫の山から鬱状態で半分自殺のように飛び降りた人が自衛隊にはいます。理解できると思います。最後の処理は自衛隊の人がしますが、水死体なんて見たことがありません。警察や消防は血を見るような現場があるかもしれませんが、自衛隊はそういうことがありません。最後に 1 人で頑張ってやって、瓦礫の中から水死体を発見するんです。教え子の医者が出ていきましたが、水死体は見ない方がいいそうです。自衛隊は「国土安全隊」に代えてやった方がいいのではと思います。

4 つ目の「日本経済と秋田の夜」です。今日、私の愛するヤクルトと巨人のナイトゲームが秋田であります。昨日秋田に来る飛行機で球団関係者と一緒になりました。私の席にきて「明日試合があるので準備に入ります」と話していました。私が泊まったホテルには巨人の選手が泊まっていた。原辰徳は面識がありますが、エレベータに乗ったら面識のない大きな体の選手が 3 人乗ってきました。嘘でも年寄りが乗っていたら気を遣うものだと思います。ぶつかっても謝りもしませんでした。誰とは言いませんが巨人の選手でした。

昨日も秋田の夜は静かでした。球団関係者と 4 人でお寿司屋さんに行きました。臨時収入があったので私が払いました。私は「古今東西、人口が減って経済が豊かになったことは無い」と言い続けてきました。もう秋田の人口は 97 万人を切っています。本当に静かでいいのですが、何か具体的なことを考えないのでしょうか。何をどうするつもりなのか全く見えません。駅前の商業施設も全ての階で営業していないように見えます。5 時に閉まるデパートもあると聞きました。昨日ワイシャツを買おうと思ってそのデパートに入ってみようと思ったのですが、ホテルの人に別のデパートを紹介されて行きました。3 階でワイシャツと靴下を買ってトイレに行きました。その間に見かけたお客さんは 3 人しかいません。男性用のフロアだったからでしょうか。とても静かでし

た。ちなみにこのデパートの社長は後輩です。2階は婦人服フロアでもう少しお客がいました。1階は通り抜ける人が多かったようです。地下が食品フロアで人がいて大丈夫でした。何か考えないといけないと思いました。例えば足湯のコーナーを作るとかお年寄りが和めるような何かを作ってみるとか、どんどんやっていかなければなりません。私は秋田で市議員になろうかと思ってしまいました。雨が降っているのにゴルフに行っているようなのは絶対にダメです。そういう地域住民の安全が頭の片隅にもない人が、トップになったらだめなんです。1年ぶりだ、半年ぶりだから、せっかくだからとゴルフに行って帰ってこない。私の弟子も何人も知事や市長をしている人がいます。私とゴルフ場で待ち合わせをしたときに三重県が大雨で危険な状態になったことがあります。約束なのでと待っていましたが来ないんです。「先生、申し訳ありません。かなり大雨が降りそうです。三重県の南の方がかなり危険な状態です。お約束ですが申し訳ありません」と連絡がきて中止になりました。こういう場合は仕方がないので許します。分かった、と言って1人ポツンと残されたので名古屋に移動しました。

日本経済については、ユニクロは年収3,000万円という人を採用するという話があります。学歴は問いませんがTOEICが850点以上で東南アジアが中南米に行って5年間やれる人が条件だそうです。ユニクロの柳井は後輩です。「どこでも採ります。3,000万円出します」と言っています。25歳か30歳くらいの中途採用なら、行くよね。三菱商事だって行くでしょう。エリートはもう一握りで良いと思います。あとは販売の現場にいる人です。見た目ではなくて売り上げの貢献がいい人です。今朝ホテルの朝食に9時頃行きました。朝食会場に係の人が5人くらいいました。係の女性が「どちらにお座りになりますか」と聞いてくれました。「あまり食欲がないんだ」と言いましたがちゃんと用意してくれました。二日酔い気味だったのでちょっとフラフラした状態でコーヒーを取りに行こうとしました。そうしたら「私が持って参りますので、座ってお待ちください」とにこにこ言ってくれました。昼食のときも「大丈夫ですか」と気を遣ってくれる子です。その笑顔が大事なんです。JALスマイルとも言いますが、昨日のANAのキャビンアテンダは綺麗なかわいい人たちでしたが笑顔がありませんでした。嘘でもニコッとすればいいのにと 생각합니다。「満席です」とブスと言わない方がいいと思います。「申し訳ありません。あいにく満席で」とニコッと伝えてくれればいいのにと 생각합니다。とにかく愛嬌がないんです。なぜそれを教えないのでしょうか。それを教える就職講座もやりたいなと思いました。

前に『人生は出会い』という本を書いたというお話をしたと思います。これは秋の出版予定です。その中にユニクロの柳井が最初にヒートテックを作った話も書きました。10数年前のことです。ちょうどゴルフの予定があったので「薄くて暖かいというからゴルフにちょうどいいかもしれない」と柳井に言ってみました。そしたら「1億着作ったのですが全部完売です」と言うのです。立ち上がって「私のでよければ」とズボンを脱ごうとしました。彼にはそういうところがあります。でも小柄な彼と私とではサイズが全然違います。そのとき次に言った言葉は「次が勝負ですから」でした。全然おどっていないのです。この男はすごいなと思ってユニクロ株を買ってしまいました。

日本中を歩いてみて空洞化していると感じています。これは物的なことや量的なことだけではなくて、質的なことも頭の中も空洞なんです。ゆるい警察官が象徴だと思います。保釈犯が包丁を持って出てきたら、戦うものだと思いますが逃がしてしまいました。車で逃げるときも警棒で叩くとか石を投げるとか引かれる直前まで車の前に立ちはだかるとか、逃走を阻止するものでしょう。もし引かれるようなことになったら公務執行妨害になって保釈犯はさらに大変なことになります。私だったら警棒でフロントガラスを叩くと思います。うちのゼミにいる女の子は警察と消防士になります。「こういう場面になったらどうするんだ」と聞いてみました。「やります。戦います」と言っていました。女子学生への誉め言葉にはならないけれど「お前男らしいな」と言いました。そういう警官でなければだめなんです。警視庁の警視をしている教え子にも言いました。代わりに殴ってもいいというのでお腹にパンチしてみました。彼は空手3段で鍛えているので鉄板のような体でした。秋田県も初めてきた8年前からずっと言っていますが、本当にどこかで人口減少をとめなければなりません。3人目を産んだら百万円を贈呈するとかして、家賃が安いアパートをたくさん作って30代の若い夫婦に来てもらって住まわせてITの専門家などになってもらうとか考えなければなりません。県庁も市役所も何も考えていないように見えます。日本は年間98万人くらいしか子供が生まれません。高齢者は百何十万人も増えていきます。間違いなくシルバー産業だけになっていきます。

「吉本興業の闇営業」は間違いなくまだ増えると思います。10数人顔が出ていますが、分かるのは2人くらいです。関西ではあれが主流です。あんなことをしている一方で大阪ではG20をやっています。万博も招致しています。何かどこかで気合を入れないと、これからは無理だと思います。立命館の学生3人くらいと大阪のデパートに買い物に行きました。そのときにトイレに行った

ら、途中で大阪のおばちゃんが「ごめんね」と言って男子トイレの個室に入ってきました。これは何事かと学生に聞いたら「大阪ではこれが当たり前」なんだそうです。デパートで値切るのも当たり前だそうです。闇営業ではないけれど、いくら女子トイレが混んでいるからといって女のおばちゃんが男のトイレの個室に入るのでしょうか。秋田はどうですか。入ってきせんよね。

カリタス学園のことについてもお話しします。犠牲になったあの外交官は本当にミャンマーのことが好きだったようです。止めに入ったのか犠牲になってしまいました。犠牲になった女の子も相当深い傷を負っていたそうです。系列の幼稚園と小学校には男の子もいるようですが、私立の中高一貫女子校でミッション系のなかなかの名門校です。本当に辛いニュースです。襲った犯人は50代男性です。8050問題というのを知っていますか。親が80歳くらいの高齢者で子が50歳くらいの中年ニートというか引きこもりという問題です。それをおばちゃんが「あなた自立しなさい」と1ヵ月くらい前に言ったのが、あの事件の発端だと昨日からニュースの話題になっています。高校生くらいからの不登校の子にはパン工場でパンの作り方を教えるとか、ボランティア活動と一緒に歩いてみるとかすると被災地の大変さが分かるかもしれません。とにかく動いて汗をかいてみる。私の知っている人も少なくとも2人ぐらいが、そうやって頑張って始めました。1人はボーっとした感じの学生でした。だけど私の授業を聞いて自分から「ボランティアに連れて行ってください」と積極的に動き出しました。引きこもりがちの5年生の学生でした。その学生は今ではちゃんと働いています。私はボランティアに行くと一緒にいった学生の誰かに2、3万円くらいのお金を全体の食費として渡します。彼はそれの収支をきれいにノートにまとめて領収書と残金をきちんと整理していました。何かをさせてみるといいと思います。私は女の子でも「頼むね」とカバンを持たせて歩きます。私も後期高齢者になりつつあるので、そういう人への気遣いも学ばせます。何かをさせてみると変わることがあります。ちょっとみんなで考えることができるのではないかと、カリタス学園の事件を見ていて思いました。

この事件に関連して有名な元次官が息子さんを殺害するという事件が起きました。かなり有名な方です。彼は自分の息子の責任を自分とりました。それは辛い決断だったと思います。退職金を6千万円から8千万円くらいもらうような方です。年間1千8百万円くらいの給与をずっともらっていて、ハイヤーが付いて個室があって女性秘書が付く超エリートです。ちょっと講演にいくと30万円、50万円は当たり前です。おそらく今の家の他に億ションも持っています。その他に数千万円のマンションも持っています。でも子供がこの状態で

カリタス学園の事件を見て「このまま何かあったら」と息子のことを考えて、寝ているときに殺害したようです。辛い事件です。だけど親として責任をとったのは偉いです。親という字は木の上に立って見ると書くのだそうです。私はある方から言われたことがあります。親離れして手を放しても、やっぱり親は子供のことをいつも見ていなければならないのだそうです。

先週日曜日は一番小さい孫の6歳の誕生日でした。葛飾の菖蒲園のところに連れて行きました。冒険広場があって何度も滑り台を滑って遊びました。小さな子がいるのにちょっと大きな子が踏みつけるように滑り台の階段を昇っていきました。じいじは心配です。「負けるな、戦え」と私が言うと活発な6歳の孫が負けずに登っていきました。そして「だめ、乗っちゃ」と大きな子に言って先に降りてきました。その大きな子が降りてきたので「お前、順番は守れや。じいじは警察の人間だ」と半分嘘ですが言いました。「分かりました」とその子は言っていました。大人はその子のために言ってあげなければならないこともあるんです。うちの子は6歳ですが、もっと小さな3歳くらいの子も遊んでいました。滑り台の下から怒ろうかなと思いましたが奥さんに「ダメよ、そんなの」と止められました。息子も一緒に行っていましたが遠くで見ているだけでした。今の男は気が利きません。

真面目な高校の数学の教師が女の子を自宅から連れ去ったという事件もありました。首を絞めてスタンガンを当てて車に乗せてきて監禁したようです。真面目な高校の教師だそうですが、救いようがないと思います。もう無理だと思います。20代の元気な男性がかわいい女の子を見てそういう気持ちになることはあると思います。だから教師もダブルで女の先生を付けるとかダブルでやった方がいいと思います。私も家庭教師をしたことがあります。男の子しか見ませんでした。女の子だと中学生くらいだと可愛くなってきます。皆さんも家庭教師を付けるときは、女の子には女の先生、男の子には男の先生が付いた方がいいと思います。真面目な先生ほど危ないです。何が真面目かわかりません。だから私の様に適当にいい加減なところがある方が良いと思います。昔はしょっちゅう「バカ野郎」とか「死んでしまえ」なんて言っていましたが、今はそんなことをいうとクビになるそうです。「福祉大の子はおとなしいから」と言われますが、お酒を飲んだら元気です。ゼミ生は2人で他は一緒に活動している子たちですが、そうやっているとなかなかいい子もいたりします。秋田中央の出身の子もいて、いい子です。何になりたいのか聞いたら消防士だと言っていました。警察より少し難しいけど頑張れと言いました。真面目そうな子なので腕立て伏せとか懸垂とかができるか心配ですが、頑張れば大丈夫だと思います。

ます。3年生でそういう目標を持っているということは嬉しいことです。

結論です。子供食堂とジジババ食堂をみんなでしたいと考えています。子供食堂はこの1年で千三百か所増えて、3千数百か所になりました。子供の貧困問題に取り組んでいる湯浅誠さんがやっています。この間テレビに映っていましたが、大人になったなと思いました。NPOを立ち上げたりしてすごいです。おそらく来年には5千か所になるのではないかと思います。東京に4百数十か所、大阪にもあります。秋田にも数十か所はあるのではないのでしょうか。

木曜日の夜、日本生命のお客様に講演をしました。先輩が日本生命の社長をしていた関係で30年近くやっています。中畑清と一緒にやりました。学校を作っていたときは私と中畑のギャラは半分建設費用やボランティア費用にまわしていましたが、今回はギャラをいただきました。少し時間があつたので子供食堂が増えている話をしました。だけど私がこれからやりたいのは、ジジババのシルバーシングル食堂なんです。という話をしました。講演が終わって食事をしていたら、講演を聞きにきていたお客様が私のところにきました。この講演にきているお客様は日本生命の高額保険に入っているような人たちです。「私そういうのをしたいんです。お料理も得意です。そういうプランやマニュアルはどんなものでしょうか」と言っていました。ぜひ秋田でもそういうことをやってください。市長か議員かに声をかけて商店街の空き店舗でやります。秋田は空き店舗の方が多いのでできると思います。そういう空き店舗を利用する。自治体がいちばん負担が大きい家賃を負担します。きっと手放したい人もいます。そういう人から市が譲ってもらって、例えば3千万円か5千万円で買い取るんです。百平米くらいでしょうか。子供食堂も大事ですがそれは3時からで午前中は空いています。その店舗にもよりますが、そのまま使えば使って冷蔵庫や電子レンジなどの調理場の設備を整えて内装もきれいにしてやります。同時に隣の部屋に談話室を作ります。お年寄りに優しいように畳より座布団付きの座りやすい小さなイスやテーブルを用意してみるといいと思います。そういう施設を作って自治体が準備をする。子供食堂のボランティアは無料でやっていますが、レジュメには200円に直しましたが時給400円でもいいかなと思っています。または、そう思いましたがシルバー食堂は時給ではなくて有料ボランティアでやるのもいいと思っています。本当はガソリン代くらいの交通費でもいいと思います。埼玉県志木市では有料ボランティアで確か500円でやっていたと思います。今この市長さんは自治系学会の理事になっています。有料ボランティアにして、食事係と世話係のおばちゃんおじちゃんが必要です。お年寄りが食事に来たときに聞き上手な話が合う人たちがいいと思います。それ

から車の運転も8人乗りくらいの送迎ワゴン車を自治体買って利用者たちを迎えに行くんです。最寄りの団地の入り口とか公園のところとに10時とか、場所と時間を決めて迎えに行きます。みんなを連れてきて1日をそこで過ごすんです。それからカラオケルームもあればいいと思います。そういう所ができたなら私がこのカラオケを担当します。皆さんにもお聞かせしたいので、来年の3月の講演のときに3曲くらいできればいいなと思っています。それからゲームとかパソコンを指導するコーナーもあればいいですね。ダンスもいいですね。おばちゃんたちはフラダンスをしたりします。体を動かすというのも、派手なダンスの衣装を着ることも良いことです。そこで食事をするならお茶付きで500円くらい貰います。そのくらいはお爺ちゃんお婆ちゃんでも払える金額だと思います。それで朝10時くらいに迎えに行きます。一か所で20人くらいが限度だと思いますが一か所で食事を作って、3時すぎからは子供食堂にします。そういうやり方ですれば、随分効率がいいと思います。設備の準備だけ自治体が業務用の大きな冷蔵庫などを用意するんです。近くのスーパーなどに買出しに行く人も必要です。採算がとれなくていい部分は自治体が補助金を出せばいいと思います。イージスアショアに出す金額を考えると充分遣り繰りができる金額だと思います。あとは公務員の給与をカットすればいいと思います。公務員にボーナスが平均80何万円くらい出たとニュースでやっていました。公務員の45歳の平均給与は6百数十万円で、一般労働者は4百何万円です。非正規労働者は1千9百万人くらいいてボーナスはありません。「私たちにはボーナスはないです」と昨日乗ったタクシーの運転手が言っていました。私も今はアルバイトのような特任教授や客員教授なのでボーナスがありません。昔は百何十万円とかボーナスをもらっていたこともありました。今はその分を競馬などで臨時収入を得たりしています。こういう風にして不足分は自治体がバックアップしても、何か所かでも数百万円くらいだと思います。シルバーはみんなでにぎやかにしていきたいんです。話をしたいんです。そうすると呆けません。

私は今、六本木から葛飾区柴又という故郷に戻っています。毎週土曜日に小学校か中学校か高校の同級会をやっています。とても良いです。同級生なんだけど誰だかわからないおばちゃんが「フクちゃん何やってるの」なんて言うので「あなたは誰?」と聞きました。昔あんなことがあったときの何とかだと言っていました。そうやって話していると、結構いろんなことが出てきて昔のことが蘇ってきます。「フクちゃん、いつも野球をやってて外野で球拾いしていたよね」とか話題になったりします。独りぼっちはだめです。呆けます。だから

そういうことをすればいいのです。基本は月曜日から金曜日までの月金です。だけでも元気のいいおばちゃんたちがいたら、土日は食事をお弁当とかにして宅配してもいいと思います。仙台ではお年寄りにお弁当を宅配している業者が売り上げを伸ばしています。秋田にもそういう業者があるでしょうか。それをもうちょっと手づくりのお惣菜にしてみるといいと思います。仙台に秋田出身の方がやっている「おでん三吉」というお店があります。郷土料理もいいと思います。お年寄りがお年寄りの食事を作ると料理や味の好みが変わります。みんなに聞いて好みのものを作ってみんなで食べるたりお届けしたりするんです。

シングルシルバーマンションというはどうでしょう。私の知り合いの未亡人たちが困っています。旦那さんが亡くなった後、独り暮らしを3年くらいしていると80坪の家の2階にあがることはないそうです。応接室だったところを寝室にしたりして1階だけで暮らしているんです。オリンピック前に手放さないと値下がりしてしまうと思います。80坪あっても5千万円を切ってしまうかもしれません。オリンピックの後だと3千万円代になってしまうと思います。そういう人がたくさんいます。そういうところをダイワハウスが買ってもらって、そのお金をみんなで合わせてシルバーマンションを建てるといえるのでしょうか。自分の部屋にもキッチンを付けますが、みんなで使う調理場や食堂も作ります。お風呂も内湯の他に大浴場があってもいいかもしれません。それぞれ1DKくらいで十分だと思います。疲れていないときは共同食堂の方でみんなで作って一緒に食事をして、疲れているときは自分の部屋で静かに食べてもいいんです。元自衛官や警察のOBがワゴン車を運転してお花見や温泉などに小旅行にでかけたりするのもいいと思います。建築会社にそういう話をしてみたら、おもしろいですねと言っていました。男が先に死んで未亡人が増えています。どうしましょうと相談されても私は専門家ではありません。それでシルバーマンションを建てたらという話をしたのです。これは男マンションと女マンションは別々にしなければならないようです。70歳でも80歳でも独りになると変なおじちゃん、おばちゃんがいるんだそうです。介護施設で寝ているお爺ちゃんのベッドに入り込んで変なことをしているお婆ちゃんがいるのを福祉大の学生が実習に行ってみたら、「70歳80歳になって動けなくても、認知症が出ていてもそうなんですか」と言っていました。私に聞くなよと思いました。私の奥さんも介護のプロです。少しふくよかな体形をしているせいか、お風呂に入れているときにお尻や胸を触ってくるお爺ちゃんがいるそうです。「おいたはだめですよ」と言うそうです。男と女が同じマンションだと、

ちょっと元気のいい人がいればそういうことが起きます。お互い独身だからいいのかなと思うところもありますが、共同生活にはルールと秩序も必要です。別々に建てて真ん中に庭をつくれればいいんじゃないかと思います。ぜひそういうことを考えて、子供食堂だけでなくシルバー食堂、シルバーマンションなどを考えてぜひやって欲しいです。それは次回までやる気があるんだったら簡単な計画をみんなで持ち寄ってみてはどうでしょうか。その次に私が応援しますから、誰かを無所属の市議会議員に立てます。そして予算をとってもらって動きます。自治体のお役所に行くとなるとみんな暇そうにパソコンで何かやっていますが何かを調べているんでしょうか。検索するふりをして大谷がヒットを打ったかどうか見ている人もいないんじゃないかと思います。それを私が大阪のテレビ番組で徹底的に叩きました。そしたらあるとき大阪の北新地を歩いていたヤクザっぽい人が2人近づいてきて、いちゃもん付けるので「いつでも来いや」と言い返したことがありました。それを見ていた辛坊治郎が「あれが大阪の市役所職員なんです」と言っていました。とにかくそういうことやって欲しいと思って今日はこの話を絶対にしたいと思ってしまいました。質疑応答の時間にします。

藤 本 福岡先生、ありがとうございます。それでは福岡先生にご質問のある方は挙手をお願いします。いらっしゃいませんか。

質問者 先生は野球が大好きだとお話ししていますが、秋田にいと巨人のことしかわかりません。秋田の星だと言われて吉田輝星がプロに行きましたが、140kmぐらいしか出ないストレートです。実際のところプロではどうなのでしょう。分かる範囲で教えていただけないでしょうか。

福 岡 今日吉田輝星の親戚の方や金足農業のOBや関係者はきていませんか。大丈夫でしょうか。春のキャンプに行ってきました。日ハムの2軍監督の荒木大輔は私の子分です。前日に荒木に「明日行くから」と電話したら「先生、遠いですよ」と言っていました。私は那覇に滞在していましたが、キャンプは国頭村というところでやっていました。名護より北なので車で1時間半くらいかかりました。荒木に会いに行くのですが本当の目的は吉田輝星のサインをもらうことだったのです。差し入れに焼酎やワインを用意していましたが、それだけでは足りないなと思って急遽途中のスーパーからチョコレートを買いました。吉田君にサインしてもらったボールはオークションで3万2千円くらいにな

りました。ボランティア活動の資金として役立てます。

その後中畑清もキャンプに行った話を聞きました。速球は150km出ません。148kmくらいだったそうです。第1戦目は勝ちましたが、先週日曜日にナゴヤドームでやった第2戦目はあっさり打たれました。中日元監督の森繁和と中畑清に聞きました。「今のままでは難しいです。もう少し何か球種が必要です。でも彼はかなり自信を持っています。もうちょっと聞く耳を持った方がいい。そうしたら彼はプロでも通じます」と言うので、私は荒木大輔に電話をしました。吉田君は人気があって普段は2万人くらいしか入らない試合なのに3万5千人収容のナゴヤドームが満員になりました。荒木人気のときはもっともっと、あまりすごくて神宮球場はトンネル通路を作ったんですよ。地下からクラブハウスに行けるようにしたんです。「荒木、おまえの方が人気があった。でも高校時代にたくさん投げているんだからかならず肘を痛めるという話を彼にして欲しい。今は人の話をよく聞いて良い所だけを盗めと吉田に伝えて欲しい」と言いました。吉田君がうまく耳を傾けてくれたらなと思います。もしここに知り合いの方がいるようでしたら伝えて欲しいと思います。彼は持っているものは持っています。1勝1敗でまだ一軍にいると思いますが、今の148kmでは直球はどんなに伸びる球でも打たれます。大谷だってそういうことがわかっているから、揺れたり落ちたりする球を投げるんです。そういう動く球は打ちにくいです。160kmの球を投げて打たれるときは打たれるんだそうです。148kmの直球だけでは勝負はできません。あまり焦ることはないけれども変化球を覚えることも必要です。あの体型では無理なこともあると思います。190cmくらいの体格でなければプロでは難しいかもしれません。でも非常に何か持っています。

この間のチャリティオークションに沖縄で書いてもらった吉田君のサインボールを出しました。50歳くらいの女性がオークション価格がどんどん上がっていくのに手を上げたまま降ろさないんです。3万円を超えたところに中畑が怯えてしまいました。結局3万2千円くらいになりました。ボランティア活動の資金として役立てます。そのときの他の物は筒香のバットが2万円、東京ドームのネット裏ボックスシートチケットが2万7千円、サマンサタバタの5万円のバッグは3万円でした。すごいでしょ。

会場は横浜だったのですが、3百何十人いたお客さんに聞いたら横浜ファンが7割、巨人ファンが2割でした。ついでに私がヤクルトファンを聞いたらゼロでした。広島ファンが2人、阪神ファンが3人、日ハムが2人でした。そのくらいその地域ごとにファンがいるんです。この間ヤクルトと楽天の試合

を見ました。ヤクルトがボロ負けしましたので「Bクラスチームの楽天に負けるな」と言ったら「楽天は1位か2位ですから」と言われました。野球の話はあまり私に聞かない方がいいかもしれません。

参院選の予測の話はもしかしたらどこか別のときにします。どこかのテレビ番組でということもあるかもしれません。相変わらずあの圧力が萩生田からテレビ局に注意が入ります。そのことも本の中に書いたので6、7社の出版社が怖気づいて出してくれませんでした。でも小学館にいる弟子が出してくれることになりましたので、ぜひ来週、みなさんもお買い求めいただいで読んでいただければと思います。

今日は少し早いのですが終わりにします。長い時間ありがとうございました。

藤 本 福岡先生、ありがとうございました。福岡先生にもう一度盛大な拍手をお願いします。本日はお集まりいただきありがとうございました。

〔研究論文〕

大学生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解： 誤信念理解・類推を規定する作業記憶の効果

光 田 基 郎

はじめに

幼稚園・年中児以上の段階を対象とした絵本の読み聞かせの課題として、子どもが絵本の筋立てを想像する力を引き出せる読み聞かせの巧みさが求められる。具体的には（イ）言葉のリズムをも考えて語り口と表情を豊かに、抑揚と聞き手とのアイコンタクトにも配慮して、（ロ）子どもが絵本の筋立て全体を想像する力を引き出せる様に言葉と対応した絵を子どもの目の高さで示す一方で、（ハ）このような筋立ての想像や類推を損なわない様に身振りや表情でのオーバーアクションをも避けながら、（ニ）読み聞かせた絵本の世界への関心を失った聞き手の私語や立ち歩きに対しても読み手は動揺せず、適切なアイコンタクトで聞き手相互間の私語を牽制する余裕を示し、（ホ）内心の動揺を感じた際にも、無意識での早口に陥ったり、絵本を支える読み手の手の動きで画面を遮ったり、画面をグラグラと動揺させて聞き手全員の視線が画面に届かないなどの事態を避ける様に自制し、読み手、聞き手である多くの子ども達と絵本との三者関係を取り戻す技量の巧緻化が不可欠となる。

これらの課題に対処を試みた本邦での代表的研究としては、（イ）絵本の選択と集団への読み聞かせの成果に関して高橋と首藤(2005)は、絵本の主人公と幼児が一体化しやすい絵本の使用、幼児の体験とつながる内容とさらに協同的な体験に結び付きやすい内容の絵本を読み聞かせた後の幼児の姿や活動を記録した実践結果を指摘し、幼児の集団への読み聞かせの成果として絵本のイメージを軸に協同行動を目指す態度の芽生え以外に協同思考への参加意欲向上を強調した。さらに（ロ）上記の絵本読み聞かせに対する集団内の反応とその年齢差としては、相沢など（2019）が3歳児は保育者と幼児の個別の関係性が優位であるが、4歳児では徐々に幼児間の相互作用が広がり、他の子の発話を繰り返したり、幼児同士が絵本の内容を思い出しては笑い合うなど、他の幼児を意識し、一緒に絵本の内容を楽しむ共有化が進む。5歳児に関しては友達と共に内容の展

開を楽しみ、集団への読み聞かせを受け入れるマナーを心得た態度、特に園児自身で個別の言動の表出を調整する傾向を指摘したほか、さらに集団の人数などの多様な条件の寄与について展望した例が挙げられる。

これらの諸研究で明らかにされた画面の提示法や読み手の語り口の形式的な評価以外にも、各画面の入れ替えの際に3歳児から5歳児までの聞き手が絵本の読み聞かせ画面からどのような表象を得て次の場面展開を予想して類推し得るか、特に絵本に描かれた主人公の信念や知識内容をどの程度理解して、精緻化された内容の知識表象を他人と共有し、絵本の主人公に共感するかが問われよう。この点の基礎実験が筆者による一連の実験の課題であり、誤信念内容の理解がその焦点ともなる。

筆者は絵本に描かれた誤信念内容の理解の発達とその際に誤信念内容の表象に注目して、幼児が読み聞かせられた絵本から特定の嘘や誤解などの誤信念内容に注目して、その表象が別のエピソードに対応付けられる類推過程の検討を試みた。絵本に描かれたこの様な誤信念の内容を4-5歳児が理解する過程では、真実の表象は意図的に抑制される一方、特定の嘘や誤解内容の表象は次々に読み聞かせられる個々の未知のエピソードの意味理解の手がかりに活用される。ここでは絵本に描かれた欺きや誤解などの特定の誤信念の内容が聞き手の4-5歳児に受容され、その類推によって絵本の筋立ての予測も可能となる。いわば、絵本を読み聞かせられる幼児は、個々の画面で述べられたエピソードからの類推が可能ならば、これらのエピソードの殆どが特定の誤解または欺きなどの意味的に類似したエピソードの繰り返しをなす構造的性を推理して、次々に読み聞かせられるエピソードの類似性からその結末を予測し、絵本全体の筋立ての理解を促進する機能も示し得る。その際には絵本読み聞かせの面白さも他の子と共有され、言葉の理解の発達と共に多くの人を対象とした話し言葉と書き言葉の芽生えをも期待し得よう。筆者の一連の研究はこの様な誤信念内容を用いた類推とその作業台となる作業記憶の寄与の様相に関する基礎実験の試みである。

その手段としてパソコンに予め録音・録画した絵本を個々の園児に読み聞かせる実験を試みた。具体的には、(イ)パソコンに予め録音・録画した絵本読み聞かせ内容を再生し、各パソコン画面に一人ずつ直面させた園児に補助者が付き添って個別の画面で絵本を読み聞かせ、(ロ)その内容理解及び下位技能となる類推、誤信念の理解と記憶範囲や統語理解などに関する質問を予め録音・録画して再生する方法で、質問のそれぞれにパソコン画面での選択反応を求めて記録する実験を反復した。(ハ)この様に、個々の幼児に個別の画面で絵本を読み聞かせてその内容理解と下位技能に関する質問を10問程度画面で与え、その解答を選択反応させる過程を学生が観察すれば、読み聞かせの聞き手の表情、理解程度とその下位技能並びにこれらの反応内容の年齢差を具体的に理解し得る。学生は読み手を担当する際の雰囲気を理解し、園児と絵本の世界を共有する

方法も事前に構想し得よう。(二)特に、パソコンに録音・録画して子どもに画面で読み聞かせた絵本の内容メッセージは全ての読み手と聞き手に共通であっても、その読み手となる学生自身と個々の幼児とが共有出来る絵本の世界とそこで伝えられる関係メッセージの内容差が顕著な実情を体験させ、絵本の世界への導入に向けた心の準備と筋立ての理解を促す様に聞き手の興味と関心を高める工夫と、読み手と聞き手のそれぞれが感じ取るその場の雰囲気の適正化に向けた不断的努力の必要性を初年次学生に実感させてその改善策を討議させた。(ホ)雪国や病弱など環境的な理由で通園出来ない園児に個別に絵本読み聞かせを経験させる手段として電算の活用を提言し、後述する一連の実験を発表した。

本報告はその展開であり、絵本に描かれた誤解や欺きなどの内容理解に不可欠な「心の理論」及び「誤信念理解」の能力など、絵本の内容理解における類推とを可能にする知識利用の技能向上に関する実験の精緻化と絵本読み聞かせの雰囲気作りの基礎訓練を企図した実験報告である。その端緒として下記の実験を含めた筆者の先行研究の展望と当面の問題提起とが次章での課題となる。

第1章. 絵本読み聞かせにおける作業記憶と知識利用

1-1. 筆者による先行研究の概略

最初に本項では、4-5歳児にパソコン画面で読み聞かせた絵本の内容理解とその下位技能の各々の寄与を図式化した筆者の実験の概略を述べ、絵本の筋立ての理解促進を意図した教示によって既得知識と類推の活性化を強調した筆者の報告を概説する。筆者(光田、2005、2006、2008)は、予め絵本の画面毎に録音・録画した読み聞かせ画面を幼児自身のペースで順次入れ替えさせる手続きで読み聞かせた内容の理解を求め、その再認反応と類推や心の理論などの下位技能検査項目の各々への選択反応を入力させた。上記の実験結果から筆者は、(イ)絵本の筋立てが意味的に類似した複数のエピソードの反復の場合、幼児がその類似性から類推して絵本全体の筋立てを予測する技能の発達、特に(ロ)閲読内容の抽象化と類推に関する4-5歳児の差異を強調した。次に、(ハ)読み聞かせに先立って教示した筋立ての概略または閲読中に挿入した質問による絵本の内容理解への促進と抑制を強調し、教示によって幼児が既得知識と情報処理容量を効率的に用いる条件を示唆した。

次に光田(2009)は、(イ)絵本の内容を事前に教示した際に得られる内容理解への促進効果を強調し、(ロ)内容理解の下位技能として類推と作業記憶容量の活用の他に幼児が、絵本の登場人物の意図、感情や信念などの心的状態と内容とを正しく理解する「心の理論」の発達を指摘した。その基本的な測定指標として、「他者が事実とは異なる

信念や誤った現状認識に至る状態」を認める誤信念の理解が絵本の内容理解に影響する程度とその年齢差をも強調し、年齢差の規定要因として統語能力の発達の差異が上記の誤信念の理解に影響するほか、統語とも関連した長文理解の能力も誤信念の理解に寄与する傾向とその年齢差をも指摘した。次に光田（2010）は、（ハ）絵本に描かれた「欺き」と「誤解」の理解における上記の誤信念理解の必要性を指摘し、特に「欺き」の理解には絵本の登場人物が他人を誤った信念内容に従わせる意図とその誤信念内容の双方の理解が不可欠で、絵本の登場人物が他人を欺いて誤信念の内容に従わせた行動とその経緯を理解する際は正しい事実の表象を一時的に抑制する必要性を強調し、これらの抑制と誤信念内容の理解に関する4 - 5歳児間の差を指摘した。さらに光田（2011）は、3歳児を対象とした簡素な筋立て（女の子の帽子が風で飛んでアヒルに拾われたが、買い物籠と間違えられて使用された後に風で飛んでネズミに拾われ、揺り籠と思われて利用された後、風に飛ばされて持ち主の元に戻る筋立て）の絵本を4 - 5歳児に読み聞かせた条件下での誤信念の理解とその下位技能に注目して、下位技能相互間の因果関係を求めたパス解析を試みた。その結果からは、4歳児のみが誤信念理解と推理再認成績との間に負のパス係数値を得たほか、絵本の内容の逐語的な再認成績と推理再認の間にも同様に負のパス係数値を示し得た。以上より、（イ）4歳児は画面で読み聞かせられた個別のエピソードの表象の統合と体制化に習熟せず、予め教示された絵本ストーリー全体の表象と読み聞かせた内容の表象との不一致を生じ、（ロ）ストーリー全体の表象の不全さゆえにこれらを推理再認の手がかりとして統合的には活用し難い上に、（ハ）絵本の筋立ての一部を切り出して新たな推理再認反応を求められた際には、4歳児で個々のエピソードの表象をより多く想起して高い逐語再認成績を得る幼児ほどより多くの表象の選択判断と再構造化操作が必要なゆえに、多くの表象の抑制と再統合の過程では適正な推論を展開し難い傾向を示唆した。以上の結論として、（イ）誤信念の理解には正しい事実の表象を意図的に抑制する操作が必要であり、（ロ）この抑制では、幼児の統語と意味理解技能の発達と共に上記の誤信念理解に必要な命題のみが選択的に活性化・統合される過程を強調し、（ハ）嘘を題材とした絵本の筋立ての理解では上記の抑制と統語理解とが果たす役割とその年齢差を強調した。（二）次に光田（2014）は、上記の意図的な抑制に関する4 - 5歳児間の差の規定要因を文の統語的理解に求めた。さらに光田（2015）でも、5歳児に画面上で読み聞かせた絵本の筋立てが「アリがカマキリを怒らせて飲み込まれた後、このカマキリがムクドリに誤解されては彼を怒らせて飲み込まれ、同様にこのムクドリがネコに誤解されては怒らせて飲み込まれる・・・」などの類似のエピソードの反復と再帰的な入れ子構造を示す筋立てを理解させ、受動文の理解に必要な統語的能力、上記の誤解の内容の理解に不可欠な誤信念の理解とその類推を用いた今後の場面展開の予測などの下位技能の各々が絵本の内容理解に果たす役割

とその関連性の図式化を試みた。ここでもクラスター分析と主成分分析を用いてこれらの諸技能の統合と活性化の過程を図式化し、知識制御とその可塑性及びメタ言語能力の各々に対応する3主成分とその下位技能とを想定した。次に光田(2016a, b)は、5歳児が昔話絵本「ねずみ経」の内容を理解する際に統語、誤信念理解、長文理解と類推能力などの諸技能が活性化される過程について、Kim(2015)の先行研究とは違って意味的な一貫性の理解及びそのモニター機能と誤信念理解とを上位技能とは考えない形のパス図を用いた図式化を試みて、類推をも説明変数に取り入れてその効果を指摘し得た。

以上に引き続き光田(2017)は、現在の5-6歳児には具体的な理解が困難な「ふるやのもり(古い家の雨漏り)」を題材にした昔話絵本の内容理解を求めたほか、上記の「雨漏り」を扱った絵本とは無関係の「留守番」に関する文をも画面で読み聞かせてその下位のエピソードを提示順通りに並べさせた長文理解検査の成績と誤信念理解検査成績とが絵本の内容理解の第1主成分となる結果を得て、現在の5-6歳児は「古い家の雨漏り」を理解し難いゆえに類推を活用せず、上記の2変数のみが絵本の内容理解の第1主成分となる傾向を想定して、後述する意味的・統語的作業記憶の必要性を強調した。幼児に馴染まない雨漏りを題材にした本実験での絵本読み聞かせでは、幼児に理解しやすい「ネズミ経」の絵本を用いた筆者の先行研究(光田, 2016)の場合と比較して下記の3点を指摘し得よう。筆者(光田, 2016a)の研究で、偽坊主が老婆に「ネズミがちょろちょろ・・・」と出鱈目な読経を教えた後、これを聞いた泥棒が老婆に監視されたと誤解して逃げる昔話の絵本を5歳児に画面で読み聞かせた結果と比較して、光田(2017)は(イ)類推が第1主成分でない点と、(ロ)長文理解のパス値がより大きい点を強調したほか、(ハ)反応抑制、統語理解及び、読み聞かせ途中での内容理解と誤信念理解のパス係数値の各々は「ネズミ経」の場合よりも絶対値が大きい結果を指摘した。

さらに光田(2018)は、二次的な誤信念理解の5-6歳児の差を検討した。ここでは「大蛇に襲われた役者が鬼に扮して見せ、人間に化けたタヌキを装って大蛇を欺いて逃れた上、大蛇がタバコを嫌うことを聞き出して村人に教えたので皆がタバコの煙でこの大蛇を追い払えた上に、「タヌキがお金を恐れる」と欺いたので大蛇がタヌキに仕返しを意図して「この役者の家に投げ込んだ大金を得て幸せになる」筋立ての民話の理解とその基本となる二次的誤信念の理解の年齢差を求めた。実験では某国立大付属幼稚園の5-6歳児に上記の民話の絵本を個別のパソコン画面で読み聞かせ、その再認成績及び上記の誤信念理解と類推を含めた下位技能得点を求めてパス解析と主成分分析した結果、年長児は上記の類推と誤信念理解並びに反応抑制や統語理解等の下位技能の各々を統合的に活性化して上記の筋立ての理解を促進する過程とその年齢差とを図式化し得た。具体的には、(イ)6歳児が個々のエピソードを理解し、その表象を時間的な順序

に従って作業記憶で保持しながら絵本全体の筋立ての表象を構想する。(ロ) これらの操作の作業台となる作業記憶では、上記のエピソードの各々の表象が類推によって統合される。この際には、絵本に描かれた大蛇の誤信念内容のそれぞれが幼児に理解されて、一貫した筋立ての再表象化が試みられる傾向を指摘した。特に、絵本に登場する役者が人間に化けたタヌキを装って大蛇から逃れ、さらに大蛇がタバコを嫌う事をも聞き出してはタバコの煙で大蛇を追い払ったので、追われた大蛇が「タヌキに仕返し」の意図で役者の家に投げ込んだ大金を得る筋立ての理解におけるエピソード間の一貫性の理解と類推過程に関しては (a) 読み手の語り口と画面の絵だけを手がかりに、聞き手の5 - 6歳児は二次的な誤信念理解の技能を用いて、上記の絵本の主人公である役者が再三、タヌキを装って大蛇を欺いて追い払った上に、大蛇が「タヌキへの仕返し」を意図して主人公の自宅に大金を投入するまでの欺きの意図とその実現の経緯とを正しく理解し、(b) 5 - 6歳児が既得の統語的または意味理解の能力と作業記憶とを用いて、意味的な知識表象と読み聞かせられた個々のエピソードの表象とを比較・照合し、物語の筋立て全体を推論する機能を想定し得る。(c) 筋立ての理解に必要な推論・類推と誤信念理解の過程は意味的作業記憶に規定され、絵本全体の筋立てのメンタルモデルの修正が反復されるとの計3点を想定し得よう。

上記の先行研究全体の要旨として、(イ) 画面で読み聞かせられたエピソードの表象相互間で一次的または二次的な誤信念理解を基本とした類推、エピソードの表象の抽象化と構造化を経て絵本全体の筋立てが構築される。(ロ) その作業台が意味的作業記憶であり、読み聞かせられた文の処理過程では、既得の統語的知識または「起承転結の筋立て」や物語文法などの物語文理解の技能及び誤信念理解の技能をも含めた意味的な知識利用の方略が統合的に活性化され、上記のエピソードの各々が示す誤信念の内容またはそれらに対応する既得の知識表象からの推論は新たに読み聞かせられたエピソードの理解に適用され、読み聞かせ内容との比較、対比と類推を生じる。その結果が新たな閲読内容の理解への転移する可能性も期待し得よう。

(ハ) 上記の推論に関しては入力された音声的表象と画面の絵に対する意味的・統語的な分節化と統合機能及び、類推への促進を想定し得よう。上記の「ふるやのもり」の読み聞かせの例では、絵本の内容理解の技能である作業記憶検査成績の有意な説明変数として、統語的理解と「オオカミも泥棒もお互いを未知のふるやのもりと誤解して逃げた」との誤信念内容の理解のみが挙げられた結果から、読み聞かせ内容である未知の「ふるやのもり」の表象が具体性を欠いたゆえに類推、特に表象間の比較と写像操作の展開が遅延した結果を挙げ、意味的作業記憶は「オオカミも泥棒もお互いを未知のふるやのもりと誤解して逃げた」誤信念内容の理解のみに規定される傾向は (Carlson など、2002)とも対応させ得よう。上記の大蛇の例が示す二次的誤信念内容の理解に関しても、

聞き手自身が読み聞かせられた内容への疑問を感じて自ら説明する過程を想定するならば、5-6歳児が画面で読み聞かせられたエピソードの表象と既得の二次的誤信念理解の方略とを比較・照合して読み聞かせられた誤信念内容の表象を「欺きとその意図」と対応付けて類推し、構造化する過程並びに作業記憶の寄与も想定し得よう。

学童期までの類推の発達研究では、算数学習や空間表象の操作の発達に注目した類推の実験が多く試みられ、図形の表象に共通する特性の推論と類推または図形分類基準の修正 (HoyosとGentner、2017) に必要な推論の適用範囲の説明と概念化における思考の深化 (LombrozoとCarey、2006) が基本的な関心事であって、その際の作業記憶への関心は副次的と言えよう。光田 (2019) は作業記憶の寄与に注目して、成人の実験参加者に「対象物の予期しない移動」を題材に誤信念の理解を求めた2肢選択実験は参加者の知識利用の効果に関して一貫した結果を得ていない点を指摘し、画面で読み聞かせた年少学童用の絵本の内容理解・下位技能と成人の誤信念理解検査成績との相関関係の探索実験を試みた。材料に「トラと干し柿」(パク・ジエヒン著・光村教育図書) より、強者を自任するトラが、農家で泣く子を母親が「泣くな、熊や狼が来る。トラも来る」と脅しても泣き止まないのを聞いて驚いた。トラは「この子は本当にトラが来ても泣き止まない程の強い子だ」と誤解する。母親がこの子に干し柿を与えたら泣き止んだので、トラは「自分が来ても泣き止まない様な強い子でも怖がって泣き止んだ位に干し柿は怖い怪獣だ」と思い込んで逃げた時、農家に侵入した牛泥棒と鉢合わせする。泥棒は牛を盗む気でトラに飛び乗るが、トラは干し柿という怪獣に抑え付けられたと怖がって泥棒を背中に乗せて走る。夜が明けて泥棒は自分がトラに乗った事が分かって驚き、木の枝につかまって命拾いし、トラも逃げる話と下記の検査計17画面を電算に録音・録画して保育専門学校生(男性5、女性29、平均年齢20;6)に読み聞かせ、内容再認と下記の下位技能検査結果を求めた結果、絵本の内容理解では誤信念理解の寄与は限られ、誤信念内容理解の手がかりとなる既得情報による偏向は2肢選択の誤信念理解課題よりも4肢選択のサリーアン課題による結果の変動が得られた。特に4肢選択の誤信念課題では、真実の表象(楽器移動先は赤容器)を述べた条件でのみ推理再認と対象の移動先の推定比との正相関をも併せて考えた際、誤信念理解には既得の情報による偏向、類推、反応抑制とその作業台となる作業記憶の寄与を指摘し、大学生が絵本に描かれた誤信念内容から類推して、絵本に描かれたエピソードの表象相互間での比較と一般化を試みる過程とその作業台となる作業記憶のみに注目した基礎実験の必要性を述べた。次節はその作業記憶の負荷である類推をも含めた具体的な問題提起の試みである。

1 - 2. 類推における比較、選択と抽象化

幼児の類推過程での表象の比較に関しても、表象相互間の表層的な類似性以上に意味

的な関係に注目した推論と抽象化による学習支援法が開発された。例えばThibautなど(2010)は、6歳児にA:B=C:Dの類推課題では図形を用いて「牛と牛乳の関係は、鶏と卵の関係である」との類推を求めた際に、類推の目標領域の正反応として選択されるべき上記の卵以外の選択肢として意味的関連性と連想による干渉効果を生じやすい妨害刺激図形3項(チーズ、鶏の頭とキツネ)を用いた場合には、選択肢に上記の連想関係にある妨害刺激を1項、他は無関連項のみにした類推課題(例:「鳥と巣の関係はイヌと犬小屋の関係である」で犬小屋以外の妨害刺激は果物、ギターと牛の骨)よりも正反応の減少を指摘した。以上のThibautなどの指摘は、類推成立の条件として上記の妨害刺激による干渉への抑制などの実行機能の発達を強調して、これらの項目相互間の連想強度への配慮を必要視した点が特徴となる。

Doumasなど(2018)の類推研究は円や三角形などの図形を複雑に組み合わせた4画面を提示して、各画面内で提示される図形の種類、1画面内の提示数と図形の入れ子構造や画面内での配置などを変化させて4画面間でA:B=C:Dの4項目類推の関係を成立させる様に図形が適切に配置された画面を選択させた。この際の処理は「A図形に円が1個、B図形は円が2個、C図形は四角形1個描かれたならば、D図形は四角形が2個で、それ以外は抑制する」との推論、写像とその適用によるトップダウン的な抑制が作業記憶での課題となる。以上、Doumasなどは作業記憶の負荷と干渉機能の低減を意図して刺激図形の表象相互間に共通の無関連属性を抑制する一連の制御操作(Inhibitory Control)を既製の電算モデル上で図式化した。ここでは三角形などの空間表象を用いた「知識図式(Schema)と類推(Analogy)による学習(Learning)と推論(Inference)を統合したプログラム(LISA)上の推論・写像過程のモデルの適用が特徴的である。

Morrisonなど(2018)も類推の発達過程における基礎—目標領域間の比較とその際の推理過程の電算モデル化過程で上記の無関連属性の抑制を可能にする作業記憶の役割に注目し、類推をも組み入れた情報処理モデルとしての整合性を追求したが、そのモデルは作業記憶における意味的な手掛かり利用への関心よりも処理操作の電算モデルとしての精緻化のみを優先したゆえに、絵本の内容理解の発達に応じた類推とその際の作業記憶容量の活用を目指す教授の先行研究と理解するには時期尚早と言えよう。

上記の類推の発達に関してDoumasなど(2018)は、「動物が食物から栄養を摂取するのと同様、植物は日光を吸収して光合成を試みて生命を維持する」との例を用いて、動植物の表象相互間での見かけの類似性による対応付けの段階から、より抽象的な構造または摂取という本質的な活動の表象に依存した2領域間の対応付けを基本とした類推への発達を想定した。ここでは(イ)類推の発達の2次元として、動植物の差という表象の具体性に惑わされずに上記の基本的で本質的な機能または構造的に注目して動植物

間での対応可能性を推理する能力と、さらに上記の栄養摂取という複雑な機能性だけに注目して広範な対応付け（写像）を可能にする能力とを挙げたほか、（ロ）作業記憶がこの様な類推における写像の説明変数となる傾向及び、（ハ）上記の「動植物間に共通する生命維持機能の類推」を目的とした注意とその説明文の理解とを意図した認知—判断—選択反応の系列的な行為体制を存続・展開させる作業記憶機能を強調した。

筆者は幼児に誤信念理解を題材とした絵本を読み聞かせる過程で、上記のDoumasなどの指摘と対応した類推の効果を期待して、これまでに抽象的な誤信念理解の表象を用いた類推による内容理解の促進とその際の作業記憶の寄与の様相の年齢差を検討したが、本研究はその焦点となる誤信念理解の操作の精緻化の試みである。次章以下では、成人の実験参加者が上記の抽象的な誤信念理解能力を活用して絵本の筋立ての類推を試みる過程、特に登場人物のそれぞれが示す誤信念内容と真実の表象との比較判断およびその際に真実の表象を抑制する過程で情報処理操作の作業台としての作業記憶の寄与の様相に関する探索的な実験の試みが課題となる。

1 - 3. 誤信念理解を用いた類推実験の問題提起

誤信念内容の理解とその類推を題材とした絵本読み聞かせを用いた筆者の実験(光田、2010-18)では、幼児が物事に関して多数の対立する信念や視点を経験することと、これらの経験を通じて幼児が自分の心と同様に主体性を持った他人の心の存在を理解し、絵本に描かれた上記の「心」について理解し、類推を働かせて絵本の筋立てを予測しては絵本の世界をより豊かに深く経験出来る傾向と、その技能と年齢差を検討した。特に、4 - 5 歳児が「心の理論」を理解し得る程度の指標として、「絵本の登場人物Aがある事態に対してXであるという信念を持っているが、Aが不在か眠った間に事態がYへと変容してしまう仮想的な場面で幼児が現在の状況を正確に理解してAの信念と現実との差を理解し得る」条件として記憶容量、類推と誤反応を抑制する技能の発達を指摘した。その様な誤信念課題として「サリーが不在の間に彼女のボールをアンが勝手に自分の箱に移したが、ボールの所在は戻ってきたサリーに分かるか？」という内容誤信念理解を扱った基本的な課題の成績が絵本の内容理解の年齢差とを関連付けた筆者の実験計画の基本であった。その基本的技能となる反応の抑制とその作業台となる作業記憶の寄与の様相を検討に際しては、上記の誤信念理解の指標となる課題の不備を指摘し得よう。上記の誤信念理解の実験では、サリーのボールの移動先または現在位置に関する二肢選択反応を求めた結果とそれ以外の長文理解、反応抑制と類推などの下位技能とのパス解析や初歩的な多変量解析の結果からの限られた考察に終始した結果、既得の多様な情報からの多肢選択とその際の手がかりとして検索される表象の数とその操作に対する配慮が不足した点を指摘し得よう。この点が次章の課題となる。具体的には、上記の誤信念理

解を用いた類推とその下位技能となる推論と写像の対象となる表象の明確化と無関連反応の抑制に不可欠な情報処理に費やし得る処理資源の制約の下での多肢選択過程を検討し、そこで反応選択に必要な作業記憶の寄与に注目する。いわば、誤信念理解を扱った絵本の内容理解並びにその下位技能としての類推における多肢選択反応との相関関係の検討が本報告の直接の課題となる。

第2章. 古典的な誤信念理解課題の限界

上記のサリーとアン課題の達成に代表される誤信念理解は幼児と周囲の大人との対話の過程で促進され、その課題達成の失敗を4歳児では「心」や「表象」の概念が未発達と考える90年代の視点(Wellman,1990)への反論として、誤信念理解の不確実さの原因を概念の未発達でなく認知と記憶関連の知的操作の未発達に求めるBirchなど(2007)は既得知識の影響を重視する視点から、既得の知識に影響されたり、課題達成手続きを精緻化してカード分類手続きを複雑にするなどの条件下では成人でも誤信念理解課題を達成しないとの提言を試みた。その実験においてBirchなどは成人の実験参加者に上記のサリーとアン課題に準拠した「対象物の予期しない移動」実験で対象物(ヴァイオリン)の移動先の選択と色彩を変化させた4通りのヴァイオリンケースの選択として、後述する様に容器の色以外に容器とその位置手掛かりも変化させた手掛かり設定の下で各容器が選択される確率の評定をも行わせた。結果からは既得の位置情報に従った判断が誤信念理解だけに依存した判断の場合よりも高い選択率が示され、目撃した内容や社会的知識が過大に評価されるとの指摘が試みられたが、この結果とは一致しない報告(Riskinなど、2014)も報告されている。以上より本報告では、成人に上記の先行研究に準拠した4肢選択の手続きを用いた誤信念理解検査の結果及び伝統的な2肢選択による誤信念理解検査のいずれが誤信念を題材とした絵本の内容理解の説明変数となるかについて重回帰分析と判別分析を試み、絵本の再認成績と類推、長文理解、文法と反応抑制などの下位技能の各々と上記の誤信念課題達成成績のいずれがとの相関分析を試みて、誤信念理解に関する条件が他の技能の変動をも生じるか否かの探索的実験を試みた。

実験

成人の実験参加者に「対象物の予期しない移動」を題材に誤信念の理解を求めた実験(例: Birchなど'07)は参加者の知識利用の効果に関して一貫した結果を得ていない。本報告は、画面で読み聞かせた絵本の理解、下位技能と成人の誤信念理解検査成績との相関関係を検討した探索実験である。

方法:(イ)材料:(イ)材料・参加者:上記の藤巻愛著「たぬきえもん」(福音館)

より、狸右衛門という役者が夜の山道で大蛇に遭って名前を聞かれてタヌキと誤解されて飲み込まれずに命拾いをした。さらに人間に化けたタヌキを装って「タヌキはお金が怖い」と大蛇を欺いた上に「大蛇はタバコを嫌う」事を聞き出して翌朝に村人にこの事を伝えたので、大勢の人が山に出向いてタバコの煙でこの大蛇を追い払う。大蛇が「タヌキの嫌うお金で仕返し」の意図でこの役者の家に沢山のお金を投げ込んだので役者も村人も大金を得る話15画面の読み聞かせをパソコンに録音・録画して大学1年生45名(M;42, F;3)に教室の大画面で読み聞かせた。(ロ) 検査項目:(a) 上記の内容の逐語・推理再認、(b) 幼児用の長文理解(留守番中の3エピソードを画面で読み聞かせて、その順序を再構成)、(c) 図形の類推、(d) 反応抑制、(e) 文法理解(タクシーがトラックを牽く絵の選択)、(f) 幼児用誤信念理解検査のサリーとアン課題(2肢選択)、(g) 対象物の予期しない移動を扱った4肢選択の成人用誤信念検査、図1に示すように、女の子が左端の青ケースにヴァイオリンを入れたが、彼女の留守中に妹がこれを赤または紫のケースに移し、赤ケースの位置も元は青ケースのあった左端の位置に並べ替えたほか、紫と緑ケースの位置も変えて退室した。姉が戻った時には4個のケースのいずれを最初に開くかを参加者に質問し、上記のケース1点毎にその比率を記載させた(Birchなど'07の手続きに準拠)。(ハ) デザイン:上記(ロ)-(g)の誤信念理解課題で妹が(a)どのケースにヴァイオリンを移し替えたか不明の「どれか不明」条件、(b)赤ケースに移し替え、位置も姉が最初に楽器を入れた青ケースの位置に並べ替えた「情報追加」条件と(c)紫のケースに移した「情報無効」条件を級間変動因、姉が戻って最初に開く青、赤、紫と緑のケース毎に答えた選択の主観的確率を級内変動因とする混合型共分散分析で、上記の絵本の内容再認、誤信念理解をも含めた文章理解の下位技能並びに類推など多様な下位技能の関連、特に上記(g)の4肢選択での楽器ケース選択の主観的確率を求め、重回帰分析と判別分析を試みた。下記の検査計17画面を電算に録音・録画して保育専門学校生(M5、F29、平均年齢20;6)に読み聞かせ、下記の内容再認と下位技能検査結果を求めた。(ハ) デザイン:上記の誤信念理解課題で妹が(a)ケースのどれかにヴァイオリンを移し替えたか不明の条件、(b)赤ケースに移し替え、位置も姉が並べ替えた情報追加条件と(c)紫のケースに移した情報無効条件を級間変動因、姉が戻って最初に開く、赤、紫と緑のケース毎に答えた選択の主観的確率を級内変動因とする3x4混合型2要因共分散分析を用いて、上記の再認、下位技能とヴァイオリンケース選択の主観的確率の相関関係を検定した2要因共分散分析を試みた。

結果:(イ) Table1は上記の方法(ハa-c)の姉が戻ってどのケースを開くかの確率である。Birchの結果(括弧内)と同様、位置情報で「赤」選好>不明=情報無効(紫)の結果(上記の級内変動因の主効果は5%水準)から、既得情報による誤信念理解の変容を示す。

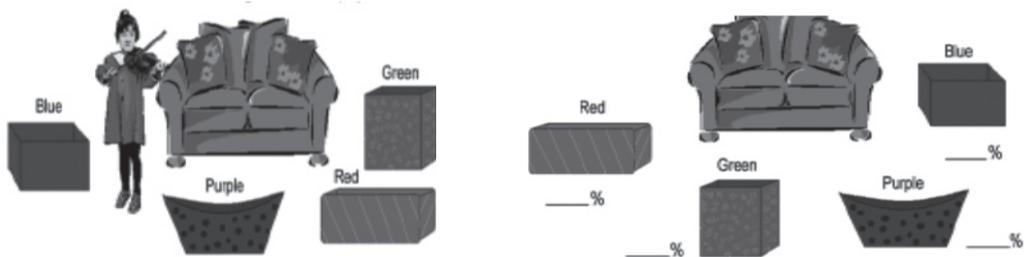


図1. 実験に用いた画像 (Birch など '07 の一部を改変)、各ケースの選択比を記入させた)

(ロ) Table 2 は絵本の内容の推理再認の正答比と上記のTable 1 のケース選好比率の相関係数である。4肢選択の誤信念理解課題は容器の色と位置手掛かりを入れたゆえ処理負荷も増加し、表の太字で示す様に言語表象を用いた誤信念内容と真実の表象の着実な操作 (比較、写像と対比) との負相関を得た様に、4肢選択条件での誤信念理解に必要な処理資源と従来の2肢選択の場合との差異を指摘し得よう。

(ハ) Tab. 2 に示す結果からも、表の太字で示す様に主要な変数と上記の4肢選択の誤信念課題との負または無相関を示し得た。以上より、4肢選択検査では楽器ケースの詳細な位置や色彩を手掛かりに誤信念内容と真実とを対比させる複雑な手続きが基本であり、従来のサリーアン課題の様に2肢選択であって誤信念内容と真実との対比が容易な比較判断課題を用いた場合以上にその処理負荷が過大である点への配慮が必要と言えよう。この4肢選択が成人対象の心の理論の先行研究で多くの成果を得た半面、音声言語の表象と空間や色彩の表象とを統合的に活性化して対比させる類推と反応抑制における広範囲の写像及び抑止など多くの操作の実行機能の測定は慎重に行うべき点が反省事項となる。

(ニ) 図2は4肢選択の誤信念課題 (位置情報追加) 条件下でのクラスタ分析結果である。手掛かり又は文法に依存した処理制御、再認成績、2肢と4肢選択の誤信念課題と類推に規定された太字で示す中央部のクラスタと長文理解成績で示し得た作業記憶

Table 1. 誤信念理解における上記の楽器ケースの選択比

	どれか不明条件	情報追加 (赤) 条件	情報無効 (紫)
青	34.6% (71%)	36.3% (59%)	19.6% (72%)
赤	26.4% (23%)	31.0% (34%)	33.2% (19%)
紫	21.5% (5%)	17.8% (3%)	26.6% (6%)
緑	17.4% (3%)	14.8% (4%)	20.8% (3%)

(括弧は Birch'07, Psychol. Sci. の結果)

得よう。以上より4肢選択の誤信念課題の応用にはサリーとアン課題の場合以上に視空間の手がかり要因への配慮も必要と考えられよう。(ロ)結果(ロ)に示す様に、ケースのどれかに移動させたかが不明な条件以外では内容理解とケースの選好とが負の相関を示す例が多い。図形を用いた類推との相関に関しても同様の結果が示された点をも併せて考えた場合、写像能力の高い参加者は色彩や位置の手がかりには過剰に反応しない結果を想定し得よう。この結果からは、上記のRiskinの指摘をも併せて考えた場合、誤った反応の抑制をも併せて考えた実験計画による詳細な相関分析の必要性を指摘し得よう。以上より幼児の誤信念理解を用いた類推の実験では、上記の成人の場合以上に社会的知覚や教示への反応性をも併せて考え、反応抑制に注目した類推の実験とその電算モデル(Stevenson,2017)の応用が今後の課題と言えよう。

文献：

- 會澤のはら, 片山美香, 高橋敏之. 2019. 幼児を対象とした集団における絵本の読み聞かせに関する研究動向. 岡山大学教師教育開発センター紀要, 第9号), . 215-228
- Birch S.A., & Bloom, P. 2007. The curse of knowledge in reasoning about false belief. *Psychological Science*, 18: 382-386.
- Carlson, S. M., Moses, L. J., & Breton, C. 2002. How specific is the relation between executive function and theory of mind? Contributions of inhibitory control and working memory. *Infant and Child Development*, 11, 77-92. <https://doi.org/10.1002/icd.298>
- Doumas, L. A. A, Morrison, R. G., & E. Richland, L. E. 2018. Individual differences in relational learning and analogical reasoning: A Computational model of longitudinal change. *Frontiers in Psychology*. doi:10.3389/fpsyg.2018.0123
- Hoyos, C., & Gentner, D. 2017 Generating explanations via analogical comparison. *Psychonomic Bulletin Review*, 2017 24, 1364-1374, DOI 0.3758/s13423-017-1289-5.
- Lombrozo, T., & Carey, S. (2006). Functional explanation and the function of explanation. *Cognition*, 99, 167-204.
- 光田基郎 2005. 電算画面上で読み聞かせた絵本の理解に関する4歳児と5歳児の差異. 大阪経大論集 第56巻 2号 85-96.
- 光田基郎 2006. 4-5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第57巻 6号 97-112.
- 光田基郎 2008. 4-5歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における類推の寄与. 大阪経大論集 第58巻7号 7-26.
- 光田基郎 2009. 類推と統語機能の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第59巻6号 7-20.
- 光田基郎 2010. 類推と誤信念理解の発達が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第60巻6号 1-16.
- 光田基郎 2011. 4-5歳児の誤信念理解の差異と類推が電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解に与える効果. 大阪経大論集 第61巻6号 7-23.
- 光田基郎 2014. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信念理解と類推の効果. ノースアジア大学総合研究. 第2号. 159-172.
- 光田基郎 2015. 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における誤信念理解と類推. 聖霊女子短期大学紀要 第43号, 25-36. Richey

- 光田 基郎 2016a, 5 - 6 歳児に画面で読み聞かせた絵本の内容理解—誤信念理解・類推と教示の効果—聖霊女子短期大学紀要 第44号 25-36.
- 光田 基郎 2016b, 絵本の内容理解における誤信念理解と類推 矢野喜夫, 岩田純一, 落合正行 (編) 認知発達研究の理論と方法:「私」の研究テーマとそのデザイン. 東京:金子書房. 第5章. pp75-88.
- 光田基郎 2017, 電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解における意味的作業記憶. 大阪聖徳保育・福祉論叢 第22号 23-33, .
- 光田基郎 2018, 5 - 6 歳児に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解:大阪聖徳保育・福祉論叢 第22号 30-38.
- 光田基郎 2019, 保育専門学校生に電算画面で読み聞かせた絵本の内容理解:誤信念理解、類推と教示効果。大阪聖徳保育・福祉論叢 第25号 40-48.
- 大伴潔, 林安紀子, 橋本創一, 池田一成, 菅野敦 2005. 言語・コミュニケーション発達スケール. 山海堂.
- Riskin, R. A., & Brown-Schmidt, S. 2014. Do adults show a curse of knowledge in false-belief reasoning? A robust estimate of the true effect size. *www. plos one. org*, Volume 9, Issue 3, e92406
- Simms ,N. K., Frausel, R.R., & Richland, L. E. 2018. Working memory predicts children's analogical reasoning *Journal of Experi-mental Child Psychology*, 166. 160-177
- Stevenson, C. E. 2017.Role of working Memory and strategy-use in feedback effects on children's progression in analogy solving:an explanatory Item response theory account. *International Journal of Artificial Intelligence Education*, 27:393-418 DOI 10.1007/s40593-016-0129-5
- 高橋順子・首藤敏元 2005 幼児教育における集団での絵本の読み聞かせ. 埼玉大学教育学部付属教育実践総合センター紀要 No, 4, 165-176.
- Thibaut, J.P., French, R. M., & Vezneva, M. 2010. *Psychonomic Bulletin & Re view*, 2010, 17, 569-574.
- Wellman, H.M. (1990). *The child's theory of mind*. Cambridge, MA: MIT Press.

〔研究論文〕

漱石と糺の森

－「京に着ける夕」を読む－

橋元志保

I. はじめに

夏目漱石、本名夏目金之助は、その生涯において4度京都を訪れた。「京に着ける夕」は2度目の京都への旅、漱石が満40歳になったばかりの旅の中から生み出された作品である。

春寒の社頭に鶴を夢見けり⁽¹⁾

「京に着ける夕」の掉尾に置かれたこの句は明治40（1907）年3月下旬から4月上旬にかけて、漱石が京都に滞在した折に詠んだ句の中の一つである。春寒は初春の季語でありやや季節外れの感があるが、東京から来た漱石にとっての京都の予想外の寒さを感じさせ、下鴨神社が領する糺の森付近の親友狩野亨吉宅に滞在し始めた夜に見た夢が題材となっている。⁽²⁾

「京に着ける夕」は明治40（1907）年4月6日頃に執筆され大阪朝日新聞社にすぐに送付されて、『大阪朝日新聞』に同年4月9日から11日にかけて掲載された。⁽³⁾『東京朝日新聞』には掲載されず、単行本にも収録されなかったことから、漱石の随筆の中でも紀行文・小品に分類されて、他作と比較すると先行研究も少なく、これまであまり顧みられて来なかった作品である。

しかし、この「京に着ける夕」が執筆された時期は、漱石の人生にとっては大きな意味を持つ。同時期に漱石は、東京帝国大学文科大学講師、第一高等学校英語嘱託等の教職を辞して、朝日新聞社に入社する。⁽⁴⁾「京に着ける夕」は文字通り作家漱石の始まりの時に、有名な「入社の際」及び世間の耳目を集めた『虞美人草』に先駆けて書かれた作品なのである。

また、先行研究としては『虞美人草』の再評価を目指された岡 三郎の大著『夏目漱

石研究 第3巻「虞美人草」と「京に着ける夕」の研究』⁽⁵⁾の他は目立った研究も少なく、作家漱石への転身に関する記述において言及されることが多かった作品であるが、近年では前掲の俳句の意味を正岡子規との交流において読み解く二宮智之論⁽⁶⁾や、漱石の実体験に結び付けるのではなく、作品の「創作」的側面に注目し、漱石文学を貫く西欧近代への懐疑、〈近代以前〉への憧憬が顕されているとする佐藤良太論⁽⁷⁾そして親友正岡子規との交友関係、及び本文中に見られる怪談風の表現から、京都が発祥の地である寄席落語からの影響を指摘する丹治伊津子論⁽⁸⁾等、秀逸な論考も表されるようになった。

本稿では、これらの先行研究を踏まえながらも「京に着ける夕」を味読し、「主人」や「居士」としてしか表わされなかった漱石の周辺の人物像を浮き上がらせたい。また、作品の舞台となった京都・糺の森についても考察し、作家漱石の始まりの時の心情及び他作品との関連性も指摘したいと考えている。

II. 狩野亨吉及び菅 虎雄との交流

京都へ向かうのに先立って漱石は、明治40（1907）年3月22日に次のような手紙を狩野亨吉に送っている。

拝啓其後は御無沙汰儲今度のやすみ今月末より来月はじめへかけて京都へ遊びに行かうと思ひ候が大兄御滞京にや又は東京へ御出京にや一寸伺ひ度候猶大兄の在不在にかかはらず大兄のうちへ逗留する事が出来る仕掛なるや否や伺ひ度候
小生は今度大学も高等学校もやめに致して新聞屋に相成候
菅君は相変らずと存候よろしく御伝声願上候 以上⁽⁹⁾

「大兄」が、つまりは狩野亨吉が在宅でも不在でも泊めてほしいとは、随分と勝手な依頼状である。明治40（1907）年春の漱石の京都訪問の目的に関して、多くの研究者が注目してきたのは同年3月22日の野上豊一郎宛の書簡である。「京都には狩野といふ友人有之候。あれは学長なれども学長や教授や博士杯よりも種類の違ふたエライ人に候。あの人に逢ふために候。わざわざ京へ参り候」⁽¹⁰⁾という文面から、漱石が京都に赴いた第一の理由が狩野に会うためであること、また漱石が最もその学問・人格共に尊敬していた友人が狩野である、という説である。しかし、前掲の3月22日の狩野宛書簡の文面からは、年長の優れた友人への敬愛の念というよりはむしろ肉親や親族に対する甘えのような心情が伝わってくるのではないだろうか。

生後まもなく養子に出され、父母の愛に恵まれずに育ち、学問の道に進むことを手助けしてくれた長兄大助や初恋でありえたかもしれない嫂登世を十代で続けて失うな

ど、⁽¹¹⁾ およそ家族の情愛に恵まれなかった漱石が肉親のように甘えられる存在である、狩野亨吉とはいかなる人物なのだろうか。狩野亨吉は、慶應元（1865）年に出羽国大館比内城三の丸（現在の秋田県大館市）で、父狩野深蔵（良知）、母千代の次男として生まれた。狩野家は代々学者の家柄であったが、亨吉がまだ幼少の頃、戊辰戦争が起こり大館藩の領内は戦場となる。幼少時から神童と言われた父良知は江戸への遊学経験もあり、勤王派として藩内をまとめ動乱の時期を乗り切って新政府のもと県庁の要職や内務省出仕等を歴任する。亨吉は父の赴任に伴って明治4（1871）年7歳の時に藩校明德館東校に入学したが、明治9（1876）年には東京に上京し番長小学校に入学する。⁽¹²⁾ 秋田同様、東京でも学業は優秀で、青江舜二郎によると東京府第一中学に入学する際にある教師から次のような書簡を送られたという。

自分は今まで多くの子弟を教育して来たが、きみのようなのは見たことがない。書、数、習の三科目のすべてにすぐれていてしかも平生沈黙、人と争わず、その器量はまことに大きい。きみは今度中学に及第し、自分は別れなければならないが、識量抜群のきみはいつか必ず天下の大器になると思うから、別れに臨んで訓戒する。常に勉励の二字を怠ってはいけない。大いに自愛せよ。⁽¹³⁾

「梅檀は双葉より芳し」と言うが、この教師の言葉通りに狩野亨吉は成長し、東京大学理学部（後に東京帝国大学理科大学と改称）を卒業した後に帝国大学文科大学哲学科及び同大学院で哲学を修めた後、金沢の第四高等中学校教授、熊本の第五高等学校教授・教頭、東京の第一高等学校長、京都帝国大学文科大学長を歴任することになる。漱石にとって狩野は一高、帝大の先輩にあたるが、親しくなったのは、漱石が招聘に尽力し同僚となった熊本五高時代からだという。漱石が狩野に送った依頼状が今も残されているが、狩野は熊本に来て一年もたたないうちに33歳の若さで東京の第一高等学校長に推挙され、名校長と謳われるようになる。⁽¹⁴⁾ ちょうどその頃、明治32（1899）年1月14日に出された狩野亨吉宛の書簡が残されている。

大兄御榮転後嘸かし御多忙の事と奉遥察候何事も邦家の為め御奮励御成功の程江湖の遠方より拝見の期を楽しみ居候

<中略>

学校は因例如例御転任後転た寂莫を感じ居候菅氏近来は健康復旧御勉強教授にあたるゝ由珍重の至に存候同氏よりは過日長文の書翰を領し多少近況を詳か〔に〕しひそかに悦び居候折に御座候藤代氏の病気は大患にや心元なく存候精々加養可然と愚考仕候⁽¹⁵⁾

漱石は狩野の不在を寂しがってはいるが、この頃は新婚の身であり間もなく最初の子供も生まれようとしていた。なお、書簡の後半で触れているのは同じく同窓生で、かつて五高の教授でもあった菅 虎雄のことである。「京に着ける夕」において「居士」として登場し「主人」と共に京都駅まで漱石を出迎えた人物である。先行研究ではあまり触れられることのない人物であるが、漱石が京都で会いたかった旧知の友人達の一人である。というのも、菅 虎雄は若き日の漱石が最も苦しい時期に側にいて親身に支えてくれた友人であったのだ。⁽¹⁶⁾

元治元（1864）年に筑後久留米藩（現在の福岡県）の有馬家典医の家系に生まれた菅 虎雄は、狩野と同じく漱石の一高、東京帝国大学の先輩にあたり、最初は医学部に入学したが後に文科に転じて、明治24（1891）年に東京帝国大学独逸文学科の第一回卒業生となった。いつ頃から二人の交友関係が始まったのか確かな資料はないが、漱石が最も進路に悩み神経衰弱に苦しんでいた明治27（1894）年頃、小石川指ヶ谷町八番地の菅宅で同居したことさえあるという。また、帝大在学中に円覚寺の今北洪川の下で修行し「無為」の居士号を授けられていた菅は、漱石が円覚寺で参禅できるよう紹介状を書いてやったり、横浜の英字新聞『ジャパン・メール』の記者に紹介したりした。その上、愛媛県尋常中学校に赴任できるよう推挙したが、松山に赴任後、中学校の不満ばかり並べた手紙を送りつけてくる漱石に閉口しつつも見捨てず、自分の赴任先である熊本の第五高等学校の中川校長に英語教師として漱石を推薦したという。⁽¹⁷⁾ 前掲の書簡は菅が病を得て帰京していた頃のものであるが、漱石との友情はその後も変わらず、英国留学後、帰国した漱石の住居を一緒に探してくれたり、そのための資金を融通してくれたりしたという。逆に、菅や狩野も転任の際などに漱石から借金したことがある。⁽¹⁸⁾

漱石、狩野、菅たち同窓生が交わし合った書簡を見ると、非常に濃密な友人関係が浮かび上がってくる。共に学び、青春の一時期を過ごした気心の知れた親密な友人というだけでなく、就職の世話や転居その他の費用の融通、身内の不幸等への心のこもった応対等、現在の希薄な人間関係とは対極にある肉親を超えるほどの強い友情、相互扶助の関係が浮かび上がってくるのである。このような男性同士の強い絆・連帯はホモソーシャルと呼ばれ、セクシュアリティが排除された関係でありながら、異性との恋愛を脅かすほどの堅固さで物語の中に立ち現れるというのが、漱石の文学の特色であると様々な研究者が指摘している。⁽¹⁹⁾ その典型的な事例は『こゝろ』であろうが、「京に着ける夕」の直後に執筆された『虞美人草』にもそれは表れている。美貌と富を併せ持つ藤尾との恋に目が眩んで、恩師の娘である許嫁の小夜子を捨てようとした小野を改心させる役目を果たす、宗近と甲野のモデルは菅 虎雄と狩野亨吉だと言われている。藤尾の罪といえば自らの意志で結婚相手を選ぼうとしただけであるが、家父長制が要請する規範から

逸脱した彼女は男性たちによって厳しく断罪されることになる。⁽²⁰⁾

ともあれ、「京に着ける夕」が書かれた頃、菅 虎雄は妻子を東京に残して京都の第三高等学校に赴任しており、狩野宅に寄寓していた。漱石はその作品には記さなかったが、「京に着ける夕」は一高、帝大の同窓生が久しぶりに旧交を温める宵となったのである。そして、その翌日から菅の案内で相国寺や妙心寺や天竜寺などをまわったり、狩野と3人で比叡山に登ったりしたという。比叡山に登った時のことは『虞美人草』の題材として作品内に取り入れられたようだが、⁽²¹⁾ 何故「京に着ける夕」では二人との親密な関係をほとんど表現しなかったのであろうか。次節では、狩野及び菅である「主人」「居士」に関する記述と子規に関する記述とを比較しながら、漱石が意図した効果について考察していきたいと思う。

III. 子規という存在

前述のように「京に着ける夕」は明治40（1907）年3月28日の夜に漱石が京都駅に降り立ち、駅まで出迎えた狩野亨吉と菅 虎雄と共に糺の森近くにある狩野宅まで向かい、その夜を過ごした経験を元にして書かれた作品である。しかしながら、語り手は狩野及び菅のことは終始「主人」「居士」として語り、ほとんど最低限の挙措や発言しか語ろうとはしない。一方で、語り手は物語の時間を三度も「十五六年の昔」まで遡らせて、子規との思い出を事細かに描写・説明するのである。語り手は子規のことを次のように語り始める。

始めて京都に来たのは十五六年の昔である。その時は正岡子規と一所であつた。麩屋町の柵屋とか云ふ家へ着いて、子規と共に京都の夜を見物に出たとき、始めて余の目に映つたのは、此赤いぜんざいの大提灯である。此大提灯を見て、余は何故か是が京都だなと感じたぎり、明治四十年の今日に至る迄決して動かない。ぜんざいは京都で、京都はぜんざいであるとは余が当時に受けた第一印象で又最後の印象である。子規は死んだ。

<中略>

同時に——あゝ子規は死んで仕舞つた。糸瓜の如く干枯びて死んで仕舞つた。⁽²²⁾

生まれて初めて子規と共に京都を訪れた際に目についたぜんざいの赤提灯のことを繰り返し語りながらも、その心の底から響いてくるような悲しい声がある——「あゝ子規は死んで仕舞つた」。漱石が子規の死を悼み続け、様々な作品に子規のことを書き続けたのは有名である。たとえば『吾輩は猫である』には、自身の分身のような苦沙味先生

と子規は「始終無線電話で肝胆相照らしていたもんだ」⁽²³⁾との記述があるし、『三四郎』では子規が果物好きで大食いであり「ある時大きな樽柿を十六」も食べたエピソードが紹介されている。⁽²⁴⁾ また、何といたっても『吾輩は猫である』の中篇の序や「子規の画」など、子規のことを綴った文章からはその死を悲しむ哀惜の情が伝わってくるのである。⁽²⁵⁾

子規と来たときは斯様に寒くはなかつた。子規はセル、余はフランネルの制服を着て得意に人通りの多い所を歩行いた事を記憶してゐる。其時子規はどこからか夏蜜柑を買ふて来て、之を一つ食へと云つて余に渡した。〈中略〉

子規は笑つて居た。膝掛をとられて顫へてゐる今の余を見たら、子規は又笑ふであらう。然し死んだものは笑ひたくても、顫へてゐるものは笑はれたくても、相談にはならん。⁽²⁶⁾

漱石と子規は、狩野らと同じく一高、帝大の同窓生であるが、二人は同年の慶應3（1867）年生まれであった。翌年は維新の年であるから、明治と共に年を取るといふ、生まれながらの明治人であったが、その生まれや育ちは大きく異なっていた。漱石は生粋の江戸っ子であり、町方名主の子ではあったが維新と共に没落した家の生まれであり、また末っ子の五男で家にとっては不要の子として生後すぐに里子に出されている。⁽²⁷⁾ 子規（本名は常規）は松山藩馬廻加番の正岡隼太の次男（長男は夭折）として生まれた。母は松山藩の有名な儒者である大原有恒（観山）の長女八重であり、子規と妹の律がまだ幼少の頃に父が亡くなってからは観山をはじめとする大原家の人々が後ろ盾となり、大切に養育されている。幼い子規は観山翁から直接、儒学と共に漢詩文を学んだ上に松山は元々、俳句・短歌の盛んな土地であった。⁽²⁸⁾

しかし、そのような生育環境や文化的な差異を乗り越えて二人は惹かれ合い、反発し合い、共にその才能を開花させていく。二人が交際を始めたのは漱石の『木屑録』によると明治22（1889）年1月からだという。親しくなった理由は子規の『七艸集』への批評を漱石が漢文で書き送ったため、子規が漱石のことを英語に秀でているばかりか漢文学にも造詣があると知ったためであろう。なお「漱石」の雅号はこの時初めて用いられたという。そして、同年夏季休暇中に友人たちと房総半島に出かけた漱石が、その思い出を漢詩文で綴った『木屑録』を表すと子規は次のように述べて漱石の文章を激賞した。⁽²⁹⁾

余知吾兄長于英文也久 而見吾兄漢文則始于此木屑録也 余与吾兄入校也共学馱舌草蟹文 而吾兄蔚然現頭角話蛮語猶邦語然 余以為長于西者概短于東 吾兄亦当不

知和漢之学矣 而今及見此詩文 則知吾兄天稟之才矣 其能詩文者則其才之用耳 不必問文字之自他与学問之東西也 如吾兄者千万年一人焉耳

余は吾が兄の英文に長ずるを知るや久し。而して吾が兄の漢文を見るは、すなわちこの「木屑録」に始まるなり。余、吾が兄と校に入るや、ともに馱舌を学び蟹文を草す。而して吾が兄は嶄然として頭角を現し、蛮語を話すこと、なお邦語のごとくしかり。余、以為らく、西に長ぜる者は、おおむね東に短なれば、吾が兄もまたまさに和漢の学を知らざるべし、と。しかるに今この詩文を見るに及び、すなわち吾が兄の天稟の才を知れり。

その詩文をよくする者は、すなわちその才の用のみ。かならずしも文字の自他と学問の東西とを問わざるなり。吾が兄のごとき者は、千万年に一人なるのみ。⁽³⁰⁾

子規と漱石が二人で京都に旅行したのは、それから約3年後、明治25（1892）年のことであった。まもなく子規は東京帝国大学を中退して、肺結核及び併発した脊椎カリエスに苦しみながらも、新聞『日本』や『ホトトギス』において活発な評論活動を展開するようになる。⁽³¹⁾ 漱石は英国留学を経て、第一高等学校、東京帝国大学等での教員生活の傍ら『ホトトギス』『帝国大学』等に寄稿し、その文名を高めていく。⁽³²⁾

子規と来て、ぜんざいと京都を同じものと思つたのはもう十五六年の昔になる。夏の夜の月丸きに乗じて、清水の堂を徘徊して、明かならぬ夜の色をゆかしきものゝ様に、遠く眼を微茫の底に放つて、幾点の紅燈に夢の如く柔かなる空想を縦まゝに酔はしめたるは、制服の釦を真鍮と知りつゝも、黄金と強ひたる時代である。真鍮は真鍮と悟つたとき、われ等は制服を捨て、赤裸の儘世の中へ飛び出した。子規は血を嘔いて新聞屋となる、余は尻を端折つて西国へ出奔する。御互の世は御互に物騒になつた。物騒の極子規はとうとう骨になつた。其骨も今は腐れつゝある。子規の骨が腐れつゝある今日に至つて、よもや、漱石が教師をやめて新聞屋にならうとは思はなかつたらう。漱石が教師をやめて、寒い京都へ遊びに来たと聞いたら、円山へ登つた時を思ひ出しはせぬかと云ふだらう。新聞屋になつて、糺の森の奥に、哲学者と、禅居士と、若い坊主頭と、古い坊主頭と、一所に、ひつそり閑と暮らして居ると聞いたら、それはと驚くだらう。矢つ張り気取つてゐるんだと冷笑するかも知れぬ。子規は冷笑が好きな男であつた。⁽³³⁾

死者のことを語り記述しているうちに、死者に向けて言葉を発しているような、もしくは死者と対話しているような心持になつたのであろう。前掲の「顛へてゐるものは笑

はれたくても」の表現も同様である。また、最後の文章からは子規が片頬を歪めて笑う様が見て取れるようである。

同時にここで明らかになるのは、この作品が書かれた意図であり、「漱石」が子規と同じ「新聞屋」になるということ、そのことを世間に向けて宣言することであったと考えられる。何故ならば、漱石の朝日新聞入社を最初に望んだのは大阪の鳥居素川であり、その鳥居からの依頼で「京に着ける夕」は『大阪朝日新聞』のみに掲載される予定で書かれた作品であったからである。⁽³⁴⁾ 帰京後、有名な「入社の際」が『朝日新聞』に掲載されることになるのであるが、既に4月2日には漱石の朝日新聞入社は東京の『朝日新聞』で告知されていたという。⁽³⁵⁾ つまり漱石の朝日新聞入社を知った読者が初めて目にするのが、「京に着ける夕」であったという訳である。そのため、現実には漱石を温かく出迎えてくれた二人は「主人」「居士」として、物語の後景に追いやられることになる。しかし、それも糺の森が出現するまでの話ではあるが。

寒い町を通り抜けて、よくよく寒い所へ来たのである。遥かなる頭の上に見上げる空は、枝の為めに遮ぎられて、手の平程の奥に料峭たる星の影がきらりと光を放つた時、余は車を降りながら、元来何処へ寝るのだらうと考えた。

「是が加茂の森」だと主人が云ふ。「加茂の森がわれわれの庭だ」と居士が云ふ。大樹を繞ぐつて、逆に戻ると玄関に灯が見える。成程家があるなと気がついた。

玄関に待つ野明さんは坊主頭である。台所から首を出した爺さんも坊主頭である。主人は哲学者である。居士は洪川和尚の会下である。さうして家は森の中にある。後ろは竹藪である。顛へながら飛び込んだ客は寒がりである。⁽³⁶⁾

どこまでも続くかと思われた京都の古い町並みが途切れて、大樹の森が出現した時、それまで「遠いよ」という言葉しか口にしなかった「居士」が誇らしげに叫ぶ。「加茂の森がわれわれの庭だ」と。ここに提示された糺の森の中の住居とその住人たちの様子は明らかに俗世間を離れている。「子規は矢張り気取っているんだと冷笑するかもしれぬ」と語るのは親友の子規は漱石の年来の願望を知っていたからであろう。俗世間を離れて南画に描かれたような自然の中で暮らしたいというのは若い頃からの漱石の願望であったことは『思ひ出す事など』にも書かれている。⁽³⁷⁾

また、隠遁者であり、田園詩人でもあった陶淵明を好んだのも二十代の頃からで、松山中学に赴任していた頃、正月に帰京した際に友人の米山保三郎から『陶淵明全集』を譲り受けて読んでいるが「甚だ愉快」と子規宛の書簡に記されている。⁽³⁸⁾ 陶淵明は東晋末頃の詩人であり、その曾祖父である陶侃は皇帝もしのぐ程の財産家であったが、陶淵明の時代にはすっかり没落しており、彼は生活のために官僚となった。しかし41

歳の頃、上役の傲慢な態度に腹を立て「我は五斗米の為に腰を折り郷里の小人に向かう能わず」と述べて離職し、郷里に戻って隠遁生活を送ることにした。この時に表わしたのが有名な「帰去来兮辞」である。⁽³⁹⁾

漱石は陶淵明を好み、明治39（1906）年に執筆した『草枕』にも「俗念を放棄して、しばらくでも塵界を離れた心持ちになれる詩」として「採菊東籬下、悠然見南山」という陶淵明の「飲酒二十首并序」第五首の一節を引用している。⁽⁴⁰⁾ また、同年9月の畔柳芥舟宛の書簡には「草枕の画工みた様になつて1ヶ月ばかり遊びたい」⁽⁴¹⁾と記している。漱石はちょうど陶淵明が隠遁生活に入ったのとほぼ同年齢になっていた。元来「やめたきは教師、やりたきは創作」⁽⁴²⁾と述べていた人間であったから、文学の道を進むことを決意し、その直前に訪れた京都でまるで隠遁者の住むような森の中の住居に、気心の知れた友人達と共に過ごすことは心安らぐ体験であったに違いない。

IV. 糺の森という空間

当時、漱石が滞在した狩野亨吉の家は下鴨二十四番地にあった大きな平屋で、京都大学が用意した官舎であった。漱石の記述通り糺の森の中にあり、元々は下鴨神社の社家として建てられたもので、御一新までは御所に出仕する公卿たちが住んでおり、敷地は4百坪ほどもあったという。そこに、狩野亨吉と菅虎雄、書生の野秋敏治と下男の4人しか住んでいないのだから、東京の賑やかな漱石の自宅とは全く異質な閑静な住宅であったろう。⁽⁴³⁾

京都市の中心部に位置する糺の森は、賀茂御祖神社（通称、下鴨神社。以下、下鴨神社と記す）の社叢である。古来より宮の森として大切にされ、濫りにその樹木を伐ることは禁じられていた。現在では下鴨神社の社殿等と共に世界文化遺産にも登録されている。古代の下鴨神社の社領とは比べるべくもないが、現代でもその境内は約12万4千平方メートルに及び、落葉広葉樹のケヤキ・ムク・エノキをはじめとする、約140種の樹木が鬱蒼と生い茂っており、樹齢2百年から6百年の大樹も多数残存するという。⁽⁴⁴⁾

また、「京に着ける夕」では「加茂の森」と呼ばれているが、森と言っても高野川と鴨川が合流するところに位置する平野部に広がっている鎮守の杜であり、深い山を覆う森林とは異なる。しかし、下鴨神社は賀茂別雷神社（通称、上賀茂神社。以下、上賀茂神社と記す）と並んで京都でも最も古い由緒ある神社であり、その社叢である糺の森は、平安京造営時の面影を良く残しているという。⁽⁴⁵⁾

森の名である「糺」の由来は様々であり、地形から呼び名が生成した説としては、古来から糺の森は浮島の里である直澄、清水の湧くところ、鴨川の水源地の神地として崇められたのだという言い伝えや、鴨川と高野川の三角州のデルタ地帯を地形的に「只州」

と呼んだからだという説がある。また、植物の蓼が群生している場所を「ただす」と呼んだからだという俗説もある。そしてまた、下鴨神社の祭神、賀茂建角身命が正邪を糾す清浄地であったため、「ただす」の名がついたのだという伝承や神が顕れる神地、すなわち「神が顕^{たつ}」が「ただす」となったのだという民俗学的な説などもある。⁽⁴⁶⁾ 平安時代以後、様々な和歌にもその名が詠まれており、例えば『源氏物語』須磨の巻の次のような歌が有名である。

うき世をばいまぞ別るゝとゞまらむ名をばたゞすの神にまかせて⁽⁴⁷⁾

また、『山背国風土記』逸文には下鴨神社の縁起が次のように記されている。

(山背国風土記曰)

可茂社。

称_二可茂_一者、日向曾之峰天降坐神、賀茂建角身命也、神倭石余比古之御前立坐而、宿坐_二大倭葛木山之峰_一。自_レ彼漸遷、至_二山代国岡田之賀茂_一、随_二山代河_一下坐、葛野河与_二賀茂河_一所_レ会至坐、見廻_二賀茂川_一而言「雖_二狭小_一、然石川清川在」。仍名曰_二石川瀬見小川_一。自_レ彼川_一上坐、定_二坐久我国之北山基_一。従_レ尔時_一、名曰_二賀茂_一也。賀茂建角身命、娶_二丹波国神野神伊可古夜日女_一、生子名_二玉依日子_一。次曰_二玉依比売_一。玉依比売、於_二石川瀬見小川_一、々遊為時、丹塗矢、自_二川上_一流下。乃取挿_二置床边_一、遂孕生_二男子_一。至_二成_レ人時_一、外祖父建角身命、造_二八尋屋_一、豎_二八戸扉_一、釀_二八腹酒_一而、神集々而、七日七夜楽遊、然与_レ子語言「汝父将_レ思人、令_レ飲_二此酒_一」。即拳_二酒坏_一、向_レ天為_レ祭、分_二穿屋薨_一、而升_二於_二天_一。乃因_二外祖父之名_一、号_二可茂別雷命_一。所_レ謂丹塗矢者、乙訓郡社坐、火雷命在。

可茂建角身命也、丹波神伊可古夜日売也、玉依比売也、三柱神者、蓼倉里三井社坐。

(前田家本『釈日本紀』卷九「頭八咫鳥」条)

可茂の社。

可茂と称ふは、日向の曾の峰に天降り坐しし神、賀茂の建の角身の命、神倭石余比古の御前に立ち坐して、宿りて大倭の葛木の山の峰に坐しき。彼より漸遷りたまひて、山代の国の岡田の賀茂に至りたまひ、山代の河の随に下り坐して、葛野の河と賀茂の河との会へる所に至り坐し、賀茂の川を見廻らして、言りたまはく「狭くあれども、石川の清川にあり」とのりたまふ。仍ち名けて石川の瀬見の小川と曰ふ。彼の川ゆ上り坐して、久我の国の北の山基に定まり坐しき。その時ゆ名けて賀茂と曰ふ。

賀茂の建の角身の命、丹波の国の神野の神、伊可古夜日女を娶きて生みませる子、玉依日子と名く。次、玉依日売と曰ふ。玉依日売、石川の瀬見の小川に川遊したまひし時、丹塗矢、川上ゆ流れ下りき。乃ち取りて、床辺に挿し置き、遂に孕みて男子を生れませり。人と成りて、外祖父建の角身の命、八尋屋を造り、八戸の扉を豎て、八腹の酒を醸みて、神集へ集へて七日七夜楽遊したまひて、さて子と語りひて言ひたまはく「汝の父と思はむ人にこの酒を飲ましめよ」といふ。即ち、酒杯を挙げて天に向きて祭らむとして、屋の藁を分き穿ち天に升りたまひき。乃ち外祖父の名に因りて、可茂の別雷の命と号く。謂ゆる丹塗矢は乙訓の郡の社に坐せる火の雷の命なり。

可茂の建の角身の命と丹波の神、伊可古夜日売と玉依日売との三柱の神は、蓼倉の里なる三井の社に坐せり。⁽⁴⁸⁾

つまり、賀茂の神というのは、元々は「日向の曾の峰」に天降った賀茂建角身命という神である。この神は八咫鳥となって「神倭石余比古（神武天皇）」の大和国平定の大導を務め、その後「山代の国の岡田の賀茂」に入られたという。さらに「葛野河（桂川）」と「賀茂河（鴨川）」の会合するところに至り、鴨川を見渡して、「狭く小さいけれど、石川の清川である」とおっしゃったので、その川を「石川の瀬見の小川」というようになった。そこからさらに遡って「久我の国の北の山基」に鎮まった。その時からこの地を「賀茂」と呼ぶようになったという。そして、賀茂県主族の御祖神となった賀茂建角身命は「丹波の国の神野」の伊可古夜日女と結婚し、玉依日子と玉依日売が生まれた。⁽⁴⁹⁾

その玉依日売が「石川の瀬見の小川」で川遊びをしていると、丹塗の矢が流れて来たので、それを手に取り床に置いておいたところ、懐妊して男の子を産んだ。この男の子が成長すると、外祖父の賀茂建角身命が八尋殿を造って、酒を醸し、神々を招いて酒宴を行った。そして、その子に「お前の父と思う人にこの酒を飲ましめよ」と告げると、その子は酒杯を捧げて、「天にいる我が父に捧げよう」と屋根の瓦を突き破って天に昇ってしまったという。⁽⁵⁰⁾

梅原 猛はこの神話を「いわば靈威を持った神や人間によくある話である」と述べ、イエス・キリストの誕生譚について触れながら「父の解らない子こそ、母や祖父より遥かに強い靈力を持つ神であることが多い」と指摘している。⁽⁵¹⁾ その言葉通り上賀茂神社に祀られている賀茂別雷大神は恐るべき荒神であり、父は「乙訓の郡の社に坐せる火雷神」であるという。火雷神は怨霊にもなる恐ろしい神であるが、雷の神であるから、雨を降らすこともできるため、やはり稲作農耕の神であると梅原は言う。賀茂別雷大神は稲作農耕に必要な雨を降らせる「水を司どる神」として特別な尊敬を受けていたのであろう、とも述べている。⁽⁵²⁾

また、下鴨神社の別名は賀茂御祖神社であり、その名の通り、賀茂別雷大神の祖父母神と母神が祀られているが、その謂われは古く、紀元前とされる崇神天皇の7年に神社の瑞垣の修造が行われたという記録があるという。また、糺の森周辺の発掘調査では縄文時代の土器や弥生時代の住居も発掘されており、それを裏付けている。そしてまた、京都の三大祭の一つである葵祭（賀茂祭）は欽明天皇の頃に始まったとされる。欽明天皇の御代（539～571年）に国中に雨風が吹き荒れ、天候が不順で五穀が実らず、民が苦しんでいたところ、賀茂大神の祟りであるとわかり、四月吉日を選んで大神に捧げる祭祀を行ったところ、五穀成熟して天下泰平になったという。つまり、奈良時代以前に既に賀茂信仰は既にかかなりの範囲で広まっていたことが分かる。⁽⁵³⁾

しかし、下鴨・上賀茂の下・上賀茂社が伊勢神宮と並んで斎王が置かれる程の、つまりは皇室の最も崇拝する神社の一つとなったのはやはり平安遷都からであろう。賀茂社を司っていたのは、賀茂県主の一族であり、京都の東北に居を構え、京の東南と西南に居を構える秦氏と共に京都の有力な一族であった。彼らの力を借りなくては、いかに桓武天皇（781～806年）といえど遷都は不可能であったという。また、桓武天皇自身も年に賀茂社に行幸になったという。その後、歴代天皇の行幸は六十余度に及び、特に嵯峨天皇は弘仁元（810）年に皇女有智子内親王を斎王と定められ、天皇の御杖代として奉仕される斎院の制を敷かれたのである。その後も公家や武家からも厚い崇敬を受け、中世には山城国一ノ宮に、明治になると伊勢の神官に次ぐ全国神社の筆頭となったという。⁽⁵⁴⁾

「京に着ける夕」の物語時間は明治40（1907）年3月28日の夜から翌朝にかけてであるが、実際にこの作品を執筆したのは4月6日頃だと言われている。3月29日の漱石の日記には「上加茂 舞殿、細殿、神楽殿、御手洗池、糺森、松が崎 妙法」⁽⁵⁵⁾と記されており、原稿執筆時には既に賀茂信仰に関する知識は得ていたであろう。そのことは「京に着ける夕」の次のような記述からも明らかである。

暁は高い櫓の梢に鳴く鳥で再度の夢を破られた。此鳥はかあと鳴かぬ。きや、けえ、くうと曲折して鳴く。単純なる鳥ではない。への字鳥、くの字鳥である。加茂の明神がかく鳴かして、うき我をいとゞ寒がらしめ玉ふの神意かも知れぬ。⁽⁵⁶⁾

この鳥がどんな鳥であったのかは、研究者によって意見の分かれるところである。岡三郎は「春先、雌雄の鳥は、確かに<きや、けえ、くう>とでも表記できるような独特の啼き声を発するときがあるものである」とし、「都会育ちの作者には、そこが珍しかったのに違いない」⁽⁵⁷⁾としている。確かに東京育ちの漱石は不案内であっただろうが、鴨川流域や糺の森には数多くの野鳥が生息していた。⁽⁵⁸⁾複数の鳥の鳴き声を組み合わせ

て、前述のように表現した可能性は高い。

また一方で、水川隆夫は「糺の森に一年中生息しているハシブトガラスである。嘴が太くて額の大きな鳥で繁殖力が強い」と述べている。⁽⁵⁹⁾ 佐藤良太は水川論を踏まえて、下鴨神社の境内であることを指摘し、下鴨神社の祭神である賀茂建角身命の化身、八咫鳥であると述べているが、⁽⁶⁰⁾ その通りであろう。作品の掉尾に置かれた俳句からも、暁に聞いた鳥の鳴き声を吉兆と捉えていることは明らかであり、「加茂の明神がかく鳴かしめ」たとあるからには神鳥であろう。前述の通り、八咫鳥は神武天皇の東征に貢献した鳥であるが、元々は古代中国の神話の太陽の精である三本足のカラスである。古代中国では、三本足のカラスが太陽の中に住んでおり、その鳥は金色で不死鳥であると考えられていた。それが古代の日本に伝わり、日本の文化や神話の中にも浸透していったのであろう。また、賀茂信仰だけでなく、各地の熊野信仰の中にも八咫鳥の神話は息づいている。⁽⁶¹⁾

同時に作品が終わろうとする時に気づくのは、「余」が感じている「寒さ」がいつの間にか変容していることである。

かくして太織の蒲団を離れたる余は、顫へつゝ窓を開けば、依稀たる細雨は、濃やかに糺の森を罩めて、糺の森はわが家を遶ぐりて、わが家の寂然たる十二畳は、われを封じて、余は幾重ともなく寒いものに取り囲まれてゐた。⁽⁶²⁾

糺の森は言うまでもなく、社叢であり、神域である。「余」を取り巻いている「寒いもの」は昨夜、「疾く走る汽車から会釈なく振り落された余」が感じていた「寒さ」と同質であろうか。漱石が3月28日の日記に「京都ノfirst impression寒イ」と記したことから、「京に着ける夕」に描かれた「寒さ」も先行研究の論点となってきた。⁽⁶³⁾ 夙に知られていることだが、「比叡と愛宕と鞍馬」等の山々に三方を囲まれた京都は盆地であり、夏は暑く、冬は底冷えがする。しかし、研究者が論じて来たのはそのような身体的感覚としての「寒さ」ではなく、「余」の心情的な「寒さ」である。例えば「余」を大学の職を離れ、朝日新聞社への入社を待つ「漱石」そのものと見る江藤 淳は次のように述べている。

漱石は寒く、寂寥に満たされていた。それはどこにも所属を持たない者の寂寥であり、異郷に独り身を移した者の寒さであった。まことに彼の前途は、「惨怛たるもの」に見えた。⁽⁶⁴⁾

ちなみに「惨怛たるもの」とは明治40（1907）年3月23日付けの野上豊太郎宛の書

簡にある漱石の言葉である。その前後は次の通りである。

世の中はみな博士とか教授とかを左も難有きものゝ様に申し居候。小生にも教授になれと申候。教授になつて席末に列するの名誉なるは言ふ迄もなく候。教授は皆エラキ男のみと存候。然しエラカラざる僕の如きは殆んど彼等の末席にさへ列するの資格なかるべきかと存じ。思ひ切つて野に下り候。生涯は只運命を頼むより致し方なく前途は惨怛たるものに候。それにも拘わらず大学に噛み付いて黄色になつたノートを繰り返すよりも人間として殊勝ならんかと存候。⁽⁶⁵⁾

(下線は筆者)

この書簡において漱石は、一般論として運命や将来は誰にも分らず、厳しいものだと述べているように思われる。それにも関わらず、世間の人々がその権威を認めている教授の職に「噛み付く」ことなく「野に下り」、文学の道を目指そうとする気概が感じられるのである。

また、江藤は「京に着ける夕」において「主人」と「居士」として描かれた狩野亨吉や菅 虎雄がいまだに高等官であることに対して漱石はコンプレックスを感じていたと述べている。⁽⁶⁶⁾しかし、実際には漱石は学長である狩野からも京都大学教授の招聘を受けており、2度に渡って辞退の手紙を送っている。その上、来年度からはこれも一高・大学時代からの親しい友人である大塚保治から、東京帝国大学文科大学英文学講座担当教授になってくれないか、との相談を受けている。教授になれば文筆活動は控えなければならぬから、漱石はこれも辞退して朝日新聞社への入社を決めたのである。⁽⁶⁷⁾将来への不安はもちろんあったであろうが、親しい友人達からの2度に渡る教授招聘を辞退する程の強い意志で「野に下」ることを決めたことは間違いない。

また、前掲の書簡にもあったように狩野亨吉は「学長なれども学長や教授や博士杯よりも種類の違ふたエライ人」である。狩野は漱石と同じく明治41(1908)年10月に京都大学学長及び教授を辞任して「野に下」ってしまう。その後は、東北帝国大学学長や皇太子(後の昭和天皇)の傅育官の職等の名誉ある官職に推挙されても頑として応じず、一市井の古書収集家、骨董鑑定家として過ごすことになる。皇太子の傅育官を辞退した時に「自分は危険思想の持主だから」と述べて固辞したことが伝わっているが、これは共産主義や社会主義を指すのではなく、狩野が発見したとされる郷土秋田藩・大館出身の学者、安藤昌益(1703～1762年)が『自然真営道』に著した唯物史観的思想を容認していたことを指すのだという。⁽⁶⁸⁾安藤昌益は江戸時代中期を生き抜いた学者であるが、飢饉に襲われ「非命ニシテ死」んでいく民衆を目の当たりにして、支配階級・封建制度を批判し、全ての者が「直耕(労働)」に携わるべきだという徹底した平等思想を唱えた

人物である。⁽⁶⁹⁾「開けて読むと眼がつぶれる謀反の書」という伝承さえ生まれた「破格の独創性をもった革命思想」⁽⁷⁰⁾を狩野は容認し、世に紹介した。また、狩野は初めて教師として赴任した金沢の第四高等中学校教授時代から学費等に事欠く学生を支援していたという。なお、糺の森の家に書生として住み込んでいた一高出身の野明敏治は狩野を敬慕し、東京帝大に進む友人達と別れて京都帝大に進学したのだという。⁽⁷¹⁾

このような狩野に手厚く遇され、新品の太織の蒲団を「わがもの」と心得え、糺の森の中の家を「わが家」と語り書く「余」は、京都駅に降り立った時と同質の「寒さ」や「寂寥」を感じつつけているのだろうか。また、佐藤論が述べるように「京に着ける夕」の「寒さ」は虚構としての前近代性を感じさせるための装置の一端なのであろうか。⁽⁷²⁾

いま一度確認しておきたいのは、作品の末尾に記された、幾重にも「余」を取り囲む「寒いもの」は明らかに「聖なるもの」であるかのように、描かれていることである。まず、「寒いもの」は時雨によってもたらされているが、賀茂の神は雷神であり、水を司る神である。そして、「わが家」を取り囲む糺の森は聖域である。また、「わが家」の「主人」は神の心にかなうような人物である上に、もともとこの家は賀茂社に奉仕する神職の社家であったのだ。「余」が感じている「寒さ」は「京に着ける夕」の冒頭のそれとは明らかに変容している。では、いつから「余」の「寒さ」は変化したのであろうか。また、その契機となったものは何なのであろうか。

V. 聖と俗の空間

漱石は、明治40（1907）年4月2日付けの日記に次のような俳句を記している。

天晴れて始めて春の心地なり
加茂にわたす橋の多さよ春の風⁽⁷³⁾

京都に着いた翌日から「見る所は多く候 時は足らず候」と東京の小宮豊隆に書き送った通り、漱石は精力的に、円山公園、知恩院、清水寺、詩仙堂、銀閣寺、真如堂、南禅寺、平安神宮、相国寺、同志社、京都御所、建仁寺等の名所・旧蹟を友人の菅 虎雄等と共に巡っていた。そして、京都滞在5日目にして漸く暖かい陽光と「春の風」のなか、夷川通、北野天神、金閣寺、大徳寺、上賀茂神社等を見て回ったようである。⁽⁷⁴⁾

上賀茂神社は同年3月29日にも訪れた可能性があるが、4月2日の日記には「上加茂社後（水潺湲）⁽⁷⁵⁾」と書かれている。水川隆夫は、この記述から下上賀茂社の境内を流れる御手洗川が楼門の西南で合流することになる御物忌川と近寄る神社の後方では、「澄みきった水の音が絶えず聞こえている」ことを指摘している。⁽⁷⁶⁾ 正に潺湲として川の水

が流れていることを漱石は楽しんだのであろうが、この記述からも、また漱石の俳句からも下上賀茂社付近には多くの川が流れていることが看取できよう。

時代が下るにつれて、下鴨神社の境内や糺の森の領域は縮小しており、逆に古代には広大な領域を占めていたことは明らかであり、高野川と鴨川の三角州全域が下鴨神社の境内地であったという。そして、その糺の森の中を神話でも語られた瀬見の小川、奈良の小川、泉川、御手洗川等の清流が流れている。上田正昭は次のように述べている。

鎮守の森のたたずまいは森林のみによって形づくられるのではない。『延喜式』の「神名帳」に記載する式内社の社名をみても御井（三井）をはじめとする井・泉・川・多伎（多吉＝滝）などにちなむものが多い。泉や小川などが鎮守の森のいのちを象徴する。⁽⁷⁷⁾

「狭く小さいけれど石川の清川である」と建角身命がまず賀茂の地に流れる清流に目を留められたことが、その地に鎮まられる契機になったと「賀茂縁起」には記されている。清流はその地を潤すだけでなく、偉大なるもの、聖なるものをも惹きつけたのだと語られているのである。水がなければ人も動物も植物も生きることは出来ない。人類の文明は大河の傍で育まれたことは良く知られているが、賀茂の神を敬う賀茂県主の一族も糺の森の森林だけでなく、その清流に魅了され、その姿の中に聖なるものを見出したに違いない。

前述の通り賀茂社の縁起は古く、神代の時代まで遡ることが出来る。また、それを裏付けるものとして糺の森の中に残された古代祭祀跡「船島」等や、水のまつりの遺構が幾つも見つかっている。⁽⁷⁸⁾ 水はいのちを育むものとして、様々な宗教においてその聖性が信じられてきたが、賀茂信仰においても様々なかたちで重要な役割をになっている。

そして、「京に着ける夕」でも明らかに水は様々な場面で効果的に用いられている。まず、東京から京都に着いた「余」は京都の夜の町並みを糺の森の家を目指して車で走り抜けながら、次のように感じている。

昨日迄は擦れ合ふ身体から火花が出て、むくむくと血管を無理に越す熱き血が、汗を吹いて総身に煮浸み出はせぬかと感じた。東京は左程に烈しい所である。此刺激の強い都を去つて、突然と太古の京へ飛び下りた余は、恰も三伏の日に照り付けられた焼石が、緑りの底に空を映つさぬ暗い池へ、落ち込んだ様なものだ。⁽⁷⁹⁾

つまり、近代化・都市化の著しい日本一の人口を誇る東京から、千年も前から存在する京の都にやって来た「余」は何とも言えない違和感を覚えている。古来から京都へ至

ることを「上洛」というが、「余」は「暗い池」へ「落ち込んだ」ようだと語っている。「余」が出会った最初の水の形態は、暗い色の水を湛えた深い池であり、「余」はその中に放り込まれた「焼石」のように落ちたのである。その「余」が抱えていた「寒さ」は辛く、侘しいものであっただろう。

しかし、次に「余」が水によって生まれた物と出会うのは「十五六年の昔」の回想の中のことである。得意気に制服を着て、子規と共に練り歩いた人通りの多い場所はいつしか遊郭街に通じていた。その時、「之を一つ食へ」と子規に渡された夏蜜柑からは柑橘系の甘い水が滴っていた。夏蜜柑の房を噛みながら、誘惑する女性たちの手から逃れた思い出は正に青春の香りに満ちている。

そして、辿り着いた糺の森の家で「余」はいよいよ「加茂の水」と出会う。

若い坊さんが「御湯に御這入り」と云ふ。主人と居士は余が顫へてゐるのを見兼ねて、「公、まづ這入れ」と云ふ。加茂の水の透き徹るなかに全身を浸けたときは齒の根が合はぬ位であつた。湯に入つて顫へたものは古往今来沢山あるまいと思ふ。⁽⁸⁰⁾

これは明らかに「禊」という行為を模した記述であろう。かつて下鴨神社の社家の中で「加茂の水の透き徹るなかに全身を浸け」ていたのは、賀茂の神に仕える神職であつただろう。『國史大辞典』に拠れば「禊」とは「水中に潜って汚穢を洗い清める行法」である。東南アジア一帯にもみられるが、わが国では伊弉諾神が黄泉国を訪れ、身体に付着した汚穢を除去しようとして、竺紫の日向の橘の阿波岐原の小門で禊祓をしたのが起源とされる。古くは「みそき」と清音で呼び、美曾岐、身祓、身潔、禊祓などとも書くが、要するに「身(み)滌(そそき)」の義で、身体を水中にすっかり浸して振り滌ぐことにより新しい威力ある魂を密着させ、純粹無垢の状態に立ち返らせることを目的とするという。また、祭祀の前段行事として必ず禊が行われる。神仏へ参詣する前に海水や冷水で心身の汚れを清める。このように禊はとりわけ水との関わりが深い。⁽⁸¹⁾

「加茂の水」で汚れを清められた「余」は同じく汚れのない「新調」の蒲団で休むことになる。「寒さ」は消えず、「肩のあたりへ糺の森の風がひやりひやり吹いて来る」。⁽⁸²⁾

真夜中頃に、枕頭の違棚に据えてある、四角の紫檀製の枠に嵌め込まれた十八世紀の置時計が、チーンと銀椀を象牙の箸で打つ様な音を立て、鳴った。夢のうちに此響を聞いて、はつと眼を醒ましたら、時計はとくに鳴り已んだが、頭のなかはまだ鳴つてゐる。しかも其鳴りかたが、次第に細く、次第に遠く、次第に濃かに、耳から、耳の奥へ、耳の奥から、脳のなかへ、脳のなかへ、心の底へ浸み渡つて、

心の底から、心のつながる所で、しかも心の尾いて行く事の出来ぬ、遐かなる国へ抜け出して行く様に思はれた。此涼しき鈴の音が、わが肉体を貫いて、わが心を透して無限の幽境に赴くからは、身も魂も氷盤の如く清く、雪甌の如く冷かであってはならぬ。太織の夜具のなかなる余は愈寒かつた。⁽⁸³⁾

「遐かなる国」「無限の幽境」に「わが心を透して」「赴く」ためには「身も魂も氷盤の如く清く、雪甌の如く冷かであってはならぬ」と「余」は語っている。そのために、「余は愈寒」なのだ。「氷」や「雪」のように冷たく清らかであっては辿りつけない場所に赴くために、「余」は「寒さ」を感じなくてはならないのである。余の心身を脅かしていた「寒さ」は明らかに変容している。ここでは「寒さ」が「心の底から、心のつながる所で、しかも心の尾いて行く事の出来ぬ」場所に赴くために必要なものとなったのである。また、この叙述にも「水」の関与が見られる。身体の中の「水」が「氷」となり「雪」となって、「余」の心身を変容させようとする。「寒さ」は「聖なるもの」に「余」が近づくための前段階となっているのである。

そして「余」は、暁に「うき我をいとゞ寒がらしめ玉ふの神意」を告げるような鳥の鳴き声を聞く。「依希たる細雨」に、「糺の森」に、「幾重ともなく寒いものに取り囲まれて」、「余」は「神意」を鳥の声として聞いたのである。

また、「寒さ」の変容は、「俗」から「聖」への空間の移動と共に起こっており、同時に子規への回想も終焉する。「京に着ける夕」の物語時間は明治40年3月28日の宵から翌朝にかけてであるが、3回ほど「十五六年の昔」がフラッシュバックのように挿入されている。漱石の京都への旅は2度目であり、折に触れて初回の旅が思い起されたのであろうが、その同行者であった子規への回想は糺の森の家に到着するのとほぼ同時に停止するのである。これは何を意味しているのだろうか。

子規への回想は、二人が「世の中へ飛び出した」ところ、東と西に離れ離れになったところで停止している。そして、「子規はとうとう骨になつた。其骨も今は腐れつつある」。共に京都の町を闊歩した子規の肉体は滅んだのである。しかし、その魂は何処へ行ってしまったのだろうか。

前述のように、「京に着ける夕」の掉尾には次のような句が置かれている。

春寒の社頭に鶴を夢見けり

二宮智之は「人に死し鶴に生まれて冴返る」という漱石が明治29年に子規に送った句を挙げて、「死と転生に関するイメージ」が漱石と子規の間で共有されていた可能性を指摘している。⁽⁸⁴⁾しかし、「俗」の空間である京都の町中ではかつて友人であった子

規の面影やその肉体の消滅があればほど語られていたのにも関わらず、「聖」なる空間である糺の森に足を踏み入れた途端、それは停止してしまっている。このことは何を意味しているのだろうか。

エリアーデは「水」について次のように述べている。

水は可能性の総体を象徴する。それは一切の存在可能性の源泉 (fons et origo) であり、貯蔵タンクである。すなわち水はあらゆる形態に先だち、あらゆる創造をになう。創造の一つの原型は、大水の中に突如く顕現する島である。逆に水中に沈むことは無形態への回帰、存在以前の未分の状態に戻ることを象徴する。浮上は宇宙創造の形成行為を再現し、水没は形態の分解を意味する。それゆえ水の象徴は死及び再生を含む。水に触れることは常に復活を意味するが、その理由は第一に、分解の後には<新生>があり、第二に水に浸ることによって生産力を増し、かつ生の可能性を多様にするからである。⁽⁸⁵⁾

つまり、「鶴」は誰かのイメージではない。「鶴」は「生」そのものである。「雪」のように「氷」のように白く清らかな水の変容である。糺の森という社叢は古代からその豊かな緑なす森林だけでなく、清らかな川の流れて生きとし生けるものすべてを潤し、育み、そして魅了してきた。清らかな「加茂の水」は「余」の汚れを洗い流し、新たな「生」を与えようとしている。「神意」にかなう「生」とは自己の別に拘泥するものではないであろう。子規の死を「余」は受け入れ、新たな「生」を生きようとしているのである。

VI. おわりに

漱石の生涯において3度目の京都への旅は『満漢ところどころ』に描かれた明治42(1909)年9月2日から10月14日までの中村是公の招きによる満洲・韓国旅行の直後である。10月14日に韓国の釜山から船で下関港に着いた漱石は、京都へと向かう。満鉄社員の大塚素と同地で落ち合って、嵐山や嵯峨の紅葉を見に行くためであった。満洲・韓国でも宿痾の胃病に悩まされていた漱石であったが、東京にそのまま帰京せずに京都の紅葉を楽しみ、特に嵐山の中腹にある大悲閣での体験を次作『門』の題材に用いた。しかし、この3度目の京都旅行では加茂の地を訪れてはいない。⁽⁸⁶⁾

安井の居る所は樹と水の多い加茂の社の傍であつた。彼は夏休み前から、少し閑静な町外れへ移つて勉強する積だとか云つて、わざわざ此不便な村同様な田舎へ引込

んだのである。彼の見付出した家から寂た土塀を二方に回らして、既に古風に片付いてゐた。宗助は安井から、某所の主人はもと加茂神社の神官の一人であつたと云ふ話を聞いた。⁽⁸⁷⁾

明らかに『門』のこのよう記述は明治40（1907）年春に狩野亨吉の下鴨の家に滞在したことが題材となっている。やがて恋に落ちた宗助と御米は安井を裏切ることになるが、安井が御米と暮らし始める前に住んでいたのは「加茂の社」の社家であった。京都の地理に明るく、宗助をあちこちの寺社や名所に案内してくれた安井のことであるから、馴染み深い下鴨神社へ御米と二人で参拝したこともあったであろう。とすると、二人の罪の重さ、特に御米の罪深さは恐ろしい程である。下鴨神社のご祭神、賀茂建角身命は糺す神である。安井から逃れ、宗助と結ばれた御米が3度も流産し子供に恵まれず苦しみ続けることの遠因が、この京都の地で最初に安井との生活を始めたことなのだとさりげなく読者に提示されているのである。

また、日本の神道がもともと自然崇拝から始まったことは明らかであるが、「神社」という空間について鎌田東二は次のように述べている。

「神道」はまず何よりも、「場」として、「場所」、「空間の詩学」としてある。つまり、森（杜）の詩学として、齋庭の幾何学として、聖地のトポロジーとして、場所の記憶（メモリー）と記録（ドキュメント）として、存在し続けてきた。それが神社であり、「鎮守の森」である。

それは明示的な教えの体系ではないが、様式的で明確な形を持った「道＝生の歩み方（ライフサイクル）」の生活実践であり、いのちと暮らしの構えであった。そのようないのちの道の伝承文化として、「神社」の中に、「神社」を通して、「神社という場」とともに、神道は生きてきた。

そのような「場」や「道」にあっては、何よりも清々しさ、清浄感や、もののあはれや、気配の感覚が大切にされた。⁽⁸⁸⁾

古来、糺の森の樹木は「神の宿る場所」である「神奈備」として、その伐採を禁じられてきた⁽⁸⁹⁾。また、その森を流れる清らかな川は、樹木や生き物たちを潤すだけでなく、「聖なるまつりの場」として大切にされてきた。⁽⁹⁰⁾ そのような鎮守の森の「気配」や「清々しさ」に感応した「余」が、「京に着ける夕」には描かれている。それは、言葉では明示することの出来ない何物かを鎮守の森から受け取り、新たな「いのち」を生きようとする「余」の姿なのである。

〔注〕

- (1) 「京に着ける夕」本文の引用はすべて『漱石全集』12巻（岩波書店 平成6年12月）に拠る。なお引用に際し、旧字は新字に直しルビは適宜省略した。
- (2) 明治40年3月28日の漱石の日記には次のように記されている。（『漱石全集』第19巻 岩波書店 平成7年11月）。
「○夜七条ニツク車デ下加茂ニ行ク。京都ノfirst impression寒イ
○湯ニ飛ビ込ム ○糺ノ森ノ中ニ宿ス。春寒ク社頭に鶴ヲ夢ミケリ
○暁ニ鳥ガ鳴ク。ヘノ字ニ鳴キクノ字ニ鳴ク ○夜中に時計ガチ————ンと鳴る。」
- (3) 江藤 淳『漱石とその時代』第4部（新潮社 平成18年5月）
- (4) 江藤 淳 前掲書
- (5) 岡 三郎『夏目漱石研究 第3巻「虞美人草」と「京に着ける夕」の研究』（国文社 平成7年10月）
- (6) 二宮智之「夏目漱石『京に着ける夕』論-≪鶴≫の表現と正岡子規との関わりを中心に」（『日本近代文学』第72集 平成17年5月）
- (7) 佐藤良太「夏目漱石『京に着ける夕』論-＜近代以前＞への憧憬-」（『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』第37号 平成21年3月）
- (8) 丹治伊津子「夏目漱石『京に着ける夕』論 寄席落語に始まった子規との交友」（『京都語文』第20号 平成25年11月）
- (9) 『漱石全集』第23巻（岩波書店 平成8年9月）
- (10) 同注（9）
- (11) 江藤 淳『漱石とその時代』第1部（新潮社 平成18年5月）
- (12) 青江舜二郎『狩野亨吉の生涯』（中央公論社 平成6年1月）
- (13) 青江舜二郎 前掲書
- (14) 青江舜二郎 前掲書
- (15) 『漱石全集』第22巻（岩波書店 平成8年3月）
- (16) 原武 哲『夏目漱石と菅虎雄 布衣禅情を楽しむ心友』（教育出版センター 昭和58年12月）
- (17) 原武 哲 前掲書
- (18) 青江舜二郎 前掲書 原武 哲 前掲書
- (19) 「ホモ・ソーシャル」とは社会学において男性同士の友情・絆が男女間の「ヘテロ・ソーシャル」な関係に優先するという社会現象を指すが、漱石の初期作品群や『こころ』には「ホモ・ソーシャル」な関係が描かれているとキース・ヴィンセントは指摘している（小森陽一編集『漱石辞典』翰林書房 平成29年5月）。また、飯田祐子も「『こころ』、とくに『こころ』の下にみられる先生とKと静の関係が、典型的に＜ホモ・ソーシャル＞な関係を描いていることは、あらためて指摘するまでもないほど明らかである」と述べている（飯田祐子『彼らの物語 日本近代文学とジェンダー』名古屋大学出版会 平成16年8月）。
- (20) 拙論「夏目漱石『虞美人草』論 藤尾の人物造形とその死をめぐる」（『総合研究』第7号 平成31年3月）参照のこと。
- (21) 明治40年4月9日の漱石の日記に「叡山上り。高野より登る。転法輪堂。叡山董。草木採集。八瀬の女根本中堂。学校デ昼食ヲ乞ふ 案内に应ずるものなし」とある。この叡山上りが『虞美人草』の題材となったことは小宮豊隆（『夏目漱石』中巻 岩波書店 平成19年7月）ほか多くの研究者が指摘している。
- (22) 同注（1）
- (23) 『漱石全集』第1巻（岩波書店 平成5年12月）
- (24) 『漱石全集』第5巻（岩波書店 平成6年4月）
- (25) 「『吾輩ハ猫デアル』中編自序」（明治39年10月）には、約5年前に子規が当時英国のロンドンに在住していた漱石に送った手紙が全文引用されている。漱石が病床にある子規を喜ばせるために書き送った「倫敦消息」の手紙を「非常ニ面白カッタ。近来僕ヲ喜バセタ者ノ随一ダ」と子規は述べ、「僕ノ目ノ明イテル内

ニ今一便ヨコシテクレヌカ」と頼んで来たのにも関わらず、漱石は忙しさに紛れてその要望に応じなかったため、「とうとう彼を殺して仕舞った」と思うほど、後に悔やんだ心情が綴られている（『漱石全集』第16巻 平成7年4月）。また、「子規の画」は同じく病床にあった子規が、当時熊本に在住していた漱石に送った東菊の画に対する感慨を述べた随筆である（『東京朝日新聞』明治44年7月4日及び『大阪朝日新聞』同年7月8日掲載）。子規の遺した東菊の画に「拙」を認めた漱石は「子規は人間として、又文学者として、最も「拙」の欠乏した男であつた」と述べ、在りし日の子規を忍んでいる。どちらの文章も、「京に着ける夕」に描かれた漱石と子規の交流の様子を彷彿させる（『漱石全集』第12巻 平成6年12月）。

- (26) 同注 (1)
- (27) 同注 (11)
- (28) 久保田正文『正岡子規』（吉川弘文館 年7月）
- (29) 同注 (11)
- (30) 大岡 信編 正岡子規著『子規選集 第9巻 子規と漱石』（増進会出版社 2002年7月）
- (31) 久保田正文 前掲書
- (32) 小宮豊隆『夏目漱石』中巻（岩波書店 平成19年7月）
- (33) 同注 (1)
- (34) 小宮豊隆 前掲書
- (35) 同注 (3)
- (36) 同注 (1)
- (37) 漱石が修善寺の大患の直後、43歳の頃に執筆した『思ひ出す事など』には「二十四五年も前の事」として「或る時、青くて丸い山を向ふに控えた、又的礮と春に照る梅を庭に植へた、又柴門の真前を流れる小河を、垣に沿ふて緩く繞らした、家を見て——無論画絹の上に—— 何うか生涯に一遍で好いから斯んな所に住んで見たいと、傍にある友人に語つた」との記述がある（『漱石全集』第12巻（岩波書店 平成6年12月））。
- (38) 明治29年1月16日の正岡子規宛の書簡には「帰途米山より陶淵明全集を得て目下誦読中甚だ愉快なり」とある。（『漱石全集』第22巻 1996年3月）
- (39) 一海知義『陶淵明－虚構の詩人－』（岩波書店 1997年5月）井波律子『中国文学の愉しき世界』（岩波書店 2002年12月）
- (40) 『漱石全集』第3巻（岩波書店 平成6年2月）
- (41) 『漱石全集』第22巻（岩波書店 平成8年3月）
- (42) 明治38年9月17日付けの高浜虚子宛書簡には、「とにかくやめときは教師、やりときは創作。創作さへ出来れば夫丈で天に対しても人に対しても義理は立つと存候。自己に対しては無論の事に候」とあり、朝日新聞社への入社の前年には既に創作への強い意志があったことを感じさせる（『漱石全集』第22巻 岩波書店 平成8年3月）
- (43) 青江舜二郎 前掲書
- (44) 上田正昭「下鴨神社と糺の森」（賀茂御祖神社編『世界遺産 下鴨神社と糺の森』淡交社 平成15年10月）
- (45) 建内光儀『上賀茂神社（賀茂別雷神社）』（学生社 平成15年12月）
- (46) 新木直人「下鴨神社と糺の森」（四出井綱英編『下鴨神社 糺の森』ナカニシヤ出版 平成5年5月）
- (47) 『源氏物語』「須磨」巻前半では、失脚した光源氏が須磨で隠遁生活を送ることを決意し、桐壺院の御陵のある北山に向かう途中で「賀茂の下の御社」（下鴨神社）を選擇する。供人である右近将監は、葵祭のための斎院の御禊の行列で勅使を務めた源氏に供奉した過去を思い出し、主人を守護してくれなかった神を恨むような歌を口にするが、源氏は「つらい都に今別れを告げる、あとに残る噂は（正邪を明確にするという名の）糺の森の神の判断に委ねて」という意味の歌を詠んだという（柳井 茂・室伏信助ほか校注 新古典文学大系『源氏物語』第2巻 岩波書店 平成6年1月）。
- (48) 逸文とは原本が散逸してしまい、元の姿では伝来していない文献で、他の本に引用されることによって、その散逸部分が復元できる文章をいう。『山背国風土記』は『釈日本紀』を元に復元された。「解説」及び本文の引用は植垣節也校注 新編日本古典文学全集5『風土記』（小学館 平成9年10月）に拠る。

- (49) 同注 (48)
- (50) 同注 (48)
- (51) 梅原 猛『京都発見 第4巻 丹後の鬼・カモの神』(新潮社 平成14年8月)
- (52) 梅原 猛 前掲書
- (53) 新木直人 前掲書
- (54) 新木直人 前掲書
- (55) 『漱石全集』第19巻(岩波書店 平成7年11月)
- (56) 同注 (1)
- (57) 岡 三郎 前掲書
- (58) 渡辺茂樹「糺の森のけものと鳥」(四出井綱英編『下鴨神社 糺の森』ナカニシヤ出版 平成5年5月)
- (59) 水川隆夫『漱石の京都』(平凡社 平成13年5月)
- (60) 佐藤良太 前掲論文
- (61) 国松俊英『鳥の博物誌 伝承と文化の世界に舞う』(河出書房新社 平成13年9月)
- (62) 同注 (1)
- (63) 明治40(1907)年3月31日の小宮豊隆宛書簡にも「京都は寒く候加茂の社は猶寒く候糺の森のなかに寝る人は夢迄寒く候」とある。
- (64) 同注 (3)
- (65) 同注 (9)
- (66) 同注 (3)
- (67) 明治39(1906)年7月19日の狩野亨吉宛書簡では「京都の方は他人に譲度候」と述べているが、やや迷っている気配もある。しかし、同年7月30日の狩野亨吉宛書簡では「京都大学件は一寸熟考致候へども一先づ見合せる事に可致候」と明確に断っている(『漱石全集』第22巻 岩波書店 平成8年3月)。また、明治40(1907)年の坂元雷鳥宛書簡には「大学より英文学の講座担任の相談有之候」とあり、朝日新聞から入社を打診され始めた頃、東京帝国大学からも英文学の講座を担当し、教授となるよう要請されていたことが分かる(『漱石全集』第23巻 岩波書店 平成8年9月)。
- (68) 青江舜二郎 前掲書
- (69) 尾藤正英・松本健一・石渡博明編著『安藤昌益』(光芒社 平成14年1月)
- (70) 寺尾五郎『論考 安藤昌益』(社団法人 農村漁村文化協会 平成4年9月)
- (71) 青江舜二郎 前掲書
- (72) 佐藤良太は、明治40(1907)年3月28日から30日までの東京と京都の実際の気温を比較し、「創作された」舞台背景としての《京都》像の表象の一端として漱石の「寒さ」を捉えている「夏目漱石『京に着ける夕』論 - <近代以前>への憧憬 -」(『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』第37号 平成21年3月)。ただ四手井綱英によると、京都市内には冬に局所的な低温となる地域が幾つかあるために、暖温帯照葉樹林地域に落葉広葉樹林が分布しており、糺の森もその一つだという(四出井綱英「糺の森のことなど」四出井綱英編『下鴨神社 糺の森』ナカニシヤ出版 平成5年5月)。
- (73) 同注 (55)
- (74) 水川隆夫 前掲書
- (75) 同注 (55)
- (76) 水川隆夫 前掲書
- (77) 上田正昭「下鴨神社と糺の森」(賀茂御祖神社編『世界遺産 下鴨神社と糺の森』淡交社 平成15年10月)
- (78) 宗教法人 賀茂御祖神社編集・発行『糺の森整備報告書』(平成22年3月)
- (79) 同注 (1)
- (80) 同注 (1)
- (81) 『國史大辞典』第13巻(吉川弘文館 平成4年4月)
- (82) 同注 (1)

- (83) 同注 (1)
- (84) 岡三郎論をはじめとして、この句の「鶴」のイメージは主に漢詩表現の視点から論じられて来たが、二宮智之論は「京に着ける夕」以前の漱石の俳句表現に注目した。「人に死し鶴に生れて冴え返る」という漱石の句が子規から「架空的理想を現したる」句として評価を受けており、漱石と子規の間で「鶴」の表現に関して「死と転生に関するイメージが共有されていた可能性」を指摘している（出典は注6を参照のこと）。
- (85) ミルチャ・エリアーデ著・風間敏夫訳『聖と俗 宗教的なるものの本質について』（法政大学出版局 平成29年10月）
- (86) 水川隆夫 前掲書
- (87) 『漱石全集』第6巻（岩波書店 平成6年5月）
- (88) 鎌田東二「神道とは何か？－ユーラシア・環太平洋交響楽としての神道」（竹本忠雄 監修『靈性と東西文明 日本とフランス－「ルーツとルーツ」対話』勉誠出版 平成28年2月）
- (89) 「神奈備」とは『國史大辞典』第3巻（吉川弘文館 昭和58年2月）に拠れば、「神のまします神聖な場所の意であって、ある一定の山または丘・森を指している」。また、「神奈備」は、「社殿を具有する神社の成立以前における原始神社といってもよく、現にこれらの場所の多くには祭祀遺跡もしくは遺物が発見」されている。上田正昭等が指摘するように糺の森は古来から「神奈備」として人々の崇敬を集めて来たのだろう（出典は注44を参照のこと）。
- (90) 同注 (43)

成人における心の知覚と命の知覚の発達

—受精卵、統合失調症、認知症、植物状態、脳死についての判断—

瀧澤 純

要 約

本研究の目的は、ヒトに対する心の知覚と命の知覚における、高校生から成人までの発達を明らかにすることであった。そこで、ヒトの成長段階（精子と卵子から20歳までの12種類）と障害・疾患（脳死など7種類）を評価対象として、回答者の年齢による影響を検討するための調査を行った。その結果、回答者の年齢が高いほど、受精から出産前までを心があるとする傾向が高かった。また、回答者の年齢が高いほど、精子と卵子には命がなく、脳死に命があるとする傾向が高かった。以上から、心や命に関する認識が成人期においても発達を続けている可能性が示され、発達の詳細が明らかになった。先行研究における経験や主体性のような心理的な側面よりも、障害や疾患などの身体的な側面が重要である可能性が示唆された。ライフイベント、素朴心理学、素朴生物学、死生観などとの関連を議論した。

1. 問題と目的

1.1 心の知覚における2次元

人はどんな対象に、どんな基準によって心があると思なすのであろうか。人が他者や他個体に対して心を感じようとする行動は、心の知覚（mind perception）と呼ばれている。これまでの研究から、心の知覚が経験（experience）と主体性（agency）という二つの次元から評価されるといわれている（Gray, Gray, & Wegner, 2007）。経験は感情やパーソナリティを感じる能力であり、主体性は行動の統制、記憶、計画などについての能力である。この二つの次元が、人が心を感じる際の基準といえるだろう。

Gray et al. (2007) が示した二つの次元は、その後も追認されている。例えば、Knobe (2018) は、心の知覚における2次元が道徳的判断の基準と一致すること、そして、

道徳に関係がない認知一般にも適用しようと述べている（類似した指摘として、Wegner & Gray, 2016）。また、日本人を対象にした研究においても、類似した2次元が見出されている（Takahashi, Ban, & Asada, 2016）。

1.2 評価対象の典型性

しかし、二つの次元の頑健性には不透明な部分もある。Gray et al. (2007) では、成人、胎児、カエル、ロボット、神などを評価対象としている。これらは、多くの人にとって想像しやすい、典型性が高い評価対象である。しかし、典型性が低い評価対象を扱ったいくつかの研究から、経験と主体性の2次元が成立しない可能性が示唆されている。

例えば、植物状態の人などを対象にして感情、パーソナリティ、記憶などについての評価を行うと、生きている人、死亡した人、植物状態の人という順に高かった（Gray, Knickman, & Wegner, 2011）。つまり、植物状態は死者以上に死んでいる状態と評価されており、植物状態であることの影響力は死亡すること以上に大きい可能性がある。関連する知見として、将来的に誕生しうる優れたロボットに対して心を感じるための条件を調べた瀧澤（2017）では、「人工物でないこと」などの生物性が、経験と主体性以上に重要であることが示されている。以上から、命の危機があることや生命体であることなどの身体的な状態が、心の知覚に大きく影響する可能性がある。しかし、心の知覚において身体的な状態を詳細に扱った研究はこれまでにみられない。

1.3 研究の目的

そこで本研究は、ヒトの成長段階と障害・疾患についての心の知覚を明らかにすることを目的とする。ヒトの成長段階を検討するために、精子と卵子から成人になるまでを評価対象とする。障害・疾患を検討するために、脳死、植物状態、意識不明という重篤な状態と、経験や主体性に関する障害・疾患、すなわち、感情や記憶に関する障害・疾患を評価対象とする。さらに、命の危機にあるかどうかなどの身体的な状態が重要であるという観点から、命の知覚（vital perception）についても検討する。

心の知覚については、個人特性による影響は検討されている（e. g. Gray, Jenkins, Heberlein, & Wegner, 2011）。しかし、知覚する側である回答者の年齢による発達を検討したものは伴・高橋（2016）による幼児と大学生の比較のみである。本研究において成長段階と障害・疾患を検討するためには、ヒトの成長などの生物学的知識をある程度もっている青年期以降を研究の対象とする必要があり、高校生と大学生を対象とする。以上より本研究は、ヒトの成長段階と障害・疾患を評価対象にしたときの心の知覚と命の知覚について、高校生から成人までの発達を明らかにすることを目的として行う。

2. 方法

2.1 調査対象者

東北地方の高校生、東北地方の大学生、関東地方の大学生、合計389名を対象とした。そのうち、性別と年齢以外について未回答項目があった17名を除き、372名を分析対象とした。対象者の年齢と性別の詳細は、高校生が12名（男性2名、女性10名）、18歳の大学生が38名（男性14名、女性24名）、19歳の大学生が147名（男性78名、女性68名、性別不明1名）、20歳の大学生が86名（男性55名、女性31名）、21歳の大学生が54名（男性35名、女性19名）、22歳の大学生が23名（男性10名、女性13名）、23歳以上の大学生が12名（男性5名、女性7名）であった。

2.2 質問紙

回答者の性別と年齢、成長段階別の心の知覚、障害・疾患別の心の知覚、成長段階別の命の知覚、障害・疾患別の命の知覚の順で回答するように作成した。成長段階別の心の知覚は、選択肢のうち、心があると思うもの全てに○をするように求めた。選択肢には、20歳、15歳、10歳、5歳、3歳、2歳、1歳、0歳（生まれた瞬間）、受精後10か月（生まれる直前）、受精後4か月、受精した瞬間、精子と卵子の12種類を設定した。障害・疾患別の心の知覚も同様に、選択肢のうち、心があると思うもの全てに○をするように求めた。選択肢には、脳死状態の人、植物状態の人、意識不明の重体（危篤）の人、うつ病の人、統合失調症の人、認知症（アルツハイマー型痴ほう症）の人、重度（寝たきり）の身体障害者の7種類を設定した。これら合計19種類の選択肢を用いて、命の知覚については、命があると思うもの全てに○をするように求めた。なお、心の知覚の質問の後に○をしなかった理由について尋ねているが、本報告では割愛する。

2.3 手続き

研究参加への同意については、回答用紙に記入し、提出することによって同意したとみなすとの説明を行った。回答用紙を全員に配布したところで、障害・疾患の選択肢に関する補足説明を行った。脳死状態は「自力で呼吸することができず、現代の医学では回復の見込みがない状態です。」、植物状態は「自力で呼吸することができ、回復の見込みもある状態です。」、意識不明は「命の危険があり、重症より重い状態です。」と説明した。これらの補足説明によって、回答できない評価対象が出なくなるようにした。

3. 結果

3.1 結果の整理方法

本研究では、19種類の評価対象と回答者年齢の対応関係について検討する。そのた

めに、人数の集計、評価対象と回答者年齢の布置、評価対象の分類という順で分析を行う。

3.2 人数の集計

コレスポネンス分析に使用するために、人数の集計を行った。最初に、心があると回答された人数について、回答者年齢×評価対象のクロス集計を行った。次に、命があると回答された人数についても同様のクロス集計を行った。これらのクロス集計表を人数から割合に変換した (Table 1, Table 2)。なお、これ以降は高校生の調査対象者を「高校生回答者」、18歳の大学生の調査対象者を「18歳回答者」などと表記する。これは、回答者年齢と評価対象であるヒトの成長段階の年齢とが混同しないようにするためである。また、評価対象について省略した名称を用いる。

Table 1から、評価対象の成長段階が上がるほど心があるという回答が多かった。また、

Table 1 回答者年齢による「心がある」と回答した割合 (%)

評価対象	高校生 回答者	大学生					
		18歳 回答者	19歳 回答者	20歳 回答者	21歳 回答者	22歳 回答者	23歳以上 回答者
20歳	100	100	97.96	100	100	95.65	100
15歳	100	100	97.96	100	100	100	100
10歳	100	100	97.28	98.84	98.15	100	91.67
5歳	100	100	93.88	97.67	94.44	95.65	91.67
3歳	100	92.11	87.08	94.19	88.89	95.65	91.67
2歳	83.33	81.58	79.59	81.40	88.89	86.96	83.33
1歳	83.33	76.32	77.55	79.07	87.04	82.61	83.33
出産時	83.33	71.05	70.07	72.09	85.19	78.26	75.00
出産直前	16.67	28.95	33.33	26.74	46.30	47.83	58.33
受精後4月	0	15.79	21.77	13.95	14.86	30.44	41.67
受精時	0	13.16	12.93	10.47	11.11	17.39	16.67
精子卵子	0	13.16	9.52	10.47	9.26	8.70	0
脳死	41.67	21.05	31.29	41.86	29.63	34.78	41.67
植物状態	58.33	65.79	55.78	69.77	53.70	65.22	75.00
意識不明	75.00	60.53	55.78	65.12	59.26	69.57	83.33
うつ病	100	100	93.20	90.70	98.15	95.65	100
統合失調症	100	97.37	84.35	84.88	90.74	95.65	100
認知症	100	100	87.08	91.86	92.59	91.30	100
重度身障者	100	92.11	86.40	90.70	94.44	95.65	100

Table 2 回答者年齢による「命がある」と回答した割合 (%)

評価対象	高校生 回答者	大学生					
		18歳 回答者	19歳 回答者	20歳 回答者	21歳 回答者	22歳 回答者	23歳以上 回答者
20歳	100	100	99.32	100	100	95.65	100
15歳	100	100	99.32	100	100	100	100
10歳	100	100	99.32	100	100	100	100
5歳	100	100	99.32	100	100	95.65	100
3歳	100	100	97.96	100	100	100	100
2歳	100	100	97.96	97.67	100	95.65	100
1歳	100	100	97.96	96.51	100	95.65	100
出産時	100	100	97.28	96.51	100	95.65	100
出産直前	83.33	89.47	88.44	90.70	90.74	95.65	100
受精後4月	75.00	86.84	85.71	87.21	88.89	91.30	91.67
受精時	75.00	78.95	78.23	82.56	77.78	73.91	91.67
精子卵子	33.33	63.16	49.66	52.33	46.30	43.48	25.00
脳死	91.67	86.84	73.47	81.40	77.78	86.96	100
植物状態	91.67	97.37	89.80	94.19	90.74	95.65	100
意識不明	91.67	97.37	93.88	95.35	92.60	100	100
うつ病	100	100	99.32	100	96.30	100	100
統合失調症	100	100	96.60	97.67	98.15	100	100
認知症	100	100	96.60	100	96.30	95.65	100
重度身障者	100	100	97.28	98.84	96.30	100	100

脳死、植物状態、意識不明は、その他4種類の障害・疾患に比べて、心があるという回答が少なかった。Table 2から、評価対象の成長段階が上がるほど命があるという回答が多かった。ただし、「出産時」以降はおよそ100%であった。また、命があるとされた割合は、心があるとされた割合よりも高かった。

3.3 評価対象と回答者年齢の布置

回答者年齢×評価対象のクロス集計表について、コレスポンデンス分析を行った。なお、コレスポンデンス分析には割合ではなく、人数を使用した。この分析によって、回答者年齢と評価対象のうち、類似性が高いもの同士が空間的に近い位置に布置される。

心の知覚についてのコレスポンデンス分析の結果、固有値は第1次元が0.48、第2次元が0.21であった。累積説明率が0.69と比較的十分であると判断し、2次元を採択した。第1次元のカテゴリースコアを横軸、第2次元のカテゴリースコアを縦軸として、回答者年齢それぞれ、評価対象それぞれを布置した (Figure 1)。

次に、Figure 1における軸の解釈を行った。横軸には値が低い順に、受精後4月、出産直前、受精時が布置された。その他の評価対象は0に近い値または0より大きい値を示した。すなわち、精子と卵子の状態のときには高いが、受精してから出産するまでが低く、出産時以降は高まる傾向を考慮して、横軸の名称を「個体としての独立性」とした。縦軸には値が低い順に、脳死、受精後4月、意識不明、植物状態が布置された。また、精子卵子の値が高かった。その他の評価対象は0に近い値を示したことを考慮して、縦軸の名称を「個体としての安定性」とした。

命の知覚についての相関分析の結果、固有値は第1次元が0.60、第2次元が0.22であった。累積説明率が0.82と十分であると判断し、2次元を採択した。第1次元のカテゴリースコアを横軸、第2次元のカテゴリースコアを縦軸として、回答者年齢それぞれ、評価対象それぞれを布置した (Figure 2)。

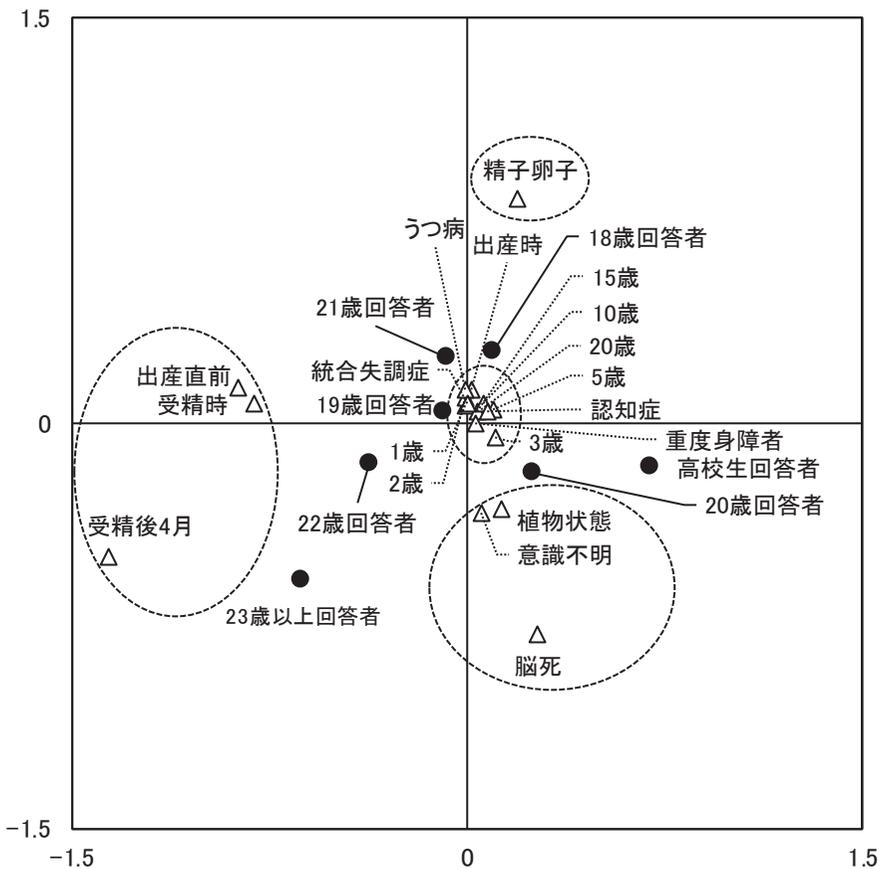


Figure 1 心の知覚についての評価対象×回答者年齢による同時分布

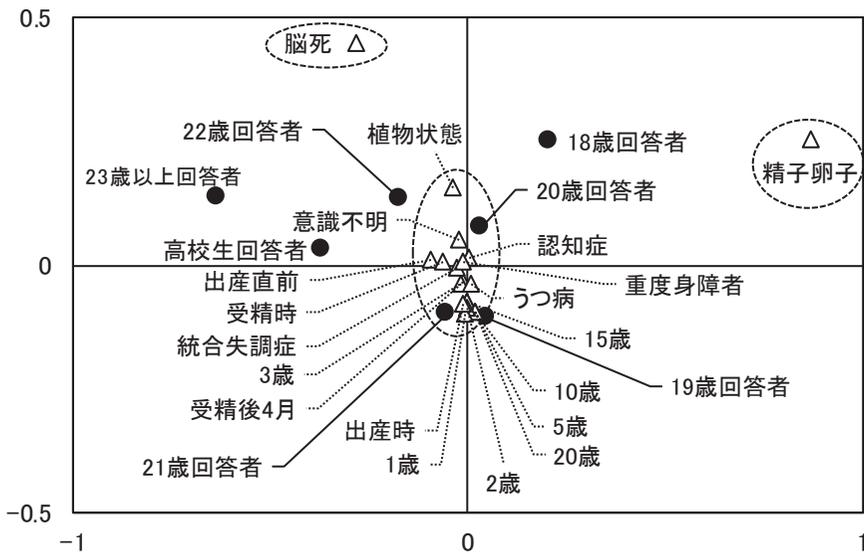


Figure 2 命の知覚についての評価対象×回答者年齢による同時分布

次に、Figure 2における軸の解釈を行った。横軸の値が低い位置には脳死が、高い位置には精子卵子が布置された。その他の評価対象は0に近い値を示したことから、横軸の名称を「生命維持の独立性」とした。縦軸には値が高い順に、脳死、精子卵子、植物状態が布置された。その他の評価対象は0に近い値または0より小さい値を示したことを考慮して、縦軸の名称を「非活動性」とした。

3.4 評価対象の分類

Figure 1における19種類の評価対象について分類を行う。そのために、心の知覚のコーレスポネンス分析によって得られた2次元のカテゴリースコアを用いて、評価対象についてのクラスター分析を行い、4群のクラスターを採用した。心の知覚における評価対象は、精子と卵子、受精から出産前、出産から20歳と精神障害と身体障害、重体の四つに分類された (Figure 1 点線楕円部)。

Figure 2についても、命の知覚のコーレスポネンス分析によって得られた2次元のカテゴリースコアを用いて同様のクラスター分析を行い、3群のクラスターを採用した。命の知覚における評価対象は、精子と卵子、受精から20歳と脳死以外の障害、脳死の三つに分類された (Figure 2 点線楕円部)。

3.5 評価対象クラスターと回答者年齢の対応関係

以上から、クラスターに分類された評価対象と回答者年齢との対応関係について検討する。Figure 1の横軸からみると、回答者の年齢が高くなるほど右側から左側へと布置された。Figure 1の縦軸からみると、回答者の年齢が21歳までは上昇と下降を繰り返すものの、22歳以降は下側へと布置された。以上から、高校生から23歳にかけて、個体としての独立性が低い場合に心があるとみなすようになる傾向がみられ、22歳以降に個体としての安定性が低い場合に心があるとみなすようになる傾向がみられた。

Figure 2の横軸からみると、回答者の年齢が高くなるほど右側から左側へと布置された。Figure 2の縦軸からみると、回答者の年齢による明確な違いはなかった。以上から、高校生から23歳にかけて、生命維持の独立性が低い場合に命があるとみなすようになる傾向がみられた。

4. 考察

本研究は、ヒトの成長段階と障害・疾患を評価対象にしたときの心の知覚と命の知覚について、高校生から成人までの発達を明らかにすることを目的として行った。

4.1 心の知覚と命の知覚の発達

心の知覚については、高校生から大学生にかけて、個体として独立していない状態や安定していない状態でも心があると感じるように変化した。おそらく、青年期から成人期のライフイベントが影響している可能性がある。例えばこの時期には、交際や出産を自身や周囲の人が経験することもあり、受精から出産までに関する知識が獲得されることもあるであろう。また、身近な人が寝たきりになる、または亡くなるなどの経験をす、または話を聞くことがありうる。

命の知覚については、高校生から大学生にかけて、生命維持の独立性が低い状態でも命があると感じるように変化した。機械などに頼らない生命維持能力を重視する思考から、生命活動を行っていることそのものを重視する思考へと変化していると推察されるが、系統的に理由を説明することは難しそうである。

重要な点として、心や命に関する認識が成人期においても発達を続けている可能性が示された。成人においても、心の知覚や命の知覚は完成していない。その後の成人期後期にかけても発達が続く可能性がある。

4.2 心の知覚における評価次元

結果から、個体としての独立性、個体としての安定性という身体的な観点から、心の

知覚が評価されていることが示された。すなわち、経験と主体性という二つの評価次元は確認されなかった。重要な点は、本研究はGray et al. (2007) が示した二つの評価次元それぞれに対応する障害を評価対象にした（感情や気分の障害である「うつ病」など）にも関わらず、二つの次元が影響力をもたなかったということである。

そもそもGray et al. (2007) では、怒りや意識などの心理的な項目から評定が行われ、それらを分類することによって二つの次元を導いている。身体的な項目を最初から無視したことは、不適切なのではないか。本研究が指摘した評価対象が限定されている問題と併せると、心の知覚研究の問題点は、評価対象や評価項目が一部しか検討されていないことであろう。その点でいうならば、素朴心理学や素朴生物学に関する研究では「食べる」や「心臓がある」などの行動や身体の側面を扱っており（e. g. Dolgin & Behrend, 1984）、心や命を幅広く捉えていると考える。すなわち、心を感じるための要素として、本研究が見出した個体としての独立性や安定性のほうが、経験や主体性以上に影響力が大きい可能性があるのではないか。

4.3 今後の課題

本研究では、高校生から大学生の発達を明らかにしたのみであり、その他の年代における検討も必要である。しかし、本研究で扱った脳死や統合失調症などは、医療に関する知識が必要となる。そのため、乳児や幼児を対象にすることは困難だが、検討されるべきであろう。さらに、このような生物や医療に関する知識や、死生観など個人特性との関連性を調べることも、今後の方向性としてありうるだろう。

引用文献

- 伴 碧・高橋英之 (2016). 子どもの見かた・大人の見かた—幼児・大学生・高齢者を対象としたAgent知覚の生涯発達の検討— HAIシンポジウム2016発表論文集, G-12.
- Dolgin, K. G. & Behrend, D. A. (1984). Children's knowledge about animates and inanimates. *Child Development*, 55, pp.1646-1650.
- Gray, H. M., Gray, K., & Wegner, D. M. (2007). Dimensions of mind perception. *Science*, 315, p. 619.
- Gray, K., Knickman, T. A., & Wegner, D. M. (2011). More dead than dead: Perceptions of persons in the persistent vegetative state. *Cognition*, 121, pp. 275-280.
- Knobe, J. (2018). There is No Important Distinction between Moral and Nonmoral Cognition. In Gray, K. & Graham, J. *Atlas of Moral Psychology*. Guilford Press: New York, pp. 556-564.
- Takahashi, H., Ban, M., & Asada, M. (2016). Semantic differential scale method can reveal multi-dimensional aspects of mind perception. *Frontiers in Psychology*, 7, article 1717.
- 瀧澤 純 (2017). 未来に存在しうるロボットに対する心の知覚—心が無いと感じる理由の分析— 総合研究（ノースアジア大学総合研究センター紀要）, 5, pp. 165-175.
- Wegner, D. M. & Gray, K. (2016). *The mind club: Who thinks, what feels, and why it matters*. VIKING: New York, p. 102.

〔研究ノート〕

大都市の飲料水が平均寿命に与える影響について

カ 石 國 男

1. はじめに

大都市は人口密度が高いことと第3次産業（小売業・金融業・不動産業・運輸通信業・情報産業・教育産業・サービス業など）の比率が高いことで特徴づけられる。力石（2017）によれば都道府県別の第3次産業比率はがん・肝疾患・肺炎・腎不全などによる死亡率と非常に高い相関を示す。また力石（2015）は大阪市・川崎市・名古屋市・北九州市・東京都区部の年齢調整死亡率（偏差値）は当該都府県の死亡率よりも高いことを報告した。さらに力石（2016）は主成分分析により大阪府・兵庫県・東京都・愛知県・福岡県・広島県など大都市を抱える都府県は1970～2005年にかけて年齢調整死亡率が上昇していることを示した。これらの事実は何らかの社会環境が大都市住民の平均寿命に影響を与えていることを示唆している。本論文では主要な大都市の平均寿命の推移（経年変化）を調査し、また大都市と周辺地域の平均寿命を比較して、大都市の社会環境が住民の平均寿命に与える影響について考察する。

2. 資料と解析方法

本研究では総務省統計局（2019）がホームページで公開している1965年～2015年の5年毎の都道府県別、男女別の平均寿命と人口のデータ、並びに大都市の平均寿命と人口のデータを用いた。大都市としては政令指定都市である札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・東京都区内・横浜市・川崎市・新潟市・静岡市・浜松市・名古屋市・京都市・大阪市・堺市・神戸市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・熊本市を対象とした。これらの大都市のデータは政令指定都市指定後に公開されているのでデータ期間に長短がある。最長は札幌市・東京都区内・横浜市・川崎市・名古屋市・京都市・大阪市・神戸市・北九州市・福岡であり（期間は1995～2015年）、最短は熊本市（期間は2015年のみ）である。当該都道府県から大都市を除いた地域（本報では大都市周辺地域と呼ぶ）を比

較対照の地域とした。

大都市周辺地域の人口は当該都道府県の人口から大都市の人口を差し引いた値である。また大都市周辺地域の平均寿命は以下の方法で算出される。いま神奈川県を例にとると、神奈川県には横浜市と川崎市の二つの大都市がある。神奈川県の人口と平均寿命を A 、 X で表し、横浜市と川崎市の人口と平均寿命をそれぞれ a_1 、 x_1 および a_2 、 x_2 で表す。このとき横浜市・川崎市以外（大都市周辺地域）の人口と平均寿命を a_0 、 x_0 で表すと、

$$A \cdot X = a_0 \cdot x_0 + a_1 \cdot x_1 + a_2 \cdot x_2$$

が成り立つ。大都市周辺地域の人口 a_0 は

$$a_0 = A - (a_1 + a_2)$$

であるので、大都市周辺地域の平均寿命 x_0 は

$$x_0 = \frac{A \cdot X - (a_1 \cdot x_1 + a_2 \cdot x_2)}{A - (a_1 + a_2)} \quad (1)$$

で与えられる。(1) 式は神奈川県以外に静岡県、大阪府、福岡県にも適用される。一方、北海道や東京都などのように当該都道府県に大都市がひとつしかない場合は、大都市周辺地域の平均寿命は

$$x_0 = \frac{A \cdot X - a_1 \cdot x_1}{A - a_1} \quad (2)$$

で与えられる。本論文では x_0 と x_1 、 x_2 を比較することにより、都市環境が住民の健康に与える影響を調査する。

3. 大阪府・東京都・愛知県の平均寿命の推移

はじめに1965年まで人口が全国第1～第3位であった東京都・大阪府・愛知県の平均寿命の推移を調べた。解析期間の1965～2015年の間に、わが国の医療技術や栄養状態が改善されたので各都道府県の平均寿命は次第に延びている。本研究では3都府県の平均寿命の推移をみる代わりに3都府県の平均寿命が47都道府県のなかで占める順位がどのように推移してきたかを調べた。

図1（男性）と図2（女性）に平均寿命順位の推移を示した。3都府県とも前期（1965～1995年頃）に順位が急激に降下し、後期（1995年頃～2015年）に緩やかな上昇に転じている。前期の30年間の変化傾向は極めて明瞭で、大阪府は男性が12位から46位まで、女性が13位から46位まで降下している。この間、東京都と愛知県は男性がそれぞれ19位および17位降下し、女性は35位および36位降下した。東京都と愛知県は女性の方が順位の変動が大きい。これは女性の平均寿命の都道府県による差（標準偏差）が小さい

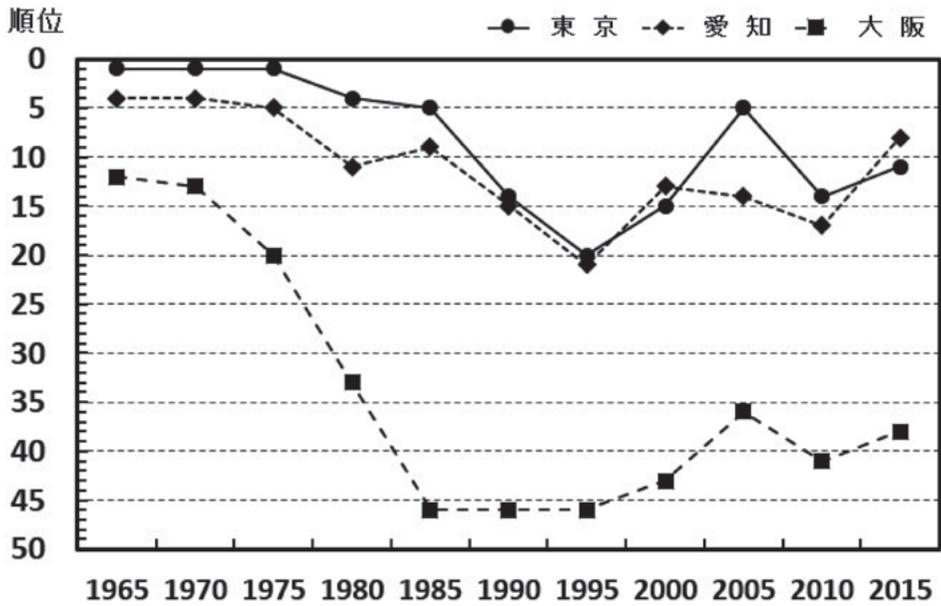


図1 47都道府県のなかで東京都・大阪府・愛知県の前平均寿命が占める順位の推移（男性）。期間は1965～2015年の5年毎。

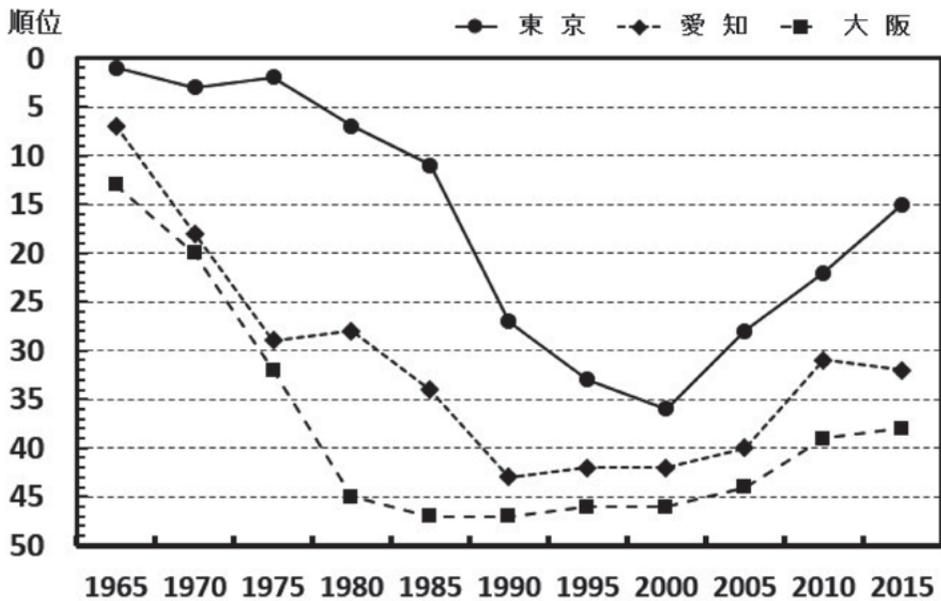


図2 47都道府県のなかで東京都・大阪府・愛知県の前平均寿命が占める順位の推移（女性）。期間は1965～2015年の5年毎。

ので、わずかな変化でも順位の変動が大きくなるためであると考えられる。その点を除けば、3都府県の男女の順位は非常に良く似ている。

一方、後期ではおおむね1995年を境に平均寿命の順位が次第に上昇している。しかし順位が最低となる年は3都市で微妙に異なっている。大阪府は東京都・愛知県に先駆けて男女とも1985年に最も低い値を示し、その状態が1995年まで続いた。すなわち順位回復状況は3都府県によって、また男女によって幾分異なっている。しかし全体として、1965～1995年頃の平均寿命順位の急激な降下と1995年頃以降の緩やかな回復という特徴が3都府県に共通している。

4. 大都市とその周辺地域の平均寿命の差

大都市の人口は当該都府県の人口の大きな割合を占めるので、上記のV字型の変動には大都市の平均寿命が寄与している可能性が高い。表1に2015年の当該都道府県の人口に対する大都市の人口の割合を示した。東京都区部の人口は東京都の人口の約68%を占めるので、東京都区部の平均寿命は東京都の平均寿命に大きく貢献していると思われる。しかし大阪市の人口は大阪府の人口の約30%、名古屋市の人口は愛知県の人口の約30%にすぎない。にもかかわらず大阪府や愛知県の平均寿命に大きく貢献していることは、大阪市と名古屋市の平均寿命はその周辺地域の平均寿命よりかなり短いこと

表1 2015年の当該都道府県の人口に対する大都市の人口の割合(%)
 大都市周辺地域の人口割合は、当該都道府県に大都市が1都市ある場合(北海道など)、(100-大都市人口割合)%に等しい。また当該都道府県に大都市が2都市ある場合(神奈川県、静岡県、大阪府、福岡県)、(100-(大都市1+大都市2))の人口割合)%で与えられる。

都市名	大都市人口割合			
	男(%)	女(%)	都市名	女(%)
札幌市	35.8	36.6	名古屋市	31.0
仙台市	46.1	46.4	京都市	56.6
さいたま市	17.3	17.6	大阪市	29.9
千葉市	15.6	15.6	堺市	9.6
東京都区部	68.0	68.3	神戸市	27.8
横浜市	40.6	40.8	岡山市	37.3
川崎市	16.4	15.9	広島市	42.0
新潟市	34.9	35.4	福岡市	30.0
静岡市	19.0	19.4	北九州市	18.9
浜松市	21.6	21.3	熊本市	41.5

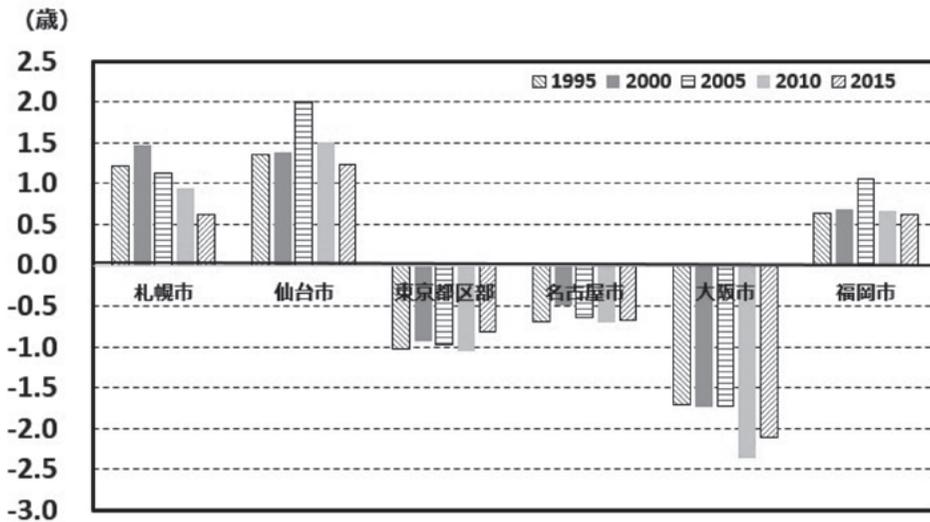


図3 代表的な6大都市の平均寿命と周辺地域の平均寿命の差（男性）。
期間は1995～2015年の5年毎の値。

を示唆している。以下では大都市住民の平均寿命とその周辺地域住民の平均寿命を比較する。

大都市（政令指定都市）の平均寿命は厚生労働省のホームページに公表されており、大都市周辺地域の平均寿命は前述した方法で求められるので、両者を比較すれば大都市の社会環境が平均寿命に影響を及ぼしているのかが検証できる。図3と図4に1995～2015年の札幌市・仙台市・東京都区内・名古屋市・大阪市・福岡市の平均寿命と当該都道府県の平均寿命の差を示した。これらは5年毎の独立したデータであるが、全体として整合性がとれている。男性（図3）では、大阪市は周辺地域よりも1.7～2.0歳も寿命が短い。この値を47都道府県の標準偏差（ σ ：0.61前後）を基準にすると、大阪市は周辺地域より平均寿命が3 σ も短いことになる。また東京都区部はおおむね1.5 σ 、名古屋市は概ね1 σ 周辺地域より平均寿命が短い。女性の場合も男性と同様に3大都市の平均寿命が周辺地域より短い（図4）。解析期間の1995年から2015年にかけて女性の標準偏差は0.47から0.40に次第に減少するので、大阪市は約2 σ 、東京都区部は1 σ 、名古屋市は約0.5 σ 周辺地域より平均寿命が短いといえる。

一方、札幌市・仙台市・福岡市の準大都市は、大都市とは逆に周辺地域より平均寿命が長い。男性（図3）では、仙台市は約2 σ 、札幌市はおおむね1.5 σ 、福岡市は1 σ 周辺地域より平均寿命が長い。また女性（図4）では、仙台市と札幌市はおおむね1.8 σ 、福岡市は平均的に1 σ 周辺地域より平均寿命が長い。

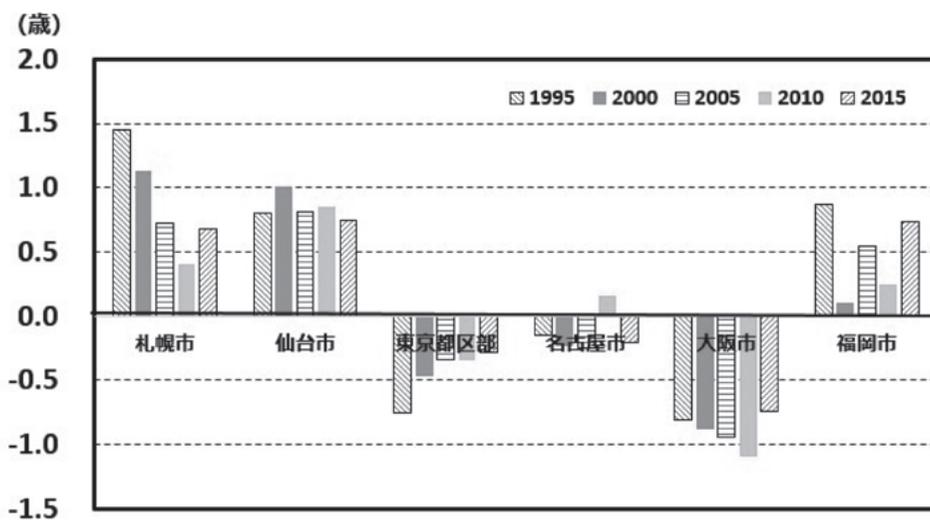


図4 代表的な6大都市の平均寿命と周辺地域の平均寿命の差（女性）。期間は1995～2015年の5年毎の値。

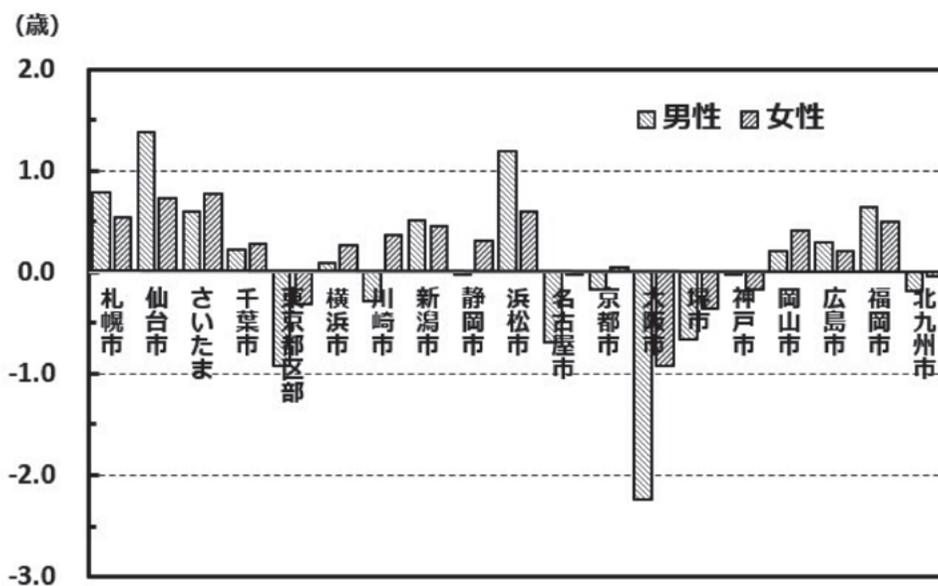


図5 19大都市の平均寿命と周辺地域の平均寿命の差（男性と女性）。

次に、2010年と2015年の平均値を使って19大都市と周辺地域の平均寿命の差を調べた(図5)。周辺地域より平均寿命が短い都市は大阪市・東京都区部・名古屋市のほかに、川崎市・京都市・堺市・神戸市・北九州市である。反対に平均寿命が周辺地域より長い都市は仙台市・札幌市・福岡市のほか、新潟市・さいたま市・浜松市・岡山市・広島市・千葉市など、比較的最近、政令都市に指定された都市が多い。これらの事実は大都市の社会環境が全ての都市の平均寿命に等しく影響しているわけではないことを示している。平均寿命が短い都市にはその都市固有の原因があることを示唆している。

5. 結論と議論

以上の調査結果を要約すると以下のような。

- 1) 東京都・大阪府・愛知県の前平均寿命順位は1965年から1995年頃にかけて急激に低下し、それ以降2015年にかけて緩やかに上昇している。
- 2) 東京都区部・大阪市・名古屋市などの平均寿命はそれらの大都市地域を除いた東京都・大阪府・愛知県などの平均寿命より有意に短い。反面、仙台市・札幌市・福岡市などの平均寿命はそれらの大都市地域を除いた宮城県・北海道・福岡県などの平均寿命より長い。すなわち、都市環境が平均寿命に及ぼす影響は一律ではない。
- 3) これらの特徴は男女に共通しているので平均寿命に影響を及ぼす原因が男女に共通していると考えられる。このことは男女間で差がある生活習慣(喫煙率、飲酒率、肥満率、歩数など)が原因ではないことを示唆している。

周辺地域より平均寿命が短いのは大阪市・東京都区部・名古屋市のほかに、川崎市・京都市・堺市・神戸市・北九州市である(図5)。力石(2015)によれば大阪市・川崎市・名古屋市・北九州市・東京都区部では当該都府県よりも年齢調整死亡率(偏差値)が高い。従ってこれらの都市では何らかの社会環境が平均寿命に影響していることが考えられる。

東京都・大阪府・愛知県の平均寿命は男女ともにV字型の特徴的な経年変化を示す(図1、図2)。力石(2017)は都道府県別の社会環境(平均年収、冬期気温、第1～3次産業比率、高齢者比率、人口密度など)ならびに生活習慣(野菜摂取量、塩分摂取量)と主要な死因との関係を調査したが、これら因子にはV字型の経年変化が見られなかった。従ってV字型の推移には上記の社会習慣・生活習慣以外の要因が関与していると考えられる。

平均寿命順位のV字型の推移のうち、まず1965年～1995年頃に急激に低下した原因を探ってみる。表1に1965年～1995年の期間に逆に平均寿命順位が上昇したトップ8

県の上昇率を示した。上昇率は、 y_i を各年の順位、 x_i ($i = 1, \dots, 7$) を各年とし、 $y_i = a \cdot x_i + b$ を最小二乗法で解いたとき、 $-a$ で定義される。男子の上位8県は熊本県・滋賀県・群馬県を除いていずれも日本海側に位置しており、冬期間に山脈に積もった雪が春季に解けて河川水・地下水となって平野部を潤す地域である。また熊本県では県内約80%で地下水を水道水として利用しており、とりわけ熊本市周辺地域ではほぼ100%が水道水である（熊本県、2019）。また滋賀県も周囲の山脈から年間を通して雨や融雪が琵琶湖に流れ込むので湧水の多い地域である。女性の30年間の平均寿命順位の上昇率をみると、上位8県は富山・新潟・熊本・山形（男性と共通）と、岩手・宮崎・長野・長崎である。このうち長野は周囲の山脈から年間を通して雨や融雪が河川や盆地平野に流れ込む地域である。岩手県も三方の山脈から雨や融雪が人口の多い県中央部の平野に流れ込む。

一方、1965年～1995年の期間に平均寿命順位が下降した上位8県（図表省略）は、男性が大阪・兵庫・和歌山・福岡・三重・東京・広島・愛知であり、女性は兵庫・大阪・和歌山・愛知・東京・三重・京都・神奈川である。これらの多くは大都市を擁する都府県である。大都市は高い水需要に応えるために浄水場で河川水を高速濾過する必要がある、そのため多量のPAC（ポリ塩化アルミニウム；浮遊物の凝集剤）を使い、消毒用塩素（次亜塩素酸ナトリウム）の使用量も多い。水道水に含まれる塩素と有機物が反応して発がん物質トリハロメタンが発生することが知られている。わが国の水道水の水質は「水道水の水質基準」（2010年4月施行）によって守られているが、微量ながら様々な有機物・無機物が残存していることが推定される。したがって、水需要が高い都府県では水道水の急速ろ過にPACや塩素が多量に使用されていることが平均寿命順位の下降の

表2 1965～1995年間の平均寿命順位の上昇率が上位の8県。

順位	順位上昇率の上位8県			
	男		女	
	県名	順位上昇率	県名	順位上昇率
1	山形	4.79	富山	5.29
2	熊本	4.11	新潟	5.14
3	富山	3.68	熊本	5.11
4	新潟	3.25	岩手	4.11
5	石川	3.21	宮崎	3.86
6	滋賀	2.36	長野	3.68
7	福井	2.18	山形	3.39
8	群馬	2.18	長崎	3.07

原因である可能性が高いと考えられる。PACや塩素の使用量は人口のほかに水源となる河川水の水質や水量に影響されるので、大都市によって水道水の影響の強さが異なると考えられる。図3～図5の示した大都市と周辺地域の平均寿命の差が都市によって違うことはそのためであると考えられる。

それでは東京都・大阪府・愛知県の平均寿命順位が1995年頃～2015年間に上昇した(図1～図2)原因はどこにあるだろうか。これらの3都府県で1995年頃～2015年の間に各種社会環境や喫煙率・飲酒率・肥満率・歩数などの生活習慣について大きな変化がみられない。またこの間に水道水の浄水技術が向上したとしても、3都府県の水質が河川水のきれいな他県の水道水の水質を上まわる可能性は小さいと考えられる。他方、水道水のカルキ臭や味覚を嫌って水道水以外の飲料水を飲む人々が増加している。国土交通省水資源部(2018)によると、1990年頃からミネラルウォーターの消費量が急激に増加している(図6)。都市部は自動販売機の設置台数が多いため、ミネラルウォーターの消費量は都市部ほど多い。さらに、水道水に少量ながら含まれている発がん物質トリハロメタンを除去するために蛇口に浄水器を設置する人々も年々増えている。国土交通省水資源部(2018)によると、1991年以降、浄水器は毎年新たに350万～400万台出荷されている(図7)。そのため浄水器の累積設置台数も直線的に伸びている。すなわち

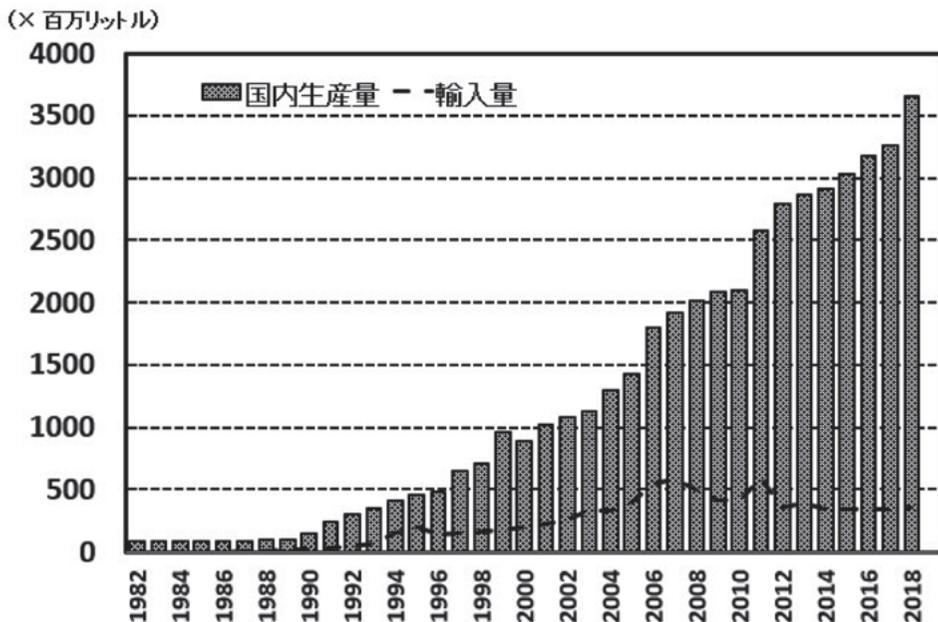


図6 ミネラルウォーターの年間生産量(棒グラフ)と輸入量(折れ線グラフ)。浄水器協会資料を国土交通省水資源部が作成

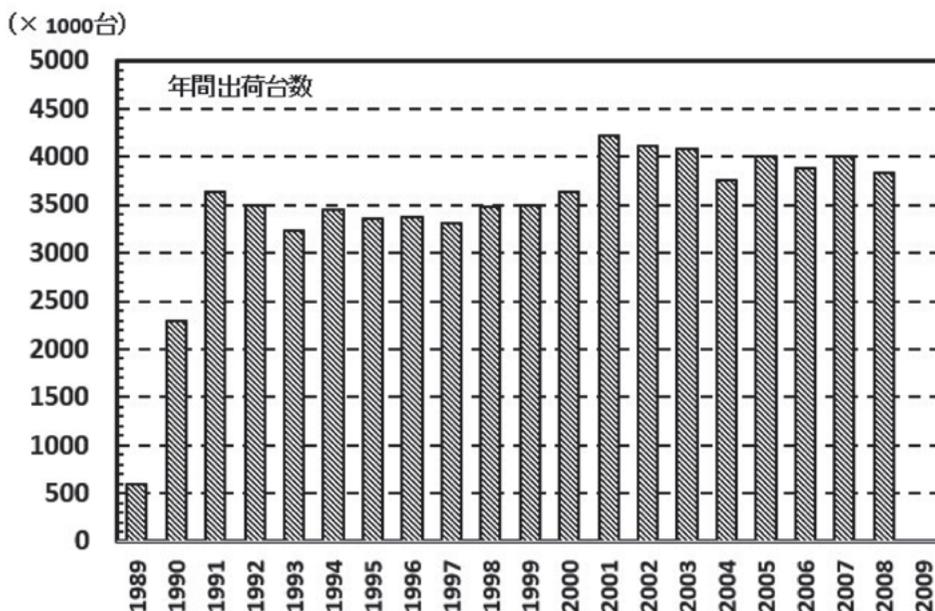


図7 浄水器の年間出荷台数。

都市部では水道水に代わって浄化水を飲料水として利用する人々が年々増加している。そのタイミングが1990年頃型から始まっていることから、東京都・大阪府・愛知県のアverage寿命順位が1995年頃から上昇した原因であると考えられる。

以上を取り纏めると、3都府県の平均寿命順位のV字型の推移は大都市における飲料水が1990年頃を境に水道水主体から水道水+ミネラルウォーター+浄化水に変わったことで矛盾なく説明することができる。飲料水と健康の関係については、力石(2015)が日本海沿岸地方や長野県・熊本県・滋賀県など清浄な河川水・地下水に恵まれた県の年齢調整死亡率が非常に低いことを報告している。本研究の結果は摂取する飲料水の水質が住民の平均寿命に大きな影響を与えていることを示唆している。この結論は動物実験によって確認されることが望まれる。

参考文献

国土交通省水資源部 (2018) : <http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shihon/>

総務省統計局 (2018) : <http://www.stat.go.jp/data/chouki/>

熊本県 (2018) : 水の国くまもと、<http://mizukuni.pref.kumamoto.jp/>

力石國男 (2015) : 都道府県別の死亡率の比較から推定される死亡要因、総合研究、第3号、215-232.

大都市の飲料水が平均寿命に与える影響について

力石國男（2016）：都道府県別の年齢調整死亡率および10大死因別の死亡率の主成分分析、総合研究、第4号、205-219.

力石國男（2017）：10大死因の死亡率に対する社会環境および生活習慣の影響、総合研究、第5号、203-215.

〔研究ノート〕

景観構成要素に基づく自然風景地の類型化と魅力の可視化

村 中 孝 司

要 約

本研究では、46の自然風景地に対して合計171カ所の観賞スポットを対象に、景観構成要素を用いて人々が魅力を感じる秘境の抽出を行った。クラスター分析により、観賞スポットを7群に類型化することができた。このうち、千秋公園などが含まれる群はすでに訪問客数が多い観光価値の高い群と認識された。一方、中ノ又溪谷、桃洞溪谷、須川高原イワカガミ湿原、桑ノ木台湿原を含む群は自然景観構成要素数が高く、魅力を表すシンボル要素が含まれているものの、訪問客数が相対的に少ない秘境であると認識された。これらの秘境は埋没した自然風景地であり、このような対象を新たな観光産業に活用することが必要と考えられた。

はじめに

現在の日本では、森林や山岳など自然に対する保健、文化、教育に対する社会的ニーズが高まり、人々は溪流やお花畑、新緑や紅葉の魅力に非日常を求め、自然や生態系からの恩恵を得ようとしている。このような恩恵は文化的サービスと呼ばれ、我々に対する文化や精神性を享受してきた。自然風景は、季節の変化や1日の変化だけでなく、しばしば天候や気候の変化によりその表情が変化することも、自然風景の観賞とは異なる特徴である。

秋田県は日本列島の北部に位置し、山間部には冷温帯の森林を特徴づけるブナやミズナラの優占する夏緑林が広がる。夏緑林を構成する樹木の多くが冬には落葉するため、春は新緑、秋には紅葉を観察することができる。また、2,000m級の和賀山麓を源流とする急峻な地形は、随所に数多くの溪流や瀑布を形成し、季節の変化に応じた美しさがみられる。秋田県を代表する自然風景はこのような気候、地形、植生によって形作られているといえる。

秋田県は高齢化や過疎化により、若年層の社会的、経済的負担が増加している。地域の活力を向上させるためにも、豊かな自然風景を地域資源として見出し、これらを有効に活用することで活力を向上させることができると考えられる。秋田県には、角館武家屋敷や千秋公園などのように、桜並木や庭園の紅葉など人文景観との組み合わせによる風景もみられる。秋田県内で訪問客数の多い観光地は、角館武家屋敷、千秋公園、田沢湖、鳥海山鉾立、男鹿などであり、いずれも年間訪問客数は10万人を超えている（2011年から2018年の平均；秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課2012-2019）。一方、森吉山や安の滝などでは相対的に少ない傾向にある。このように、観光地への訪問客数には大きな偏りがある。岡本（2014）は、観光客に満足を与える要因として、美しい風景と宿泊先での人とのふれあいの2つと指摘している。一方、秋田県への訪問客の訪問目的や現地行動は、自然観賞と温泉が高い割合を占めており（公益財団法人日本交通公社2019）、秋田県の地域資源の中でももっとも潜在力の高いものは自然風景といえる。しかし、秋田県には、まだ十分に認知されていない自然風景が存在していると考えられ、その潜在性ははかりしれない。

本研究では、秋田県の自然風景に新たな価値を見出すことを目的とした。まず、第1に、秋田県内の代表的な自然風景地を取り上げ、各々の自然風景地のいくつかの観賞スポットにおける景観構成要素の有無を記録した。なお、景観構成要素については、自然由来のものを自然景観構成要素、人間や人工物由来のものを人文景観構成要素とした。第2に、観賞スポットの景観構成要素の種類に基づくクラスター分析により、観賞スポットの類型化を行うとともに各々の群の特徴を景観構成要素の数や種類に基づいて検討した。それらの分析に基づき、訪問客数が少なく自然景観構成要素数が多いスポットを含む群を秘境とし、その地域資源と潜在力を考察した。

方 法

本研究では、広義での自然風景を対象とした。すなわち、都市に位置する公園や庭園であっても、その対象が桜や紅葉などのような自然や生物に由来するものを含めた。それぞれの自然風景地において複数の観賞スポットを設定した。対象とした46の自然風景地に対して、それぞれ1から14の観賞スポットを用意し、合計171カ所の観賞スポットを対象とした。

各々の観賞スポットにおける現地観察の記録および筆者が撮影した写真（2011年4月から2019年11月の期間）に基づき、該当する景観構成要素を抽出した。なお、景観構成要素については、鈴木・堀（1989）、児島ほか（1995）、古谷ほか（1997）、宮入ほか（2000）、飯田・落合（2009）、石川・荒井（2011）、下村ほか（2011）を参照し、自然

景観構成要素として、俯瞰景、水平方向の広がり、垂直方向の広がり、奥行き、山が見える、海が見える、湖が見える、水面の広さ、水の流れ、たまり水、原生林、巨木、広葉樹林、新緑、紅葉、お花畑、草原、湿原、色彩の多様さ、空が見える、明るさ、岩石、断崖、朝日・夕日、遠景、複雑な地形、花（桜・梅・アジサイなど）、花（草花）、花（高山植物）、樹氷、滝、シンボル要素（自然由来のもの）の32種、人文景観構成要素として、鉄道、船舶、ゴンドラ、鉄塔、電柱・電灯、風車・発電、ダム、道路・自動車、停車場、標識・看板、柵、橋、民家、農地、城跡・史跡、寺院、石碑・石仏・銅像、コンクリート護岸、庭園、散策路・木道、人工林、シンボル要素（人工由来のもの）の22種とした。

次に、各々の観賞スポットに含まれる景観構成要素に基づき、Word法による階層クラスター分析を行い、観賞スポットを分類した。

結 果

景観構成要素数が最も多かったのは、田沢湖（御座の石神社）の25であり、次いで抱返り（巫女石）、田沢湖（たつこ像）の22、抱返り（神の岩橋）、太平湖（栈橋上太平湖眺望）の21であった。自然景観構成要素が最も多かったのは、中ノ又溪谷（安の滝・滝壺）、および小又峡（化ノ堰）の18であり、次いで、中ノ又溪谷（安の滝・上の滝展望所）、桃洞溪谷（遊歩道）、小又峡（三階滝）の17、田沢湖（御座の石神社）、桃洞溪谷（桃洞滝・滝壺）、小又峡（仏ノ滝）、桑ノ木台湿原（木道入り口付近）などの16であった。一方、人文景観構成要素が最も多かったのは、桧木内川桜堤、千秋公園（本丸）、千秋公園（八幡秋田神社）の12であった。

景観構成要素数のうち、すべてが自然景観構成要素であった観賞スポットは36地点であり、そのうち自然景観構成要素数が15以上であったのは、安の滝（滝壺）、小又峡三階滝、桑ノ木台湿原（木道入り口付近）、桃洞横滝（遊歩道上から）、善神沼（遊歩道）、法体の滝（上部展望所）、桃洞横滝（滝壺）の7カ所であった。また、景観構成要素数が11以上の観賞スポットは20カ所であり、そのうち、桑ノ木台湿原が5地点、中ノ又溪谷が4地点、桃洞溪谷および立又溪谷が3地点、法体の滝が2地点、小又峡、善神沼、伏伸の滝が1地点であった。

171カ所の観賞スポットの景観構成要素に基づく階層クラスター分析(Word法)を行った結果を示したものが表1および図1である。観賞スポットは上位階層で7群に識別され、下位の水準で20のグループに類型化することができた。また、各群の特徴を表2に整理した。

第1群は、公園や庭園、広い眺望が特徴的な類型であり、訪問客数の多い観光地を含む群である。千秋公園、戸賀湾、象潟などを含み、人文景観構成要素数が多い代表的な

表1. クラスタ分析による群、観賞スポットと景観構成要素数

群	自然風景地	観賞スポット	景観構成要素数		
			自然	人文	
第1群	1A	千秋公園	千秋公園大手門の堀	6	11
		千秋公園	東海林太郎顕彰碑付近	5	11
		千秋公園	千秋公園胡月池	6	8
		千秋公園	久保田城表門	3	8
		旧池田氏庭園	旧池田氏庭園弘田分家庭園	5	7
		千秋公園	千秋公園アヤマ園	5	10
		角館武家屋敷	武家屋敷通り (小田野家)	4	11
		角館武家屋敷	武家屋敷通り (青柳家)	4	11
		角館武家屋敷	桧木内川桜堤	8	12
		きみまち阪	きみまち阪恋文神社付近	6	8
		きみまち阪	きみまち阪屏風岩下	9	5
		きみまち阪	きみまち阪屏風岩上	9	5
		旧池田氏庭園	旧池田氏庭園 (イチョウ)	9	9
		旧池田氏庭園	旧池田氏庭園 (庭園)	9	9
	千秋公園	千秋公園本丸	5	12	
	千秋公園	八幡秋田神社付近	3	12	
	男鹿雲昌寺	雲昌寺 (下)	6	11	
	1B	新屋海浜公園	新屋海浜公園 (ももさだ)	7	8
		新屋海浜公園	新屋雄物大橋付近からの眺望	7	7
		寒風山	寒風山男鹿方面眺望	8	9
		鶴ノ崎海岸	鶴ノ崎海岸	10	3
		戸賀湾	戸賀集落から海の眺望	9	5
	1C	入道崎	入道崎	11	7
		三倉鼻	三倉鼻展望所	7	10
	1D	戸賀湾	戸賀湾 (水族館駐車場から)	9	4
		高尾山	高尾山からの眺望	6	9
		鳥海山・鉾立	鉾立駐車場 (日本海方面)	7	7
		安全寺の棚田	安全寺なまはげ大橋から山側	9	11
		安全寺の棚田	安全寺なまはげ大橋から海側	9	10
		象潟	九十九島島巡りコース (鳥海山眺望)	8	11
		男鹿雲昌寺	雲昌寺 (高台)	10	10
		かたくり群生の郷	かたくり群生の郷	7	11
	第2群	2A	伏伸の滝	舟作	8
中ノ又溪谷			中ノ又溪谷 (途中の流れ下流部)	10	0
伏伸の滝			殿淵 (橋の上から)	12	0
伏伸の滝			伏伸の滝散策路の流れ	8	3
伏伸の滝			殿淵 (流れから)	9	2
伏伸の滝			殿淵 (上部から)	6	1
石沢峡			石沢峡の流れ	9	2
抱返り			抱返り散策路から莫藪の石	7	3
抱返り			抱返り散策路から若狭の急流	7	2
伏伸の滝			伏伸の滝 (展望所)	15	2
伏伸の滝			伏伸の滝 (滝壺から)	12	1
赤田大滝			赤田大滝	7	3
石沢峡			石沢峡(屏風岩)	11	2
奈曾の白滝			奈曾の白滝滝壺付近から	11	2
石沢峡		石沢大滝	9	2	
立又溪谷		立又溪谷二の滝	12	0	
2B		男鹿大瀑	男鹿大瀑	7	3
		亀田不動滝	亀田不動滝滝壺	6	2
		抱返り	回顧の滝	6	2
		元滝伏流水	元滝伏流水 (上流から下流方向)	11	1
		元滝伏流水	元滝伏流水 (前景上部から)	10	1
		元滝伏流水	元滝伏流水 (前景下部から)	9	0
		元滝伏流水	元滝伏流水 (奥部)	7	0
		元滝伏流水	元滝散策路 (滝入り口の流れ)	2	2
		元滝伏流水	元滝散策路 (中継点)	5	1
		元滝伏流水	元滝伏流水 (下流から上流方向)	10	1
		元滝伏流水	元滝伏流水 (踏み台から)	8	0

景観構成要素に基づく自然風景地の類型化と魅力の可視化

表1. (つづき)

群	自然風景地	観賞スポット	景観構成要素数			
			自然	人文		
第3群	3A	法体の滝	法体吊り橋手前（流れ）	12	1	
		法体の滝	玉田溪谷入り口	10	0	
		中ノ又溪谷	中ノ又溪谷（甌穴）	11	0	
		中ノ又溪谷	中ノ又溪谷（途中の流れ上流部）	13	0	
		桃洞溪谷	桃洞・赤水分岐付近	10	0	
		シラタマノキ湿原	シラタマノキ大きな流れ（入り口付近）	11	1	
	3B	桃洞溪谷	桃洞横滝（遊歩道上から）	16	0	
		桃洞溪谷	桃洞横滝（滝壺）	15	0	
		太平湖・小又峡	小又峡仏ノ穴滝	16	1	
		太平湖・小又峡	小又峡三階滝	17	0	
		太平湖・小又峡	小又峡曲滝	16	1	
		太平湖・小又峡	小又峡横滝	16	1	
		太平湖・小又峡	小又峡三角滝	15	1	
		太平湖・小又峡	小又峡穴滝	14	1	
		太平湖・小又峡	小又峡仏ノ滝	16	1	
		桃洞溪谷	桃洞トウド沢（断崖）	15	1	
		桃洞溪谷	桃洞トウド沢（飛び石付近）	16	1	
		太平湖・小又峡	小又峡千畳敷	14	1	
		太平湖・小又峡	小又峡ガマ淵	14	1	
		太平湖・小又峡	小又峡穴滝上流部	15	1	
		3C	法体の滝	法体の滝(滝壺)	12	0
	立又溪谷		立又溪谷一の滝	12	0	
	桃洞溪谷		桃洞六段ノ滝	13	0	
	中ノ又溪谷		安の滝（下の滝）	12	2	
	法体の滝		法体の滝(上部展望所)	15	0	
	立又溪谷		立又溪谷幸兵衛滝	14	0	
	中ノ又溪谷		安の滝（遠景）	14	0	
	3D		中ノ又溪谷	安の滝（上の滝展望所）	17	1
			中ノ又溪谷	安の滝（滝壺）	18	0
		桃洞溪谷	桃洞滝（遊歩道から）	17	1	
		桃洞溪谷	桃洞滝（滝壺）	16	1	
		太平湖・小又峡	小又峡化ノ堰	18	1	
	第4群	4A	岨谷峡	岨谷峯入り口付近	13	6
岨谷峡			岨谷峯奥部	11	5	
抱返り			抱返り神社付近から巫女石	15	7	
抱返り			抱返り神の岩橋から上流方向	15	6	
抱返り			抱返り誓願橋から	14	3	
抱返り			抱返り棚掛の滝付近	14	1	
きみまち阪			きみまち阪展望台	9	6	
4B		桃洞溪谷	桃洞立川橋	11	3	
		八幡平後生掛自然研究路	後生掛マッドスポット	10	3	
		小安峡	小安峡大噴湯（下）	13	5	
		奈曽の白滝	奈曽の白滝橋の上から	11	4	
		法体の滝	法体の滝(吊り橋から)	7	4	
		法体の滝	法体吊り橋手前（滝眺望）	14	4	
		法体の滝	法体園地（遠景）	11	9	
4C		祓川・竜が原湿原	祓川ヒュッパ駐車場付近	11	1	
		イワカガミ湿原	イワカガミ湿原展望所（車道から）	10	2	
		鳥海山・鉾立	鉾立駐車場（鳥海山方面）	13	1	
		鳥海山・鉾立	鉾立展望台	14	1	
		八幡平後生掛自然研究路	後生掛オナメ・モトメ	11	4	
		八幡平後生掛自然研究路	後生掛紺屋地獄	12	3	
		八幡平後生掛自然研究路	後生掛大湯沼（入り口付近）	15	3	
		八幡平後生掛自然研究路	後生掛大湯沼（奥の展望所）	15	2	
八幡平後生掛自然研究路		後生掛大泥火山	10	2		
小安峡		小安峡大橋からの眺望	14	4		

表1. (つづき)

群	自然風景地	観賞スポット	景観構成要素数			
			自然	人文		
4D	善神沼	善神沼 (遊歩道)	15	0		
	八幡平大沼	八幡平大沼への覗き	13	1		
	八幡平大沼	八幡平大沼澄川の流れ	15	2		
	八幡平大沼	八幡平大沼コウホネ	14	3		
	須川湖	須川湖棧橋付近	14	6		
	須川湖	須川湖キャンプ場 (下) から栗駒山眺望	14	5		
	須川湖	須川湖キャンプ場 (上) から眺望	10	4		
	太平洋・小又峡	太平洋棧橋上 (太平洋眺望)	14	7		
	太平洋・小又峡	太平洋棧橋下 (太平洋眺望)	12	7		
	太平洋・小又峡	小又峡棧橋	12	7		
	第5群	5A	男鹿滝の頭湧水	滝の頭スギ人工林	4	5
男鹿滝の頭湧水			滝の頭神社前の池	7	6	
亀田不動滝			亀田不動滝展望所	2	6	
風の松原			風の松原	2	4	
桑ノ木台湿原			桑ノ木台ブナ林入り口	5	0	
5B		八望台展望台	八望台展望台	2	6	
		八幡平大沼	八幡平ビジターセンターからの眺望	13	4	
		桑ノ木台湿原	桑ノ木台木道⑤モリアオガエル	7	0	
		桃洞溪谷	桃洞黒石川コース分岐	9	0	
		桃洞溪谷	桃洞上谷地	10	0	
		桃洞溪谷	桃洞ノロ川橋付近のブナ林	6	1	
		桃洞溪谷	桃洞ノロ川ブナ林	7	0	
		須川湖	須川湖キャンプ場ブナ巨木	8	4	
		中島台獅子ヶ鼻湿原	中島台赤川橋の上	9	2	
		中島台獅子ヶ鼻湿原	中島台出つば (遊水地)	8	1	
		中島台獅子ヶ鼻湿原	中島台島海まりも (コケ群落)	14	2	
		八幡平大沼	八幡平大沼ブナ林	11	3	
		中島台獅子ヶ鼻湿原	中島台遊歩道入り口のブナ林	6	1	
		中島台獅子ヶ鼻湿原	中島台奇形ブナ群生地	9	1	
中島台獅子ヶ鼻湿原	中島台燭台	7	2			
中島台獅子ヶ鼻湿原	あがりこ女王	7	3			
中島台獅子ヶ鼻湿原	あがりこ大王	8	3			
第6群	6A	仁賀保高原	長谷地溜池 (鳥海山)	11	2	
		仁賀保高原	新田堤 (鳥海山)	11	2	
		冬師湿原	大湯溜池	10	0	
		冬師湿原	十八森池 (東側)	10	0	
		冬師湿原	十八森池 (西側)	10	0	
		冬師湿原	扇谷地池 (湖沼の辺から)	10	0	
		冬師湿原	野際溜池	10	0	
		冬師湿原	上坂地区	10	3	
		冬師湿原	扇谷地池 (展望所)	11	3	
		冬師湿原	扇谷地池 (記念碑からの眺望)	10	3	
	6B	田沢湖	たつこ像	14	8	
		田沢湖	御座石神社	16	9	
	第7群	7A	祓川・竜が原湿原	祓川神社付近	16	3
			八幡平大沼	八幡平大沼遊歩道からキャンプ場分岐付近の湿原	11	1
			シラタマノキ湿原	シラタマノキ湿原 (平原)	12	2
			シラタマノキ湿原	シラタマノキ泥炭地 (下) 流れ	16	1
			シラタマノキ湿原	シラタマノキ泥炭地 (上) 斜面	14	2
桑ノ木台湿原			桑ノ木台湿原入り口 (水面反射)	16	0	
桑ノ木台湿原			桑ノ木台木道①ワタスゲ群落	14	0	
桑ノ木台湿原			桑ノ木台木道②鳥海山眺望	14	0	
桑ノ木台湿原			桑ノ木台木道③湿原 (中間地点)	14	0	
桑ノ木台湿原			桑ノ木台木道④レンゲツツジ	14	0	
7B		イワカガミ湿原	イワカガミ湿原須川湖分岐 (木道から湿原方向)	14	1	
		イワカガミ湿原	イワカガミ湿原須川湖分岐 (木道から栗駒山方向)	16	4	

景観構成要素に基づく自然風景地の類型化と魅力の可視化

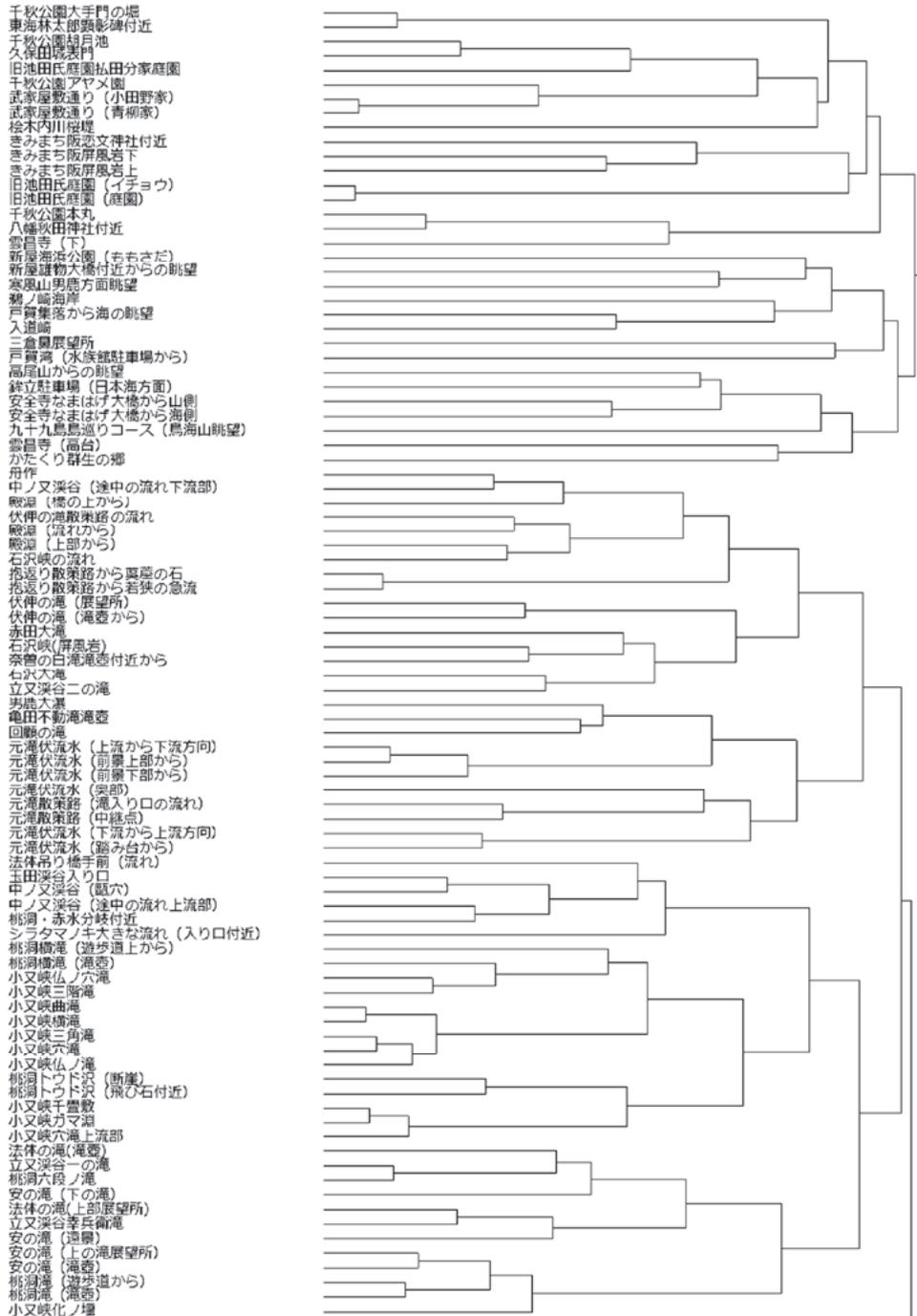


図1. 観賞スポットの景観構成要素に基づくクラスター分析結果 (Word法)

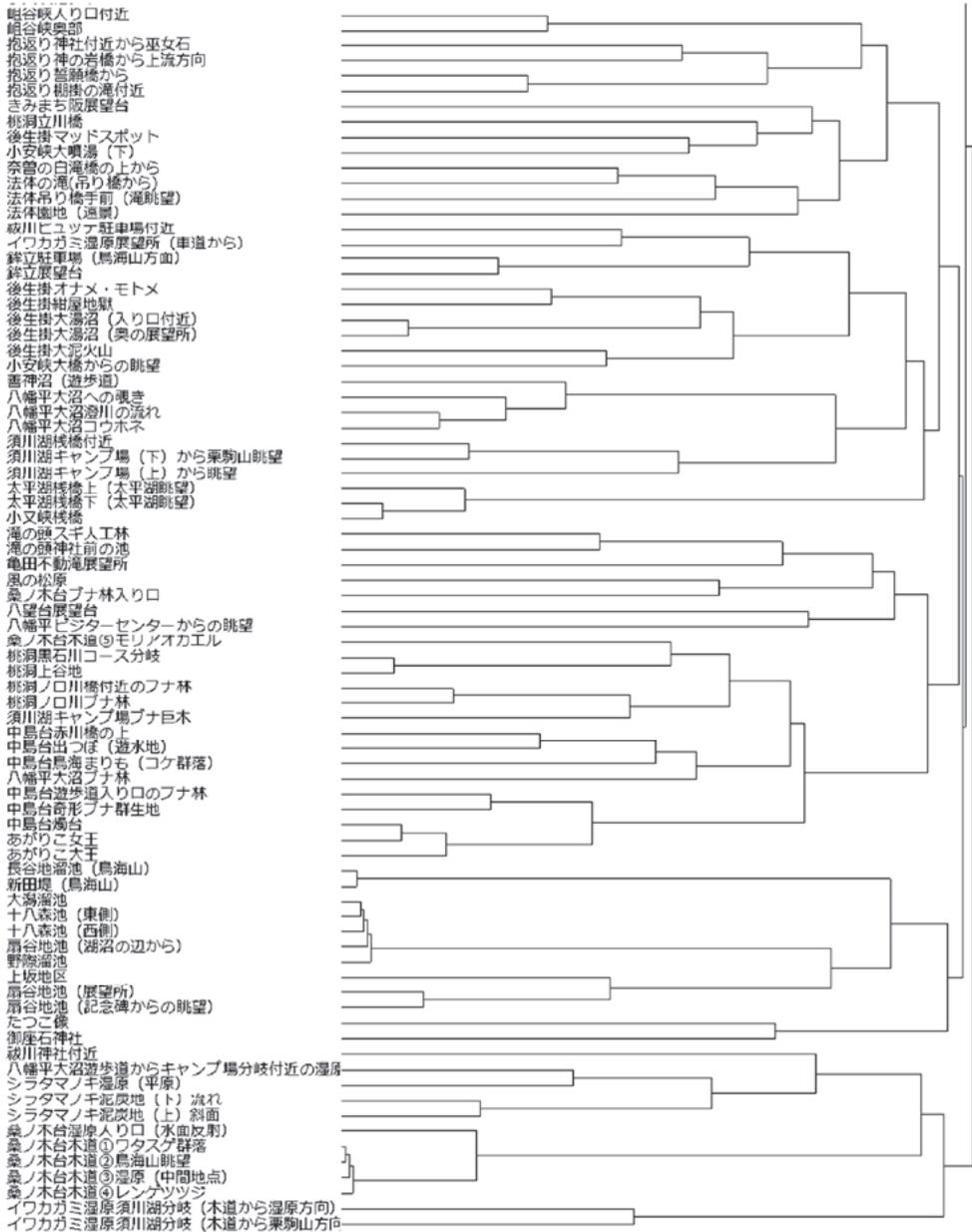


図1. (つづき)

表2. クラスタ分析によって類型化された7群およびグループの特徴

群		グループ 特性	主な自然風景地	
第1群	眺望景観・人文景観	1A	公園・庭園	千秋公園、旧池田氏庭園、きみまち阪
		1B	海の景観	新屋海浜公園、鶴ノ崎海岸
		1C	眺望	戸賀湾、三倉鼻
		1D	広い農村景観	安全寺の棚田、象潟、高尾山
第2群	自然・人文景観の融合 (要素数少ない)	2A	滝・溪流	伏伸の滝、抱返り、石沢峡、赤田大滝
		2B	滝	元滝伏流水、男鹿大瀑、亀田不動滝、抱返り
第3群	溪流景観	3A	溪流	中ノ又溪谷、法体の滝
		3B	滝・溪流	桃洞溪谷、小又峡
		3C	滝	中ノ又溪谷、立又溪谷、法体の滝
		3D	滝・溪流	桃洞溪谷、中ノ又溪谷、小又峡
第4群	自然・人文景観の融合 (要素数多い)	4A	溪流	岨谷峡、抱返り
		4B	断崖	小安峡、法体の滝、奈曾の白滝
		4C	俯瞰景	後生掛、鳥海鉾立、善神沼、小安峡
		4D	俯瞰景 (湖沼)	八幡平大沼、須川湖、太平湖
第5群	森林景観	5A	森林	滝の頭湧水、風の松原、八望台
		5B	森林 (ブナ林)	桃洞溪谷、中島台
第6群	自然・人文景観の融合 (要素数少ない)	6A	ため池・鳥海山	冬師湿原、仁賀保高原
		6B	湖沼・田沢湖	田沢湖
第7群	湿原景観	7A	湿原	シラタマノキ湿原、桑ノ木台
		7B	湿原	イワカガミ湿原

観光地と認識される。この他、代表的な観光地と認識された第4群は小安峡や八幡平などを含み、自然景観および人文景観構成要素の数がともに多いことが特徴である。また、第6群は冬師湿原、田沢湖などを含み、景観構成要素数が相対的に少ない代表的な観光地である。

第2群は、景観構成要素数が先般的に少ないことにおいて第6群に近い。しかし、田沢湖のように眺望には恵まれず、訪問客数が少ないことが特徴である。第2群には伏伸の滝、元滝伏流水、亀田不動滝、石沢峡など、森林内に存在する滝が多く含まれている。また、第5群は森林内の景観であり、眺望に恵まれず、景観構成要素数が少ないことが特徴である。この群には、桃洞溪谷や中島台、風の松原が含まれ、風景の空間的変化が乏しいことが特徴である。

第3群と第7群はともに自然景観構成要素数が多いものの、訪問客数に恵まれない秘境と認識される。第3群は、中ノ又溪谷、桃洞溪谷、小又峡などの北秋田市阿仁・森吉地区の溪流や滝および、法体の滝が含まれる。法体の滝を除くといずれも訪問客数は少ない、または統計情報が公開されていない。第7群は栗駒山付近の湿原（シラタマノキ湿原およびイワカガミ湿原）、および桑ノ木台湿原が含まれ、栗駒山や鳥海山を望む高層湿原で構成されている。

考 察

本研究は、自然風景地を対象に、観賞スポットの景観構成要素数および訪問客数に基づいて、地域資源としての潜在性を有する自然風景地を抽出した。千秋公園や田沢湖などの訪問客数の比較的多いスポットは代表的な観光地として認識され、これらの場所の地域資源としてすでに十分に活用されていることが示唆された。一方、訪問客数の少ない地点は、これからの地域資源としての活用可能性が考えられる。

自然風景に対して人々が好ましいと感じる要素は、人工的でなく自然性の高い要素の組み合わせであることが指摘されている（古谷ほか1996）。また、人々にとっての自然風景の魅力については、児島ほか（1995）、沼本ほか（1996）が、広がりなどの眺望の重要性や、天候による眺望風景の見え方の変化と人の景観体験との関係を示している。門脇・吉澤（2017）は、シンボル要素の存在が重要な指標であると指摘している。つまり、自然風景の魅力は自然風景を構成する要素の種類や数に依存していると考えられる。

本研究から、中ノ又溪谷、立又溪谷、桃洞溪谷、小又峡、法体の滝、須川高原、桑ノ木台湿原などを秋田県内の秘境と認識することができた。これらはいずれも溪流や湿原の眺望に優れており、自然景観構成要素数が多く、滝などのシンボル要素が含まれていることが特徴である。これらの秘境は、まさに「観光」という視点では埋蔵された自然風景地であり、このような秘境を有効に活用することで、飛躍的な地域活性化に結びつけることができる可能性がある。

橋本（1997）は距離と立ち寄り観光対象数の関係に関する調査を行い、出発地が遠方である方が数多くの観光対象に立ち寄る傾向が認められることを指摘した。また、訪問客の動向としては出発地からの距離が大きいほど旅行日数が増加し、観光価値の高いスポットを組み合わせることで周遊することが多くなるといえる。観光価値の高いスポットは、男鹿、角館武家屋敷、鳥海山鉾立、八幡平、田沢湖などの訪問客数の多い地点としてよいだろう。それに対し、鳥海山付近の湿原や栗駒山・須川高原はそのような組み合わせのスポットには含まれていない。

秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課（2019）は、秋田県の観光における満足度のアンケートの結果、アクセスおよび情報提供に対する不満およびやや不満の割合が他の項目よりも高いことを示している。これらの問題を取り払う方策については、さらなる研究を進めなければならないが、これらの問題を取り払うことができれば、地域資源として十分に活用することができるような発展を遂げるに違いない。経路の利便性を向上させ、複数の自然風景地を組み合わせる観賞する訪問者が全体的に増加すると推定される。それには、自然風景地へのルートを明確にすることなどが必要と考えられる。

訪問客の増加は地域産業の発展に効果があると考えられる。しかし、これにはいくつかの問題も生じる。それは、間接的に環境破壊が生じ、美しい自然風景の魅力自体が低下する恐れがあるということである。自然環境の破壊やそれに伴う自然風景の魅力の低下は防がなければならない。なぜなら、自然風景の観賞という本来の目的が自然の破壊によって失われるからである。また、自然風景に手を加えることで人工物が増加し、好ましいものとは言えなくなる可能性がある。たとえ自然風景地としての価値が高くとも、訪問客の増加をもたらすことにはならないだろう。自然風景地としての価値を後世に残し、不必要な人工物の設置を防ぐこと、場合によっては適切な管理を施すなど、バランスを考えていかなければならない。

謝 辞

本研究の一部は、ノースアジア大学経済学部による秋田県私大・短大魅力アップ支援事業「若手教員による実践的カリキュラム実現を目指した教育プログラムの構築」(2015年度)および、秋田県私大・短大等パワーアップ支援事業「地域の経済実態調査を活用した学生の自主的研究プログラムの開発」(2017年度)のうち、環境学ゼミナールが実施したものである。ここに記してお礼申し上げる。

引用文献

- 秋田県観光文化スポーツ部観光戦略課(2011-2019)秋田県観光統計(平成22年から平成30年)
- 飯田義彦・落合知帆(2009)熊野古道のシークエンス景観に対する歩行者の着眼点と撮影注視動機. 日本都市計画学会都市計画報告集8: 92-95.
- 石川有生・荒井歩(2011)文化人の描写に基づく我孫子の景観構成要素の把握. 東京農大農学集報58: 190-198.
- 岡本卓也(2014)観光動機の違いが観光情報収集と訪問地選択に与える影響～長野県松本市・案雲野市における観光者動向からの検討～, 地域ブランド研究9: 31-42.
- 門脇菜海・吉澤清良(2017)観光資源の評価に関する研究: “特別地域観光資源”に魅力と評価について. 観光文化機関誌234: 43-51.
- 公益財団法人日本交通公社(2019)旅行年報 第I編日本人の旅行市場.
- 児島隆政・古谷勝則・油井正昭(1995)自然景観における好ましさの評価構造に関する研究. ランドスケープ研究58: 177-180.
- 下村泰彦・山崎寛朗・加我宏之・増田昇(2011)斑鳩らしい景観の継承性に与える景観構成要素の変化特性に関する研究. ランドスケープ研究74: 629-632.
- 鈴木修二・堀繁(1989)森林風景における自然性評価と好ましさに関する研究. 造園雑誌52: 211-216.
- 沼本健司・斐重南・古谷勝則・油井正昭(1996)展望地点から観賞する自然景観の景観評価に関する研究. ランドスケープ研究59: 165-168.
- 橋本俊哉(1997)観光回遊論, 風間書房.
- 古谷勝則・斐重南・油井正昭・石井弘・児島隆政・沼本健司(1994)自然景観地における眺望景観の認識特性に関する研究. 造園雑誌57: 283-298.

古谷勝則・褰重南・古谷勝則・油井正昭（1997）思い出に残る自然風景，ランドスケープ研究61：669-674.
宮入真理子・仙田満・井上寿（2000）自然景観と建築形態の調和についての一考察，ランドスケープ研究63：
599-602.

執筆者紹介（掲載順）

- 橋本五郎 ノースアジア大学 客員教授
- 内館牧子 ノースアジア大学総合研究センター 客員教授
- 福岡政行 ノースアジア大学総合研究センター 客員教授
- 光田基郎 ノースアジア大学経済学部 教授
- 橋元志保 ノースアジア大学法学部 教授
- 瀧澤純 ノースアジア大学法学部 准教授
- 力石國男 ノースアジア大学総合研究センター 教授
- 村中孝司 ノースアジア大学経済学部 准教授

総合研究 第8号

2020年（令和2年）3月31日発行

編集・発行 ノースアジア大学総合研究センター
秋田市下北手桜守沢46-1
TEL 018-836-6592
FAX 018-836-6530
URL <http://www.nau-grc.jp>

印刷 秋田活版印刷株式会社
秋田市寺内字三千刈110-1
電話 018-888-3500

General Research

The 8th issue

March, 2020

CONTENTS

Lectures

- What is missing in Japanese politics Hashimoto Goro
- The Life of a 78-year-old woman
- From the novel "I Will Die, Soon"- Uchidate Makiko
- Will "Bad manners" Be our ruin? Uchidate Makiko
- What will happen to the LDP's new administration !?
-And a shrinking Akita- Fukuoka Masayuki
- Liberal democratic party election and the future of
japanese economy and diplomacy Fukuoka Masayuki
- Japan and Akita's politics, economy, and diplomacy in 2019 Fukuoka Masayuki
- Politics just before the upper house election
-Will there be a double election!?- Fukuoka Masayuki

Articles

- Effects of working memory resources in generating explanations
via analogical reasoning about false belief in computerized story
comprehension of college students Mitsuda Motoo
- An Essay of Soseki Natsume's *Kyou nitsukeru Yuube*
from the Viewpoint of Tadasu no Mori Hashimoto Shiho
- Development of mind and vital perception in adults : judging
embryo, schizophrenia, dementia, vegetative state, brain death Takizawa Jun

Notes

- Possible influence of the drinking water on the average life span
of metropolitan Rikiishi Kunio
- Classification of natural landscape areas based on landscape
elements and visualization research Muranaka Takashi

North Asia University General Research Institute
Akita, Japan